

基本計画書

基本計画									
事項	記入欄						備考		
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更								
フリガナ設置者	ガッコウジン ムミガケン 学校法人 睦学園								
フリガナ大学の名称	ヒョウダガク 兵庫大学 (Hyogo University)								
大学本部の位置	兵庫県加古川市平岡町新在家2301								
大学の目的	<p>本学は、教育基本法及び学校教育法に則り、建学の精神である「和」を育む仏教主義に基づく大学として、専門の学芸を教授研究するとともに、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養し、併せて有為の人材を養成することを目的とする。</p>								
新設学部等の目的	<p>【教育学部教育学科の設置】 科学技術の発展やグローバル化の影響など、日本の教育は大きな変化が求められている。変化の激しい複雑な状況の中で、多様な家庭環境や多様な文化的背景をもった子どもが学校に通っている。人口減少、少子高齢化、人口の偏在化、家族と社会の繋がり希薄化等の変化は、子どもの発達・教育にも大きな影響を与えている。このような時代背景の中で、教育者に求められる資質・能力も変化しており、これらに対応することのできる質の高い教育者・保育者を養成するため、教育学部教育学科を届出により設置する。</p> <p>【生涯福祉学部社会福祉学科の編入学制度】 わが国は超少子高齢社会にあり、高齢化や所得格差の拡大、離婚率の増加、いじめ、児童虐待、DVなど、数多くの社会問題が山積し、社会福祉士は老若男女問わず、さまざまな人から求められている。国民の福祉サービスに対する需要の増大・多様化はますます進展することが見込まれており、さらには介護保険制度や障害者自立支援法の施行により、利用者本位の質の高い福祉サービスの提供が求められ、サービスを提供する福祉人材の養成は喫緊の課題といえる。社会的ニーズに対応した福祉人材を養成するため、生涯福祉学部社会福祉学科に3年次編入学制度を設ける。</p>								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限 年	入学定員 人	編入学定員 年次 人	収容定員 人	学位又は称号	開設時期及び開設年次 年 月 第 年次	所在地 兵庫県加古川市 平岡町新在家2301	※令和4年4月設置届出予定
	教育学部 [Faculty of Education] 教育学科 [Department of Education]	4	100 (0)	3年次 5 (0)	410 (0)	学士 (教育学) 【Bachelor of Education】	令和5年4月 第1年次 令和7年4月 第3年次		
	現代ビジネス学部 [Faculty of Cotemporary Economics Studies] 現代ビジネス学科 [Department of Contemporary Economics Studies]	4	120	3年次 2	484	学士 (現代ビジネス) 【Bachelor of Economics】	令和4年4月 第1年次 平成30年4月 第3年次		
	健康科学部 [Faculty of Health Science] 栄養マネジメント学科 [Department of Nutrition Management]	4	80	3年次 5	330	学士 (栄養学) 【Bachelor of Nutrition】	平成13年4月 第1年次 平成31年4月 第3年次		
	健康システム学科 [Department of Health System Management]	4	40	—	160	学士 (健康科学) 【Bachelor of Health Science】	平成13年4月 第1年次		

新設学部等の概要	看護学部 [Faculty of Nursing] 看護学科 [Department of Nursing]	4	90	—	360	学士 (看護学) 【Bachelor of Nursing】	平成29年4月 第1年次	同上	※令和5年4月学生募集停止
	生涯福祉学部 [Faculty of Lifelong Welfare] 社会福祉学科 [Department of Social Welfare]	4	40	3年次 5 (0)	170 (160)	学士 (社会福祉学) 【Bachelor of Social Work】	平成20年4月 第1年次 令和5年4月 第3年次		
	こども福祉学科 [Department of Child Welfare]	4	0 (50)	3年次 0 (5)	0 (210)	学士 (こども福祉) 【Bachelor of Child Welfare】	平成25年4月 第1年次 平成27年4月 第3年次		
	計		470 (420)	17 (12)	1,914 (1,704)				
同一設置者内における変更状況 (定員の移行, 名称の変更等)	兵庫大学 教育学部 教育学科 (100) (3年次編入学定員) (5) (令和4年4月届出予定) 生涯福祉学部 社会福祉学科 (5) (令和5年4月) (3年次編入学定員) 生涯福祉学部 こども福祉学科 (廃止) (△50) (3年次編入学定員) (△5) ※令和5年4月学生募集停止 (3年次編入学定員は令和7年4月学生募集停止) 兵庫大学短期大学部 保育科第一部 (△20) (令和5年4月)								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
	—	講義	演習	実験・実習	計	—	—	—	—
教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等	
	新設	教育学部 教育学科	10人 (10)	8人 (8)	2人 (2)	0人 (0)	20人 (20)	0人 (0)	61人 (61)
		現代ビジネス学部 現代ビジネス学科	11 (11)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	18 (18)	0 (0)	56 (56)
		健康科学部 栄養マネジメント学科	5 (5)	4 (4)	3 (3)	3 (3)	15 (15)	2 (2)	55 (55)
		健康システム学科	5 (5)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	61 (61)
		看護学部 看護学科	13 (13)	6 (6)	6 (6)	3 (3)	28 (28)	4 (4)	52 (52)
		生涯福祉学部 社会福祉学科	7 (7)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	41 (41)
		計	51 (51)	30 (30)	16 (16)	6 (6)	103 (103)	6 (6)	— (—)
	既設分	共通教育機構	4 (4)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	0 (0)
		計	4 (4)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	— (—)
合計		55 (55)	32 (32)	16 (16)	6 (6)	109 (109)	6 (6)	— (—)	

教員以外の職員の概要	職 種		専 任	兼 任	計				
	事 務 職 員		55 (55)	0 (0)	55 (55)				
	技 術 職 員		0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	図 書 館 専 門 職 員		1 (1)	0 (0)	1 (1)				
	そ の 他 の 職 員		1 (1)	0 (0)	1 (1)				
	計		57 (57)	0 (0)	57 (57)				
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	0 m ²	72,973 m ²	0 m ²	72,973 m ²	兵庫大学短期大学部と共用			
	運 動 場 用 地	0 m ²	9,600 m ²	0 m ²	9,600 m ²				
	小 計	0 m ²	82,573 m ²	0 m ²	82,573 m ²				
	そ の 他	0 m ²	10,706 m ²	0 m ²	10,706 m ²				
	合 計	0 m ²	93,279 m ²	0 m ²	93,279 m ²				
校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
		187.65 m ² (187.65m ²)	29,098.46 m ² (29,098.46m ²)	1,773.35 m ² (1,773.35m ²)	31,059.46 m ² (31,059.46m ²)	兵庫大学短期大学部と共用			
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	29 室	28 室	34 室	4 室 (補助職員 3人)	- 室 (補助職員 一人)	大学全体 兵庫大学短期大学部と共用			
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称			室 数				
		大学全体			84 室				
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		
	大学全体	54,553 [6,910] (54,864 [6,910])	1,699 [236] (1,699 [236])	3 [1] (3 [1])	6,005 (6,005)	5,902 (5,902)	58 (58)		
	計	54,553 [6,910] (54,864 [6,910])	1,699 [236] (1,699 [236])	3 [1] (3 [1])	6,005 (6,005)	5,902 (5,902)	58 (58)		
図 書 館		面積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数					
		1,829 m ²	270	151,200	大学全体				
体 育 館		面積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
		2,286 m ²	テニスコート4面		-				
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		教員1人当り研究費等		480千円	480千円	480千円	480千円	-	-
		共同研究費等		1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	-	-
		図書購入費	1,100千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	-	-
	設備購入費	0千円	2,500千円	2,500千円	2,500千円	2,500千円	-	-	
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		教育学部	1,290千円	1,140千円	1,140千円	1,140千円	- 千円	- 千円	
		現代ビジネス学部	1,180千円	1,020千円	1,020千円	1,020千円	- 千円	- 千円	
		栄養マネジメント学科	1,750千円	1,600千円	1,600千円	1,600千円	- 千円	- 千円	
		健康システム学科	1,750千円	1,600千円	1,600千円	1,600千円	- 千円	- 千円	
		看護学部	1,750千円	1,600千円	1,600千円	1,600千円	- 千円	- 千円	
社会福祉学科		1,390千円	1,240千円	1,240千円	1,240千円	- 千円	- 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、入学検定料、雑収入等						

既設大学等の状況	大学の名称	兵庫大学							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
		年	人	年次人	人		倍		
	経済情報学部 経済情報学科	4	—	—	—	学士 (経済情報)	—	平成7年度	兵庫県加古川市 平岡町新在家2301
	現代ビジネス学部 現代ビジネス学科	4	100	2	444	学士 (現代ビジネス)	0.94	平成28年度	
	健康科学部 栄養マネジメント学科	4	80	3年次 5	330	学士 (栄養学)	0.82	平成13年度	
	健康システム学科	4	40	—	160	学士 (健康科学)	1.01	平成13年度	
	看護学科	4	—	—	—	学士 (看護学)	—	平成18年度	
	看護学部 看護学科	4	90	—	360	学士 (看護学)	1.10	平成29年度	
	生涯福祉学部 社会福祉学科	4	40	—	150	学士 (社会福祉学)	1.00	平成20年度	
こども福祉学科	4	50	3年次 5	210	学士 (こども福祉)	0.92	平成25年度		
既設大学等の状況	大学の名称	兵庫大学大学院							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
		年	人	年次人	人		倍		
	(修士・博士前期課程) 経済情報研究科 経済情報専攻	2	20	—	40	修士 (経済情報)	—	平成11年度	兵庫県加古川市 平岡町新在家2301
	現代ビジネス研究科 現代ビジネス専攻	2	5	—	10	修士 (現代ビジネス)	1.10	令和2年度	
	看護学研究科 看護学専攻	2	6	—	12	修士 (看護学)	0.24	令和2年度	
	(博士後期課程) 看護学研究科 看護学専攻	3	4	—	12	博士 (看護学)	1.50	令和2年度	
既設大学等の状況	大学の名称	兵庫大学短期大学部							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
		年	人	年次人	人		倍		
保育科第一部	2	100	—	200	短期大学士 (保育)	0.73	昭和32年度	兵庫県加古川市 平岡町新在家2301	
保育科第三部	3	80	—	240	短期大学士 (保育)	1.01	昭和46年度		
附属施設の概要	該当なし								

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」, 「新設学部等の目的」, 「新設学部等の概要」, 「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず, 斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については, 共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科又は高等専門学校に収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は, 「教育課程」, 「教室等」, 「専任教員研究室」, 「図書・設備」, 「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず, 斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は, 「教育課程」, 「校地等」, 「校舎」, 「教室等」, 「専任教員研究室」, 「図書・設備」, 「図書館」, 「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず, 斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には, 実技も含むこと。
- 6 空欄には, 「—」又は「該当なし」と記入すること。

学校法人睦学園 認可申請等に関する組織の移行表

令和4年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和5年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
兵庫大学				兵庫大学				
						3年次		
				教育学部				学部の設置 (設置届出)
				教育学科	<u>100</u>	<u>5</u>	<u>410</u>	
		3年次						
現代ビジネス学部				現代ビジネス学部				
現代ビジネス学科	120	2	484	現代ビジネス学科	120	2	484	
		3年次						
健康科学部				健康科学部				
栄養マネジメント学科	80	5	330	栄養マネジメント学科	80	5	330	
健康システム学科	40	—	160	健康システム学科	40	—	160	
		3年次						
看護学部				看護学部				
看護学科	90	—	360	看護学科	90	—	360	
		3年次						
生涯福祉学部				生涯福祉学部				
社会福祉学科	40	—	<u>160</u>	社会福祉学科	40	<u>5</u>	<u>170</u>	編入学定員変更 (5) 令和5年4月学生 募集停止
こども福祉学科	50	5	<u>210</u>	こども福祉学科	0	0	0	
		3年次						
計	<u>420</u>	<u>12</u>	<u>1,704</u>	計	<u>470</u>	<u>17</u>	<u>1,914</u>	
兵庫大学大学院				兵庫大学大学院				
現代ビジネス研究科				現代ビジネス研究科				
現代ビジネス専攻(M)	5	—	10	現代ビジネス専攻(M)	5	—	10	
看護学研究科				看護学研究科				
看護学専攻(M)	6	—	12	看護学専攻(M)	6	—	12	
看護学専攻(D)	4	—	12	看護学専攻(D)	4	—	12	
計	15	—	34	計	15	—	34	
兵庫大学短期大学部				兵庫大学短期大学部				
保育科第一部				保育科第一部				定員変更(△20)
保育科第一部	<u>100</u>	—	<u>200</u>	保育科第一部	<u>80</u>	—	<u>160</u>	
保育科第三部				保育科第三部				
保育科第三部	80	—	240	保育科第三部	80	—	240	
計	<u>180</u>	—	<u>440</u>	計	<u>160</u>	—	<u>400</u>	

(1) 都道府県内における位置関係の図面



(2) 最寄り駅からの距離、交通機関及び所要時間がわかる図面



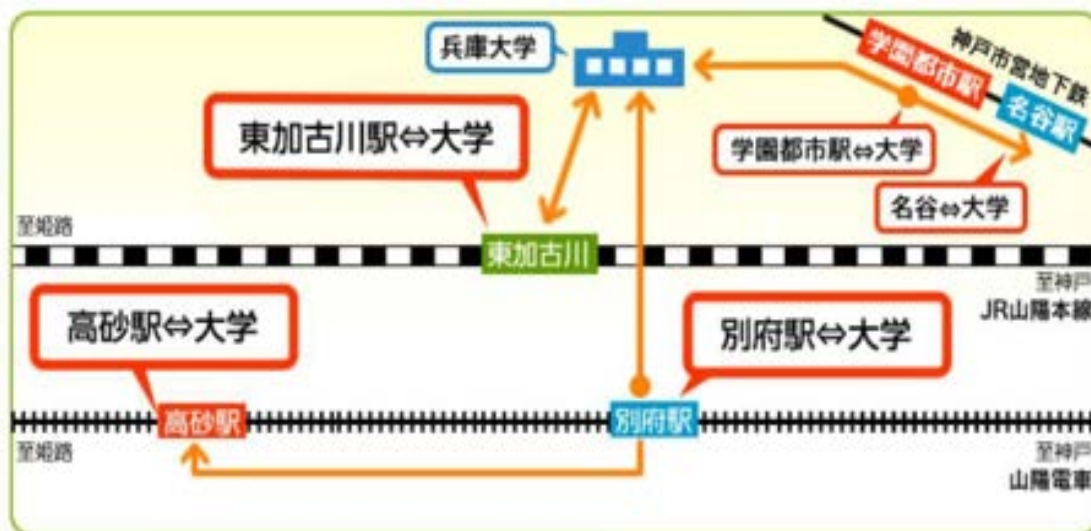
●神戸空港から約60分（ポートライナー神戸空港駅から三宮駅にて下車、JR在来線に乗り換え。）

周辺マップ

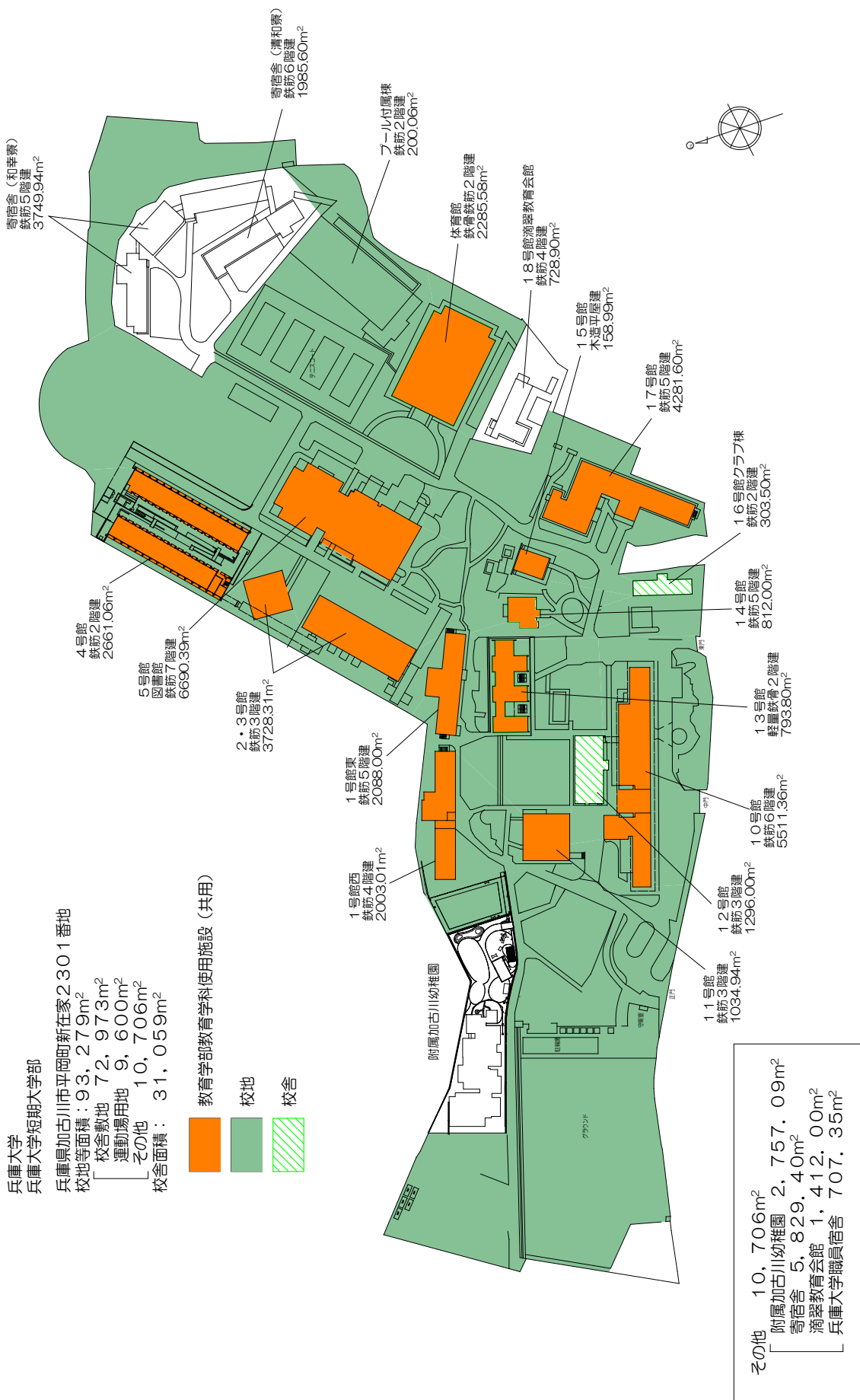


スクールバス

本学では学生の通学をサポートするために「神戸市営地下鉄 学園都市駅経由 名谷駅 ⇄ 大学」、「山陽電車 別府駅経由 高砂駅 ⇄ 大学」及び「JR東加古川駅 ⇄ 大学」間を往復するスクールバスを運行しています。



(3) 校舎・運動場等の配置図



(4) 校舎の平面図は、安全上の観点より非公表。

兵庫大学学則（案）

〔平成7年4月1日制定〕
兵大程第6号

第1章 総則

第1節 目的

（目的）

第1条 本学は、教育基本法及び学校教育法に則り、建学の精神である「和」を育む仏教主義に基づく大学として、専門の学芸を教授研究するとともに、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養し、併せて有為の人材を養成することを目的とする。

（自己点検・評価）

第2条 本学は、その教育研究水準の向上を図り、第1条の目的を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、公表する。

2 前項の点検及び評価の項目並びにその実施体制については別に定める。

第2節 組織

（学部）

第3条 本学に、次の学部を置く。

現代ビジネス学部

健康科学部

看護学部

生涯福祉学部

教育学部

2 前項の学部に置く学科及びその入学定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
現代ビジネス学部	現代ビジネス学科	120	2	484
健康科学部	栄養マネジメント学科	80	5	330
	健康システム学科	40	—	160
	計	120	5	490
看護学部	看護学科	90	—	360
生涯福祉学部	社会福祉学科	40	5	170
教育学部	教育学科	100	5	410
合	計	470	17	1,914

3 本学に共通教育機構を置く。

4 共通教育機構に関する規程は別に定める。

（大学院）

第3条の2 本学に、大学院を置く。

2 大学院の学則は別に定める。

（附属施設等）

第4条 本学に、次の附属施設・附置機関を置く。

(1) 附属図書館

- (2) 学修基盤センター
- (3) 高等教育研究センター
- (4) 附属総合科学研究所
- (5) エクステンション・カレッジ
- (6) 地域医療福祉研修センター

2 前項各号の附属施設等に関し、必要な事項は別に定める。

(附属研究所)

第5条 (削除)

第2節の2 学部等の教育研究上の目的

(現代ビジネス学部の教育研究上の目的)

第5条の2 現代ビジネス学部は、建学の精神である「和」に基づき、変化する社会にあつて、主体的に共生社会の形成に関わり、地域と共に歩み地域の発展に貢献するため、経済学をはじめとする専門知識への深い理解と幅広い教養を身に付け、現代社会の諸問題を積極的に分析、解決する人材を養成する。

2 現代ビジネス学科は、学部教育の目的に沿って、より進んだ専門性を修得するため、グローバル化する経済社会において生起する経済や社会の諸問題を生活の基盤である地域という視座から捉え直し、グローバルビジネス、地域ビジネス、公共政策の各専攻において適切な理論、分析的枠組みを用いて解明し、具体的な解決策を提示する方法を学ぶ。

(健康科学部の教育研究上の目的)

第5条の3 健康科学部は、人間の健康と生活の質の向上に関わる諸問題を科学的に解明し、その成果を生涯健康の維持と増進に実践的に生かすことのできる人材を養成する。また、生命に対する畏敬の念と倫理観に基づいて人間理解を深め、健康で活力に満ちた地域社会の実現に貢献する資質を涵養する。

2 栄養マネジメント学科は、生命の基本である「食」を探究し、人々の健康の維持と増進および疾病予防と回復の指導ができる栄養専門家の養成をめざす。また、食物と栄養および食生活に関係する要因を科学的に追究する能力と総合的に栄養をマネジメントする能力を備え、社会に貢献できる人材を養成する。多様な実践活動の場において、知識と技術を修得し、課題解決能力を身につけ、豊かな人間性と感受性を育み、食と健康を通して生命を尊重する心を育てる。

3 健康システム学科は、心の健康、身体の健康を探究し、健康に関連する分野の知識を有機的、総合的に体系化した高度な専門知識と技能を修得することをめざす。さらに健康の分野の知識を生かしつつ、健康の維持と増進の方法および技能を修め、生活全般に生かす能力を涵養することにより、健康コーディネーターの養成をめざす。

4 (削除)

(看護学部の教育研究上の目的)

第5条の4 看護学部は、豊かな人間性と社会性に富み、人との協調を重んじ積極的に人間理解を深め、専門職としての知識・技能・態度と実践的な判断力を有した、人の生涯に亘る保健・医療・福祉（保健医療福祉）と生活を支え、看護の発展に貢献できる人材を養成する。

2 看護学科は、お互いの人格を尊重し合い、感性が豊かで、いとおしむ心のある人間形成をめざすとともに、人間の「知」「情」「意」のバランスのとれた発達を支援し、地域社会のヘルスプロモーション実現に向けて、使命感をもって貢献できる看護実践能力と看護学専門性向上のために研鑽する基本能力を備えた人材を養成する。

(生涯福祉学部の教育研究上の目的)

第5条の5 生涯福祉学部は、基本的人権および社会正義の尊重を基礎とした社会福祉の

理念と、ソーシャルワークの力量によって、人の生涯にわたる発達および自らによる能力開発を支援できるとともに、個人と環境の相互作用による地域福祉の実現に貢献する社会福祉専門職の人材を養成する。

- 2 社会福祉学科は、人間の福利を広く「人間一人ひとりの能力開発を支援すること」と捉え、国際的視野に立つとともに小都市および町村に焦点を当て、人々とその環境に働きかけることにより、家族や地域の福祉力を高めるソーシャルワーカーを養成する。社会福祉の価値について理解することを土台として、社会福祉の知識や技術を科学的方法論と職業的倫理観をもって実践に用いることのできる専門的能力を涵養する。

3 (削除)

(教育学部教育学科の教育研究上の目的)

第5条の6 教育学部は教育者・保育者としての使命感や情熱を持ち、発達や学びの連続性を踏まえた就学前教育及び学校教育に関する高度な専門知識と優れた技能・実践力を有し、子どもの個性と環境の多様性に対応しながら、共生社会の一員として地域社会に貢献できる人材を養成する。

- 2 教育学科は、幅広い教養と教育・保育に関する専門的な知識と技能を有し、多様な人々と協働しながら、子どもの多様性を理解しつつ、興味・関心を引き出し、子どもの主体的学びや自己成長を導くための教育を展開することができる学校教育や幼児教育、児童福祉の専門家を養成する。

第3節 職員組織

(職員組織)

第6条 本学に、学長、教授、准教授、講師、助教、助手及び事務職員を置く。

- 2 職員組織に関する事項は、別に定める。

(学部長等)

第6条の2 学部に、学部長を置く。

- 2 共通教育機構に、機構長を置く。

第4節 大学運営会議、教授会

(大学運営会議)

第7条 本学に、大学運営会議を置く。

- 2 大学運営会議は、次に掲げる者で構成する。

- (1) 学長
- (2) 副学長
- (3) 学長補佐
- (4) 各学部長（共通教育機構長を含む）
- (5) 事務局長
- (6) 各部・室長
- (7) 各附置機関の長
- (8) その他学長が必要と認めた者

(審議事項)

第7条の2 大学運営会議は、理事会から委任された本学の教育研究に関する業務及び本学の基本的な事項並びに学部等を超える横断的な事項について、学長が決定するための審議機関として、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 中期計画及び年度計画のうち教育・管理運営に関する事項
- (2) 規則等の制定・改廃に関する事項
- (3) 組織（学部・学科の改組を含む）の設置・廃止に関する事項
- (4) 施設・設備の設置・廃止に関する事項

- (5) 教員人事に関する事項
- (6) 教育課程編成の方針に関する事項
- (7) 学生に対する援助に関する事項
- (8) 学生の入退学や学位授与等の方針に関する事項
- (9) 教育・研究面での自己評価に関する事項
- (10) 学部等、各種委員会、その他学内諸機関の連絡・調整に関する事項
- (11) 予算の編成の基本方針に関する事項
- (12) その他本学における重要事項
- (その他)

第7条の3 本節に定めるもののほか、大学運営会議に関し必要な事項は別に定める。
(教授会)

第7条の4 本学に、教授会を置く。

2 教授会は、専任の教授をもって組織する。

3 前項の規定にかかわらず、教授会の組織には、准教授、講師及び助教を加えることができる。

(審議事項)

第7条の5 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業

(2) 学位の授与

(3) 教育課程の編成

(4) 教員の教育研究業績の審査

(5) 前4号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

2 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長その他の教授会が置かれる組織の長（以下この項において「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

(その他)

第7条の6 本節に定めるもののほか、教授会に関し必要な事項は別に定める。

第5節 学年・学期及び休業日

(学年)

第8条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第9条 学年を次の2学期に分ける。

I期 4月1日から9月30日まで

II期 10月1日から翌年3月31日まで

2 必要がある場合は、学長は、I期の終了日及びII期の開始日を変更することができる。

(休業日)

第10条 休業日は、次の通りとする。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律に定める日

(3) 学園創立記念日 6月10日

(4) 春季休業 3月20日から3月31日まで

(5) 夏季休業 8月1日から9月25日まで

(6) 冬季休業 12月25日から1月7日まで

2 必要がある場合は、学長は、前項の休業日を臨時に変更することができる。

3 本条第1項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。

第2章 学部通則

第1節 修業年限及び在学年限

(修業年限)

第11条 学部の修業年限は、4年とする。

(在学年限)

第12条 学生は8年を超えて在学することができない。ただし、第18条第1項の規定により入学した学生は、同条第2項により定められた在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。

2 前項の規定にかかわらず、編入学者に関する在学年限については、別に定める。

第2節 入学

(入学の時期)

第13条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、再入学及び転入学については、学期の始めとすることができる。

(入学資格)

第14条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当するものとする。

(1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者

(2) 通常の課程による12年の課程を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む)

(3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5) 文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程を修了した者

(6) 文部科学大臣の指定した者

(7) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者(高等学校卒業程度認定試験規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定試験に合格した者を含む)

(8) その他本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で18歳に達した者

(入学の出願)

第15条 本学への入学を志願する者は、入学願書に所定の入学検定料及び別に定める書類を添えて学長に願い出なければならない。

(入学者の選考)

第16条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより、選考を行う。

(入学手続及び入学許可)

第17条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、誓約書、個人調書その他所定の書類を提出するとともに、所定の入学金を納付しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続き完了した者に入学を許可する。

(編入・転学・再入学)

第18条 次の各号の一に該当する者で、本学への入学を志願するものがあるときは、選考のうえ、相当年次に入学を許可することがある。

(1) 大学を卒業した者又は退学した者

- (2) 短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者
 - (3) 学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）附則第 7 条に定める従前の規定による学校の課程を修了し、又はこれらの学校を卒業した者
 - (4) 学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 186 条に定める専修学校の専門課程を修了した者
- 2 前項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い、並びに在学すべき年数については教授会の議を経て、学長が決定する
 - 3 編入学、転入学、再入学に関する必要な事項は別に定める。

（転学部・転学科）

第 18 条の 2 本学の学生で、他の学部又は学科に転学部又は転学科を志願する者があるときは、その学部又は学科の当該年次に欠員がある場合に限り、選考の上、これを許可することがある。

- 2 前項に定めるもののほか、転学部、転学科に関する必要な事項は、別に定める。

第 3 節 教育課程及び履修方法等

（授業科目）

第 19 条 本学の各学部で開設する授業科目は、次のとおりとする。

現代ビジネス学部	共通教育科目及び専門教育科目
健康科学部	共通教育科目及び専門教育科目
看護学部	共通教育科目及び専門教育科目
生涯福祉学部	共通教育科目及び専門教育科目
教育学部	共通教育科目及び専門教育科目

- 2 各学部の授業科目及び単位数は、別表第 1、別表第 2、別表第 3、別表第 4、別表第 5、別表第 6 のとおりとする。

（副専攻）

第 19 条の 2 前条の規定に関する開設授業科目のうち、特定の分野又は課題の授業科目で構成する副専攻を設置し、その学修成果を認定することができる。

- 2 副専攻に関し、必要な事項は別に定める。

第 20 条 前条に定めるもののほか、教職に関する科目を置く。

- 2 授業科目及び単位数は、別表第 7 のとおりとする。

（授業の方法）

第 20 条の 2 授業は、講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかにより、またはこれらの併用により行う。

（多様なメディアを利用して行う授業）

第 20 条の 3 前条の授業は、文部科学大臣が定めるところにより多様なメディアを高度に利用して当該授業を行う教室以外の場所で履修させることができる。

（単位計算方法）

第 21 条 授業の単位計算方法は、1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容を持って構成することとし、授業の方法に応じ次の基準によるものとする。

- (1) 講義・演習については、15 時間の講義・演習をもって 1 単位とする。ただし、別に定める授業科目については、30 時間の講義・演習をもって 1 単位とする。
 - (2) 実験・実習及び実技については、30 時間の実験・実習又は実技をもって 1 単位とする。ただし、別に定める授業科目については、40 時間又は 45 時間の授業をもって 1 単位とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、これらの学修の成果を評価し単位を授与することが適切と認められる場合は、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

(単位の授与)

第 22 条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第 23 条 教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60 単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、学生が外国の大学等に留学する場合、外国の大学等が行う通信教育による授業科目を我が国において履修する場合及び外国の大学又は短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合に準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

第 23 条の 2 教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、前条第 1 項及び第 2 項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第 24 条 教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第 1 項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前 2 項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学及び再入学の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第 23 条第 1 項及び第 2 項並びに前条第 1 項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

4 入学前の既修得単位の認定に関し、必要なことは別に定める。

(成績評価)

第 25 条 各学部における成績評価方法は、次のとおりとする。

学 部 名	試験における成績評語の種類	合格とする評語
現代ビジネス学部	秀・優・良・可・不可	秀・優・良・可
健康科学部	秀・優・良・可・不可	秀・優・良・可
看護学部	秀・優・良・可・不可	秀・優・良・可
生涯福祉学部	秀・優・良・可・不可	秀・優・良・可
教育学部	秀・優・良・可・不可	秀・優・良・可

(その他)

第 25 条の 2 その他履修方法等に関して、必要な事項は別に定める。

第 4 節 休学・復学・転学・留学及び退学

(休学)

第 26 条 疾病その他理由により 2 ヶ月以上修学することができない者は、休学願いを提出し、学長の許可を得て休学することができる。

2 疾病のため修学することが適当でない認められるものについては、学長は休学を命

ずることができる。

3 その他休学に関し必要な事項は別に定める。

(休学期間)

第 27 条 休学期間は、1 年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1 年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

2 休学期間は、通算して 4 年を超えることができない。

3 休学期間は、第 12 条の在学期間に算入しない。

(復学)

第 27 条の 2 休学者が復学しようとするときは、復学願を提出し、学長の許可を得なければならない。

2 その他復学に関し必要な事項は別に定める。

(転学)

第 28 条 他の大学への入学又は転入学を志願しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(留学)

第 29 条 外国の大学又は短期大学で学修することを志願する者は、学長の許可を得て留学することができる。

2 前項の許可を得て留学した期間は、第 32 条に定める在学期間に含めることができる。

3 第 22 条の規定は、外国の大学又は短期大学へ留学する場合に準用する。

(退学)

第 30 条 退学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(除籍)

第 31 条 次の各号のいずれかに該当する者は、教授会の議を経て、学長が除籍する。

(1) 授業料等の納付を怠り、督促してもなお納付しない者

(2) 第 12 条に定める在学年限を超えた者

(3) 第 27 条に定める休学期間を超えてなお修学できない者

(4) 休学期間が満了しても復学の願い出をしない者

(5) 長期間にわたり行方不明の者

第 5 節 卒業及び学位

(卒業及び学位)

第 32 条 本学に 4 年以上在学し学部規則に定める授業科目及び単位数を修得した者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

2 学長は、卒業を認定した者に対して、卒業証書を授与し、本学学位規定に定める学士の学位を授与する。

(資格等の取得)

第 32 条の 2 本学において取得することができる資格及び免許状の種類は次のとおりとする。

学 部	学 科	資格及び免許状の種類
現代ビジネス学部	現代ビジネス学科	高等学校教諭一種免許状（公民） 高等学校教諭一種免許状（商業）

健康科学部	健康システム学科	養護教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状（保健体育） 高等学校教諭一種免許状（保健体育） 中学校教諭一種免許状（保健） 高等学校教諭一種免許状（保健）
	栄養マネジメント学科	栄養教諭一種免許状
看護学部	看護学科	養護教諭一種免許状
生涯福祉学部	社会福祉学科	高等学校教諭一種免許状（福祉）
	こども福祉学科	幼稚園教諭一種免許状 保育士資格
教育学部	教育学科	幼稚園教諭一種免許状 小学校教諭一種免許状 特別支援学校教諭一種免許状 保育士資格

- 2 本学において教育職員免許状を得ようとする者は、前条に規定する卒業要件を充足し、かつ教育職員免許法及び同施行規則に定める授業科目及び単位数を修得しなければならない。
- 3 本学の栄養マネジメント学科において、栄養士免許を得ようとする者は、学則に規定する卒業の要件を充足し、かつ栄養士法及び同施行規則に基づき、本学が定める授業科目及び単位を修得しなければならない。
- 4 本学の栄養マネジメント学科において、管理栄養士国家試験受験資格を得ようとする者は、栄養士免許の資格要件を得るとともに、管理栄養士学校指定規則に基づき、本学が定める授業科目及び単位を修得しなければならない。
- 5 本学の看護学科において、保健師国家試験受験資格及び看護師国家試験受験資格を得ようとする者は、保健師助産師看護師学校養成所指定規則の規定に基づき、本学において定める授業科目及び単位を修得しなければならない。
- 6 本学の社会福祉学科において、社会福祉士国家試験受験資格及び精神保健福祉士国家試験受験資格を得ようとする者は、社会福祉士及び介護福祉士法の規定並びに精神保健福祉士法の規定に基づき、本学において定める授業科目及び単位を修得しなければならない。
- 7 本学の教育学科において、保育士資格を得ようとする者は、学則に規定する卒業の要件を充足し、かつ児童福祉法施行規則第6条の2第1項第3号の規定により厚生労働大臣の定める修業科目及び単位を修得しなければならない。
- 8 第1項に定めるもの以外の資格等の取得については、別に定める。

第6節 賞罰

（表彰）

第33条 学生として表彰に値する行為があった者は、教授会の議を経て、学長が表彰することができる。

（懲戒）

第34条 本学の諸規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、学長が懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

3 懲戒に関する事項は、別に定める。

第7節 研究生、科目等履修生、特別聴講学生及び外国人留学生

(研究生)

第35条 本学において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、学部の教育研究に支障のない場合に限り、選考のうえ、研究生として入学を許可することがある。

2 研究生を志願することのできる者は、大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認められた者とする。

3 研究期間は、1年とする。ただし、特別の理由がある場合は、その期間を更新することができる。

(科目等履修生)

第36条 本学の学生以外の者で、学部開設される一又は複数の授業科目の履修を志願する者があるときは、学部の教育研究に支障のない場合に限り選考の上、科目等履修生として入学を許可することがある。

2 科目等履修生を志願することができる者は、次の各号の一に該当する者とする。

(1) 大学入学資格のある者又はこれと同等以上の学力があると認められた者

(2) 本学と高大連携に関する覚書等を締結している高等学校の生徒のうち、当該高等学校長の許可を受けた者

3 科目等履修生の履修の期間は1年又は1学期（Ⅰ期又はⅡ期）とする。

4 科目等履修生が授業科目を履修し、その試験に合格した場合は単位を与える。

(特別聴講学生)

第37条 他の大学の学生で、本学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該他大学との協議に基づき、特別聴講学生として入学を許可することがある。

(外国人留学生)

第38条 外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、選考のうえ、外国人留学生として入学を許可することがある。

2 前項の外国人留学生に対しては、第19条に掲げるもののほか、日本語科目及び日本事情に関する科目を置くことができる。

第39条 研究生、科目等履修生、特別聴講学生及び外国人留学生に関する規則は、別に定める。

第8節 検定料、入学金及び授業料等

(検定料、入学金、授業料等)

第40条 入学検定料、入学金、授業料、教育充実費の額は、別表第8のとおりとする。

(授業料等の納付)

第41条 授業料は、年額の二分の一ずつを次の2期に分けて納付しなければならない。

区分	納期
Ⅰ期（4月から9月まで）	4月中
Ⅱ期（10月から翌年3月まで）	10月中

(復学等の場合の授業料等)

第42条 Ⅰ期又はⅡ期の中途において、復学又は入学した者は、復学又は入学した月から当該期末までの授業料等を復学又は入学した月に納付しなければならない。

(学年の途中で卒業する場合の授業料等)

第43条 学年の途中で卒業する見込みの者は卒業する見込みの月までの授業料等を納付するものとする。

(退学及び停学の場合の授業料等)

第44条 I期又はII期中途で退学し又は除籍された者の該当期分の授業料等は徴収する。

2 停学期間中の授業料等は徴収する。

(休学の場合の授業料等)

第45条 休学を許可され又命ぜられた者の休学期間の授業料等については、免除する。

ただし、在籍料を納付しなければならない。

2 前項に規定する在籍料の額は、別表第9のとおりとする。

(授業料等免除および徴収の猶予)

第46条 経済的理由によって納付が困難であり、かつ、学業優秀と認める場合又はその他やむを得ない事情があると認められる場合は、授業料の全部もしくは一部を免除し、又は徴収を猶予することがある。

2 授業料等の免除及び徴収の猶予に関し必要な事項は別に定める。

(研究生及び科目等履修生の授業料等)

第47条 研究生、科目等履修生及び特別聴講学生の検定料及び授業料等の額は、別表第10のとおりとする。

(納付した授業料等)

第48条 納付した検定料、入学金、授業料、実験実習費及び施設費は返付しない。

第9節 公開講座

(公開講座)

第49条 社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、本学に公開講座を開設することができる。

2 公開講座に関して、必要な事項は、別に定める。

第10節 厚生施設

(学生寮)

第50条 (削除)

附 則

1 この学則は、平成7年4月1日から施行する。

2 第3条に規定する収容定員は、平成9年度までの間は次のとおりとする。

年度 学科	平成7年度		平成8年度			平成9年度		
	入学 定員	収容 定員	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	入学 定員	編入学 定員	収容 定員
経済情報学部 経済情報学科	人 150	人 150	人 150	人 20	人 320	人 150	人 40	人 510

附 則

この学則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

1 この学則は、平成11年4月1日から施行する。

2 第3条に規定する収容定員は、平成12年度までの間は次のとおりとする。

年度 学科	平成10年度			平成11年度			平成12年度		
	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	入学 定員	編入学 定員	収容 定員
経済情報学部 経済情報学科	人 150	人 40	人 700	人 150	人 80	人 740	人 150	人 80	人 780

附 則

- 1 この学則は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 3 条に規定する収容定員は、平成 14 年度までの間は次のとおりとする。

年度 学科	平成 12 年度			平成 13 年度			平成 14 年度		
	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員
経済情報学部 経済情報学科	人 200	人 80	人 830	人 200	人 80	人 900	人 200	人 80	人 950

附 則

- 1 この学則は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 32 条の 2 については、平成 12 年度以前の入学者から適用する。
- 3 第 3 条に規定する健康科学部栄養マネジメント学科の収容定員は、平成 15 年度までの間は次のとおりとする。

年度 学科	平成 13 年度		平成 14 年度		平成 15 年度		
	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員
健康科学部 栄養マネジメント学科	人 100	人 100	人 100	人 200	人 100	人 20	人 320

附 則

この学則は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 32 条の 2 に規定する健康科学部健康システム学科の資格等の取得については、平成 14 年度以前の入学者から適用する。

附 則

この学則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 3 条に規定する経済情報学部経済情報学科の収容定員は、平成 21 年度までの間は次のとおりとする。

年度 学科	平成 19 年度			平成 20 年度			平成 21 年度		
	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員
経済情報学部 経済情報学科	人 140	人 10	人 870	人 140	人 10	人 740	人 140	人 10	人 640

附 則

- 1 この学則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 3 条に規定する健康科学部栄養マネジメント学科の収容定員は、平成 22 年度までの間は次のとおりとする。

年度 学科	平成 20 年度			平成 21 年度			平成 22 年度		
	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員
健康科学部 栄養マネジメント学科	人 80	人 20	人 420	人 80	人 20	人 400	人 80	人 20	人 380

附 則

- 1 この学則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 3 条に規定する経済情報学部経済情報学科の収容定員は、平成 23 年度までの間は次のとおりとする。

年度 学科	平成 21 年度			平成 22 年度			平成 23 年度		
	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員
経済情報学部 経済情報学科	人 80	人 2	人 572	人 80	人 2	人 444	人 80	人 2	人 384

附 則

- 1 この学則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 45 条に規定する休学期間中の者の在籍料は、平成 21 年度以前に入学した在学者にも適用する。

附 則

この学則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 3 条に規定する健康科学部看護学科及び生涯福祉学部社会福祉学科の収容定員は、平成 26 年度までの間は次のとおりとする。

年度 学科	平成 24 年度			平成 25 年度			平成 26 年度		
	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員
健康科学部 看護学科	人 90	人 —	人 270	人 90	人 —	人 300	人 90	人 —	人 330
生涯福祉学部 社会福祉学科	人 30	人 —	人 210	人 30	人 —	人 180	人 30	人 —	人 150

- 4 第 26 条及び第 27 条並びに第 27 条の 2 及び第 31 条の規定については、平成 23 年度以前に入学した在学者にも適用する。

附 則

この学則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 3 条に規定する収容定員は、平成 30 年度までの間は次のとおりとする。

年度 学科	平成 28 年度			平成 29 年度			平成 30 年度		
	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員
現代ビジネス学部 現代ビジネス学科	人 120	人 —	人 120	人 120	人 —	人 240	人 120	人 2	人 362
経済情報学部 経済情報学科	人 —	人 —	人 242	人 —	人 —	人 160	人 —	人 —	人 80

附 則

- この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。
- 第 3 条に規定する収容定員は、平成 31 年度までの間は次のとおりとする。

年度 学科	コース	平成 29 年度			平成 30 年度			平成 31 年度		
		入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員
健康科学部 看護学科	—	人 —	人 —	人 270	人 —	人 —	人 180	人 —	人 —	人 90
看護学部 看護学科	—	人 90	人 —	人 90	人 90	人 —	人 180	人 90	人 —	人 270
生涯福祉学部 こども福祉学科	—	人 50	人 —	人 50	人 50	人 —	人 100	人 50	人 5	人 155
	幼児教育 コース	人 —	人 5	人 100	人 —	人 5	人 70	人 —	人 —	人 35
	児童福祉 コース	人 —	人 —	人 60	人 —	人 —	人 40	人 —	人 —	人 20

附 則

この学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- この学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。
- 第 3 条に規定する収容定員は、平成 32 年度までの間は次のとおりとする。

年度 学科	平成 31 年度			平成 32 年度		
	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員
健康科学部 栄養マネジメント学科	人 80	人 5	人 345	人 80	人 5	人 330

附 則

- この学則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。
- 第 3 条に規定する収容定員は、令和 4 (2022) 年度までの間は次のとおりとする。

年度 学科	令和 2(2020)年度			令和 3(2021)年度			令和 4(2022)年度		
	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員
現代ビジネス学部 現代ビジネス学科	人 100	人 2	人 464	人 100	人 2	人 444	人 100	人 2	人 424
生涯福祉学部 社会福祉学科	人 40	人 —	人 130	人 40	人 —	人 140	人 40	人 —	人 150

附 則

この学則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、令和2年5月1日から施行する。
- 2 第20条の2及び第20条の3の規定については、令和2(2020)年度入学者及び令和元(2019)年度以前に入学した在学者にも適用する。

附 則

- 1 この学則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 第3条に規定する収容定員は、令和6(2024)年度までの間は次のとおりとする。

年度 学科	令和4(2022)年度			令和5(2023)年度			令和6(2024)年度		
	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員
現代ビジネス学部 現代ビジネス学科	人 120	人 2	人 444	人 120	人 2	人 444	人 120	人 2	人 464

附 則

- 1 この学則は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 第3条に規定する収容定員は、令和7(2025)年度までの間は次のとおりとする。

年度 学科	令和5(2023)年度			令和6(2024)年度			令和7(2025)年度		
	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員
生涯福祉学部 こども福祉学科	人 -	人 5	人 160	人 -	人 5	人 110	人 -	人 -	人 55
教育学部 教育学科	人 100	人 -	人 100	人 100	人 -	人 200	人 100	人 5	人 305

附 則

- 1 この学則は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 第3条に規定する収容定員は、令和6(2024)年度までの間は次のとおりとする。

年度 学科	令和5(2023)年度			令和6(2024)年度		
	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員
生涯福祉学部 社会福祉学科	人 40	人 5	人 165	人 40	人 5	人 170

別表第1 現代ビジネス学部 現代ビジネス学科の授業科目及び単位数

授業科目の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
共通教育科目	建学の精神	宗教と人生	2		24単位以上
		仏教と現代社会		2	
		兵庫大学の学びと和		2	
		地域と仏教		1	
		兵大京都学		1	
	コミュニケーション	日本語（読解と表現）	2		
		英語	2		
		実用英語Ⅰ		2	
		実用英語Ⅱ		2	
		中国語（初級）		2	
		中国語（中級）		2	
		韓国語（初級）		2	
		韓国語（中級）		2	
		コンピュータ演習	2		
		コンピュータグラフィックスの基礎		2	
	国際理解	国際理解と宗教Ⅰ（キリスト教）		2	
		国際理解と宗教Ⅱ（イスラム教）		2	
		比較文化論		2	
	歴史と文化	歴史学		2	
		文学		2	
		色彩とデザイン		2	
	地域に学ぶ	地域文化論		2	
		建築デザインと地域		2	
		地域と文化財		2	
地域資料を読む			2		
日本の伝統文化「将棋」を学ぶ			2		
ファシリテーション入門			2		

授業科目の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
共通教育科目	現代社会を読み解く	哲学		2	
		日本国憲法		2	
		人権の歴史		2	
		政治学		2	
		社会学		2	
		経済学		2	
		現代社会の理解		2	
	自然と科学	生命倫理学		2	
		心理学		2	
		化学		2	
		生物学		2	
		身のまわりの科学		2	
		プログラミング入門		2	
		食と健康		2	
	くらしと健康	健康・スポーツ科学Ⅰ（講義）		2	
		健康・スポーツ科学Ⅱ（演習）		2	
		健康・スポーツ科学Ⅲ（演習）		2	
	キャリアデザイン	私のためのキャリア設計		2	
		ヒューマンサービスとマネジメント		2	
		入門ボランティア		2	

授業科目の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
専門教育科目 キャリア基盤科目	プレゼンテーション	2			12単位以上
	アプリケーションソフト	2			
	ボランティア体験A		2		
	ボランティア体験B		2		
	語学・異文化体験演習		4		
	短期インターンシップ		2		
	長期インターンシップ		2		
	簿記演習Ⅰ		2		
	簿記演習Ⅱ		2		
	簿記論		2		
	情報モラル		2		
	情報デザイン		2		
	データサイエンスのための数学		2		
	アルゴリズム		2		
	情報システムⅠ		2		
	情報システムⅡ		2		
	情報ネットワーク		2		
	情報セキュリティ		2		
	プログラミング演習Ⅰ		2		
	コンピュータシステム		2		
	データベース		2		
	ビジネス実務総論		2		
	ビジネス実務演習		2		
	人生設計と資産運用		2		
	秘書総論		2		
	秘書実務演習		2		
	グローバルスタディA		2		
	グローバルスタディB		2		
	職業指導		2		
	ウェディングプランニングⅠ		2		
ウェディングプランニングⅡ		2			
ウェディングプランニング実践Ⅰ		2			

授業科目の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
キャリア基盤科目	ウェディングプランニング実践Ⅱ		2		※留学生のみ履修可
	日本語Ⅰ（留学生）		2		
	日本語Ⅱ（留学生）		2		
プロジェクト実践科目	プロジェクト演習入門	2			データサイエンス専攻:8単位以上
	プロジェクト演習Ⅰ	2			グローバルビジネス専攻:8単位以上
	プロジェクト演習Ⅱ	2			地域ビジネス専攻:12単位以上
	プロジェクト演習Ⅲ	2			公共政策専攻:12単位以上
	プロジェクト実践Ⅰ		2		
	プロジェクト実践Ⅱ		2		
演習科目	キャンパスライフ入門	2			16単位
	修学基礎Ⅰ	2			
	修学基礎Ⅱ	2			
	専攻演習Ⅰ	2			
	専攻演習Ⅱ	2			
	専攻演習Ⅲ	2			
	卒業研究Ⅰ	2			
	卒業研究Ⅱ	2			
専攻基礎科目	現代ビジネス入門	2			12単位以上
	経済学入門	2			
	統計学の基礎	2			
	数学基礎		2		
	経済学のための数学		2		
	グローバル英語Ⅰ		2		
	グローバル英語ⅡA		2		
	グローバル英語ⅡB		2		
	現代経済社会		2		
	国際関係論		2		
	社会調査の基礎		2		
	AI・データサイエンス概論		2		
	AI・データサイエンス活用論		2		
	現代ビジネス特論Ⅰ		2		

授業科目の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
専門教育科目	共通専攻科目	経営学		2	データサイエンス専攻:32単位以上
		グローバル経済事情		2	グローバルビジネス専攻:32単位以上
		ミクロ経済Ⅰ		2	地域ビジネス専攻:28単位以上
		マクロ経済Ⅰ		2	公共政策専攻:28単位以上
		統計学		2	
		現代ビジネスの実際		2	
		経営戦略Ⅰ		2	
		経営戦略Ⅱ		2	
		企業経営研究Ⅰ		2	
		ビジネス法務		2	
		ビジネス文書		2	
		金融		2	
		国際金融		2	
		社会政策		2	
	会社法		2		
	経営管理		2		
	経営情報システム		2		
	マーケティング		2		
	現代ビジネス特論Ⅱ		2		
	現代ビジネス特論Ⅲ		2		
	データサイエンス専攻	機械学習		2	
		データサイエンスプログラミング演習		2	
		メディア処理		2	
		データ可視化		2	
		経済統計		2	
		データ解析		2	
計量経済学			2		
計量ファイナンス			2		
データ活用演習Ⅰ			2		
データ活用演習Ⅱ			2		

授業科目の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
専門教育科目	グローバルビジネス専攻	異文化理解		2	
		グローバル英語ⅢA		2	
		グローバル英語ⅢB		2	
		グローバル英語ⅣA		2	
		グローバル英語ⅣB		2	
		English for Professionals Ⅰ		2	
		English for Professionals Ⅱ		2	
		Advanced English Communication Ⅰ		2	
		Advanced English Communication Ⅱ		2	
		Discussion & Presentation Ⅰ		2	
		Discussion & Presentation Ⅱ		2	
		国際社会論		2	
		国際政治学		2	
		グローバルビジネス実務		2	
	企業経営研究Ⅱ		2		
	グローバル経営		2		
	サービスホスピタリティ論		2		
	ホテル経営論		2		
	Hotel Business Management		2		
	地域ビジネス専攻	地域政策		2	
		現代の地域づくり		2	
		管理会計		2	
		財務会計		2	
		コミュニティデザイン		2	
		農業ビジネス		2	
		観光学入門		2	
観光政策			2		
国際観光論			2		
起業家塾			2		

授業科目の 区分			授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
				必修	選択	自由	
専門 教育 科目	専攻 専修 科目	公共 政策 専攻	ミクロ経済Ⅱ		2		卒業 要件 124 単位 以上
			マクロ経済Ⅱ		2		
			行政と社会		2		
			現代社会と法		2		
			民法		2		
			経済政策		2		
			産業と企業の経済学		2		
			競争政策		2		
			財政Ⅰ		2		
			財政Ⅱ		2		
			行政法		2		

別表第2 健康科学部 栄養マネジメント学科の授業科目及び単位数

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考	授業科目の 区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考	
		必修	選択	自由				必修	選択	自由		
共 通 教 育 科 目	建 学 の 精 神	宗教と人生	2		26単位 以上	現 代 社 会 を 読 み 解 く	哲学		2			
		仏教と現代社会		2				日本国憲法		2		
		兵庫大学の学びと和		2				人権の歴史		2		
		地域と仏教		1				政治学		2		
		兵大京都学		1				社会学		2		
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	日本語（読解と表現）	2				経済学		2			
		英語	2				現代社会の理解		2			
		実用英語Ⅰ		2			自 然 と 科 学	生命倫理学		2		
		実用英語Ⅱ		2		心理学			2			
		中国語（初級）		2		化学			2			
		中国語（中級）		2		生物学			2			
		韓国語（初級）		2		身のまわりの科学			2			
		韓国語（中級）		2		プログラミング入門			2			
		コンピュータ演習	2			く ら し と 健 康		食と健康		2		
		コンピュータグラフィックスの基礎		2				健康・スポーツ科学Ⅰ（講義）		2		
	国 際 理 解	国際理解と宗教Ⅰ（キリスト教）		2			健康・スポーツ科学Ⅱ（演習）		2			
		国際理解と宗教Ⅱ（イスラム教）		2			健康・スポーツ科学Ⅲ（演習）		2			
		国際関係論		2		キ ャ リ ア デ ザ イ ン	私のためのキャリア設計		2			
		比較文化論		2			ヒューマンサービスとマネジメント		2			
	歴史と文化		2		入門ボランティア			2				
	地 域 に 学 ぶ	歴史学		2								
		文学		2								
		色彩とデザイン		2								
		地域文化論		2								
		建築デザインと地域		2								
		地域と文化財		2								
		地域資料を読む		2								
	日本の伝統文化「将棋」を学ぶ		2									
	ファシリテーション入門		2									

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考			
		必修	選択	自由				
専 門	I 群 (領 域 に 関 す る 科 目)	化学基礎	2		14単位 以上			
		生物基礎	2					
		基礎ゼミ I	2					
		基礎ゼミ II	2					
		基礎生化学	2					
		調理基礎演習	2					
		コミュニケーション論		2				
		食料経済		2				
		健康科学		2				
		健康情報処理演習	2					
		フードスペシャリスト論		2				
		フードコーディネーター論		2				
		教 育 科 目	II 群 (専 門 基 礎 に 関 す る 科 目)	管理栄養士概論		2		28単位 以上
				公衆衛生学 I		2		
公衆衛生学 II				2				
社会保障制度論	2							
保健統計学実習				1				
生化学 I	2							
生化学 II				2				
生化学実験 I	1							
生化学実験 II				1				
解剖生理学 I	2							
解剖生理学 II	2							
解剖生理学実験 I	1							
解剖生理学実験 II				1				
臨床病態学 I	2							
臨床病態学 II		2						
生体防御論		2						
食品学 I	2							

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考		
		必修	選択	自由			
専 門	II 群 (専 門 基 礎 に 関 す る 科 目)	食品学 II	2		26単位 以上		
		食品学実験 I	1				
		食品学実験 II	1				
		食品衛生学	2				
		食品衛生学実験		1			
		調理学	2				
		調理学実習 I	1				
		調理学実習 II	1				
		教 育 科 目	III 群 (専 門 に 関 す る 科 目)	基礎栄養学 I		2	
				基礎栄養学 II		2	
				基礎栄養学実験		1	
				応用栄養学 I		2	
				応用栄養学 II			2
				応用栄養学 III			2
応用栄養学実習				1			
栄養教育論 I	2						
栄養教育論 II	2						
栄養教育論演習				2			
栄養教育論実習 I	1						
栄養教育論実習 II	1						
臨床栄養学 I	2						
臨床栄養学 II				2			
臨床栄養学 III		2					
臨床栄養学実習	1						
臨床栄養学演習		2					
公衆栄養学 I	2						
公衆栄養学 II		2					
公衆栄養学実習	1						
給食経営管理論	2						

授業科目 の区分		授業科目の名称	単位数又は時間数			備考	
			必修	選択	自由		
専 門 教 育 科 目	Ⅲ 群 (専門に関する科目)	給食管理実習Ⅰ	1			*印のうちいずれか1科目 選択必修	
		給食管理実習Ⅱ	1				
		フードサービスマネジメント演習		2			
		総合演習Ⅰ		1			
		総合演習Ⅱ		1			
		総合演習Ⅲ		1			
		総合演習Ⅳ		1			
		給食管理臨地実習	1				
		臨床栄養臨地実習		2			
		公衆栄養臨地実習		1			
		栄養管理臨地実習		1			
		食品コース実践演習Ⅰ	2				*
		食品コース実践演習Ⅱ		2			
		スポーツ・食育コース実践演習Ⅰ	2				*
		スポーツ・食育コース実践演習Ⅱ		2			
		臨床栄養コース実践演習Ⅰ	2				*
		臨床栄養コース実践演習Ⅱ		2			
	卒業研究	卒業研究Ⅰ		3		卒業要件 124 単位以上	
		卒業研究Ⅱ		3			

別表第3 健康科学部 健康システム学科の授業科目及び単位数

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考	
		必修	選択	自由		
共通 教育 科目	建学の精神	宗教と人生	2		26単位 以上	
		仏教と現代社会		2		
		兵庫大学の学びと和		2		
		地域と仏教		1		
		兵大京都学		1		
	コミュニケーション	日本語（読解と表現）	2			
		英語	2			
		実用英語Ⅰ		2		
		実用英語Ⅱ		2		
		中国語（初級）		2		
		中国語（中級）		2		
		韓国語（初級）		2		
		韓国語（中級）		2		
		コンピュータ演習	2			
		コンピュータグラフィックスの基礎		2		
	国際理解	国際理解と宗教Ⅰ（キリスト教）		2		
		国際理解と宗教Ⅱ（イスラム教）		2		
		国際関係論		2		
		比較文化論		2		
	歴史と文化	歴史学		2		
		文学		2		
		色彩とデザイン		2		
	地域に学ぶ	地域文化論		2		
		建築デザインと地域		2		
		地域と文化財		2		
		地域資料を読む		2		
		日本の伝統文化「将棋」を学ぶ		2		
		ファシリテーション入門		2		

授業科目の 区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
現代社会を読み解く	哲学		2		
	日本国憲法		2		
	人権の歴史		2		
	政治学		2		
	社会学		2		
	経済学		2		
	現代社会の理解		2		
	自然と科学	生命倫理学		2	
		心理学		2	
		化学		2	
生物学			2		
身のまわりの科学			2		
くらしと健康	プログラミング入門		2		
	食と健康		2		
	健康・スポーツ科学Ⅰ（講義）		2		
	健康・スポーツ科学Ⅱ（演習）		2		
キャリアデザイン	健康・スポーツ科学Ⅲ（演習）		2		
	私のためのキャリア設計		2		
	ヒューマンサービスとマネジメント		2		
	入門ボランティア		2		

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
専 門 基 礎 科 目 群	基礎ゼミⅠ	2			20単位 以上
	基礎ゼミⅡ	2			
	生物基礎	2			
	健康科学序論	2			
	健康科学	2			
	健康統計の基礎	2			
	解剖学		2		
	生理学		2		
	微生物学		2		
	生化学		2		
	栄養学		2		
	食品学		2		
	衛生学		2		
	公衆衛生学		2		
	医学概論		2		
	生活習慣病（成人病）		2		
	健康心理学		2		
	臨床心理学		2		
	教育特論Ⅰ	2			
	教育特論Ⅱ	2			
	教育特論Ⅲ		2		
	地域活動演習		2		
	労働基準法		2		
労働安全衛生法Ⅰ		2			
労働安全衛生法Ⅱ		2			

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
I 群 （ ス ポ ー ツ ・ 体 育 に 関 連 す る 科 目 ）	体育原論 （体育原理・体育史を含む）		2		6単位 以上
	運動の基礎	2			
	運動生理学	2			
	運動生理学演習		2		
	運動栄養学		2		
	スポーツ栄養指導論		2		
	ジュニアスポーツⅠ		2		
	ジュニアスポーツⅡ		2		
	スポーツ指導法		2		
	運動障害と予防（バイオメ カニクスを含む）		2		
	スポーツ医学概論		2		
	スポーツ心理学		2		
	障害者スポーツ論		2		
	トレーニング科学Ⅰ		2		
	トレーニング科学Ⅱ		2		
	体力測定と評価	2			
	スポーツ実践演習		2		
	健康・体力づくり実践演習Ⅰ		2		
	健康・体力づくり実践演習Ⅱ		2		
	健康づくり運動 （エアロビクスダンス・水中運動）		1		
	陸上競技Ⅰ		1		
	球技Ⅰ		1		
	陸上競技Ⅱ		1		
球技Ⅱ		1			
武道Ⅰ		1			
器械運動Ⅰ		1			
武道Ⅱ		1			

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
専 門 教 育 科 目	I 群 (スポーツ・ 体育に 関連する 科目)	ダンス/水泳 I		1	
		器械運動 II		1	
		ダンス/水泳 II		1	
		体育領域指導法 I		2	
		体育領域指導法 II		2	
		健康・体力づくり指導法		2	
		運動処方論		2	
		健康経営論		2	
		運動負荷試験実習		1	
		レクリエーション (野外活動を含む)		2	
	II 群 (養護・ 保健に 関連する 科目)	薬理学		2	6単位 以上
		発育発達概論	2		
		養護概説		2	
		養護教諭の職務と法制度		2	
		養護活動演習		2	
		養護活動実習		2	
		学校保健 I (小児保健・学校安全を含む)		2	
		学校保健 II		2	
		学校保健 III		2	
		環境保健学		1	
		精神保健		2	
		健康行動論		2	
		健康統計学		2	
健康相談活動の理論と実践		2			
基礎看護学		2			
看護学 I		3			
看護学 II		3			

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考	
		必修	選択	自由		
専 門 教 育 科 目	日群(実護・保健に 関連する科目)	臨床看護実習		2		
		臨床看護実習事前事後指導		1		
		救急処置	2			
	卒業研究	卒業研究 I	3			6単位
		卒業研究 II	3			卒業要件 124単位以上

別表第4 看護学部 看護学科の授業科目及び単位数

授業科目の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考	
		必修	選択	自由		
共通教育科目	建学の精神	宗教と人生	2		22単位以上	
		仏教と現代社会		2		
		兵庫大学の学びと和		2		
		地域と仏教		1		
		兵大京都学		1		
	コミュニケーション	日本語（読解と表現）	2			
		英語	2			
		実用英語Ⅰ		2		
		実用英語Ⅱ		2		
		中国語（初級）		2		
		中国語（中級）		2		
		韓国語（初級）		2		
		韓国語（中級）		2		
		コンピュータ演習	2			
		コンピュータグラフィックスの基礎		2		
	国際理解	国際理解と宗教Ⅰ（キリスト教）		2		
		国際理解と宗教Ⅱ（イスラム教）		2		
		国際関係論		2		
		比較文化論		2		
	歴史と文化	歴史学		2		
		文学		2		
		色彩とデザイン		2		
	地域に学ぶ	地域文化論		2		
		建築デザインと地域		2		
		地域と文化財		2		
		地域資料を読む		2		
		日本の伝統文化「将棋」を学ぶ		2		
		ファシリテーション入門		2		

授業科目の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
共通教育科目	現代社会を読み解く	哲学		2	
		日本国憲法		2	
		人権の歴史		2	
		政治学		2	
		社会学		2	
		経済学		2	
		現代社会の理解		2	
	自然と科学	生命倫理学		2	
		心理学		2	
		化学		2	
		生物学		2	
		身のまわりの科学		2	
		プログラミング入門		2	
		くらしと健康	食と健康		2
	健康・スポーツ科学Ⅰ（講義）			2	
	健康・スポーツ科学Ⅱ（演習）			2	
	健康・スポーツ科学Ⅲ（演習）			2	
	キャリアデザイン	私のためのキャリア設計		2	
		ヒューマンサービスとマネジメント		2	
		入門ボランティア		2	

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
専 門 基 礎 科 目 教 育 科 目 専 門 実 践 科 目	I群 (健康支援と社会 保障制度)	社会福祉論		2	必修 6単位
		家族関係論		2	
		精神保健		2	
		環境保健学		1	
		保健医療福祉行政論	2		
		公衆衛生学 (疫学を含む)	2		
		保健統計学	2		
	II群 (人体の構造と機能)	生物基礎	2		必修 14単位
		化学基礎	2		
		形態機能論 I	2		
		形態機能論 II	2		
		栄養学 (食品学を含む)	2		
		薬理学	2		
	III群 (疾病の成 立及び回復の 促進)	臨床病理病態学 I (内科系)	2		必修 8単位
		臨床病理病態学 II (内科系)	2		
		臨床病理病態学 III (外科系)	2		
		臨床病理病態学 IV (周産期・小児科系)	2		
	IV群 (基礎看護学)	看護学概論	2		必修 15単位
		看護理論	1		
		ヘルスアセスメント	1		
		看護技術論 I (生活援助技術)	2		
看護技術論 II (診療補助技術)		2			
看護技術論 III (看護過程)		1			
基礎看護学実習 I		1			
基礎看護学実習 II		2			
総合看護		1			
看護倫理		1			
看護管理学	1				

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
専 門 教 育 科 目 専 門 実 践 科 目	V群 (成人・老年 看護学)	成人看護学概論	2		必修 20単位
		成人看護援助論 I (急性期)	2		
		成人看護援助論 II (慢性期)	2		
		成人看護学実習 I	3		
		成人看護学実習 II	3		
		老年看護学概論	2		
		老年看護援助論	2		
		老年看護学実習 I	2		
		老年看護学実習 II	2		
	VI群 (母性・小児 看護学)	母性看護学概論	2		必修 12単位
		母性看護援助論	2		
		母性看護学実習	2		
		小児看護学概論	2		
		小児看護援助論	2		
		小児看護学実習	2		
	VII群 (精神・在宅 ・公衆衛生 看護学)	精神看護学概論	2		必修 17単位
		精神看護援助論	2		
		精神看護学実習	2		
		在宅看護概論	2		
		在宅看護援助論	2		
		在宅看護実習	2		
公衆衛生看護学概論		2			
健康教育論		1			
学校保健概論	1				
災害看護学	1				

授業科目 の区分		授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
			必修	選択	自由	
専 門 教 育 科 目	統 合 科 目 (VIII群 看護の統合と実践)	基礎ゼミ	2			必修 10単位
		看護研究Ⅰ	2			
		看護研究Ⅱ	2			
		リスクマネジメント論	1			
		国際看護学Ⅰ	1			
		国際看護学Ⅱ		1		
		看護の統合と実践実習	2			
	関 連 科 目 (IX群 保健師関連)	疫学		2		卒業 要件 124 単位 以上
		公衆衛生看護学活動展開論		2		
		健康相談活動の理論と実践		2		
		産業保健論		1		
		公衆衛生看護学実習Ⅰ		1		
		公衆衛生看護学実習Ⅱ		4		
(X群 養護教諭関連)	学校保健活動論		2			
	学校保健演習		2			
	養護概説		2			

別表第5 生涯福祉学部 社会福祉学科の授業科目及び単位数

授業科目の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考		
		必修	選択	自由			
共通教育科目	建学の精神	宗教と人生	2		22単位以上		
		仏教と現代社会		2			
		兵庫大学の学びと和		2			
		地域と仏教		1			
		兵大京都学		1			
	コミュニケーション	日本語（読解と表現）	2				
		英語	2				
		実用英語Ⅰ		2			
		実用英語Ⅱ		2			
		中国語（初級）		2			
		中国語（中級）		2			
		韓国語（初級）		2			
		韓国語（中級）		2			
		コンピュータ演習	2				
		コンピュータグラフィックスの基礎		2			
		国際理解	国際理解と宗教Ⅰ（キリスト教）			2	
			国際理解と宗教Ⅱ（イスラム教）			2	
	国際関係論			2			
	比較文化論			2			
	歴史と文化	歴史学		2			
		文学		2			
		色彩とデザイン		2			
	地域に学ぶ	地域文化論		2			
		建築デザインと地域		2			
		地域と文化財		2			
		地域資料を読む		2			
		日本の伝統文化「将棋」を学ぶ		2			
ファシリテーション入門			2				

授業科目の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
共通教育科目	現代社会を読み解く	哲学		2	
		日本国憲法		2	
		人権の歴史		2	
		政治学		2	
		社会学		2	
		経済学		2	
		現代社会の理解		2	
	自然と科学	生命倫理学		2	
		心理学		2	
		化学		2	
		生物学		2	
		身のまわりの科学		2	
		プログラミング入門		2	
		くらしと健康	食と健康		2
	健康・スポーツ科学Ⅰ（講義）			2	
	健康・スポーツ科学Ⅱ（演習）			2	
	健康・スポーツ科学Ⅲ（演習）			2	
	キャリアデザイン	私のためのキャリア設計		2	
		ヒューマンサービスとマネジメント		2	
		入門ボランティア		2	

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考	
		必修	選択	自由		
専 門 基 礎 科 目	医学概論	2			18単位 以上	
	心理学と心理的支援	2				
	社会学と社会システム	2				
	ソーシャルワークの基盤と 専門職	2				
	ソーシャルワークの基盤と 専門職（専門）	2				
	介護概論		2			
	法学		2			
	行政法		2			
	生涯発達心理学		2			
	こころの基盤の理解		2			
	コミュニケーション論		2			
	社会心理学		2			
	態度の心理学		2			
	基礎ゼミナールⅠ	2				
	基礎ゼミナールⅡ	2				
	専門基礎ゼミナールⅠ	2				
	専門基礎ゼミナールⅡ	2				
	ソ シ ャ ル ワ ー ク 共 通 科 目	社会福祉の原理と政策Ⅰ	2			30単位 以上
		社会福祉の原理と政策Ⅱ	2			
		社会保障論Ⅰ	2			
社会保障論Ⅱ		2				
社会福祉調査の基礎			2			
高齢者福祉			2			
障害者福祉			2			
児童・家庭福祉			2			
地域福祉と包括的支援体制Ⅰ		2				
地域福祉と包括的支援体制Ⅱ		2				
保健医療と福祉			2			
医療ソーシャルワーク論			2			
社会福祉アドバンス実習		4				

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考	
		必修	選択	自由		
ソ シ ャ ル ワ ー ク 基 礎 科 目	貧困に対する支援		2		4単位 以上	
	権利擁護を支える法制度		2			
	ソーシャルワークの理論と方法	4				
	ソーシャルワークの理論と 方法（専門）	4				
	ソーシャルワーク演習	2				
	ソーシャルワーク演習（専門）A		4			
	ソーシャルワーク演習（専門）B		4			
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		4			
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		4			
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ		4			
	ソーシャルワーク実習Ⅰ		1			
	ソーシャルワーク実習Ⅱ		2			
	ソーシャルワーク実習Ⅲ		4			
	専門ゼミナールⅠ	2				
	専門ゼミナールⅡ	2				
	卒業演習	4				
	ソ シ ャ ル ワ ー ク 基 礎 科 目	刑事司法と福祉		2		4単位 以上
		福祉サービスの組織と経営		2		
		心理検査法		2		
		臨床心理学		2		
統計学の基礎			2			
加齢及び障害に関する理解			2			
福祉住環境論			2			
精神保健福祉制度論			2			
精神医学と精神医療Ⅰ			2			
精神医学と精神医療Ⅱ			2			
現代の精神保健の課題と支援Ⅰ			2			
現代の精神保健の課題と支援Ⅱ			2			
精神保健福祉の原理Ⅰ		2				
精神保健福祉の原理Ⅱ		2				

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
専 門 目	メンタルヘルス・ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ		2		
	メンタルヘルス・ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ		2		
	精神障害リハビリテーション論		2		
	メンタルヘルス・ソーシャルワーク演習(専門)A		2		
	メンタルヘルス・ソーシャルワーク演習(専門)B		4		
	メンタルヘルス・ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		2		
	メンタルヘルス・ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		4		
	メンタルヘルス・ソーシャルワーク実習		4		
	スクール・ソーシャルワーク論		2		
	スクール・ソーシャルワーク演習		1		
	スクール・ソーシャルワーク実習指導		1		
	スクール・ソーシャルワーク実習		2		
	教 育 科 目	レクリエーションワーク		2	
福祉レクリエーションⅠ			2		
福祉レクリエーションⅡ			2		
福祉レクリエーション演習ⅠA			2		
福祉レクリエーション演習ⅠB			2		
福祉レクリエーション演習Ⅱ			2		
生活支援技術			2		
病気の理解			2		
ケアマネジメント論			2		
在宅ケア論			2		
教育心理学			2		
国際福祉論			2		
仏教と社会福祉			2		
インターンシップ		4		卒業 要件 124単位 以上	

別表第6 教育学部 教育学科の授業科目及び単位数

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
共通 教育 科目	建学の精神	宗教と人生	2		20単位以上
		仏教と現代社会		2	
		兵庫大学の学びと和		2	
		地域と仏教		1	
		兵大京都学		1	
	コミュニケーション	日本語（読解と表現）	2		
		英語	2		
		実用英語Ⅰ		2	
		実用英語Ⅱ		2	
		中国語（初級）		2	
		中国語（中級）		2	
		韓国語（初級）		2	
		韓国語（中級）		2	
		コンピュータ演習	2		
		コンピュータグラフィックスの基礎		2	
	国際理解	国際理解と宗教Ⅰ（キリスト教）		2	
		国際理解と宗教Ⅱ（イスラム教）		2	
		国際関係論		2	
		比較文化論		2	
	歴史と文化	歴史学		2	
		文学		2	
		色彩とデザイン		2	
	地域に学ぶ	地域文化論		2	
		建築デザインと地域		2	
		地域と文化財		2	
		地域資料を読む		2	
		日本の伝統文化「将棋」を学ぶ		2	
ファシリテーション入門			2		

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
共通 教育 科目	現代社会を読み解く	哲学		2	
		日本国憲法	2		
		人権の歴史		2	
		政治学		2	
		社会学		2	
		経済学		2	
		現代社会の理解		2	
	自然と科学	生命倫理学		2	
		心理学		2	
		化学		2	
		生物学		2	
		身のまわりの科学		2	
	くらしと健康	プログラミング入門		2	
		食と健康		2	
		健康・スポーツ科学Ⅰ（講義）	2		
		健康・スポーツ科学Ⅱ（実技）		1	
	キャリアデザイン	健康・スポーツ科学Ⅲ（実技）		1	
		私のためのキャリア設計		2	
		ヒューマンサービスとマネジメント		2	
		入門ボランティア		2	

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考	
		必修	選択	自由		
専 門 教 育 科 目	ゼ ミ ナ ー ル 科 目	クラスゼミナールⅠ	2		16単位 以上	
		クラスゼミナールⅡ	2			
		クラスゼミナールⅢ	2			
		クラスゼミナールⅣ	2			
		卒業研究Ⅰ	2			
		卒業研究Ⅱ	2			
		卒業研究Ⅲ	2			
		卒業研究Ⅳ	2			
	教 育 ・ 保 育 実 践 科 目	幼 児 教 育 ・ 保 育 内 容 科 目	こどもと健康		1	20単位 以上
			こどもと人間関係		1	
			こどもと環境		1	
			こどもと言葉		1	
			こどもと表現		1	
			こどもとサイエンス（こどもと科学遊び）		1	
			保育内容総論		1	
			保育内容「健康」の指導法		2	
			保育内容「人間関係」の指導法		2	
			保育内容「環境」の指導法		2	
			保育内容「言葉」の指導法		2	
教 育 ・ 保 育 実 践 科 目	幼 児 教 育 ・ 保 育 実 践 科 目	音楽Ⅰ		1		
		音楽Ⅱ		1		
		総合表現教育Ⅰ		1		
		総合表現教育Ⅱ		1		
		教師・保育者論		2		
		教育・保育の課程と評価		2		
		幼児理解		1		
		保育原理		2		
		こども家庭福祉		2		
社会福祉		2				

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考		
		必修	選択	自由			
専 門 教 育 科 目	幼 児 教 育 ・ 保 育 実 践 科 目	こども家庭支援論		2			
		こども家庭支援の心理学		2			
		こどもの保健		2			
		こどもの食と栄養Ⅰ		1			
		こどもの食と栄養Ⅱ		1			
		乳児保育Ⅰ		2			
		乳児保育Ⅱ		1			
		こどもの健康と安全		1			
		特別支援教育Ⅰ		1			
		特別支援教育Ⅱ		1			
		社会的養護Ⅰ		2			
		社会的養護Ⅱ		1			
		子育て支援		1			
		青年心理学		2			
	初 等 教 科 内 容 科 目	初 等 教 科 内 容 科 目	初等国語科内容論		1		
			初等社会科内容論		1		
			初等算数科内容論		1		
			初等理科内容論		1		
			初等生活科内容論		1		
			初等音楽科内容論		1		
			初等図画工作科内容論		1		
			初等家庭科内容論		1		
			初等体育科内容論		1		
			初等英語科内容論		1		
			初 等 教 科 指 導 法 科 目	初 等 教 科 指 導 法 科 目	初等国語科教育法		2
					初等社会科教育法		2
					初等算数科教育法		2
					初等理科教育法		2
					初等生活科教育法		2
	初等音楽科教育法		2				

授業科目の区分		授業科目の名称	単位数又は時間数			備考	
			必修	選択	自由		
専 門 教 育 科 目	教育・保育実践科目	初等図画工作科教育法		2			
		初等家庭科教育法		2			
		初等体育科教育法		2			
		初等英語科教育法		2			
	教職発展科目	こども支援発展科目	個別教育計画概論		2		5単位以上
			個別教育計画作成演習	1			
		学校・地域教育活動発展科目	ふれあい体験活動		1		
			インターンシップⅠ		1		
			インターンシップⅡ		1		
			防災とコミュニティ	2			
			子育て支援地域活動Ⅰ		1		
			子育て支援地域活動Ⅱ		1		
			ICT活用科目	学校教育におけるICT活用	2		
		情報社会と情報モラル教育			2		
		情報活用の実践Ⅰ			2		
		情報活用の実践Ⅱ（デジタル教科書の活用含む）			2		
		教育データの利活用			2		
		特別支援保育発展科目	発達障害児への支援		2		
			社会的スキルトレーニングの理論と実践		2		
			スクールソーシャルワーク論		2		
こども音楽療育論			2				
教職・保育キャリア科目	教育の思想と原理	2			20単位以上		
	教育史		2				
	教育哲学		2				
	教職入門	2					
	教育制度論	2					
	教育社会学		2				
	教育心理学	2					
	発達心理学		2				
	教育課程論	2					

授業科目の区分		授業科目の名称	単位数又は時間数			備考	
			必修	選択	自由		
専 門 教 育 科 目	基礎教職科目	学校組織マネジメント		2			
		道徳教育論		2			
	教職支援科目	総合的な学習の理論と実践		2			
		特別活動論		2			
		教育方法・技術論		2			
		教育におけるICT活用の理論と方法		2			
		生徒指導論		2			
		教育相談		2			
		教職実践科目	教職実践演習（小学校）		2		
			保育・教職実践演習		2		
			幼稚園教育実習		4		
			小学校教育実習		4		
	特別支援教育実習			2			
	幼稚園教育実習リフレクション			1			
	小学校教育実習リフレクション			1			
	特別支援教育実習リフレクション			1			
	保育実習		保育実習指導Ⅰ（保育所）		1		
			保育実習Ⅰ（保育所）		2		
		保育実習指導Ⅰ（施設）		1			
		保育実習Ⅰ（施設）		2			
		保育実習指導Ⅱ		1			
		保育実習Ⅱ		2			
		保育実習指導Ⅲ		1			
		保育実習Ⅲ		2			
		特別支援教育専門科目	特別支援教育総論		2		
	知的障害児の心理・生理・病理			2			
	肢体不自由児の心理・生理・病理			2			
	病弱児の心理・生理・病理			2			
	知的障害児の教育課程と指導法			2			
肢体不自由児の教育課程と指導法			2				

授業科目 の区分		授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
			必修	選択	自由	
専門 教育 科目	特別 支援 教育 専門 科目	病弱児の教育課程と指導法		2		卒業要件 124単位 以上
		知的障害教育総論		2		
		肢体不自由教育総論		2		
		病弱教育総論		2		
		視覚障害教育総論		2		
		聴覚障害教育総論		2		
		重複・発達障害教育総論		2		
		心理検査法		2		

別表第7 教職に関する科目

(中学校及び高等学校教諭一種免許状)

授業科目の名称	単位数	
	必修	選択
教 育 原 理		2
教 職 概 論		2
教 育 制 度 論		2
教 育 心 理 学		2
特 別 支 援 教 育 論		2
教 育 課 程 論		2
道 徳 教 育 論		2
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法		2
教 育 方 法 ・ 技 術 論		2
教育におけるICT活用の理論と方法		2
生 徒 指 導 論		2
教 育 相 談 (カウンセリングを含む。)		2
進 路 指 導 論		2
教 育 実 習 事 前 事 後 指 導		1
事 前 ・ 事 後 指 導		1
中 学 校 教 育 実 習 (事前・事後指導)		2
高 等 学 校 教 育 実 習 (事前・事後指導)		1
中 学 校 教 育 実 習		3
高 等 学 校 教 育 実 習		2
教 職 実 践 演 習 (中・高)		2
教 職 実 践 演 習 (高)		2
公 民 科 教 育 法		4
商 業 科 教 育 法		4
保 健 ・ 保 健 体 育 科 教 育 法 I (保健教育内容研究)		2
保 健 ・ 保 健 体 育 科 教 育 法 II (保健教育法研究)		2
保 健 科 教 育 法 I (保健科教育教材研究)		2
保 健 科 教 育 法 II (保健科教育法演習)		2
保 健 体 育 科 教 育 法 I (保健体育科教育研究)		2
保 健 体 育 科 教 育 法 II (保健体育科教育法研究)		2
福 祉 科 教 育 法		4

(養護教諭一種免許状及び栄養教諭一種免許状)

授業科目の名称	単位数	
	必修	選択
教 育 原 理		2
教 職 概 論		2
教 育 制 度 論		2
教 育 心 理 学		2
特 別 支 援 教 育 論		2
教 育 課 程 論		2
道 徳 教 育 の 理 論		1
特別活動・総合的な学習の時間		1
教 育 方 法 ・ 技 術 論		2
教育におけるICT活用の理論と方法		2
生 徒 指 導 論		2
教 育 相 談 (カウンセリングを含む。)		2
養 護 実 習 (事前・事後指導)		1
養 護 実 習		4
養護実習(事前事後指導を含む)		5
事 前 事 後 指 導		1
栄 養 教 育 実 習		1
教 職 実 践 演 習 (養護教諭)		2
教 職 実 践 演 習 (栄養教諭)		2

別表第8 入学検定料、入学金、授業料、教育充実費

区分・項目		金 額				
		現代ビジネス学部	健康科学部	看護学部	生涯福祉学部	教育学部
入 学 金		200,000円	200,000円	200,000円	200,000円	200,000円
授 業 料		780,000円	1,350,000円	1,350,000円	990,000円	890,000円
教育 充 実 費	1年次	200,000円	200,000円	200,000円	200,000円	200,000円
	2年次以降	240,000円	250,000円	250,000円	250,000円	250,000円
入学検定料		30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円

別表第9 在籍料

区分・項目	金 額
在籍料	1学期 25,000円

別表第10 入学検定料、授業料

区分・項目	現代ビジネス学部		健康科学部		看護学部		生涯福祉学部		教育学部	
	研究生	科目等 履修生	研究生	科目等 履修生	研究生	科目等 履修生	研究生	科目等 履修生	研究生	科目等 履修生
授 業 料	(1期) 50,000円	(1科目) 25,000円	(1期) 70,000円	(1科目) 33,000円	(1期) 70,000円	(1科目) 33,000円	(1期) 50,000円	(1科目) 25,000円	(1期) 50,000円	(1科目) 25,000円
入学検定料	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円

変更の事由を記載した書類

変更の事由

兵庫大学に教育学部教育学科を設置および生涯福祉学部社会福祉学科の編入学定員を設定することに伴い、学則関係条文等の整備を行った。具体的な変更内容は、次のとおりである。

- (1) 本学が設置する学部学科に「教育学部教育学科」〔入学定員 100 人〕を設置した。また、「生涯福祉学部社会福祉学科」に〔編入学定員 5 人〕を設置した。(第 3 条及び同第 2 項)
- (2) 「教育学部教育学科」における教育研究上の目的を整備した。(第 5 条の 6 及び同第 2 項)
- (3) 「教育学部教育学科」における授業科目及び単位数を整備した。(第 19 条及び同第 2 項)
- (4) 「教育学部教育学科」における成績評価方法を整備した。(第 25 条)
- (5) 「教育学部教育学科」において取得することのできる資格等を整備した。(第 32 条の 2 及び同第 7 項)
- (6) 上記に伴い、学則関係別表(別表第 6、第 8、第 10)及び附則を整備した。

変更の時期

令和 5 年 4 月 1 日

「兵庫大学学則」の一部改正に係る新旧対照表

新					旧				
兵庫大学学則（案）					兵庫大学学則				
…………… <略> ……………					…………… <略> ……………				
(学部)					(学部)				
第3条 本学に、次の学部を置く。					第3条 本学に、次の学部を置く。				
現代ビジネス学部					現代ビジネス学部				
健康科学部					健康科学部				
看護学部					看護学部				
生涯福祉学部					生涯福祉学部				
<u>教育学部</u>									
2 前項の学部に置く学科及びその入学定員は、次のとおりとする。					2 前項の学部に置く学科及びその入学定員は、次のとおりとする。				
学部	学科	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	学部	学科	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
現代ビジネス学部	現代ビジネス学科	120	2	484	現代ビジネス学部	現代ビジネス学科	120	2	484
健康科学部	栄養マネジメント学科	80	5	330	健康科学部	栄養マネジメント学科	80	5	330
	健康システム学科	40	—	160		健康システム学科	40	—	160
	計	120	5	490		計	120	5	490
看護学部	看護学科	90	—	360	看護学部	看護学科	90	—	360
生涯福祉学部	社会福祉学科	40	<u>5</u>	<u>170</u>	生涯福祉学部	社会福祉学科	40	<u>—</u>	<u>160</u>
<u>教育学部</u>	<u>教育学科</u>	<u>100</u>	<u>5</u>	<u>410</u>					
合計		<u>470</u>	<u>17</u>	<u>1,914</u>	合計		<u>370</u>	<u>12</u>	<u>1,494</u>

新

..... <略>

第2節の2 学部等の教育研究上の目的

(生涯福祉学部の教育研究上の目的)

第5条の5 生涯福祉学部は、基本的人権および社会正義の尊重を基礎とした社会福祉の理念と、ソーシャルワークの力量によって、人の生涯にわたる発達および自らによる能力開発を支援できるとともに、個人と環境の相互作用による地域福祉の実現に貢献する社会福祉専門職の人材を養成する。

2 社会福祉学科は、人間の福利を広く「人間一人ひとりの能力開発を支援すること」と捉え、国際的視野に立つとともに小都市および町村に焦点を当て、人々とその環境に働きかけることにより、家族や地域の福祉力を高めるソーシャルワーカーを養成する。社会福祉の価値について理解することを土台として、社会福祉の知識や技術を科学的方法論と職業的倫理観をもって実践に用いることのできる専門的能力を涵養する。

3 (削除)

(教育学部教育学科の教育研究上の目的)

第5条の6 教育学部は教員としての使命感や情熱を持ち、発達や学びの連続性を踏まえた就学前教育及び学校教育に関する高度な専門知識と優れた技能・実践力を有し、子どもの個性と環境の多様性に対応しながら、共生社会の一員として地域社会に貢献できる人材を養成する。

2 教育学科は、幅広い教養と教育・保育に関する専門的な知識と技能を有し、多様な人々と協働しながら、子どもの多様性を理解しつつ、興味・関心を引き出し、子どもの主体的学びや自己成長を導くための教育を展開することができる学校教育や幼児教育、児童福祉の専門家を養成する。

旧

..... <略>

第2節の2 学部等の教育研究上の目的

(生涯福祉学部の教育研究上の目的)

第5条の5 生涯福祉学部は、基本的人権および社会正義の尊重を基礎とした社会福祉の理念と、ソーシャルワークの力量によって、人の生涯にわたる発達および自らによる能力開発を支援できるとともに、個人と環境の相互作用による地域福祉の実現に貢献する社会福祉専門職の人材を養成する。

2 社会福祉学科は、人間の福利を広く「人間一人ひとりの能力開発を支援すること」と捉え、国際的視野に立つとともに小都市および町村に焦点を当て、人々とその環境に働きかけることにより、家族や地域の福祉力を高めるソーシャルワーカーを養成する。社会福祉の価値について理解することを土台として、社会福祉の知識や技術を科学的方法論と職業的倫理観をもって実践に用いることのできる専門的能力を涵養する。

3 こども福祉学科は、現代の社会の要請に応え、未来の社会を築き上げていく力をこどもたちに培うことのできる、こどもの福祉を担う人材、「子どもの最善に利益」を原則とするこども観を持った人材を養成する。

新	旧																																																			
<p>..... <略></p> <p style="text-align: center;">第3節 教育課程及び履修方法等 (授業科目)</p> <p>第19条 本学の各学部で開設する授業科目は、次のとおりとする。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">現代ビジネス学部</td> <td>共通教育科目及び専門教育科目</td> </tr> <tr> <td>健康科学部</td> <td>共通教育科目及び専門教育科目</td> </tr> <tr> <td>看護学部</td> <td>共通教育科目及び専門教育科目</td> </tr> <tr> <td>生涯福祉学部</td> <td>共通教育科目及び専門教育科目</td> </tr> <tr> <td>教育学部</td> <td>共通教育科目及び専門教育科目</td> </tr> </table> <p>..... <略></p> <p style="text-align: center;">(成績評価)</p> <p>第25条 各学部における成績評価方法は、次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">学 部 名</th> <th style="width: 40%;">試験における成績評語の種類</th> <th style="width: 40%;">合格とする評語</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現代ビジネス学部</td> <td>秀・優・良・可・不可</td> <td>秀・優・良・可</td> </tr> <tr> <td>健康科学部</td> <td>秀・優・良・可・不可</td> <td>秀・優・良・可</td> </tr> <tr> <td>看護学部</td> <td>秀・優・良・可・不可</td> <td>秀・優・良・可</td> </tr> <tr> <td>生涯福祉学部</td> <td>秀・優・良・可・不可</td> <td>秀・優・良・可</td> </tr> <tr> <td>教育学部</td> <td>秀・優・良・可・不可</td> <td>秀・優・良・可</td> </tr> </tbody> </table> <p>..... <略></p>	現代ビジネス学部	共通教育科目及び専門教育科目	健康科学部	共通教育科目及び専門教育科目	看護学部	共通教育科目及び専門教育科目	生涯福祉学部	共通教育科目及び専門教育科目	教育学部	共通教育科目及び専門教育科目	学 部 名	試験における成績評語の種類	合格とする評語	現代ビジネス学部	秀・優・良・可・不可	秀・優・良・可	健康科学部	秀・優・良・可・不可	秀・優・良・可	看護学部	秀・優・良・可・不可	秀・優・良・可	生涯福祉学部	秀・優・良・可・不可	秀・優・良・可	教育学部	秀・優・良・可・不可	秀・優・良・可	<p>..... <略></p> <p style="text-align: center;">第3節 教育課程及び履修方法等 (授業科目)</p> <p>第19条 本学の各学部で開設する授業科目は、次のとおりとする。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">現代ビジネス学部</td> <td>共通教育科目及び専門教育科目</td> </tr> <tr> <td>健康科学部</td> <td>共通教育科目及び専門教育科目</td> </tr> <tr> <td>看護学部</td> <td>共通教育科目及び専門教育科目</td> </tr> <tr> <td>生涯福祉学部</td> <td>共通教育科目及び専門教育科目</td> </tr> </table> <p>..... <略></p> <p style="text-align: center;">(成績評価)</p> <p>第25条 各学部における成績評価方法は、次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">学 部 名</th> <th style="width: 40%;">試験における成績評語の種類</th> <th style="width: 40%;">合格とする評語</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現代ビジネス学部</td> <td>秀・優・良・可・不可</td> <td>秀・優・良・可</td> </tr> <tr> <td>健康科学部</td> <td>秀・優・良・可・不可</td> <td>秀・優・良・可</td> </tr> <tr> <td>看護学部</td> <td>秀・優・良・可・不可</td> <td>秀・優・良・可</td> </tr> <tr> <td>生涯福祉学部</td> <td>秀・優・良・可・不可</td> <td>秀・優・良・可</td> </tr> </tbody> </table> <p>..... <略></p>	現代ビジネス学部	共通教育科目及び専門教育科目	健康科学部	共通教育科目及び専門教育科目	看護学部	共通教育科目及び専門教育科目	生涯福祉学部	共通教育科目及び専門教育科目	学 部 名	試験における成績評語の種類	合格とする評語	現代ビジネス学部	秀・優・良・可・不可	秀・優・良・可	健康科学部	秀・優・良・可・不可	秀・優・良・可	看護学部	秀・優・良・可・不可	秀・優・良・可	生涯福祉学部	秀・優・良・可・不可	秀・優・良・可
現代ビジネス学部	共通教育科目及び専門教育科目																																																			
健康科学部	共通教育科目及び専門教育科目																																																			
看護学部	共通教育科目及び専門教育科目																																																			
生涯福祉学部	共通教育科目及び専門教育科目																																																			
教育学部	共通教育科目及び専門教育科目																																																			
学 部 名	試験における成績評語の種類	合格とする評語																																																		
現代ビジネス学部	秀・優・良・可・不可	秀・優・良・可																																																		
健康科学部	秀・優・良・可・不可	秀・優・良・可																																																		
看護学部	秀・優・良・可・不可	秀・優・良・可																																																		
生涯福祉学部	秀・優・良・可・不可	秀・優・良・可																																																		
教育学部	秀・優・良・可・不可	秀・優・良・可																																																		
現代ビジネス学部	共通教育科目及び専門教育科目																																																			
健康科学部	共通教育科目及び専門教育科目																																																			
看護学部	共通教育科目及び専門教育科目																																																			
生涯福祉学部	共通教育科目及び専門教育科目																																																			
学 部 名	試験における成績評語の種類	合格とする評語																																																		
現代ビジネス学部	秀・優・良・可・不可	秀・優・良・可																																																		
健康科学部	秀・優・良・可・不可	秀・優・良・可																																																		
看護学部	秀・優・良・可・不可	秀・優・良・可																																																		
生涯福祉学部	秀・優・良・可・不可	秀・優・良・可																																																		

新			旧		
<p>(資格等の取得)</p> <p>第 32 条の 2 本学において取得することができる資格及び免許状の種類は次のとおりとする。</p>			<p>(資格等の取得)</p> <p>第 32 条の 2 本学において取得することができる資格及び免許状の種類は次のとおりとする。</p>		
学 部	学 科	資格及び免許状の種類	学 部	学 科	資格及び免許状の種類
現代ビジネス学部	現代ビジネス学科	高等学校教諭一種免許状（公民） 高等学校教諭一種免許状（商業）	現代ビジネス学部	現代ビジネス学科	高等学校教諭一種免許状（公民） 高等学校教諭一種免許状（商業）
健康科学部	健康システム学科	養護教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状（保健体育） 高等学校教諭一種免許状（保健体育） 中学校教諭一種免許状（保健） 高等学校教諭一種免許状（保健）	健康科学部	健康システム学科	養護教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状（保健体育） 高等学校教諭一種免許状（保健体育） 中学校教諭一種免許状（保健） 高等学校教諭一種免許状（保健）
	栄養マネジメント学科	栄養教諭一種免許状		栄養マネジメント学科	栄養教諭一種免許状
看護学部	看護学科	養護教諭一種免許状	看護学部	看護学科	養護教諭一種免許状
生涯福祉学部	社会福祉学科	高等学校教諭一種免許状（福祉）	生涯福祉学部	社会福祉学科	高等学校教諭一種免許状（福祉）
	こども福祉学科	幼稚園教諭一種免許状 保育士資格		こども福祉学科	幼稚園教諭一種免許状 保育士資格
教育学部	教育学科	<u>幼稚園教諭一種免許状</u> <u>小学校教諭一種免許状</u> <u>特別支援学校教諭一種免許状</u> 保育士資格	<p>2 本学において教育職員免許状を得ようとする者は、前条に規定する卒業要件を充足し、かつ教育職員免許法及び同施行規則に定める授業科目及び単位数を修得しなければならない。</p> <p>3 本学の栄養マネジメント学科において、栄養士免許を得ようとする者は、学則に規定する卒業の要件を充足し、かつ栄養士法及び同施行規則に基づき、本学が定める授業科目及び単位を修得しなければならない。</p> <p>4 本学の栄養マネジメント学科において、管理栄養士国家試験受験資格を得ようとする者は、栄養士免許の資格要件を得るとともに、管理栄養士学校指定規則に基づき、本学が定める授業科目及び単位を修得しなければならない。</p> <p>5 本学の看護学部において、保健師国家試験受験資格及び看護師国家試験受験資格を得ようとする者は、保健師助産師看護師学校養成所指定規則の規定に基づき、本学において定める授業科目及び単位を修得し</p>		
<p>2 本学において教育職員免許状を得ようとする者は、前条に規定する卒業要件を充足し、かつ教育職員免許法及び同施行規則に定める授業科目及び単位数を修得しなければならない。</p> <p>3 本学の栄養マネジメント学科において、栄養士免許を得ようとする者は、学則に規定する卒業の要件を充足し、かつ栄養士法及び同施行規則に基づき、本学が定める授業科目及び単位を修得しなければならない。</p> <p>4 本学の栄養マネジメント学科において、管理栄養士国家試験受験資格を得ようとする者は、栄養士免許の資格要件を得るとともに、管理栄養士学校指定規則に基づき、本学が定める授業科目及び単位を修得しなければならない。</p>					

新	旧																																																											
<p>なければならない。</p> <p>5 本学の看護学科において、保健師国家試験受験資格及び看護師国家試験受験資格を得ようとする者は、保健師助産師看護師学校養成所指定規則の規定に基づき、本学において定める授業科目及び単位を修得しなければならない。</p> <p>6 本学の社会福祉学科において、社会福祉士国家試験受験資格及び精神保健福祉士国家試験受験資格を得ようとする者は、社会福祉士及び介護福祉士法の規定並びに精神保健福祉士法の規定に基づき、本学において定める授業科目及び単位を修得しなければならない。</p> <p>7 本学の<u>教育学科</u>において、保育士資格を得ようとする者は、学則に規定する卒業の要件を充足し、かつ児童福祉法施行規則第6条の2第1項第3号の規定により厚生労働大臣の定める修業科目及び単位を修得しなければならない。</p> <p>8 第1項に定めるもの以外の資格等の取得については、別に定める。</p> <p style="text-align: center;">..... <略></p> <p><u>附 則</u></p> <p>1 この学則は、令和5年4月1日から施行する。</p> <p>2 第3条に規定する収容定員は、令和7(2025)年度までの間は次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度 学科</th> <th colspan="3">令和 5(2023)年度</th> <th colspan="3">令和 6(2024)年度</th> <th colspan="3">令和 7(2025)年 度</th> </tr> <tr> <th>入学 定員</th> <th>編入学 定員</th> <th>収容 定員</th> <th>入学 定員</th> <th>編入学 定員</th> <th>収容 定員</th> <th>入学 定員</th> <th>編入学 定員</th> <th>収容 定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生涯福祉学部</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>こども福祉学科</td> <td>二</td> <td>5</td> <td>160</td> <td>二</td> <td>5</td> <td>110</td> <td>二</td> <td>二</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>教育学部</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>教育学科</td> <td>100</td> <td>二</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>二</td> <td>200</td> <td>100</td> <td>5</td> <td>305</td> </tr> </tbody> </table>	年度 学科	令和 5(2023)年度			令和 6(2024)年度			令和 7(2025)年 度			入学 定員	編入学 定員	収容 定員	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	生涯福祉学部	人	人	人	人	人	人	人	人	人	こども福祉学科	二	5	160	二	5	110	二	二	55	教育学部	人	人	人	人	人	人	人	人	人	教育学科	100	二	100	100	二	200	100	5	305	<p>なければならない。</p> <p>6 本学の社会福祉学科において、社会福祉士国家試験受験資格及び精神保健福祉士国家試験受験資格を得ようとする者は、社会福祉士及び介護福祉士法の規定並びに精神保健福祉士法の規定に基づき、本学において定める授業科目及び単位を修得しなければならない。</p> <p>7 本学において、保育士資格を得ようとする者は、学則に規定する卒業の要件を充足し、かつ児童福祉法施行規則第6条の2第1項第3号の規定により厚生労働大臣の定める修業科目及び単位を修得しなければならない。</p> <p>8 第1項に定めるもの以外の資格等の取得については、別に定める。</p> <p style="text-align: center;">..... <略></p>
年度 学科		令和 5(2023)年度			令和 6(2024)年度			令和 7(2025)年 度																																																				
	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	入学 定員	編入学 定員	収容 定員																																																			
生涯福祉学部	人	人	人	人	人	人	人	人	人																																																			
こども福祉学科	二	5	160	二	5	110	二	二	55																																																			
教育学部	人	人	人	人	人	人	人	人	人																																																			
教育学科	100	二	100	100	二	200	100	5	305																																																			

新

旧

附 則

- 1 この学則は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 第3条に規定する収容定員は、令和6(2024)年度までの間は次のとおりとする。

年度 学科	令和5(2023)年度			令和6(2024)年度		
	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	入学 定員	編入学 定員	収容 定員
生涯福祉学部	人	人	人	人	人	人
社会福祉学科	40	5	165	40	5	170

新学則

旧学則

別表第6 教育学部 教育学科の授業科目及び単位数

…………… (略) ……………

授業科目の 区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
共通教育科目	建学の精神	宗教と人生	2		20単位以上
		仏教と現代社会		2	
		兵庫大学の学びと和		2	
		地域と仏教		1	
		兵大京都学		1	
	コミュニケーション	日本語（読解と表現）	2		
		英語	2		
		実用英語Ⅰ		2	
		実用英語Ⅱ		2	
		中国語（初級）		2	
		中国語（中級）		2	
		韓国語（初級）		2	
		韓国語（中級）		2	
		コンピュータ演習	2		
		コンピュータグラフィックスの基礎		2	
	国際理解	国際理解と宗教Ⅰ（キリスト教）		2	
		国際理解と宗教Ⅱ（イスラム教）		2	
		国際関係論		2	
		比較文化論		2	
	歴史と文化	歴史学		2	
		文学		2	
		色彩とデザイン		2	
	地域に学ぶ	地域文化論		2	
		建築デザインと地域		2	
		地域と文化財		2	
地域資料を読む			2		
日本の伝統文化「将棋」を学ぶ			2		
ファシリテーション入門			2		
現代社会を読み解く	哲学		2		
	日本国憲法	2			
	人権の歴史		2		
	政治学		2		
	社会学		2		
	経済学		2		
	現代社会の理解		2		

新学則					旧学則						
授業科目の 区分		授業科目の名称	単位数又は時間数			備考					
			必修	選択	自由						
共通 教育 科目	自然と科学	生命倫理学		2							
		心理学		2							
		化学		2							
		生物学		2							
		身のまわりの科学		2							
		プログラミング入門		2							
	くらしと健康	食と健康		2							
		健康・スポーツ科学Ⅰ(講義)	2								
		健康・スポーツ科学Ⅱ(演習)		1							
		健康・スポーツ科学Ⅲ(演習)		1							
	キャリアデザイン	私のためのキャリア設計		2							
		ヒューマンサービスとマネジメント		2							
		入門ボランティア		2							

新学則				旧学則			
授業科目の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考		
		必修	選択	自由			
専門教育科目	ゼミナール科目	クラスゼミナールⅠ	2			16単位以上	
		クラスゼミナールⅡ	2				
		クラスゼミナールⅢ	2				
		クラスゼミナールⅣ	2				
		卒業研究Ⅰ	2				
		卒業研究Ⅱ	2				
		卒業研究Ⅲ	2				
		卒業研究Ⅳ	2				
	教育・保育実践科目	幼児教育・保育内容科目	こどもと健康		1		20単位以上
			こどもと人間関係		1		
			こどもと環境		1		
			こどもと言葉		1		
			こどもと表現		1		
			こどもとサイエンス(こどもと科学遊び)		1		
			保育内容総論		1		
			保育内容「健康」の指導法		2		
			保育内容「人間関係」の指導法		2		
			保育内容「環境」の指導法		2		
		幼児教育・保育実践科目	音楽Ⅰ		1		
			音楽Ⅱ		1		
			総合表現教育Ⅰ		1		
			総合表現教育Ⅱ		1		
			教師・保育者論		2		
			教育・保育の課程と評価		2		
			幼児理解		1		
			保育原理		2		
			こども家庭福祉		2		
社会福祉		2					

新学則				旧学則				
授業科目の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考			
		必修	選択	自由				
専門 教育科目	幼児教育・保育実践科目	こども家庭支援論		2				
		こども家庭支援の心理学		2				
		こどもの保健		2				
		こどもの食と栄養Ⅰ		1				
		こどもの食と栄養Ⅱ		1				
		乳児保育Ⅰ		2				
		乳児保育Ⅱ		1				
		こどもの健康と安全		1				
		特別支援教育Ⅰ		1				
		特別支援教育Ⅱ		1				
		社会的養護Ⅰ		2				
		社会的養護Ⅱ		1				
		子育て支援		1				
		青年心理学		2				
		教育・保育実践科目	初等教科内容科目	初等国語科内容論		1		
				初等社会科内容論		1		
				初等算数科内容論		1		
				初等理科内容論		1		
	初等生活科内容論				1			
	初等音楽科内容論				1			
	初等図画工作科内容論				1			
	初等家庭科内容論				1			
	初等体育科内容論				1			
	初等英語科内容論			1				
	初等教科指導法科目		初等国語科教育法		2			
			初等社会科教育法		2			
			初等算数科教育法		2			
			初等理科教育法		2			
			初等生活科教育法		2			
			初等音楽科教育法		2			

新学則				旧学則				
授業科目の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考			
		必修	選択	自由				
専門教育科目	初等教科指導法科目	初等図画工作科教育法		2				
		初等家庭科教育法		2				
		初等体育科教育法		2				
		初等英語科教育法		2				
	教職発展科目		個別教育計画概論		2		5単位以上	
			個別教育計画作成演習	1				
		学校・地域教育活動発展科目		ふれあい体験活動		1		
				インターンシップⅠ		1		
				インターンシップⅡ		1		
				防災とコミュニティ	2			
				子育て支援地域活動Ⅰ		1		
				子育て支援地域活動Ⅱ		1		
		ICT活用科目		学校教育におけるICT活用	2			
				情報社会と情報モラル教育		2		
			情報活用の実践Ⅰ		2			
			情報活用の実践Ⅱ (デジタル教科書の活用含む)		2			
			教育データの利活用		2			
	特別支援保育発展科目		発達障害児への支援		2			
			社会的スキルトレーニングの理論と実践		2			
			スクールソーシャルワーク論		2			
			こども音楽療育論		2			
	教職・保育キャリア科目	教職基礎科目	教育の思想と原理	2			20単位以上	
			教育史		2			
			教育哲学		2			
			教職入門	2				
			教育制度論	2				
			教育社会学		2			
教育心理学			2					
発達心理学				2				
教育課程論			2					

新学則				旧学則			
授業科目の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考		
		必修	選択	自由			
専門教育科目	基礎 科目	学校組織マネジメント		2			
	教職支援科目	道徳教育論		2			
		総合的な学習の理論と実践		2			
		特別活動論		2			
		教育方法・技術論		2			
		教育におけるICT活用の理論と方法		2			
		生徒指導論		2			
		教育相談		2			
	教職実践科目	教職実践演習（小学校）		2			
		保育・教職実践演習		2			
		幼稚園教育実習		4			
		小学校教育実習		4			
		特別支援教育実習		2			
		幼稚園教育実習リフレクション		1			
		小学校教育実習リフレクション		1			
		特別支援教育実習リフレクション		1			
		保育実習	保育実習指導Ⅰ（保育所）		1		
	保育実習Ⅰ（保育所）			2			
	保育実習指導Ⅰ（施設）			1			
	保育実習Ⅰ（施設）			2			
	保育実習指導Ⅱ			1			
	保育実習Ⅱ			2			
	保育実習指導Ⅲ			1			
	保育実習Ⅲ			2			
	特別支援教育専門科目		特別支援教育総論		2		
		知的障害児の心理・生理・病理		2			
		肢体不自由児の心理・生理・病理		2			
		病弱児の心理・生理・病理		2			
		知的障害児の教育課程と指導法		2			
		肢体不自由児の教育課程と指導法		2			

新学則				旧学則			
授業科目の区分		授業科目の名称	単位数又は時間数			備考	
			必修	選択	自由		
専門 教育 科目	特別 支援 教育 専門 科目	病弱児の教育課程と指導法		2		卒業要件 124単位 以上	
		知的障害教育総論		2			
		肢体不自由教育総論		2			
		病弱教育総論		2			
		視覚障害教育総論		2			
		聴覚障害教育総論		2			
		重複・発達障害教育総論		2			
		心理検査法		2			

学則の変更の趣旨等を記載した書類

目次

ア	学則変更（収容定員変更）の内容	p.2
イ	学則変更（収容定員変更）の必要性	p.3
	（1）沿革	p.3
	（2）教育学部教育学科を設置する理由及び必要性	p.3
	（3）生涯福祉学部社会福祉学科に編入学定員を 設定する理由及び必要性	p.6
ウ	学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	p.8
	<u>教育学部教育学科</u>	
	（1）教育課程の変更内容	p.8
	（2）教育方法及び履修指導方法の変更内容	p.15
	（3）教員組織の変更内容	p.20
	<u>生涯福祉学部社会福祉学科</u>	
	（1）教育課程の変更内容	p.22
	（2）教育方法及び履修指導方法の変更内容	p.27
	（3）教員組織の変更内容	p.30
	（4）大学全体の施設・設備の変更内容	p.31

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

兵庫大学（以下、「本学」という。）は、令和5（2023）年度から、生涯福祉学部こども福祉学科を改組し教育学部教育学科を設置し、生涯福祉学部社会福祉学科に編入学定員を設定することに伴い、収容定員を下表のとおり変更する〔表1〕。

〔表1 生涯福祉学部及び教育学部の定員の変更〕

《令和4（2022）年度》

《令和5（2023）年度以降（完成時）》

学部名 学科名	入学 定員	編入 学定員	収容 定員		入学 定員	編入 学定員	収容 定員	増減
教育学部 教育学科	二	二	二	➡	<u>100</u>	<u>5</u>	<u>410</u>	<u>410</u>
生涯福祉学部 こども福祉学科	<u>50</u>	<u>5</u>	<u>210</u>		二	二	二	<u>△210</u>
生涯福祉学部 社会福祉学科	40	二	<u>160</u>		40	<u>5</u>	<u>170</u>	<u>10</u>

教育学部教育学科の設置に伴い、令和5（2023）年4月に生涯福祉学部こども福祉学科の学生募集を停止し、本学の定員構造を〔表2〕のとおり変更する。

〔表2 令和5（2023）年度からの入学定員及び収容定員の変更状況〕

令和4(2022)年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員		令和5(2023)年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
兵庫大学					兵庫大学				
							3年次		
					教育学部				学部の設置 (設置届出)
					教育学科	<u>100</u>	<u>5</u>	<u>410</u>	
現代ビジネス学部		3年次			現代ビジネス学部		3年次		
現代ビジネス学科	120	2	484		現代ビジネス学科	120	2	484	
		3年次					3年次		
健康科学部					健康科学部				
栄養マネジメント学科	80	5	330		栄養マネジメント学科	80	5	330	
健康システム学科	40	—	160	→	健康システム学科	40	—	160	
		3年次					3年次		
看護学部					看護学部				
看護学科	90	—	360		看護学科	90	—	360	
		3年次					3年次		
生涯福祉学部					生涯福祉学部				
社会福祉学科	40	二	<u>160</u>		社会福祉学科	40	<u>5</u>	<u>170</u>	編入学定員 変更(5) 令和5年4月 学生募集停止
こども福祉学科	<u>50</u>	<u>5</u>	<u>210</u>		こども福祉学科	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	
							3年次		
計	<u>420</u>	<u>12</u>	<u>1,704</u>		計	<u>470</u>	<u>17</u>	<u>1,914</u>	

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

（１）沿革

本学は、平成 7（1995）年に兵庫県東播磨地域における唯一の高等教育機関として創設された。

その母体である睦学園の歴史は、1921 年の聖徳太子薨去 1300 年祭を記念した「太子日曜学校」に始まる。学園の創立者である河野厳想が人間形成の基盤となる乳幼児の教育を担う人材を養成するため、昭和 29（1954）年に睦学園幼稚園教員養成所、翌年の昭和 30（1955）年に睦学園女子短期大学（保育科第二部）を設置した。本学園創設以来、「地域に愛される睦学園」「質を重視する睦学園」を基本目標とし、現在では兵庫県内に 3 つのキャンパス（加古川・須磨・高倉台）と 7 つの学校（2 幼稚園・1 中学校・2 高等学校・1 大学・1 短期大学）を持つ総合学園として、地域に根ざした発展を続けている。

本学は、4 年制大学の創設という本学園の願いと、「加古川に大学を」という兵庫県東播磨地域の二市二町（加古川市・高砂市・播磨町・稲美町）の願いが一致する中、物心両面に渡る地元の支持・支援を得て設置された。本学の基本目標である「地域に愛される睦学園」「質を重視する睦学園」に基づき、社会的要請に応じ、人材を輩出してきた。平成 20（2008）年には、少子高齢社会に対応した社会福祉職の人材育成を目的とした生涯福祉学部社会福祉学科を設置した。その後、平成 25（2013）年度に乳幼児期の教育・保育を担う人材の育成を目的とし、生涯福祉学部こども福祉学科を設置した。

現在、本学では、現代ビジネス学部（現代ビジネス学科）、看護学部（看護学科）、健康科学部（栄養マネジメント学科・健康システム学科）、生涯福祉学部（社会福祉学科・こども福祉学科）の 4 学部 6 学科を有し、それぞれ幅広い専門職業人の育成等によって、地域社会への発展に寄与している。

このたび本学は、既設の生涯福祉学部こども福祉学科を発展的に改組し、「教育学部教育学科」を設置しようとするものである。加えて、今後さらに地域における多様な福祉ニーズへの的確な対応を図ることのできる福祉人材を養成するため、生涯福祉学部社会福祉学科の定員増を計画する。

以下ではまず、新学部の設置を必要とする理由とその特色等について説明し、その趣旨において定員増が必要であると考えられることを述べる。また高校生および団体・機関等に対するアンケート結果をもとに、収容定員を増加した場合においても定員確保が十分可能であること、団体・機関等において新学部の教育内容に対する期待が高いことを述べる。

（２）教育学部教育学科を設置する理由及び必要性

1) 本学の基本理念と使命・目的から見た必要性

本学の基本理念と使命・目的は学則第 1 条に示すとおり、建学の精神である「和」を育む仏教主義に基づく大学として、教育研究活動を通じ、「個性豊かな人間性の涵養」と「有為な人材の養成」を行うことである。

本学が開設以来、培ってきた特色として、「『知』の生涯学習拠点としての大学」と「短期大学から続く教員養成の伝統」がある。これは、本学園の基本目標である「地域に愛される陸」「質を重視する陸」と深く関わっている。「『知』の生涯学習拠点としての大学」とは、「地域に根ざす大学」として、地域や社会の要請に応じ、社会をより良くする人材を輩出するとともに、地域とともに成長し続ける大学であることを意味する。そして、本学に関わる全ての人が、その人がその人らしく生きるために必要な学びを必要な時に受けることができる生涯学習機関としての役割を果たしている。

そして、「短大から続く教員養成の伝統」とは、昭和 29 (1954) 年の睦学園幼稚園教員養成所設置及び翌年の短期大学の設置以来、70 年に亘り教育を担う人材を輩出し続けていることを意味する。本学に併設する附属幼稚園との教育開発など、より良い教育の提供及び教員の在り方について、現場での教育実践を重ねており、質の高い教員養成を行っている。

2) 日本の教育的な観点から見た必要性

科学技術の発展やグローバル化の影響など、日本の教育は大きな変化が求められている。変化の激しい複雑な状況の中で、多様な家庭環境や多様な文化的背景をもった子どもが学校に通っている。人口減少、少子高齢化、人口の偏在化、家族と社会の繋がりの希薄化等の変化は、子どもの発達・教育にも大きな影響を与えている。このような時代背景の中で、教育者に求められる資質・能力も変化しており、今後も社会的要請に合わせて、変化していくことが予測される。

「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」(令和 3 年 1 月 26 日 中央教育審議会答申)の中で、社会の在り方が劇的に変わる Society5.0 時代、先行き不透明な予測困難な時代が到来する中で、2020 年代を通じて実現を目指す「令和の日本型学校教育」の在り方を「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現」と定義している。学校教育の質の向上に向け、GIGA スクール構想により整備される ICT 環境の活用と、小学校における 35 人学級をはじめとした少人数によるきめ細かな指導体制の整備を両輪とした、個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指す。

教職員の姿として、①学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて学び続け、子供一人一人の学びを最大限に引き出し、主体的な学びを支援する伴走者としての役割を果たしている、②多様な人材の確保や教師の資質・能力の向上により質の高い教職員集団が実現し、多様なスタッフ等とチームとなり、校長のリーダーシップの下、家庭や地域と連携しつつ学校が運営されている、③働き方改革の実現や教職の魅力発信、新時代の学びを支える環境整備により教師が創造的で魅力ある仕事であることが再認識され、志願者が増加し、教師自身も志気を高め、誇りを持って働くことができていることの 3 点が挙げられている(資料 1)。

本学では、これまで培ってきた「短大から続く教員養成の伝統」をさらに発展させ、「地域に根ざす大学」として、地域との連携・協働を推進し、時代の変化に応じ

た高い資質能力を身につけた教師の育成、技術の発達や新たなニーズなど学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて探究心を持ちつつ自律的かつ継続的に新しい知識・技能を学び、成長し続けることのできる教員の養成を行う。

【資料1 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して ～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）【概要】（抜粋）】

3) 東播磨地域からの人材育成の要望

教育学部教育学科の必要性として、地域から、教育現場に優れた教育者・保育者養成の更なる充実に対する期待がある。本学が所在する加古川市、加古川商工会議所及び本学は、まちづくりの各分野で協力し、地域の発展と人材の育成に寄与することを目的とし、平成18（2006）年3月に3者による協定書を締結した（資料2）。この協定に基づき、平成23（2011）年9月には、加古川市教育委員会・兵庫大学の協力覚書を締結し、以来、産官学連携による地域の活性化を行っている（資料3）。特に平成22（2010）年以降、「地域の生涯学習の拠点たる大学」を標榜し、エクステンション・カレッジ（公開講座）の開設や、実践食育研究センターによる食育活動、認知症カフェの定期開催など地域と協働し、様々な活動を行ってきた。また、本学は社会及び地域からのニーズに応じ、看護学部看護学科の設置、加古川市との共同による熟議の開催、ボランティア活動など幅広く対応している。

教育学部教育学科を設置するにあたり、加古川市教育委員会から要望書を得ており、本学部を設置することは、地域のニーズに対応することでもある（資料4）。本学にとって、社会及び地域ニーズに対応することは、学園の基本目標である「地域に愛される睦」、Vision 2024（第3次中期計画）の目指す大学像を実現することであり、本学の存在意義ともいえる。

【資料2 加古川市、加古川商工会議所及び兵庫大学との連携協力に関する協定書】

【資料3 加古川市教育委員会・兵庫大学の協力覚書】

【資料4 兵庫大学「教育学部教育学科」の設置への期待について（加古川市教育委員会）】

4) 本学の中期計画から見た必要性

本学では、本学の基本理念と使命・目標を達成することを目的に、教育運営における個性化と管理運営面における効率化を促進するため、平成22（2010）年度より中期計画を策定しており、現在、その計画はVision 2024（第3次中期計画）へと引き継がれている。本学の5年後の目指す大学像を「『ありがとう』をつむぐ大学～本学で学ぶすべての人が学びを実感できる大学へ～」と定めている。「つむぐ」には引き出して「つなげる」、「結びつける」という意味があり、「人」と「人」、「大学」と「地域」など様々なものを繋ぎ合わせることで、社会を豊かにすることを目指している。

現在推進している Vision 2024（第3次中期計画）（資料5）では、先に示した5年後の大学像を実現するため、戦略目標を掲げており、このうち「時代のニーズに応じた学部等の改組・改編」を具現化するための実行目標の1つとして「教員養成課程等の総合的な見直し」を行うこととしている。学園の創設以来、本学が大切にしてきた「人を育てる」教員養成をさらに充実させるため、これまで培ってきた就学前教育を基盤に、さらに教育領域を拡張・充実させ学校教育に携わる人材を養成する。

以上の点を踏まえ、次代を切り拓く子どもたちの教育を支える、教育者・保育者としての使命感や情熱を持ち、発達や学びの連続性を踏まえた就学前教育及び学校教育に関する高度な専門知識と優れた技能・実践力を有し、子どもの個性と環境の多様性に対応しながら、共生社会の一員として地域社会に貢献できる人材を育成する教育学部教育学科の設置が必要であるとの結論を得た。

【資料5 Vision 2024（第3次中期計画）（抜粋）】

（3）生涯福祉学部社会福祉学科に編入学定員を設定する理由及び必要性

1）少子高齢社会に対応した社会福祉職の人材育成の必要性

現在、わが国では、経験したことのない超少子高齢社会が進展しており、令和7（2025）年には、4～5人に1人が後期高齢者（75歳以上）となり、今後さらに少子高齢化が進むことは明白である。生産年齢人口の減少とも相俟って、すでに年金・医療・介護保険などの社会保障の給付と負担が国や地方自治体の財政を圧迫しており、経済や財政と均衡のとれた社会保障制度の再構築は、わが国にとって喫緊かつ重要な課題といえる。また、高齢化や所得格差の拡大、離婚率の増加、いじめ、児童虐待、DVなど、数多くの社会問題が山積し、社会福祉士は老若男女問わず、さまざまな人から求められている。

これらの社会的要請を受け、少子高齢社会に対応した社会福祉職の人材育成を行うため、平成18（2006）年度に生涯福祉学部社会福祉学科を設置した。国民の福祉サービスに対する需要の増大・多様化はますます進展することが見込まれており、さらには介護保険制度や障害者自立支援法の施行により、利用者本位の質の高い福祉サービスの提供が求められ、サービスを提供する社会福祉職の人材育成はわが国にとって喫緊の課題といえる。

2）地域共生社会の実現に向けた社会福祉職の人材育成の必要性

社会経済情勢が大きく変貌する中で少子・高齢社会の到来や核家族化の進展などにより、家庭や地域の相互扶助機能は弱体化し、地域住民相互の社会的なつながりも希薄化するなど地域社会が変容しつつある。少子高齢社会やこれに伴う課題、社会構造の変化に伴う福祉ニーズの多様化など、量的側面、質的側面の両面に亘って福祉人材の需要及び重要性はますます高まっている。

これら社会構造の変化がもたらす社会問題が山積する中で、これまでのように公的な福祉サービスだけでは対応が困難な社会になりつつあり、地域に住む全ての人が共

助の考えのもと、1人1人が自分らしく、そして活力に満ちた社会の実現に向け地域福祉を推進することが求められている。

地域共生社会の理念として、制度・分野の枠や、「支える側」「支えられる側」という従来の関係を超えて、人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割をもち、助け合いながら暮らしていくことのできる、包摂的なコミュニティ、地域や社会を創ること、つまりは地域福祉を推進することが求められている（資料6）。

また、多職種との連携や地域住民との連携など、それぞれの立場を踏まえ、共に地域課題を解決する姿勢も求められる。自立性や違いを持った者同士が話し合い、協働することで課題を解決へと導くことのできる福祉人材はこれからの社会でますます必要とされるといえる。

【資料6 「地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協働の推進に関する検討会」（地域共生社会推進検討会）最終とりまとめ（概要）（抜粋）】

3) 本学の基本理念と使命・目的から見た必要性

先に述べたとおり、本学の基本理念と使命・目的は学則第1条に示すとおり、建学の精神である「和」を育む仏教主義に基づく大学として、教育研究活動を通じ、「個性豊かな人間性の涵養」と「有為な人材の養成」を行うことである。

建学の精神である「和」には、調和や融和の意味がある。全ての人が社会を構成する一員として、自分と他者の人格を尊重し合い、助け合って社会が成立する。他者の主張にも耳を傾け、違いを認め合い、共有しながら世界を良い方向へと導く「共生社会」を目指す意味が込められている。

また、生涯福祉学部社会福祉学科では、設置時より一貫して以下の3つの基本コンセプトを掲げている。

- ①高齢者が健康で自立して過ごせる活力ある高齢社会を目指す。（人間として生存する最低限の権利（「生存権」「基本的人権」）
- ②安心して子どもを産み育てることができる社会を目指す。（男女共同参画社会としての「自由権」や「平等権」の尊重）
- ③年齢・性別・障害の有無にかかわらず、個人がその能力を発揮できる社会を目指す。（社会の構成員すべてに「社会参加の権利」）

3つの基本コンセプトに共通する概念は人権尊重である。立場や状況の異なる人たちがその人らしく、社会に参画する社会を目指す。これは、本学の建学の精神である「和」に合致するものであり、「和」そのものが人間形成の根幹であるとの考えのもと、地域の社会福祉を支える人材を育成するため、生涯福祉学部社会福祉学科を設置している。

以上のことから、少子高齢社会に対応しながら、地域共生社会の実現に向け、立場の異なる全ての人と共によりよい社会を創る社会福祉職を育成するため、生涯福祉学部社会福祉学科に編入学定員（5人）を設定する。

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（教育学部）

（１）教育課程の変更内容

教育学部は教育者・保育者としての使命感や情熱を持ち、発達や学びの連続性を踏まえた就学前教育及び学校教育に関する高度な専門知識と優れた技能・実践力を有し、子どもの個性と環境の多様性に対応しながら、共生社会の一員として地域社会に貢献できる人材を養成する。

教育学科では、幅広い教養と教育・保育に関する専門的な知識と技能を有し、多様な人々と協働しながら、子どもの多様性を理解しつつ、興味・関心を引き出し、子どもの主体的学びや自己成長を導くための教育を展開することができる学校教育や幼児教育、児童福祉の専門家を養成する。

このことを踏まえ、養成する人材の目的を達成するために、以下のとおりカリキュラム・ポリシーを設定する。

〔教育学部カリキュラム・ポリシー〕

教育学部では、学校や地域の現代的な課題に対応できる資質を高め、教育に必要な知識や技能、教育や保育に関わる実践的な内容を学びながら、自らの専門分野に関する理解を深めるとともに、個別の教育的ニーズに対応した教育（IEP）を展開できる力を養うために、特に、次の３点を特色とするカリキュラムを編成して、地域社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。

- ・ GIGA スクール構想に対応した ICT 教育を推進する
- ・ 個別の教育的ニーズに対応した教育を推進する
- ・ 地域との連携を重視した教育を推進する

そのために、各授業科目では、授業の目標に沿った成績評価の方法・評価項目・観点等を授業計画（シラバス）に明記するとともに、学生による授業評価に基づき、恒常的に組織的な授業改善に取り組む。

1) 編成方針

- ・ 進路と関わる免許資格取得課程に応じて履修モデルを設定する
- ・ 現代の教育ニーズに対応できる高度な専門性と実践力を備えた教育者・保育者の養成を行うために、教育課程を共通教育科目と専門教育科目で構成する
- ・ 専門教育科目は、学修段階により、基礎科目や発展科目等のカテゴリーに分類する。
- ・ 知識・技能とともに実践力を身につけることができるよう、講義、演習、実習を適切に組み合わせたカリキュラムとする
- ・ 科目間の連携と履修順序が分かるようにカリキュラムツリーとナンバリングにより、カリキュラムの体系性と可視化を行う

2) 教育方法

科目の特性や到達目標に応じて多様な教育方法を適切に組み合わせることにより、教員の意図的な指導のもとで学生の主体的な学習が効果的に行われるよう配慮する。

3) 評価方法

- ・シラバスに定めた到達目標と成績評価の基準について、適正かつ厳正に成績評価を行う
- ・多様な指標を併用して多面的・総括的評価を行う

[教育学科カリキュラム・ポリシー]

学部ポリシーに基づき、教育学科のディプロマ・ポリシーで示された3つの力を身につけるために、次の方針に沿ってカリキュラムを編成し、実施する。

1) 具体的教育目標

- ・学校教育や幼児教育の専門職となるために、主体的に関わり考える力を身につける
- ・子どもの個性を的確に理解し、健やかな発達へと導く力と子育てに携わる人々の気持ちに寄り添い、子育て支援できる力を身につける
- ・教育・保育現場でICTを積極的に活用する能力を身につける
- ・個別の教育的ニーズに対応した教育・保育を展開できる力を身につける
- ・地域との連携を重視した教育・保育を推進できる力を身につける
- ・教育・保育の専門職として、継続して自己研鑽できる力を身につける

2) 編成方針

- ・学校教育や幼児教育分野の専門職業人を養成するため、体系的に専門的な知識と技術を学べるようにカリキュラムを編成する
- ・専門教育科目は、ゼミナール科目、教育・保育実践科目、教職発展科目、教職・保育キャリア科目、特別支援教育専門科目で編成する
- ・4年間を通して「クラスゼミナールⅠ～Ⅳ」、「卒業研究Ⅰ～Ⅳ」により、表現力、判断力、応用力、問題解決力、実践力を一貫して育成する
- ・特別支援教育や「兵庫大学先進保育士」等の特別支援に関わる専門職を養成する

3) 教育方法

- ・主体的に学び考える力を身につけるために、課題解決型学習を導入する
- ・1年次から4年間にわたる教職実践（学校現場や保育現場、社会福祉・教育施設などでの実習や体験など）や少人数での演習・実験・実技を通して、能動的に学修する

4) 評価方法

- ・ディプロマ・ポリシーで定めた力をわかりやすく評価するため、取得科目とディプロマ・ポリシーの達成度を関連づけたルーブリックを活用する
- ・実習は、実習評価表の項目に従って学習達成度を評価する。実習リフレクションにおいて学生の課題について検討し、実習報告会を通して考察する。実習指導者の評価を基にして実習指導担当教員が総合的に評価する

上記のカリキュラム・ポリシーを踏まえ、〔表3〕に示すとおり教育学部教育学科の教育課程を編成する。

〔表3 教育学部教育学科の教育課程の科目区分〕

科目区分		科目数	単位数	
共通教育科目	建学の精神、コミュニケーション、国際理解、歴史と文化、地域に学ぶ、現代社会を読み解く、自然と科学、くらしと健康、キャリアデザイン	48	92	
専門教育科目	ゼミナール科目	8	16	
	教育・保育 実践科目	幼児教育・保育内容科目	12	17
		幼児教育・保育実践科目	24	35
		初等教科内容科目	10	10
		初等教科指導法科目	10	20
	教職発展科目	こども支援発展科目	2	3
		学校・地域教育活動発展科目	6	7
		ICT活用科目	5	10
		特別支援保育発展科目	4	8
	教職・保育 キャリア科目	教職基礎科目	10	20
		教職支援科目	7	14
		教職実践科目	8	17
		保育実習	8	12
特別支援教育専門科目	14	28		
合計		176	309	

1) 共通教育科目

共通教育科目は、中央教育審議会答申「新しい時代における教養教育の在り方について」（平成14年）の趣旨を踏まえつつ、幅広い視野から物事を捉え、的確に判断し行動できる力と豊かな人間性を備えた人材を養成すること、教養教育と専門教育の有機的連携の強化により、学士課程全体の教育の質の向上を目的としている。

本学では、共通教育科目として、「建学の精神」、「コミュニケーション」、「国際理解」、「歴史と文化」、「地域に学ぶ」、「現代社会を読み解く」、「自然と科学」、「くらしと健康」「キャリアデザイン」の9群を設定し、現代社会に求められるリテラシー、教育者・保育者として必要とされる幅広く深い教養と豊かな人間性、

物事を総合的に判断できる思考力を土台として生涯に亘って深めることを目標とする。

本学では、教養を知識としてだけでなく、人間形成のプロセスと捉えている。科目区分「建学の精神」には5科目を設定しており、建学の精神である「和」を育む仏教主義に基づく大学として、「仏教」を中心としながら、宗教に多角的にアプローチすることによって、「価値」や「意味」といった計量化できない問題に取り組む力を養う。また、様々な学問分野との繋がりを理解し、社会生活を営む責任ある主体として他者との関わり、自分と世界との関わりなどを考え、自己形成を促す科目として設定する。

「コミュニケーション」では、表現することを主軸とし、大学での学びに必要な日本語、グローバル化への対応や現代社会に生きるための世界市民として必要な外国語、コミュニケーションツールとしての基本的な情報処理について学ぶ科目を設定する。特に情報科目では、情報に関するモラルやマナー、デザイン基礎力なども身につける。

「国際理解」では、仏教以外の宗教や国際情勢とその背景、多文化理解を通じ、世界市民としての国際感覚や社会背景を読み取る力を養う。また、様々な情報の中から、1つの事象に対し様々な見方があること、他者との違いを認め、尊重する心を身につける。

「歴史と文化」では、歴史的思考、文学作品を通じた多角的な目を養い、自分とは何か、自分を形作る文化や感覚がどのようなものに基づいているのかなど、物事の本質を考える科目を設定する。

「地域に学ぶ」では、本学が所在する加古川市を中心とした播磨地域の文化について学ぶ科目を6科目設定する。播磨地域の特性、建築、文化財、地域資料、将棋などを取り扱い、地域を扱うことにより、他地域との比較や文化交流、伝統などを理解し、我々の地域文化の基盤となるものや地域の見方、地域にどのように関わっていくのか等を考察する。

「現代社会を読み解く」では、現代社会を理解するための哲学、日本国憲法、人権、政治学、社会学、経済学等を取り扱う。市民活動、貧困問題、政治参加、教育問題など、様々な事柄が重なり合って、現代社会が成り立っていることを理解し、より良い社会の実現に向け、自己と他者の在り方、社会との関わりを学ぶ科目として7科目を配置する。

「自然と科学」では、生命倫理、心理学、化学、生物学、科学などを取り扱い、自然と関わりを持って生きていることを理解するための科目を6科目配置する。日常生活の中で当然のように存在する自然と私たちが無意識のうちに触れている科学について、その関わりを知り、物事の見方を学ぶ。

「くらしと健康」では、主に食、運動と健康に関わる内容を取り扱う。ライフステージに適した、健康的で健やかな生活を生涯に亘って維持するための基盤となる科目として4科目を配置する。

「キャリアデザイン」では、キャリア形成のための科目として3科目を配置する。社会で求められる「考える力」「話す力」「書く力」「聴く力」「マナー」など自身の

振り返りや自己分析を行い、自身のキャリアについて考える。また、本学が構成する「経済」「栄養」「健康」「看護・医療」「福祉」「教育」を活用し、多職種連携の理論と応用、実践を学ぶ。

各科目群及び設定する科目は、教育目標を主眼とした内容を取り扱うが、その他の科目との関連性を踏まえ、学生に「気づき」を与え、様々なものの見方や多面的に物事を捉える力を養う。本学部では、開講する48科目のうち20単位以上を修得することとし、「宗教と人生」「日本語（読解と表現）」「英語」「コンピュータ演習」「日本国憲法」「健康・スポーツ科学Ⅰ（講義）」の6科目を卒業必修科目としている。

2) 専門教育科目

専門教育科目は、教育者・保育者として求められる資質・専門性、これからの社会変化に合わせた新しい学びの可能性、そして、生涯に亘って身につけた力を更新するための応用力を身につけさせることを目的とした科目編成を基本とし、「ゼミナール科目」、「教育・保育実践科目」、「教職発展科目」、「教職・保育キャリア科目」、「特別支援教育専門科目」の5群を設定し、必修科目16科目、選択科目112科目、計128科目を開講する。

3) 専門教育科目の科目区分と科目の概要

①科目区分「ゼミナール科目」

「ゼミナール科目」は、『クラスゼミナールⅠ～Ⅳ』、『卒業研究Ⅰ～Ⅳ』の8科目を配置する。本学部では、1年次から4年次の全ての期においてゼミナール科目を配置し、教育者・保育者に必要な姿勢や思考力、表現力を教授する。

必修科目として1年次前期に『クラスゼミナールⅠ』、後期に『クラスゼミナールⅡ』、2年次前期に『クラスゼミナールⅢ』、後期に『クラスゼミナールⅣ』を開講し、大学生としての学びの基礎を学び、教育学・保育学における基礎的な知識や理論の理解を図り、教育課題・保育課題についてグループワーク等を通じ、研究活動を行う過程の中で必要となる研究課題を設定する力、研究に必要な方法論や手法の基本を学ぶ。『クラスゼミナールⅠ～Ⅳ』を通じて、2年生修了時まで自身の興味・関心のあるテーマを焦点化する。

『卒業研究Ⅰ～Ⅳ』は3年次前期に『卒業研究Ⅰ』を履修し、以降各期に卒業研究を配置する。研究テーマを抽出し、基本的な知識や研究テーマに合った方法論を理解し、研究計画を立案する。文献検索、精査、まとめ、発表を行うことで、論理的思考力やものごとを考え抜く力を身につけ、自らの教育観・保育観を明確にすることを目標とする。

②科目区分「教育・保育実践科目」

「教育・保育実践科目」では、幼稚園教諭、小学校教諭、保育士に必要な知識・技術を教授する科目を配置する。小区分として、「幼児教育・保育内容科目」「幼児教育・保育実践科目」「初等教科内容科目」「初等教科指導法科目」の4区分を設定

し、教育者・保育者に必要な知識、技能、教科内容、教科指導法に関する科目を開講する。

小区分「幼児教育・保育内容科目」は主として幼稚園教諭、保育士に必要な領域及び保育内容の指導法に関する科目を配置し、幼児教育・保育に関する科目の内容の知識・理解を深め、実践的指導力を身につける科目で構成する。

小区分「幼児教育・保育実践科目」では、保育士に必要な保育の本質・目的に関する科目、保育の対象の理解に関する科目、保育の内容・方法に関する科目を配置し、幼児教育・保育に関する知識・技能を深め、実践的指導力を身につける科目で構成する。

小区分「初等教科内容科目」では、小学校教諭に必要な教科に関する専門的事項についての科目を配置し、小学校における各教科の教材分析や授業実践に必要な見方・考え方、資質・能力と、各教科に関する背景的な知識及び技能を身につける科目構成とする。

小区分「初等教科指導法科目」では小学校教諭に必要な各教科の指導法に関する科目を配置し、各教科の教育目標、育成を目指す資質・能力及び指導内容について理解するとともに、児童の学修の実際や学習指導方法に基づいた授業づくりの方法を身につける。

③科目区分「教職発展科目」

「教職発展科目」では、本学が養成する教育者・保育者の特色となる科目を配置する。小区分として、「こども支援発展科目」「学校・地域教育活動発展科目」「ICT活用科目」「特別支援保育発展科目」の4区分を設定し、本学の人材育成の特色となるGIGAスクール構想に対応したICT教育、個別の教育的ニーズに対応した教育、地域との連携を重視した教育を展開する。

小区分「こども支援発展科目」ではIEP教育に対応する科目として、『個別教育計画概論』、『個別教育計画作成演習』を配置する。学習者一人ひとりのニーズを正確に把握した上で教育計画を作成し、個別教育計画に基づいた教育を実践するために必要な知識の獲得及び実践方法を学ぶ。

小区分「学校・地域教育活動発展科目」は、主として学生が地域をフィールドとして体験的、実践的に学ぶ科目を配置する。1年次より地域へ出向き、見学・観察、体験、実践へと学年進行に合わせて、活動内容を深め継続的に学ぶ科目とする。1年次後期に『ふれあい体験活動』を開講し、幼稚園、小学校及び特別支援学校の現場での見学・観察を通じて教育者となる意欲と構えを高め、キャリアデザインを考える科目とする。2年次には『インターンシップⅠ・Ⅱ』を開講する。現場教員の指導の下、学校園の教育活動の運営に関わり、児童の理解、教員の役割や仕事を理解し、教員として求められる「観察する力」を養う。『子育て支援地域活動Ⅰ・Ⅱ』は、地域での子育て支援を実践的に学ぶ科目とし、2年次及び3年次に開講する。2年次に開講する『子育て支援地域活動Ⅰ』では、大学内で「こども大学」を開催し、就学前の子ども及び保護者を対象に子育て支援の実際を学ぶ。地域や保護者のニーズに合わせた支援の在り方を学ぶとともに、3年次生と協働してこども大学を企画、準備し、自身が

制作した教材等を活用して、子育て支援を実践する。3年次に開講する『子育て支援地域活動Ⅱ』では、2年次に学んだ内容をもとに、2年次生をサポートしながら子育て支援活動を俯瞰的に捉え、ニーズに応じた子育て支援の在り方について検討、子ども観について検討する科目とする。

小区分「ICT活用科目」では、学校教育におけるICT活用に必要な倫理、知識、技術を教授する科目を配置する。GIGAスクール構想の進展による1人1台のPCやタブレット端末や情報機器等を用いた教育環境の整備が進んでいる。ICT環境の充実が進む中、教員には①情報モラル、メディアリテラシーやデジタルシティズンシップ等の現代的な考え方、②教員としての校務及び授業の教材開発に関わる上でのICTスキル、③教育データの利活用に必要な基礎知識、データリテラシー、④教育データを活用した個別最適な学びの支援技術、⑤各教科におけるICTを活用した教科指導、デジタル教科書を活用した授業デザインと実践力など、様々な能力が求められている。また、教員にはICTを活用した教育活動に加え、将来を生きる子どもたちがICTを活用できる基礎的素養を身につけることができるよう、将来を見据えた指導能力が求められる。これらの能力を学生が身につけることができるよう、ICT活用に必要な知識、理論、技能を身につける科目とする。

小区分「特別支援保育発展科目」では、何らかの課題を抱える子どもを支援するために必要な理論、技能を身につける科目を配置する。日常生活の場において子どもたちが抱える問題や課題は多様である。家庭環境、貧困問題、発達障害など、その課題は1つではなく複数の課題が重複する場合もある。そのような中で、子どもの発達に合わせた支援を行うためには、子どもの現状を把握した上で、適切な支援の在り方を考える必要があり、教育者・保育者としての知識・技術の他に、多角的に子どもを観察し、社会資源を活用しながら、適切な支援を行う能力が求められる。「特別支援保育発展科目」では、これらの力を身につけるための科目として『発達障害児への支援』『社会的スキルトレーニングの理論と実践』『スクールソーシャルワーク論』『こども音楽療育論』で構成する。

④科目区分「教職・保育キャリア科目」

「教職・保育キャリア科目」では、幼稚園教諭、小学校教諭として必要となる教職に関する科目及び保育実践に関する科目を配置する。小区分として、「教職基礎科目」「教職支援科目」「教職実践科目」「保育実習」の4区分を設定する。

小区分「教職基礎科目」は教育の基礎的理解に関する科目を配置し、教育者として必要な知識である教育の思想や原理、教育制度、教育哲学、教育史などを学び、教育をめぐる現代的課題を検討する科目により構成する。

小区分「教職支援科目」では、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目、ICTに関連する科目を配置し、探究的な学習と横断的・総合的な学習について実践レベルで展開する力、生徒指導・進路指導に関する理論及び技法、カウンセリングを含む教育相談の基礎的知識などを学ぶ科目で構成する。

小区分「教職実践科目」及び「保育実習」では、教育実践、保育実践に関する科目を配置する。「教職実践科目」は、教職実践演習、教育実習、リフレクション（事前事後指導）により構成し、学校現場での実践を通して、教育者となるための準備を進める。

「保育実習」では、保育所及び施設での実習及び実習に向けた事前事後指導等の科目により構成し、事前指導、観察実習、実践実習、事後指導を通して、段階的に保育現場の理解を深め、保育者となるための準備を進める。

4つの小区分の科目により、教育者・保育者としての使命感、倫理観、人間の成長・発達についての深い理解、幼児・児童に対する教育的愛情、教科等に関する専門的知識、広く豊かな教養と、これらを基盤とした実践的指導力、対人関係能力などを養う。

⑤科目区分「特別支援教育専門科目」

「特別支援教育専門科目」では、特別支援学校教諭として必要となる特別支援教育の基礎理論に関する科目、心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目、教育課程及び指導法に関する科目として14科目を配置する。

本学では、知的障害者、肢体不自由者、病弱者に関する教育の領域を中心とする。また、視覚障害者、聴覚障害及び重複・LD等（重複、言語、情緒、LD・ADHDを含む）の領域に関わる科目を配置し、対象者の環境や状況を踏まえながら、特別支援教育を検討するために必要な知識、技術を身につける。

以上のとおり、本学部本学科の教育課程は、幅広い視野から物事を捉え、的確に判断し行動できる力と豊かな人間性を身につけるための学部横断型の共通教育科目と教育者・保育者として必要な使命感、倫理観や必要な専門的な知識・技能を活用し子どもを支援する力を身につけるための専門教育科目で構成され、段階的に必要な能力を身につけることができるよう、カリキュラム・マップにより整理を行う。カリキュラム・マップ等を活用し、学生自身がどのような能力を意識しながら学べば良いかをオリエンテーションや個別面談等で丁寧に説明を行う（資料7）。

【資料7 教育学部教育学科の教育課程等の概要 別記様式第2号（その2の1）】

（2）教育方法及び履修指導方法の変更内容

本学では、設置の趣旨及び教育研究活動の方針を踏まえた上で、教育効果を高めるために、以下の教育方法を実施する。

1) GIGA スクール構想に対応した ICT 教育

「2. 学部学科の特色」に示す通り、新しい教育の方向性として推進されている GIGA スクール構想に対応した ICT 教育を行う。学校現場では、これまでの教育実践の蓄積と ICT 活用を取り入れた教育により、学習活動の一層の充実、主体的・対話的

で深い学びの視点からの授業改善が行われている。ICT 活用により、一斉学習、個別学習、協働学習に学びの深化・転換が行われることが期待されている。ICT の「学び」への活用として、①すぐにでもどの教科でも誰でも使える ICT、②1人1台を活用して、教科の学びを深め、教科の学びの本質に迫る、③1人1台を活用して、各教科での学びをつなぎ探究する STEAM 教育が進められている。そして、ICT を活用した学びは、常に深化し、様々な情報を駆使して、多角的・多面的に事象を捉え、深く追究する力を子どもたちに身につけさせるよう、教育者は常に教育環境や教育手法を検討する力が求められる。加えて情報・情報技術の活用には、情報モラル、情報リテラシーも不可欠である（資料8）。

本学部本学科では、生涯に亘って学びを深め、思考し、これらを駆使して実践力を高めることができるよう、ICT 教育に関する科目を5科目設定する。

「学校教育における ICT 活用」

文書作成、表計算、プレゼンテーション、その他のアプリケーションの活用、学校現場での利用に沿った情報技術について学ぶ。

「情報社会と情報モラル教育」

情報にあたっての基本姿勢、コピーライト（知的財産権）、現代的課題（メディアリテラシー、SNS やスマートフォンに関わる課題）を取り扱い、情報モラルについて学ぶ。

「情報活用の実践 I・II」

授業など学校現場での ICT 活用の実際（各種アプリやシステムの利活用）、教材の作成、プログラミング教育の基礎、デジタル教科書を活用した学習方法について各教科の特性を踏まえながら検討する。

「情報データの利活用」

教育情報の利活用に関する考え方、教育データの種類と特性とその活用方法、データリテラシーについて学ぶ。

【資料8 GIGA スクール構想の実現へ（文部科学省リーフレット）（抜粋）】

2) 個別の教育的ニーズに対応した教育

子どもの発達段階に合わせ、適切な教育・支援を行い、子どもの成長を促すことは、教育者・保育者の重要な役割の1つである。そのため、本学では IEP（個別教育計画：Individualized Education Program）に対応した教育を実施する。本学で展開する個別教育計画は、特別な支援を必要とする子ども、特別な支援が必要ではないが、母国語や貧困の問題等により、特別な教育的ニーズのある子どもたちや、通常の学級で学ぶ子どもを対象とする。子どもを「個」と「集団の中の個」の2つの視座から捉え、一人ひとりに最適な学びを提供するための知識や技能を身につけ、学生自身が子ども支援について考える科目として6科目を配置する。また、本学附属幼稚園で行っている IEP に基づく幼児教育の先進事例についても授業の中で取り扱う。

個別教育計画概論

個別の教育的ニーズに対応し、個性を生かす学びを考える。歴史的背景、意義、効果、学内外の実践例等を通じ、IEPの重要性について理解を深める。

個別教育計画作成演習

子どもの特性を理解するためのアセスメント、保護者の子どもへの願いの聴取、教育目標と個別教育計画の到達目標の設定、計画の実践と評価、振り返りを行い、演習を通じて学ぶ。

発達障害児への支援

発達障害の子どもが学校園での実際場面における困り感について理解し、特性に応じた具体的な支援方法、発達障害の子どもを含む学級経営や保育・学習指導を行うための実践力を身につける。

社会的スキルトレーニングの理論と実践

発達段階に応じたスキルトレーニング、発達障害のある人たちに必要と考えられるライフスキルの5領域（社会システム理解、対人関係調整、生活管理、自己理解、余暇活用）を理解し、子どもに必要な様々なスキルを育てる方法を考える。

スクールソーシャルワーク論

子どもたちの多様な教育的ニーズを把握し、子どもたちに必要となる資質・能力を育むために、多様な職種や組織との連携に基づいたチームの重要性や役割について理解を深める。

こども音楽療育論

教育・保育における音楽療育の基礎的内容と意義、音楽が人間に寄与する医学的（生理的）働き、臨床心理学的（心理的）働き、発達段階と音楽の関わり、対象児に適した音楽療育の形態について理解する。

3) 地域との連携を重視した教育

教育者・保育者は、常に人との繋がりの中で、適切な教育・支援を適切なタイミングで行い、成長を促すことが求められる。「学習者」を目の前にして、教育者・保育者としての使命感と情熱、道徳性、指導力だけでは解決できない事象も現場には存在する。そのような時、1人で課題解決に立ち向かうだけでなく、立場も経験も異なる人たちと協働しながら、「学習者」を良い方向へ導くことも1つの方法である。そのためには、学生段階から地域との関わりを持ち、様々な角度から地域と教育の繋がりを考える機会が必要といえる。本学では、教育者・保育者への意識づけや、教育・保育現場での観察や実践を通じ、自らの教育観・保育観を考えることができるよう、1年次から4年次まで継続して地域での学習を行うための科目を配置する。これら地域での活動は5科目で構成され、教育者・保育者となるための段階的な到達目標を明確にし、体系的に実践の場を学生に提供する。これにより、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、対人関係構築能力を構築する（資料9）。

ふれあい体験活動

連携協定を締結している加古川市を中心として、幼稚園・小学校・特別支援学校において授業観察や、学校生活の補助等を行う。子どもや教育者との触れ合いの中で、教育者としての意識を高め、4年間の学びの素地を形成する。

インターンシップⅠ・Ⅱ

加古川市を中心として、幼稚園、小学校で現場体験を行う。現場教員の指導のもと、学習指導・学級指導等を体験する。学校園の教育活動の運営に関すること、教員の職務等に触れ、子どもの成長や気づき、教育者として求められる観察する目を養う。

子育て支援地域活動Ⅰ・Ⅱ

本学の生涯学習機関であるエクステンション・カレッジと協働して、「こども大学」を開催する。就学前の子どもを対象に、地域子育て支援活動の実際を体験する。本科目は2年次と3年次に開講され、2年次生は3年次生の指導のもと、教材制作や環境構成を担当し「こども大学」の企画を行うことで、実践的知識や技術に繋がる素地を養う。

3年次生は、2年次での経験をもとに2年次生の教材制作や環境構成に関する支援を行うほか、保護者支援、地域資源の活用など、幅広い視野をもって地域子育て支援の在り方を考える力を養う。

【資料9 教育学部の地域活動教育】

4) 卒業後の進路や専門性を重視した少人数教育

本学は全学的に学生一人ひとりに対するきめ細やかな履修指導を行っており、本学部本学科においても、従来と同様に学生の卒業後の進路や専門性を重視した少人数教育を行う。本学部本学科では、1年次の「クラスゼミナールⅠ」から4年次の「卒業研究Ⅳ」まで、継続してゼミ形式での必修科目を配置しており、常に学生個々の状況等を把握しながら、丁寧な指導にあたる。

1年次及び2年次に開講する「クラスゼミナールⅠ～Ⅳ」は、入学後の大学での学びに必要な初年次教育を実施した後、本学部本学科所属の全ての教員が年度毎に担当し、学生は全ての教員から指導を受けることができる体制を取る。これにより、教育学、心理学、児童福祉学、教科教育学、情報工学など、教育学・保育学に関する内容をゼミ形式で学び、自身の興味・関心や専門とする領域を選択する。3年次及び4年次は、領域ごとに教育研究活動を行うための「卒業研究Ⅰ～Ⅳ」を開講し、学生は自身が選択した領域を専門とする教員のクラスに所属し、専門性を高めていく。各種実習においては、授業科目担当者だけでなく全教員が関わることとし、学生が「理論」と「実践」を繋げ自身の学びを発展させることができるよう指導、支援を行う。

また、本学の全学的な取組みとして、「学生面談システム」を導入している。学生面談システムでは、1年次は、入学時、前期修了時、後期修了時に年3回、2年次以上は各期修了時にゼミの担当教員と個人面談を実施する。面談では、どのような能力がどこまで伸びたか、さらに教育者・保育者としてどのようなことを高めていくか等

について、「学びのカルテ」（資料 10）を使用しながら、ゼミの担当教員と振り返りを行い、次期に向けて学生自身が目標を立て、履歴を蓄積する。その際、学生は学修面に関する相談だけでなく、学生生活での心配や困りごと、個人的な悩みや卒業後の進路等について教員に相談することができる体制を構築している。加えて、面談履歴や成績、課外活動等の履歴を IR 推進室が中心となって蓄積、閲覧が可能な本学独自のデータ蓄積、分析システム「HUsystem」を構築しており、面談時以外にも学生の状況等を把握することができる。これらの情報は教員だけでなく職員も閲覧することができ、教員と職員が情報を共有することで、個々の学生指導にあたる。

以上のように学修面、生活面での学生を指導、支援することで、常に学生の顔が見える教育を行うことは、「子どもたちの心に寄り添う」ことの大切さについて 4 年間で経験し、学生が卒業後、教育者・保育者として活躍する際のロールモデルともなると考える。

【資料10 兵大“学びのカルテ”】

5) 履修モデル

本学部本学科では、幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状、特別支援学校教諭一種免許状、保育士資格を取得することが可能となっている。本人の希望に合わせて、2 以上の免許・資格を取得することができる仕組みとなっているが、教育者・保育者を養成することを目的としていることから、幼稚園教諭一種免許状又は小学校教諭一種免許状のいずれかを取得することを卒業要件とする。想定する免許・資格を組み合わせ、〔表 4〕に基づき、履修モデルを作成している（資料 11）。

〔表 4〕 想定する免許・資格の組み合わせ

免許・資格
①幼稚園教諭一種免許状
②小学校教諭一種免許状
③幼稚園教諭一種免許状 + 保育士資格
④幼稚園教諭一種免許状 + 特別支援学校教諭一種免許状
⑤小学校教諭一種免許状 + 特別支援学校教諭一種免許状

①幼稚園教諭一種免許状

②小学校教諭一種免許状

卒業要件単位数である 124 単位で取得できる免許状、資格を中心に履修するモデルである。特定の免許の取得を目指し、課外活動、ボランティア活動、教員採用試験対策等を行うことができる。

③幼稚園教諭一種免許状＋保育士資格

133 単位を修得することで、幼児教育に関する免許・資格を取得する履修モデルである。卒業要件単位数を 9 単位上回るが、4 年間でバランスよく科目を配置し、課外活動、ボランティア活動、教員採用試験対策等を行うことが可能である。

④幼稚園教諭一種免許状＋特別支援学校教諭一種免許状

128 単位を修得することで、幼児教育及び特別支援に関する免許を取得する履修モデルである。卒業要件単位数を 4 単位上回るが、4 年間でバランスよく科目設定を行い、課外活動、ボランティア活動、教員採用試験対策等を行うことが可能である。

⑤小学校教諭一種免許状＋特別支援学校教諭一種免許状

136 単位を修得することで、初等教育及び特別支援に関する免許を取得する履修モデルである。卒業要件を 12 単位上回るが、計画的に科目履修を行うことで専門性や免許種間の関連性などの理解を深めながら、空き時間を活用して予習復習を行うことは十分に可能である。

【資料 11 教育学部教育学科履修モデル】

(3) 教員組織の変更内容

1) 教員組織編成の考え方

新たに設置する教育学部では、現場での実践経験を有し、豊富な経験に裏打ちされた論理的な見識を持つ教員で構成することを基本としている。本学部は、学位は学士（教育学）であり、分野は「教育・保育学関係」であることから、主として、教育学・保育学を専門とする教員により教員組織を編成する。

本学では、幼児教育人材の養成を約 70 年行っており、また中学校・高等学校、養護教諭についても教員養成の経験があり、実績として現役での正規採用者を出している。そのため、幼児教育領域においては、既に同一法人である兵庫大学短期大学部、既設学部である生涯福祉学部こども福祉学科に所属する教員を基本として教員組織を編成する。小学校教育、特別支援教育領域においては、これまでの経験がないことから、豊富な現場経験と実践力、教育力を有する教育者、研究者を配置する。

本学部の教育課程においては、教育上主要となる授業科目には、主として専任の教授又は准教授を配置している。加えて、3つのポリシーに基づき、本学の教育の特色である「GIGA スクール構想に対応した ICT 教育」、「個別の教育的ニーズに対応した教育」、「地域との連携を重視した教育」を展開する。子どもの成長を多面的、総合的に捉え、実践へと繋げる教育・研究を推進するために、教育学、心理学、児童福祉学、教科教育学、情報工学等の分野を専門とする教員組織を編成する。

2) 教員組織体制

本学部の専任教員は20人であり、豊富な現場経験と実践力、教育力を有する教員を配置しており、教授10人、准教授8人、講師2人により構成する。本学部は、小学校教諭、幼稚園教諭、特別支援学校教諭、保育士を養成することから、教員組織においても、教育研究上の目的を達成するための教員組織を編成する。教員組織を担当分野別に見ると、小学校の教科及び教科の指導法に関する科目の担当教員が5人、幼稚園の教科及び保育内容の指導法に関する科目及び児童福祉に関連する科目の担当教員が7人、教職専門科目の担当教員が4人、特別支援学校教育の担当教員が4人となっており、それぞれの領域にバランスよく教員を配置している。

3) 教員年齢構成

本学の専任教員年齢構成は〔表5〕のとおりである。

現場での実践経験を有し、豊富な経験に裏打ちされた論理的な見識を持つ教員により教員組織を編成することから、60代以上の教員の割合が比較的高いが、40代以下5人、50代以下6人で構成し、教育研究水準の維持向上や教育研究の活性化に支障がない構成となるよう配慮する。「兵庫大学等定年規則」第2条第2項による本学教員の定年は67歳であり、本学部が完成年度を迎える令和9(2027)年3月末には、同条第4項の規程により、3人が定年に達することになる(資料12)。

完成年度以降は学科の教育課程を適切に運営し、教育研究上の目的を継続して達成するため、完成年度を迎える以前より人事計画を検討することとし、教員確保にあたっては、保有学位、専門性、年齢、職位のバランス等に配慮した上で計画的に進める。

〔表5〕 専任教員年齢構成〔開設時〕

	40代以下	50代	60代以上	計
教授	1	1	8	10
准教授	3	5		8
講師	1		1	2
合計	5	6	9	20

【資料12 兵庫大学等定年規則】

4) 教員の担当科目と負担

本学部の教員は、本学部の教育課程を主として担当するが、教職科目を担当する教員は、既設学部における中学校・高等学校、養護教諭、栄養教諭に対応する教職科目を一部担当する。本学部の教職科目を専門とする教員は3人であるが、既設学部においても教職科目を専門とする教員がいるため、担当科目数や時間割制約の点から、担当コマ数の分散を図り、特定の教員の負担が過重とならないよう配慮する。

1年次、2年次の必修科目である「クラスゼミナールⅠ～Ⅳ」は各科目に4人から5人を配置し、年度毎の持ち回りで実施することにより、一人当たりの負担を軽減す

る。学生は、教育学、心理学、児童福祉学、教科教育学、情報工学等を専門とする教員より指導を受け、自身の興味関心から教育・研究課題となるテーマを絞り込んでいく。3年次、4年次の「卒業研究Ⅰ～Ⅳ」は全ての専任教員が担当する。

教育実習、保育実習及び事前事後指導については、授業科目担当者だけでなく、全教員で巡回指導を行うなどの支援を行い、特定の教員に過重負担とならないよう、配慮する。完成年度を迎える令和8（2026）年度における時間割配置は【資料13】のとおりである。全教員が研究日を1日確保するよう時間割を配置しており、教育と研究のバランスを考慮し、学部運営を行うことができるよう配慮する。

【資料13 教員の一週間の時間割表】

（生涯福祉学部社会福祉学科）

（1）教育課程の変更内容

生涯福祉学部は基本的人権及び社会正義の尊重を基礎とした社会福祉の理念と、ソーシャルワークの力量によって、人の生涯にわたる発達及び自らによる能力開発を支援できるとともに、個人と環境の相互作用による地域福祉の実現に貢献する社会福祉専門職の人材を養成することを目的とする。

社会福祉学科は、人間の福利を広く「人間一人ひとりの能力開発を支援すること」と捉え、国際的視野に立つとともに小都市および町村に焦点を当て、人々とその環境に働きかけることにより、家族や地域の福祉力を高めるソーシャルワーカーを養成することを目的とする。社会福祉の価値について理解することを土台として、社会福祉の知識や技術を科学的方法論と職業的倫理観をもって実践に用いることのできる専門的能力を涵養する。

このことを踏まえ、養成する人材の目的を達成するために、以下のとおりカリキュラム・ポリシーを定めている。

〔生涯福祉学部カリキュラム・ポリシー〕

人の生涯発達や各人が抱える課題に応じた支援を行うため、専門的な知識・技能および実践力を身につけ、地域社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。

1) 編成方針

- ・進路と関わる資格取得課程に応じて履修モデルを設定する。
- ・教育課程を共通教育科目と専門教育科目で構成する。
- ・専門教育科目は、学修段階により、基礎科目や発展科目等のカテゴリーに分類する。
- ・知識・技能とともに実践力を身につけることができるよう、講義、演習、実習を適切に組み合わせたカリキュラムとする。
- ・科目間の関連と履修順序がわかるように、カリキュラムツリーとナンバリングにより、カリキュラムの体系化と可視化を行う。

2) 編成方針

科目の特性や到達目標に応じて多様な教育方法を適切に組み合わせることにより、教員の意図的な指導のもとで学生の主体的な学習が効果的に行われるよう配慮する。

3) 評価方法

- ・シラバスに定めた到達目標と成績評価の基準に基づいて、適正かつ厳正に成績評価を行う。
- ・多様な指標を併用して多面的・総合的評価を行う。

[社会福祉学科カリキュラム・ポリシー]

学部ポリシーに基づき、社会福祉学科のディプロマ・ポリシーで示された3つの力を身につけるために、次の方針に沿ってカリキュラムを編成し、実施する。

1) 具体的教育目標

- ・対人援助職として基本的学習技術を習得し、ソーシャルワークの価値を理解し倫理を身につけるために、調べ、考え、議論をする学習態度を養う。
- ・「人」と「人を取り巻く社会」との関係及び文化を学び、ソーシャルワークの高い精神性を身につけるため、学際的な知識と技能を養う。
- ・人の生涯に関わり、社会の変革をめざすソーシャルワークの実践的専門家になるために、学際的な専門知識と技能を習得し、総合的に運用する力を養う。
- ・主に生活の場である地域において、社会や地域について体験的に学び、その一員として知識と技能を運用し行動する力を養う。
- ・福祉社会の一員たる市民として、また、ソーシャルワークの実践的専門家として、卒業後も自律的に学習を継続する力を養う。

2) 編成方針

- ・「人」と「人を取り巻く環境」の理解を中心とした専門基礎科目群を設定する。
- ・社会福祉士資格取得課程を土台として、精神保健福祉士資格取得課程、医療ソーシャルワーカー関連科目を中心としてソーシャルワーク共通科目群として設定する。
- ・福祉レクリエーション・ワーカー資格科目、生活支援技術、ケアマネジメント科目を中心として専門発展科目を設定する。
- ・社会福祉について学際的に学ぶとともに、ソーシャルワークの専門的な知識・技能を基礎から応用へと体系的に学べるよう編成する。
- ・学士課程を通して、学びの主体性を高め、学修成果を統合するため、1年次、2年次には基礎ゼミナールを配置し、専門基礎についての学びを徹底し、3年次の専門ゼミナール、4年次の卒業演習を設定することで、実践的臨床力を涵養する。

3) 教育方法

- ・「人」と「人を取り巻く環境」や社会福祉の基本的な考え方を理解するための講義型授業を行う。
- ・他者との意見交換により自らの考えを深め、相互に知識・技能を高め合うための少人数による課題発見型学習を行う。
- ・現場を観察し、課題を発見し、解析するために必要な技能を身につけるためのグループワークや体験型の課題解決型学習を行う。
- ・相談援助に関する理論と実践の統合を図る実習準備のためのロールプレイングや事例研究などの演習を行う。
- ・地域や多様な人々との交流など、学内外の多様な学習機会と資源(人材含む)を活用する。

4) 評価方法

- ・ディプロマ・ポリシーで定めた力をわかりやすく評価するため、取得科目とディプロマ・ポリシーの達成度を関連づけたルーブリックを活用する。
- ・「相談援助実習」では、事前に実習関連科目の履修単位と累積 GPA を用いた判定により、学修達成度を評価する。また明確になった学生の課題とその克服方法について、「相談援助実習指導」で学生と検討するとともに、実習事後指導での実習記録に基づく振り返りを学生と個別に行う。その後、最終的にまとめた実習報告書、実習指導者の評価を基に実習指導担当教員により総合的に評価する。

上記のカリキュラム・ポリシーを踏まえ、〔表6〕に示すとおり生涯福祉学部社会福祉学科の教育課程を編成する。

〔表6〕生涯福祉学部社会福祉学科の教育課程の科目区分

科目区分		科目数	単位数
共通教育科目	建学の精神、コミュニケーション、国際理解、歴史と文化、地域に学ぶ、現代社会を読み解く、自然と科学、くらしと健康、キャリアデザイン	48	92
専門教育科目	専門基礎科目	17	34
	ソーシャルワーク共通科目	29	77
	ソーシャルワーク基盤科目	26	56
	専門発展科目	14	30
合計		134	289

1) 共通教育科目

共通教育科目は、中央教育審議会答申「新しい時代における教養教育の在り方について」（平成14年）の趣旨を踏まえつつ、幅広い視野から物事を捉え、的確に判断し

行動できる力と豊かな人間性を備えた人材を養成すること、教養教育と専門教育の有機的連携の強化により、学士課程全体の教育の質の向上を目的としている。

本学では、共通教育科目として、「建学の精神」、「コミュニケーション」、「国際理解」、「歴史と文化」、「地域に学ぶ」、「現代社会を読み解く」、「自然と科学」、「くらしと健康」「キャリアデザイン」の9群を設定し、現代社会に求められるリテラシー、必要とされる幅広く深い教養と豊かな人間性、物事を総合的に判断できる思考力を土台として生涯に亘って深めることを目標とする。

本学では、教養を知識としてだけでなく、人間形成のプロセスと捉えている。科目区分「建学の精神」には5科目を設定しており、建学の精神である「和」を育む仏教主義に基づく大学として、「仏教」を中心としながら、宗教に多角的にアプローチすることによって、「価値」や「意味」といった計量化できない問題に取り組む力を養う。また、様々な学問分野との繋がりを理解し、社会生活を営む責任ある主体として他者との関わり、自分と世界との関わりなどを考え、自己形成を促す科目として設定する。

「コミュニケーション」では、表現することを主軸とし、大学での学びに必要な日本語、グローバル化への対応や現代社会に生きるための世界市民として必要な外国語、コミュニケーションツールとしての基本的な情報処理について学ぶ科目を設定する。特に情報科目では、情報に関するモラルやマナー、デザイン基礎力なども身につける。

「国際理解」では、仏教以外の宗教や国際情勢とその背景、多文化理解を通じ、世界市民としての国際感覚や社会背景を読み取る力を養う。また、様々な情報の中から、1つの事象に対し様々な見方があること、他者との違いを認め、尊重する心を身につける。

「歴史と文化」では、歴史的思考、文学作品を通じた多角的な目を養い、自分とは何か、自分を形作る文化や感覚がどのようなものに基づいているのかなど、物事の本質を考える科目を設定する。

「地域に学ぶ」では、本学が所在する加古川市を中心とした播磨地域の文化について学ぶ科目を6科目設定する。播磨地域の特性、建築、文化財、地域資料、将棋などを取り扱い、地域を扱うことにより、他地域との比較や文化交流、伝統などを理解し、我々の地域文化の基盤となるものや地域の見方、地域にどのように関わっていくのか等を考察する。

「現代社会を読み解く」では、現代社会を理解するための哲学、日本国憲法、人権、政治学、社会学、経済学等を取り扱う。市民活動、貧困問題、政治参加、教育問題など、様々な事柄が重なり合って、現代社会が成り立っていることを理解し、より良い社会の実現に向け、自己と他者の在り方、社会との関わりを学ぶ科目として7科目を配置する。

「自然と科学」では、生命倫理、心理学、化学、生物学、科学などを取り扱い、自然と関わりを持って生きていることを理解するための科目を6科目配置する。日常生活の中で当然のように存在する自然と私たちが無意識のうちに触れている科学について、その関わりを知り、物事の見方を学ぶ。

「くらしと健康」では、主に食、運動と健康に関わる内容を取り扱う。ライフステージに適した、健康的で健やかな生活を生涯に亘って維持するための基盤となる科目として4科目を配置する。

「キャリアデザイン」では、キャリア形成のための科目として3科目を配置する。社会で求められる「考える力」「話す力」「書く力」「聴く力」「マナー」など自身の振り返りや自己分析を行い、自身のキャリアについて考える。また、本学が構成する「経済」「栄養」「健康」「看護・医療」「福祉」「教育」を活用し、多職種連携の理論と応用、実践を学ぶ。

各科目群及び設定する科目は、教育目標を主眼とした内容を取り扱うが、その他の科目との関連性を踏まえ、学生に「気づき」を与え、様々なものの見方や多面的に物事を捉える力を養う。本学部では、開講する48科目のうち20単位以上を修得することとし、「宗教と人生」「日本語（読解と表現）」「英語」「コンピュータ演習」「日本国憲法」「健康・スポーツ科学Ⅰ（講義）」の6科目を卒業必修科目としている。

2) 専門教育科目

専門教育科目は、人への思いやりと、その人の気持ちに寄り添える「対人関係力」、幅広い学際的な知識を活用し、物事を見極める「課題解析力」、人々や社会に働きかけ、望ましい方向へと共に行動できる「課題解決力」を備えたソーシャルワーカーを養成するための科目編成とし、「専門基礎科目」、「ソーシャルワーク共通科目」、「ソーシャルワーク基盤科目」、「専門発展科目」の4群を設定し、必修科目21科目、選択科目65科目計86科目を開講する（資料14）。

【資料14 生涯福祉学部社会福祉学科の教育課程等の概要 別記様式第2号（その2の1）】

3) 専門教育科目の科目区分と科目の概要

①科目区分「専門基礎科目」

「専門基礎科目」はソーシャルワーカーとして必要となる基礎的科目を配置する。人間やそれを取り巻く環境、社会の在り方などを理解するために必要となる医学・心理学・社会学と社会システムに関する科目や、介護、法学・行政法等を配置する。また、初年次教育としての「基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」、ソーシャルワーカーとして必要な基礎的知識、学習態度や姿勢等を学ぶ「専門基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」を配置する。

②科目区分「ソーシャルワーク共通科目」

「ソーシャルワーク共通科目」では、主に社会福祉士に関する科目を配置する。社会福祉のサービスに関わる体系である社会福祉の原理と政策、社会保障、社会福祉調査の基礎を学ぶほか、高齢者、障害者、児童・家庭福祉の対象者への福祉や、貧困に対する支援、権利擁護等に関する科目を学んだ上で、保健医療と福祉、地域福祉と包

括的支援体制など、各対象者への福祉だけでなく、包括的視点から福祉を捉え、自身の福祉専門職像を深める科目を配置する。

実践的な科目として、ソーシャルワーク演習、ソーシャルワーク実習等を配置し、学んだ理論を実践で検討することができるよう、段階的に科目を配置している。

③科目区分「ソーシャルワーク基盤科目」

「ソーシャルワーク基盤科目」では、主として精神保健福祉士に関する科目を配置している。精神医学や精神医療、現代の精神保健の課題と支援、精神保健福祉の原理、メンタルヘルス・ソーシャルワークの理論、精神障害リハビリテーション、スクールソーシャルワークに関する科目を配置する。まず、講義により理論を理解し、演習により、対象者を踏まえたより実践的な学びを深め、学生間で検討したことを共有することにより、さらに理解を深めることができるよう科目を配置している。より実践的に学ぶため、学外での実習に臨む。

④科目区分「専門発展科目」

「専門発展科目」では、ソーシャルワーカーとしての幅をより広げるための科目を配置しており、福祉レクリエーション、生活支援技術、病気の理解、ケアマネジメント論、在宅ケア論を配置する。他者を見る目やその人にとって必要な支援の在り方などを検討、実践するためには、人の困りごとに「気づく力」が求められる。そのためには、1つではない課題に対し、様々な角度から本質的な課題を見つける必要があり、社会的包摂の観点や、人としての深みや寄り添う姿勢なども必要となる。これらのことを踏まえ、国際福祉や仏教と社会福祉に関連する科目を配置する。

(2) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

生涯福祉学部社会福祉学科では、設置時から一貫して以下の基本方針を掲げ、教育を展開しており、3年次編入学生に対しても同様に丁寧な教育を行う。特に3年次編入学生は、編入学前に学んだ知識・技術等も踏まえながら、学生個々に応じた適切な指導が求められる。そのため、3年次編入学生は、既に学んだ知識については、学生自身の申し出により、編入学前に修得した単位を既修得単位として認定する制度を設ける(資料15)。

【資料15 兵庫大学生涯福祉学部社会福祉学科3年次編入学生の既修得単位認定要領】

1) 学びの成果を上げる初年次教育

本学では、大学での学びを促進するために初年次教育を積極的に行っており、3年次編入生にも同様に実施する。この初年次教育は基本的に、高等学校から大学への円滑な移行を目的としているが、初年次教育で構築される繋がりは、学生と学生、学生と教員などのコミュニティとなる。学生と学生では、社会福祉学を起点とした課題等を共に学ぶことで、課題発見力やコミュニケーション力、傾聴力等の福祉専門職とし

て必要な基本的姿勢を学ぶ。また、生涯福祉学部社会福祉学科では福祉専門職として豊富な知識と経験を有する教員が在籍しており、学生のロールモデルとしての役割や、入学から卒業までのきめ細かな生活指導、履修指導、進路指導など、学修面、生活面から支援する。

2) 1年次から4年次の一貫した演習教育

生涯福祉学部社会福祉学科では演習教育を重視する。演習教育を通じて、福祉を実践するための基本となる「自己理解」「自己覚知」を促し、「対人関係」に関する洞察力を涵養する。社会福祉士国家試験受験資格に必要となる、厚生労働省指定の科目と本学部本学科指定の科目の組み合わせにより、ソーシャルワーカーが持つべき能力や資質を培うことができるよう〔表7〕のとおり科目を配置する。

〔表7 演習科目〕

		授業科目名	
		学科指定の演習	厚生労働省指定の演習
1年	前期	基礎ゼミナールⅠ (2単位)	
	後期	基礎ゼミナールⅡ (2単位)	
2年	前期	専門基礎ゼミナールⅠ (2単位)	
	後期	専門基礎ゼミナールⅡ (2単位)	ソーシャルワーク演習 (2単位)
3年	前期	専門ゼミナールⅠ (2単位)	ソーシャルワーク演習A (4単位)
	後期	専門ゼミナールⅡ (2単位)	ソーシャルワーク演習B (4単位)
4年	前期	卒業演習 (通年4単位)	メンタルヘルスソーシャルワーク演習A (2単位)
	後期		メンタルヘルスソーシャルワーク演習B (2単位)

学科指定の演習科目では、段階的に必要な能力を身につけることができるよう、以下のとおり演習を展開する。

・基礎ゼミナールⅠ

学ぶ空間であるキャンパスにできるだけ早く慣れ、大学の授業を受けるための基礎的学習スキルを身につけ、4年間の見通しをもって専門教育への準備ができるようになること、また、学生生活を自分自身で設計し管理できるようになることを目的としている。この演習は少人数で構成され、相互に交流をはかりながら、個々人の能力を開発し発揮できることをめざす。また、自己理解・他者理解を土台として、他者とながら協働することの意味を実践を通して考える。

・基礎ゼミナールⅡ

「支援を知る、資源を知る、人を知る」ために引き続き、「調べる・考える・報告する」スキルを中心として、情報を読みまとめる論理的思考力を身につける。また、社会に貢献する態度と倫理観を養い、地域や人々についての課題解析力の土台をつくる。夏季休暇には、地域の具体的な福祉課題について関心を高め、調査しまとめる。

また、自己理解・他者理解を土台として、他者とつながり協働すること、多様性を理解し共生することの意味を実践を通して考える。

・専門基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ

1年次の基礎ゼミや体験実習で身につけた社会人としての人間関係を構築するスキルを基盤として、専門的な知識の演習・意図的・目的的に人と関わる実体験・ボランティア体験を通して利用者理解へと専門領域を絞っていく。「相手の状況を把握する力」、「個別化」、「コミュニケーション力」、「アセスメント力」などの援助方法のソーシャルワークスキルを培い、援助の取り組みや支援方法についても学ぶ。

・専門ゼミナールⅠ

4年生での卒業論文執筆を目指し、教員の指導に従い、基本的な文献の読解や研究手法の学習などに取り組む。研究課題の設定、仮説作成のための文献読解、調査方法を考える基礎的な学びを行う。Ⅰ期はグローバルゼミとして、ドイツカトリック大学の学生と、双方の福祉課題とその検証、考察を英語で発表、ディスカッションを行う。発表準備を通じて、基本的な研究手法を理解する。

・専門ゼミナールⅡ

Ⅰ期に引き続き、ゼミ毎での学習と共に、卒業研究のため研究課題を定め、課題に沿って研究を行う。指導教員とも相談をしながら自分の関心事から課題を絞り、仮説を立て、実証するために必要な調査を行う。

・卒業演習

4年間の学修の集大成として、指導教員の指導を受けて卒業研究を行う。「ソーシャルワークは実践に基づいた専門職であり学問である」とのグローバル定義に従い、卒業論文を執筆する。具体的には、専門ゼミナールで決定した卒業研究のテーマに沿って、資料やデータを調査収集し、分析を行い、関連する論文・図書等を参考にして考察を深める。

3) 充実した実習及び実習指導

社会福祉士国家試験受験資格に必要な実習について、多くの実習時間及び実習指導を確保している(資料16)。1年次の「ソーシャルワーク実習Ⅰ」では、社会福祉士とソーシャルワーカーの役割、法的な位置づけ、実習における四者関係を利用者理解の視点から実習を行う。社会福祉の基本領域である児童福祉分野、障害福祉分野、高齢者・介護分野等で実習を行い、施設で生活する利用者理解を図る。2年次の「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」では、福祉サービス利用者の実際の姿を知り、福祉を実践する機関・施設・従事者の実践活動の視点で職種理解を学ぶ。3年次の「ソーシャルワーク実習Ⅲ」では、個別の相談援助に加えて、多機関の協働による包括的支援に必要な多職種連携、アウトリーチ、ネットワークング、社会資源の活用・調整・開発等について、具体的かつ実践的に理解し実践的な技術等を学ぶ。「社会福祉アド

「バンス実習」ではソーシャルワーク機能を発揮できる実践能力を高める。段階的な実習により、地域共生社会の実現に向けた複合化・複雑化した課題に対応できる知識・技術を身につける。

【資料 16 実習及び実習指導の流れ】

4) 履修モデル

生涯福祉学部社会福祉学科では、社会福祉士国家資格受験資格、精神保健福祉士国家試験受験資格、高等学校教諭一種免許状（福祉）、福祉レクリエーション・ワーカー、福祉住環境コーディネーター3級を取得することが可能であり、（資料 17）

のとおり履修モデルを作成している。3年次編入学においては、このうち、社会福祉士国家試験受験資格を取得することが可能である。

また、本学部本学科では、社会福祉士国家試験受験資格に必要な科目として「ソーシャルワーク実習Ⅱ・Ⅲ」を開講するが、当該科目の受講にあたっての履修要件や4年次の進級要件は4年次編入生にも適用する。

【資料 17 生涯福祉学部社会福祉学科の履修モデル】

（3）教員組織の変更内容

1) 教員組織編成の考え方

生涯福祉学部社会福祉学科では、現場での実践経験を有し、豊富な経験に裏打ちされた論理的な見識を持つ教員で構成することを基本としている。本学科の学位は学士（社会福祉学）であり、分野は「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」であり、福祉専門職を養成することから、主として、社会学・社会福祉学領域を専門とする教員により教員組織を編成している。

本学部の教育課程においては、教育上主要となる授業科目には、主として専任の教授又は准教授を配置している。加えて、3つのポリシーに基づき、教育の特色である「学びの成果を上げる初年次教育」、「1年次から4年次の一貫した演習教育」、「充実した実習及び実習指導」を展開する。また、福祉の領域を拡げ、専門性のみに捉われない福祉を取り巻く学際領域への理解や、学際的な知識や技術を統合して物事を検討することができるよう、社会学、社会福祉学、心理学、経済学、教育学、宗教学の分野を専門とする教員組織を編成する。

2) 教員組織体制

本学部の専任教員は12人であり、豊富な現場経験と実践力、教育力を有する教員を配置しており、教授7人、准教授4人、講師1人により構成する。本学科の入学定員は40人であり、新たに設置する3年次編入学は5人であり、学生数は170人と小規模であり、ST比は14.16人となりきめ細かな指導が可能である。

本学科は社会福祉士、精神保健福祉士を養成することから、教員組織においても、教育研究上の目的を達成するための教員組織を編成する。専任教員12人のうち、社会福

社士及び精神保健福祉士を保有する教員が1人、社会福祉士を保有する教員が2人、精神保健福祉士を保有する教員が2人おり、社会福祉と関連の深い地域政策、地域経済を専門とする教員1人、教育社会学を専門とする教員1人、心理学及び臨床心理学を専門とする教員2人、国際関係、国際政治を専門とする教員1人、宗教社会学を専門とする教員1人、AI・統計学を専門とする教員1人により構成する。

3) 教員年齢構成

本学の専任教員年齢構成は〔表8〕のとおりである。

現場での実践経験を有し、豊富な経験に裏打ちされた論理的な見識を持つ教員により教員組織を編成することから、60代5人、50代5人、40代以下2人で構成し、教育研究水準の維持向上や教育研究の活性化に支障がない構成となるよう配慮する。

「兵庫大学等定年規則」第2条第2項による本学教員の定年は67歳であり、本学部が完成年度を迎える令和7(2025)年3月末には、同条第4項の規程により、1人が定年に達することになる。

完成年度以降は学科の教育課程を適切に運営し、教育研究上の目的を継続して達成するため、完成年度を迎える以前より人事計画を検討することとし、教員確保にあたっては、保有学位、専門性、年齢、職位のバランス等に配慮した上で計画的に進める。

〔表8〕 専任教員年齢構成〔開設時〕

	40代以下	50代	60代以上	計
教 授	0	4	3	7
准 教 授	1	1	2	4
講 師	1			1
合 計	2	5	5	12

以上のことから、本学科の教員組織は社会福祉及びこれに関連する学際領域を専門とする教員を配置しており、年齢構成においても現場経験豊富な教員を中心としてバランスよく配置されている。またST比は14.16人であり、学生個々に合わせたきめ細かな指導が可能な組織となっており、3年次編入学を設定した場合でも同等の教員が担保されている。

(4) 大学全体の施設・設備の変更内容

校地は、93,279㎡で、JR東加古川駅より北1.2kmのところであり、寺田池(ため池)が隣接し、キャンパス全体の約30%が松林や芝生など多くの緑に囲まれたキャンパスである。キャンパスの中心にある芝生広場(881㎡)や所々に常設のベンチが設置され、学生の憩いの場として活用されている。駅に近く自然環境にも恵まれた落ち着いた雰囲気のあるキャンパスは、教育研究にふさわしい環境である。校地内には、講義室、演習室、実習・実験室が入った建物があり、教育学部は5号館、13号館を中心に使用する。生涯福祉学部社会福祉学科は、2号館、17号館を中心に使用する。5号館

には講義室のほか、図書館、ラーニングcommonsがあり、グループ学習や個人学習を行うことができる。5号館の向かいにある3号館の1階に教職センターを設置しており、教職に関する学習や公務員試験対策などを学修することができる。

運動施設としては、運動場(9,600㎡)、体育館(2,286㎡)、テニスコートは4面を備えている。本学が所在する加古川市は平成12(2000)年に「ウェルネス都市宣言」を行っており、スポーツ施設は15施設程度、無料スポーツ施設は10施設程度があり、行事の重複などの際に安価で借用することができる。また、学内にプールはないため、加古川市内の施設を借用する。

校舎は兵庫大学・兵庫大学短期大学の全体で31,059㎡あり、講義室、ゼミ室、コンピュータ室、図書館、健康管理センター等を整備している。各教室等については、大学院、大学の学部学科及び併設の兵庫大学短期大学部で共有している。大学全体で使用する施設は、講義室29室、演習室28室、実験実習室34室、情報処理学習施設4室があり、教育学部教育学科の設置、生涯福祉学部社会福祉学科の3年次編入学の設定にあっても、各教室の規模等を踏まえ、現行の教室数で教育運営に影響はない。教育学部教育学科が主として使用する施設、設備は、基礎となる学部である生涯福祉学部こども福祉学科が使用している施設、設備を引き継ぐ予定である。しかしながら、これまでの幼児教育・保育を主とした人材養成のための施設、設備のみでは十分とは言えないため、小学校教育及び特別支援教育を踏まえた施設整備を行う。

音楽教室は、ML教室が2室、ピアノ練習室が4室あり、同一設置者内の短期大学部と共用する。図画工作室は14号館にある造形室3室を使用する。家庭科室は4号館及び10号館の調理実習室を使用する。理科室は4号館及び10号館にある理科実験室を使用する。プレイルーム、行動観察室は既に13号館1階模擬教室に設置されており、カウンセリング室についても模擬教室の隣の研究室に設置されており、こども福祉学科が使用している教室を引き続き使用する。

ICT環境は情報処理学習室が4室あり、コンピュータを使用する演習科目等で使用する。さらに、本学ではキャンパス全体に無線LANを配しており、ICTを活用した授業を講義室や演習室で実施することができる。また教育学部の特色の1つとなるICT教育の推進を行うため、ICTによる教育展開を行うための実践的な模擬授業を3号館に2室準備する。

図書館は学内外の研究機関と情報ネットワークを介した学術情報を集積・活用するための中軸として機能し、短期大学部との共同施設である。5号館に設置され、総延べ床面積1,829㎡を有し、閲覧席数は270席を設けている。図書数は54,553冊、学術雑誌1,699種類、視聴覚資料6,005点を整備予定である(資料18)。

図書館に隣接し、5号館1階にラーニングcommonsを設置している。ラーニングcommonsには、可動式の机、椅子を設置しており、学生が自由にグループ学習等を行うことができる。図書館とラーニングcommonsは相互に行き来することができるようになっており、文献検索や情報収集、調査とグループワークが同一の空間で行うことができる。ホワイトボードやコンピュータ、電子黒板等のICT機器を設置しており、学生は自由に使用することができる。2階は閲覧室、書庫があり、他大学紀要閲覧ができるスペースや視聴覚コーナーを設置している。3階は収容人数10人~15人程度の

グループ学習室を設置する。グループでの学習、読書等に利用することができ、視聴覚資料を視聴できる設備を備えており、1回の利用で最大3時間まで利用することができる。

また、他大学図書館等とは、国立情報学研究所のILLを介して、オンラインで相互に文献複写、現物貸借を行っている。また、兵庫県大学図書館協議会や私立大学阪神地区図書館協議会の加盟館において、閲覧、文献複写、現物貸借も相互に協力体制を組んでいる。

以上のことから、教育学部教育学科の設置、生涯福祉学部社会福祉学科の3年次編入学の設定においては、一部新たな教室の設置や図書等の購入を行うものの、基本として、現行の大学の施設・設備を活用することで、設置前と同等以上の環境が確保できており、支障はない。

【資料 18 図書等リスト】

学則の変更の趣旨等を記載した書類（資料）

資料目次

資料1	「令和の日本型学校教育」の構築を目指して ～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）【概要】（抜粋）	p.2
資料2	加古川市、加古川商工会議所及び兵庫大学との連携協力に関する協定書	p.5
資料3	加古川市教育委員会・兵庫大学の協力覚書	p.6
資料4	兵庫大学「教育学部教育学科」の設置への期待について（加古川市教育委員会）	p.8
資料5	Vision 2024（第3次中期計画）（抜粋）	p.9
資料6	「地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協働の推進に関する検討会」（地域共生社会推進検討会）最終とりまとめ（概要）（抜粋）	p.27
資料7	教育学部教育学科の教育課程等の概要 別記様式第2号（その2の1）	p.30
資料8	GIGA スクール構想の実現へ（文部科学省リーフレット）（抜粋）	p.34
資料9	教育学部の地域活動教育	p.37
資料10	兵大“学びのカルテ”	p.38
資料11	教育学部教育学科履修モデル	p.40
資料12	兵庫大学等定年規則	p.45
資料13	教員の一週間の時間割表	p.47
資料14	生涯福祉学部社会福祉学科の教育課程等の概要 別記様式第2号（その2の1）	p.67
資料15	生涯福祉学部社会福祉学科3年次編入学生の既修得単位認定要領	p.70
資料16	実習及び実習指導の流れ	p.71
資料17	生涯福祉学部社会福祉学科の履修モデル	p.72
資料18	図書等リスト	p.73

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して

～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申)【概要】

令和3年1月26日
中央教育審議会

第I部 総論

1. 急激に変化する時代の中で育むべき資質・能力

- 社会の在り方が劇的に変わる「Society5.0時代」の到来
- 新型コロナウイルスの感染拡大など先行き不透明な「予測困難な時代」

新学習指導要領の着実な実施

ICTの活用

一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要

2. 日本型学校教育の成り立ちと成果、直面する課題と新たな動きについて

成果

- 学校が学習指導のみならず、生徒指導の面でも主要な役割を担い、児童生徒の状況を総合的に把握して教師が指導を行うことで、子供たちの知・徳・体を一体で育む「日本型学校教育」は、諸外国から高い評価
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、全国的に学校の臨時休業措置が取られたことにより再認識された学校の役割
①学習機会と学力の保障 ②全人的な発達・成長の保障 ③身体的、精神的な健康の保障（安全・安心につながることができる居場所・セーフティネット）

課題

子供たちの意欲・関心・学習習慣等や、高い意欲や能力をもった教師やそれを支える職員の力により成果を挙げる一方、変化する社会の中で以下の課題に直面

- 本来であれば家庭や地域でなすべきことまでが学校に委ねられることになり、結果として学校及び教師が担うべき業務の範囲が拡大され、その負担が増大
- 子供たちの多様化（特別支援教育を受ける児童生徒や外国人児童生徒等の増加、貧困、いじめの重大事態や不登校児童生徒数の増加等）
- 生徒の学習意欲の低下
- 教師の長時間勤務による疲弊や教員採用倍率の低下、教師不足の深刻化
- 学習場面におけるデジタルデバイスの使用が低調であるなど、加速度的に進展する情報化への対応の遅れ
- 少子高齢化、人口減少による学校教育の維持とその質の保証に向けた取組の必要性
- 新型コロナウイルス感染症の感染防止策と学校教育活動の両立、今後起こり得る新たな感染症への備えとしての教室環境や指導体制等の整備

教育振興基本計画の理念
(自立・協働・創造)の継承

学校における
働き方改革の推進

GIGAスクール構想の
実現

新学習指導要領の
着実な実施

必要な改革を躊躇なく進めることで、従来の日本型学校教育を発展させ、「令和の日本型学校教育」を実現

3. 2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿

①個別最適な学び（「個に応じた指導」（指導の個別化と学習の個性化）を学習者の視点から整理した概念）

- ◆ 新学習指導要領では、「個に応じた指導」を一層重視し、指導方法や指導体制の工夫改善により、「個に応じた指導」の充実を図るとともに、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整えることが示されており、これらを適切に活用した学習活動の充実を図ることが必要
- ◆ GIGAスクール構想の実現による新たなICT環境の活用、少人数によるきめ細かな指導体制の整備を進め、「個に応じた指導」を充実していくことが重要
- ◆ その際、「主体的・対話的で深い学び」を実現し、学びの動機付けや幅広い資質・能力の育成に向けた効果的な取組を展開し、個々の家庭の経済事情等に左右されることなく、子供たちに必要な力を育む

指導の個別化

- 基礎的・基本的な知識・技能等を確実に習得させ、思考力・判断力・表現力等や、自ら学習を調整しながら粘り強く学習に取り組む態度等を育成するため、
・支援が必要な子供により重点的な指導を行うことなど効果的な指導を実現
・特性や学習進度等に応じ、指導方法・教材等の柔軟な提供・設定を行う

学習の個性化

- 基礎的・基本的な知識・技能等や情報活用能力等の学習の基盤となる資質・能力等を土台として、子供の興味・関心等に応じ、一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することで、子供自身が学習が最適となるよう調整する

- ◆ 「個別最適な学び」が進められるよう、これまで以上に子供の成長やつまづき、悩みなどの理解に努め、個々の興味・関心・意欲等を踏まえてきめ細かく指導・支援することや、子供が自らの学習の状況を把握し、主体的に学習を調整することができるよう促していくことが求められる
- ◆ その際、ICTの活用により、学習履歴（スタディ・ログ）や生徒指導上のデータ、健康診断情報等を利活用することや、教師の負担を軽減することが重要

それぞれの学びを一体的に充実し 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる

②協働的な学び

- ◆ 「個別最適な学び」が「孤立した学び」に陥らないよう、探究的な学習や体験活動等を通じ、子供同士で、あるいは多様な他者と協働しながら、他者を価値ある存在として尊重し、様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるよう、必要な資質・能力を育成する「協働的な学び」を充実することも重要
- ◆ 集団の中で個が埋没してしまうことのないよう、一人一人のよい点や可能性を生かすことで、異なる考え方が組み合わせり、よりよい学びを生み出す
- 知・徳・体を一体的に育むためには、教師と子供、子供同士の関わり合い、自分の感覚や行為を通して理解する実習・実験、地域社会での体験活動など、様々な場面でリアルな体験を通して学ぶことの重要性が、AI技術が高度に発達するSociety5.0時代にこそ一層高まる
- 同一学年・学級はもとより、異学年間の学びや、ICTの活用による空間的・時間的制約を超えた他の学校の子供等との学び合いも大切

子供の学び

幼児教育

- 小学校との円滑な接続、質の評価を通じたPDCAサイクルの構築等により、質の高い教育を提供
- 身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で達成感を味わいながら、全ての幼児が健やかに育つことができる

高等学校教育

- 社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力や、社会の形成に主体的に参画するための資質・能力が育まれる
- 地方公共団体、企業、高等教育機関、国際機関、NPO等の多様な関係機関との連携・協働による地域・社会の課題解決に向けた学び
- 多様な生徒一人一人に応じた探究的な学びや、STEAM教育など実社会での課題解決に生かしていくための教科等横断的な学び

教職員の姿

- 学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて学び続け、子供一人一人の学びを最大限に引き出し、主体的な学びを支援する伴走者としての役割を果たしている
- 多様な人材の確保や教師の資質・能力の向上により質の高い教職員集団が実現し、多様なスタッフ等とチームとなり、校長のリーダーシップの下、家庭や地域と連携しつつ学校が運営されている
- 働き方改革の実現や教職の魅力発信、新時代の学びを支える環境整備により教師が創造的で魅力ある仕事であることが再認識され、志望者が増加し、教師自身も志気を高め、誇りを持って働くことができている

子供の学びや教職員を支える環境

- 小中高における1人1台端末環境の実現、デジタル教科書等の先端技術や教育データを活用できる環境の整備等による指導・支援の充実、校務の効率化、教育政策の改善・充実等
- ICTの活用環境と少人数によるきめ細かな指導体制の整備、学校施設の整備等による新しい時代の学びを支える学校教育の環境整備
- 小中連携、学校施設の複合化・共用化等の促進を通じた魅力的な教育環境の実現

義務教育

- 新たなICT環境や先端技術の活用等による学習の基盤となる資質・能力の確実な育成、多様な児童生徒一人一人の興味・関心等に応じ意欲を高めやりたいことを深められる学びの提供
- 学校ならではの児童生徒同士の学び合い、多様な他者と協働した探究的な学びなどを通じ、地域の構成員の一人や主権者としての意識を育成
- 生活や学びにわたる課題(虐待等)の早期発見等による安全・安心な学び

特別支援教育

- 全ての教育段階において、インクルーシブ教育システムの理念を構築することを旨として行われ、全ての子供たちが適切な教育を受けられる環境整備
- 障害のある子供とない子供が可能な限りともに教育を受けられる条件整備
- 障害のある子供の自立と社会参加を見据え、通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校といった連続性のある多様な学びの場の一層の充実・整備

加古川市、加古川商工会議所及び兵庫大学との連携協力に関する協定書

加古川市（以下「市」という。）、加古川商工会議所（以下「会議所」という。）及び兵庫大学（兵庫大学短期大学部を含む。以下「大学」という。）は、今後、具体の連携協力を推進するにあたり、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 この協定は、市、会議所及び大学が包括的な連携のもと、まちづくりの各分野で協力し、地域の発展と人材の育成に寄与することを目的とする。

（連携協力事項）

第2条 市、会議所及び大学は、次の事項について連携協力する。

- (1) 人的・知的資源の交流
- (2) 協働による調査研究及び事業の実施
- (3) 市、会議所又は大学の主催事業に対する相互の協力・支援
- (4) その他3者が協議して必要と認める事項

（連携協議会）

第3条 前条に掲げる事項の円滑な推進を図るため、連携協議会を設置するものとする。

（期間）

第4条 この協定書の有効期間は、協定締結の日から1年間とする。但し、この協定書の有効期間満了の1ヶ月前までに、市、会議所又は大学のいずれからも改廃の申し入れがないときは、さらに1年間更新するものとし、その後も同様とする。

（その他）

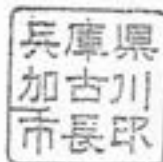
第5条 この協定書に定めるもののほか、連携協力の具体の取組事項等については、市、会議所及び大学が協議して別に定める。

この協定の証として、本書を3通作成し、署名押印して、それぞれその1通を保有するものとする。

平成18年3月1日

加古川市長

橋本 庄



加古川商工会議所会頭

河川 隆雄



(立会人)

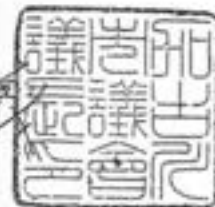
兵庫大学学長

大村 晃



加古川市議会議長

村上 孝



加古川市教育委員会・兵庫大学の協力覚書

加古川市教育委員会（以下「甲」という）と、兵庫大学（以下「乙」という）が、加古川市・加古川商工会議所・兵庫大学の産官学連携協定に基づき、協力して加古川市域の市立学校において実施する地域と教育に関する事業（以下「本事業」という）に関し、次のとおり覚書を交換する。

（目的）

第1条 甲及び乙は、甲の指定する市立学校（以下「当該校」という）における本事業を協力して遂行するとともに、本事業の成果となる知見等をそれぞれにおいて用いることを目的とする。

（内容）

第2条 甲及び乙の行う本事業の内容は次に掲げる通りである。

- ア 当該校とその学校区における諸課題について専門知識等を用いて解決のために行われる事業。
- イ 当該校とその学校区において専門知識等を用いて行われる調査・研究事業。

（本事業の実施場所及び実施期間）

第3条 本事業の実施場所は、当該校とその学校区とする。

- 2 本事業の実施期間は覚書締結後から平成24年3月31日までとする。
- 3 本事業の実施期間を変更する場合は、甲及び乙の双方の合意の上、これを決定する。

（役割及び責任の分担と協議の場の設置）

第4条 甲及び乙は、次に掲げる役割を分担し、それぞれの責任で行うものとする。

（1）甲の役割

- ア 当該校を決定しその長に対する本事業に関する指導と監督
- イ 当該校とその学校区における諸課題の抽出
- ウ 当該校とその学校区における諸課題の解決のために必要な労働の提供
- エ 当該校とその学校区における諸課題の解決のために必要な制度的枠組みの提供
- オ その他、本事業の遂行に必要な業務

（2）乙の役割

- ア 当該校とその学校区における諸課題の解決のための専門的知識及び技術の提供
- イ 当該校とその学校区における諸課題の解決のために必要な労働の提供
- ウ 当該校とその学校区における調査及び研究
- エ その他、本事業の遂行に必要な業務

2 甲及び乙は、それぞれの役割において本事業を実施するにあたり必要な事項について協議に係る機関（以下、「運営委員会」という）を設置するものとする。

3 運営委員会に参加する人員については、甲及び乙がそれぞれ指名し、その人数については甲乙の合意に基づく。

4 運営委員会の運営上要する経費については、甲乙協議の上決定する。

(諸経費)

第5条 乙は、前条第4項に定める経費を除き、本事業の運営上に係る諸経費を負担する。ただし、別途甲の承認を得たものについては、この限りではない。

(機密保持)

第6条 甲及び乙は、業務遂行上知り得た機密については第三者に漏洩せず、本委託期間終了後も同様とする。

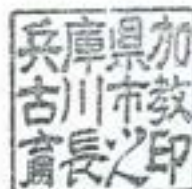
(協議事項)

第7条 この覚書の解釈に疑義を生じた場合及びこの覚書に定めのない事項については、その都度甲乙で協議するものとする。

上記覚書締結の証として本覚書2通を作成し、甲乙記名押印のうえ、おのおの1通を保有する。

平成23年 9月 1日

甲 加古川市教育委員会
教育長 山本



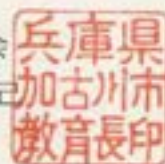
乙 兵庫大学・兵庫大学短期大学部
学長 三浦 隆 貞



加教総第 19860 号
令和 4 年 2 月 15 日

兵庫 大 学
学長 河野 真 様

加古川市教育委員会
教育長 小南 克己



兵庫大学「教育学部教育学科」の設置への期待について

急激に変化する時代の中で、一人ひとりの児童生徒が自分のよさや可能性を認識するとともにあらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようその資質・能力を育成することが、今わが国の学校教育に求められています。

こうした中、貴学が設置を計画されている教育学部教育学科は、これまで積み重ねてこられた幼稚園教諭、保育士養成に加え、子ども一人一人に寄り添える次代の教育者を育てるための小学校教員養成課程、特別支援学校教諭養成課程で構成されており、文部科学省が目指す「令和の日本型学校教育」に沿った学部学科であると考えます。

そのようなことにおいて貴学の教育学部教育学科は、本市設置の幼稚園、小学校、特別支援学校で活躍する次代の教育者育成に大きく貢献いただけるものと考え、設置されることを要望し、強く期待いたします。

【貴学の教育学部教育学科に期待すること】

- ・こどもの多様性を尊重し、一人ひとりの発達に合わせた教育を行う力をもつ教員の養成
- ・教育現場におけるICT活用などの先進的な教育スキルをもつ教員の養成
- ・地域との幅広い連携により、地域の課題を共に解決し、教育環境を改善する力をもつ教員の養成



ありがとうの
プロフェッショナルへ。

Vision 2024（第3次中期計画）
〔2020～2024〕

はじめに

平成22（2010）年に第1次中期計画「Vision 2014」が開始されて以来、本学の中期計画は10年を迎えました。

その間、大学を取り巻く環境をはじめ、世界は大きく変化しており、その変化のスピードは今後ますます加速していくことが予測されています。

少子高齢化や高度情報化、グローバル化、Society5.0やSDGsなど、これからの社会に対応していくために、大学自身の努力による不断の改革が不可欠となっています。

本学の中期計画は平成22（2010）年の第一次中期計画に始まり、令和2（2020）年度より三期目となるVision 2024（第3次中期計画）が開始されました。

Vision 2024（第3次中期計画）では、これまでの取組みは、なお生かしつつ、大学教育改革の要である「**教育の質保証**」と、これを進めるための「**教学改革**」に重点的に取り組めます。

IRの強化充実を通して、教育内容の質を高め、学修成果を可視化させること等を通じて教学マネジメント体制を確立させ、学部等の改組改編や留学制度の本格的導入など、学生の主体的学びを加速化します。

わたしたちの教育への思い、人材育成の方針は、「ありがとうのプロフェッショナルへ。」に込められています。

Vision 2024（第3次中期計画）は、これを実質化する営みでもあります。そして、「ありがとうのプロフェッショナル」を育成するためにも、大学の水準を高め、体質を強化することが必要です。

「教育」、「研究」、「社会貢献」、「ガバナンス」など、全てがバランスよく機能しながらも、特に「教育の質」を追求します。

真に有為な人材を輩出する高等教育機関として、在学生、卒業生にとって本学を誇れることができるような大学づくりを進める5カ年でありたいと思います。

令和2年2月26日

兵庫大学・兵庫大学短期大学部
学長 河野 真

養成する人材

豊かな人間性と高度な専門知識を備え、地域社会に貢献できる人材

人間力

自己を見つめ、他者を理解し、感謝の心を持って共に生きる力

応用力

思考力

知識や技能を発展的に生かすための創造性や論理的思考力

実践力

身に付けた知識や技能を実践的に活用し更新する力

わたしたちが育てる人材は「豊かな人間性と高度な専門知識を備え、地域社会に貢献できる人材」です。そのため身に付ける力を「人間力」と「応用力」と定め、この力を身に付けた学生を社会に輩出します。

わたしたちが育てたいのは、

心の優しい、人の痛みが分かる人材

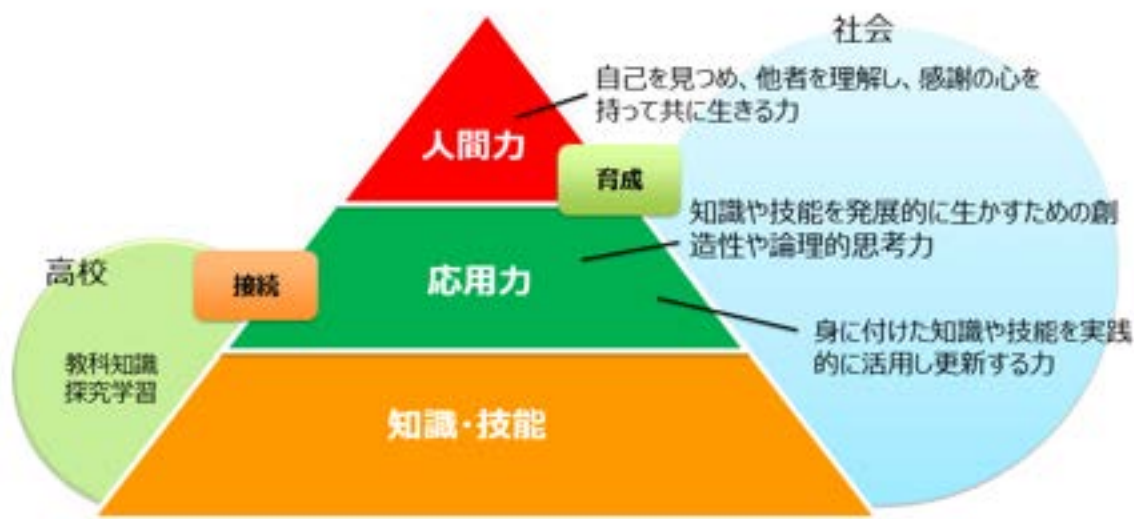
優しさの中にも芯を持つ、強さだけではなくしなやかさを持った人材

めまぐるしく変化する社会にあって、大学までに学んだ内容で満足することなく、一生涯学び続ける姿勢をもち、さまざまなことにチャレンジできる人材 です。

わたしたちが目指す教育は、知識・技能に裏付けられた確かな応用力と、物事に真剣に向き合う姿勢や、優しい心などの人間力、これらの力を身に付け、「ありがとうのプロフェッショナル」を育成すること。

知識・技能は当然ですが、それを活用し、発展させる「思考力」、さらに自己を見つめ、他者を理解し、感謝の心を持って共に生きる「人間力」を身に付けることが、本学の特長といえます。

そして、これらの力は大学や短大の学びで完結するものではなく、一生涯学んでいくための土台をしっかりと卒業までに身に付けさせます。



建学の精神



建学の精神は聖徳太子の十七条憲法に示された「和」の精神です。

「聖徳太子の御徳を慕い、その十七条憲法に示された「和」を根本の精神として仰ぎ、仏教主義に基づく情操教育を行い、有為の人材を養成する」ことです。

※「和」…学園創設者 河野巖想 書「以和為貴 篤敬三寶」から引用

教育に込める思い

ありがとうのプロフェッショナルへ。

「ありがとう」に

あふれる人生を送ってほしい、

それが私たちの願いです。

あらゆることに感謝の念を抱きながら、

仕事をさせていただくこと。

他者にこころを寄せ、

おたがいに認め合い大切にしようこと。

そして、他者とおたがいに譲りあい、助けあうこと。

すると、やがてあなた自身が

「ありがとう」という感謝の言葉を

いただくことができる専門家となります。

それこそが、私たちが目標とする

“ありがとうのプロフェッショナル”なのです。

私たちはあなたの一生を支える力を育みます。

生きる力に変わる学びを、あなたに。

5年後の大学像

「ありがとう」をつむぐ大学

～本学で学ぶ全ての人が学びを実感できる大学へ～

わたしたちの使命をこの社会にあって実現するためには、どうすればよいでしょうか。

わたしたちは行動指針として、学園訓である「感謝（生かされる心）、寛容（信じあう心）、互譲（助け合う心）」を掲げ、本学に関わる全ての方が心豊かな生活を営むことを願っています。

学園訓が示す言葉、わたしたちが大切にしている言葉「ありがとう」。ここには他者を思いやり、誰かのために心を尽くす思いが込められています。

「ありがとう」を大切にすると豊かな人生を送ってほしい、人材育成の大きな柱を実現することを「つむぐ」という言葉で表しました。「つむぐ（紡ぐ）」には、引き出して「つなげる」＝「結びつける」という意味があります。

人生100年時代、グローバル化と情報技術の進歩が著しい中において、予測されることは社会の多様化です。多様な生き方、人々、価値観が拡大し、時にぶつかり合い、痛みを伴うこともあるでしょう。多様化する人々の価値観や新たな生き方を引きだし、つなげること、「つむぐ」ことが社会を豊かにする鍵になると考えます。

「人」と「人」をつむぐ。

「大学」と「地域」をつむぐ。

「学問」や「実践」から生まれる「知」をつむぐ（知の創造）。

「実践力」と「ありがとう」から「プロフェッショナル」をつむぐ。

「人間力」と「応用力」で「ありがとう」をつむぐ。

そして、さまざまなものが紡がれることで、学生自身が自分の学びや得た力を実感することができ、経験や身に付けた力が、その後の人生の糧となっていく、そのような学びと成果を提供できる大学を目指します。

わたしたちは、「ありがとう」を大切にしながら、さまざまものを「つなぎ」、そして広げていくことで将来にわたって求められる大学であり続けます。

Vison 2024（第3次中期計画）

中期計画 基本骨子

建学の精神の浸透

I 建学の精神の浸透と実践

教育の質の向上

II 建学の精神に基づく人材の育成

III 教育の質保証改革の推進

IV 研究水準及び研究成果の向上

V 高大接続の強化

運営基盤の強化

VI ブランド力の強化

VII 地域社会との連携強化

VIII 経営・ガバナンスの強化

建学の精神の浸透

【わたしたちが目指すもの】

学園創立100周年に向けて、単なる原点回帰ではなく、建学の精神である「和」に基づき設置された本学を持続的に発展させるために、教育の質の向上（人材育成）と経営基盤の強化にあって、建学の精神を再確認する必要があります。

創設者の信念や思いだけでなく、創設時の歴史的背景や地理条件が折り重なり、つむぎだされた**建学の精神を深く理解し、胸に刻み**、継続的に発展します。

【基本骨子と戦略目標】

I 建学の精神の浸透と実践

I - 1 : 建学の精神の理解

建学の精神の浸透

【基本的な考え方】

I 建学の精神の浸透と実践

I - 1 : 建学の精神の理解

■ 建学の精神を見つめ直す

兵庫大学・兵庫大学短期大学部の根幹をなすものは、建学の精神である「和」です。教育や研究をはじめとする大学の営み、その全てにおいて建学の精神が通底し、自然と「和」が浸透することをめざします。

そのためには、創設当時の建学の精神への思いを、全教職員が正しくふり返し、理解することが必要です。ただし、このことは単なる原点回帰ではないのです。正しく「知る」こと、「理解する」ことに加え、現代に生きるわたしたちの活動にいかに関与させていくのかを全員で考え、実践します。

また、「和」を具現化するための学園訓「感謝」、「寛容」、「互譲」はわたしたちの行動規範です。兵庫大学・兵庫大学短期大学部に関わる全ての方と「和」を共有していきます。



教育の質の向上

【わたしたちが目指すもの】

知識偏重型の学習ではなく、「**何ができるようになるか**」（知識活用型）の学習を重視します。一人ひとりの可能性を引き出し、いかなる急激な社会の変化にあっても、「人間力」と「応用力」を最大限に発揮し、時代に対応できる人材を育成します。

【基本骨子と戦略目標】

Ⅱ 建学の精神に基づく人材の育成

- Ⅱ－１：建学の精神の学生への浸透と教育課程の再構築
- Ⅱ－２：「ありがとうのプロフェッショナル」の育成

Ⅲ 教育の質保証改革の推進

- Ⅲ－１：教学マネジメントの確立
- Ⅲ－２：時代のニーズに応じた学部等の改組・編成
- Ⅲ－３：教育・学生支援環境の整備・充実
- Ⅲ－４：グローバル化・ダイバーシティの推進

Ⅳ 研究水準及び研究成果の向上

- Ⅳ－１：研究生産性の向上
- Ⅳ－２：地域ニーズ対応型研究の推進
- Ⅳ－３：「知」の集積拠点としての研究基盤の形成

Ⅴ 高大接続の強化

- Ⅴ－１：附属校・園との連携強化
- Ⅴ－２：高等学校との連携強化

教育の質の向上

【基本的な考え方】

Ⅱ 建学の精神に基づく人材の育成

- Ⅱ－１：建学の精神の浸透と教育課程の再構築
- Ⅱ－２：「ありがとうのプロフェッショナル」の育成

■ 建学の精神に基づく人材育成を見つめ直す

教育や研究、大学運営、人と接すること。

そのためには、創設当時の建学の精神への思いを、教職員が正しくふり返し、理解し、それぞれの組織においてどうあるべきか、をきちんと考えることが必要と考えます。

100年ほど前、戦間期にあって漠然たる不安が頭をもたげた時代、財界人の別荘地が隣接する格差の見える須磨という地であればこそ、「和」は大きな意味を持ちました。このことは現代においても問われ点ではないでしょうか。

本学に関わる全ての方と「和」を共有していきます。



Ⅲ 教育の質保証改革の推進

- Ⅲ－１：教学マネジメントの確立
- Ⅲ－２：時代のニーズに応じた学部等の改組・編成
- Ⅲ－３：教育・学生支援環境の整備・充実
- Ⅲ－４：グローバル化・ダイバーシティの推進

■教育の質を保証することの意義

日本の教育は今、大きく変化しようとしています。社会の仕組みや価値観が変容する中で、高等教育機関として、「どのような力を持った人材を育成するのか」は極めて重要な課題です。

わたしたちは、知識や技術の習得だけでなく、身に付けた力を最大限に発揮し、課題解決を図ることのできる知識活用型の学習をより重視していきます。

そのために、教学マネジメントを強化します。

教学マネジメントとは、3つのポリシーが継ぎ目なく展開され、適切な教育を行うことができるよう内部質保証や学修成果の可視化がなされること等を意味します。教学マネジメントは広範な教育運営を範疇に収め、明確な教育目標の設定とそれに合わせた教育課程の編成、教育改善を支援する体制、教育環境の拡充に至るまで、すべてがバランスよく成立してこそ、教育改善のPDCAへと繋げることができます。

また、多様な学修履歴をもつ学生に対し、適切な教育を行うためには、教学IRは不可欠です。これからの社会に求められる力を学生一人ひとりが身に付けるため、学生生活においてさまざまな学習や体験ができ得るよう、教育プログラムの開発を行います。

「人間力」と「応用力」を含め、学生の学びの成果を可視化し、全ての学生が豊かな人生を歩むための教育を展開し、「ありがとうのプロフェッショナル」を育成します。

IV 研究水準及び研究成果の向上

IV-1 : 研究生産性の向上

IV-2 : 地域ニーズ対応型研究の推進

IV-3 : 「知」の集積拠点としての研究基盤の形成

■ 地域志向・教育型大学として研究水準の向上を目指す

学術研究は高等教育機関に課された重要な使命の1つです。

研究活動は、個々の研究者の自由な発想と旺盛な好奇心に基づき行われるものであり、それにより未知の分野を開き、未来社会のあり方を変え得るものです。これらの社会の発展の基盤となるような独創的な研究成果は、研究者の不断の努力によって生み出されてきました。

そして、教員は教育者であり、研究者であることの基盤をなすのが研究です。

研究成果に裏打ちされた教育は、学生に学問への興味と探究心を与えることができます。面白い授業には、さまざまな知識や実践力を複合的、多角的に捉え、そこから集積された学問としての奥深さが醸しだされています。

また、研究は社会に還元されるものであり、経済発展や社会的問題の解決にも寄与することが重要であり、とりわけ本学が、「地域志向の大学」であろうとするならば、地域社会の課題解決に貢献していかなければなりません。

研究活動の活性化を図ると同時に、「知の集積拠点」としての役割を果たしていきます。



教育の質の向上

V 高大接続の強化

V-1 : 附属校・園との連携強化

V-2 : 高等学校との連携強化

■ 教育を基盤とする高大接続

高校と大学の接続教育は、大きな転換期を迎えています。

そして同時に、小学校、中学校、高校では、これからの社会を支える人材を育成するために、AIの活用や英語教育の早期導入化、PBL学習など、さまざまな教育が展開され、そこで学んだ人たちが大学に入学します。

これまでに学んだ学習をさらに多面的・複合的に捉え、生徒の持つ力を最大限に伸ばしていくこと、また生徒の志望と大学教育のミスマッチを防止することこそが、高大接続を行う重要な意義であると考えます。

学問の面白さや奥深さを提供し、生徒たちの力を伸ばし、自ら主体性を持って探究できる人材を育成するために、わたしたちは、高校との接続を通じて、教育の本質を共に考え、そして、わたしたちの教育方針に合った学生を確保していくことに力を入れます。

そして、附属園や附属校との連携を通じて、相互に良き教育環境を提供し合い、新たな教育プログラムの開発を行うなど、大学と附属校園ならではの教育を展開し、学校法人睦学園としての特色化を図ります。



運営基盤の強化

【わたしたちが目指すもの】

ステークホルダーに対し、信頼度の高い大学となります。

「ありがとう」をつむぐ大学としてのブランドを確立するとともに、地域社会を重要なステークホルダーとして、そのニーズに応え、また高等教育機関としての役割を自覚し、基盤となる経営や組織を強化します。

【基本骨子と戦略目標】

VI ブランド力の強化

- VI-1 : 収容定員の充足
- VI-2 : USR（大学の社会的責任）活動による信頼の確保
- VI-3 : SDGsの推進
- VI-4 : ステークホルダーとの信頼関係の醸成

VII 地域社会との連携強化

- VII-1 : 社会的ニーズに対応したリカレント教育の提供
- VII-2 : 連携協定先とのさらなる連携強化
- VII-3 : 地域との連携による教育・研究支援

VIII 経営・ガバナンスの強化

- VIII-1 : 機動的な意思決定を可能とする組織体制の確立
- VIII-2 : 内部質保証の確立
- VIII-3 : 財政基盤の強化

運営基盤の強化

【基本的な考え方】

VI ブランド力の強化

VI-1 : 収容定員の充足

VI-2 : USR (大学の社会的責任) 活動による信頼の確保

VI-3 : SDGsの推進

VI-4 : ステークホルダーとの信頼関係の醸成

■ 本学のブランドを問う

大学のブランドは、「建学の精神を受け継ぐ伝統」、「大学の雰囲気」、「社会からの評価」など、さまざまなものが合わさりイメージ化されたものです。

兵庫大学・兵庫大学短期大学部の高等教育機関としての高い価値が理解され、受験者や保護者を含むステークホルダーから信頼を得てこそ、ブランドははじめて意味を持ちます。

その中でも特に、わたしたちがこれまで培ってきた、「教育への取組み」はとりわけブランド力の強化に大きな影響を与えます。SDGsなどの取組みにおいては、わたしたちのこれまでの活動を整理することで大学のブランドそのものをデザインし、本学の価値を高めていく可能性を持っています。

また近年は、USR (University Social Responsibility : 大学の社会的責任) も注目されています。高等教育機関としてのビジョン、教育研究活動の展開やその特色、研究成果の可視化、財務情報や安全配慮などの情報を適切に発信し、大学の信頼を獲得します。

建学の精神「和」を踏まえた、「ありがとう」をつむぐ大学をめざし、「ありがとうのプロフェッショナル」を育成、社会に輩出し、その豊かさを築くこと、そしてこれを公正に発信してステークホルダーとの信頼を確保することにより、ブランド力を強化します。



運営基盤の強化

Ⅶ 地域社会との連携強化

Ⅶ－１：社会的ニーズに対応したリカレント教育の提供

Ⅶ－２：連携協定先とのさらなる連携強化

Ⅶ－３：地域との連携による教育・研究支援

■ 地域に愛される大学として続けるために

わたしたちは、平成20（2008）年に「地域とのつながり」を重視する地域貢献型大学であることを表明し、以来、地域に愛される大学となるべく、さまざまな活動を展開してまいりました。

第2次中期計画から生涯学習機会の拠点たる大学を掲げており、高等教育を市民に開放する目的のエクステンション・カレッジを開設するなど、地域の知の拠点、交流の場として、これまでも地域と人、本学をつむいできました。

これからも、地域とともに歩むために、わたしたちができること。

「ありがとう」をつむぐ大学であることを自覚し、活動を継続することで、地域になくてはならない高等教育機関であり続けることをめざします。そして、大学の発展だけではなく、共に活動する中で、豊かな社会をめざします。

わたしたちの「つむぐ」は常に全てのステークホルダーと共にあります。

運営基盤の強化

Ⅷ 経営・ガバナンスの強化

Ⅷ－ 1 : 機動的な意思決定を可能とする組織体制の確立

Ⅷ－ 2 : 内部質保証の確立

Ⅷ－ 3 : 財政基盤の強化

■ 大学運営、経営改善を問う

組織の持続的発展を図るためには、常に課題意識を持ち、大学運営、経営改善にあたることが不可欠です。安定した組織運営、財務がなければ、教育研究の発展を望むことはおろか、大学・短大の存続に大きな影響を与えます。

わたしたちは持続的発展のために、まず「教職員一人ひとりが社会環境の変化を敏感に感じ取り、高等教育に今、求められることは何かを導出し、それを政策へと発展させることができる」組織へと変革します。

教職員の課題を発見・把握・解決する力を高めるための取組みを進めるとともに、高等教育や運営をめぐる諸問題に即応するガバナンス体制を構築し、大学運営に全員で取り組む組織を作ります。また、安定した大学運営のため、財政基盤の強化を図ります。

その経営・ガバナンスの根底にあるのは、建学の精神である「和」です。これまでのわたしたちが培った組織風土のよいところを大切にしながら、更なる発展をめざします。

ありがとうの
プロフェッショナルへ。



兵庫大学
HYOGO University



「地域共生社会に向けた包括的支援と 多様な参加・協働の推進に関する検討会」 (地域共生社会推進検討会)

最終とりまとめ(概要)

令和元年12月26日

(抜粋)

I 地域共生社会の理念

- **地域共生社会の理念**とは、**制度・分野の枠や、「支える側」「支えられる側」という従来の関係を超えて、人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割をもち、助け合いながら暮らしていくことのできる、包摂的なコミュニティ、地域や社会を創るという考え方**。福祉の政策領域だけでなく、対人支援領域全体、一人ひとりの多様な参加の機会の創出や地域社会の持続という観点に立てば、その射程は、地方創生、まちづくり、住宅、地域自治、環境保全、教育など他の政策領域に広がる。

II 福祉政策の新たなアプローチ

- 個人や世帯を取り巻く環境の変化により、生きづらさやリスクが多様化・複雑化していることを踏まえると、**一人ひとりの生が尊重され、複雑かつ多様な問題を抱えながらも、社会との多様な関わりを基礎として自律的な生を継続していくことを支援する機能の強化**が求められている。
- 専門職による対人支援は、「**具体的な課題解決を目指すアプローチ**」と「**つながり続けることを目指すアプローチ（伴走型支援）**」の2つのアプローチを支援の両輪として組み合わせていくことが必要。
- 伴走型支援を実践する上では、**専門職による伴走型支援**と地域の居場所などにおける様々な活動等を通じて日常の暮らしの中で行われる、**地域住民同士の支え合いや緩やかな見守り**といった双方の視点を重視する必要があり、それによりセーフティネットが強化され、重層的なものとなっていく。

III 市町村における包括的な支援体制の整備の在り方

1 事業の枠組み等

- 地域住民の複合化・複雑化した支援ニーズに対応する市町村における包括的な支援体制の構築を推進するため、「**断らない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援**」の3つの支援を**一体的に行う市町村の新たな事業を創設**すべき。

断らない相談支援	参加支援	地域づくりに向けた支援
<ul style="list-style-type: none"> ○本人・世帯の属性にかかわらず受け止める相談支援 ①属性にかかわらず、地域の様々な相談を受け止め、自ら対応する又は関係機関につなぐ機能 ②世帯を取り巻く支援関係者全体を調整する機能 ③継続的につながり続ける支援を中心的に担う機能 ※ ②及び③の機能を強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○本人・世帯の状態に合わせ、地域資源を活かしながら、就労支援、居住支援などを提供することで社会とのつながりを回復する支援。 ○狭間のニーズに対応できるように既存の地域資源の活用方法を拡充する取組を中心に、既存の人的・物的資源の中で、本人・世帯の状態に合わせた多様な参加支援の提供を行う。 (例)生活困窮者の就労体験に経済的な困窮状態にない世帯のひきこもりの者を受け入れる 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域社会からの孤立を防ぐとともに、地域における多世代の交流や多様な活躍の機会と役割を生み出す支援。 ①住民同士が出会い参加することのできる場や居場所の確保に向けた支援 ②ケアし支え合う関係性を広げ、交流・参加・学びの機会を生み出すコーディネート機能

- 対象は、本人・世帯の属性を問わず、福祉、介護、保健医療、住まい、就労及び教育に関する課題や地域社会からの孤立など様々な課題を抱える**全ての地域住民**とすべき。
- 新たな事業の意義の一つは、地域住民や関係機関等と議論を行い、考え方等を共有するプロセス自体にあることから、**任意事業とし、段階的实施**とすべき。
- 新たな事業を実施するに当たっては、既存の取組や機関等を活かしながら進めていくが、地域ごとに住民のニーズや資源の状況等が異なることから、圏域の設定や会議体の設置等は、**市町村が裁量を発揮しやすい仕組み**とする必要がある。
- 国の財政支援については、市町村が柔軟に包括的な支援体制を構築することを可能とするために、一本の補助要綱に基づく申請などにより、**制度別に設けられた財政支援の一体的な実施を促進**する必要がある。

Ⅲ 市町村における包括的な支援体制の整備の在り方（続き）

2 市町村における包括的な支援体制の構築の際のプロセスと留意すべき点

- 市町村は**地域のニーズや人材、地域資源の状況等を把握し、見える化した上で分析**を行うとともに、**地域住民や関係機関等と議論**をし、域内における包括的な支援体制の整備について考え方をまとめ、**共通認識を持ちながら**取組を進める。この際、新たな縦割りを生み出さないよう留意。
- **事業実施後も**、地域住民や関係機関等と振り返りや議論を繰り返し行いつつ、**事業の実施状況等を定期的に分析・評価し、改善**していくことが必要。
- 市町村が、地域住民や関係機関等とともに考え方を共有し、事業を推進するため、**関係者をメンバーとする議論を行う場を市町村が設置する仕組み**とすべき。

3 介護、障害、子ども、生活困窮等の各制度から拠出する際の基本的な考え方

- 介護、障害等の既存の各制度における基準額や補助率が異なることを踏まえ、**事業費の積み上げ方や配分方法について検討を行う必要がある**。その際、既存制度からの拠出は、合理的なルールに基づく機械的な方法による按分とすることが必要、現在の取組を継続できるよう交付水準を保つべきといった意見を踏まえ、より詳細を検討すべき。
- 現行の各経費の性格の維持など国による財政保障にも十分配慮する観点から、シーリング上、現在義務的経費とされているものについては、引き続き義務的経費として整理できるような仕組みとすべき。

Ⅳ 市町村における包括的な支援体制の整備促進のための基盤

1 人材の育成や確保

- 包括的支援に携わる専門職等の支援の質を担保するため、**研修カリキュラムや教材等の整備の推進、研修の実施等、人材の育成・確保に向けた取組を進めること**が重要。また、**市町村**においては、庁内全体で包括的な支援体制について検討し、体制の構築を進める中で、福祉部門の職員だけでなく、**職員全体に対して研修等を行う必要がある**。事業開始後も、**人材を組織的に育成**しつつ、チームで対応していくことが求められる。

2 地域福祉計画等

- 新たな事業については、**地域福祉計画の記載事項**とすべき。計画の策定過程を通じて、市町村が、住民や関係者・関係機関との意見交換等を重ね、包括的な支援の考え方や新たな事業に関する共通認識を醸成することが重要。都道府県においても、地域福祉支援計画の記載事項とすべき。

3 会議体

- 多職種による連携や多機関の協働が重要な基盤となるため、情報共有や協議を行う場（会議体）の機能が重要。既存の属性別の制度等による会議体があることに十分に留意して、これらを有効活用し、市町村の職員も参画した上で、個別事例の検討等を行うことが望ましい。

4 都道府県及び国の役割

- **都道府県**は、市町村における包括的な支援体制の構築の取組の支援、広域での人材育成やネットワークづくり、広域での支援や調整が求められる地域生活課題への対応などの役割を担うことが考えられる。
- **国**はSNS等も活用しつつ、都道府県域を越える相談事業を進めるほか、市町村等に対して、標準的な研修カリキュラムや教材等の整備、都道府県と連携した人材育成の推進、未実施自治体やその関係者の機運醸成のためのシンポジウム等の開催、職員を個別に市町村への派遣、事例の分析や共有といった支援を進めることが考えられる。

教育課程等の概要														
(教育学部教育学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
建学の精神	宗教と人生	1・後	2			○								兼1
	仏教と現代社会	1・後	2			○								兼1
	兵庫大学の学びと和	1・後	2			○								兼2
	地域と仏教	1・前	1			○								兼2
	兵大京都学	1・後	1			○								兼2
	小計(5科目)	—	2	6	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼4
コミュニケーション	日本語(読解と表現)	1・前	2				○							兼1
	英語	1・後	2				○							兼1
	実用英語Ⅰ	1・後	2				○							兼1
	実用英語Ⅱ	2・前	2				○							兼1
	中国語(初級)	1・前	2				○							兼1
	中国語(中級)	1・後	2				○							兼1
	韓国語(初級)	1・前	2				○							兼1
	韓国語(中級)	1・後	2				○							兼1
	コンピュータ演習	1・前	2				○							兼1
	コンピュータグラフィックスの基礎	1・後	2			○								兼2
	小計(10科目)	—	6	14	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼8
国際理解	国際理解と宗教Ⅰ(キリスト教)	1・前	2			○								兼1
	国際理解と宗教Ⅱ(イスラム教)	1・後	2			○								兼1
	国際関係論	1・後	2			○								兼1
	比較文化論	1・後	2			○								兼1
	小計(4科目)	—	0	8	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼4
歴史と文化	歴史学	1・前	2			○								兼1
	文学	1・後	2			○								兼1
	色彩とデザイン	1・前	2			○								兼1
	小計(3科目)	—	0	6	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼3
地域に学ぶ	地域文化論	1・後	2			○								兼1
	建築デザインと地域	1・後	2			○								兼1
	地域と文化財	1・前	2			○								兼1
	地域資料を読む	1・後	2			○								兼1
	日本の伝統文化「将棋」を学ぶ	1・前	2			○								兼1
	ファッション入門	1・前	2			○								兼3
	小計(6科目)	—	0	12	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼5
現代社会を読み解く	哲学	1・前	2			○								兼1
	日本国憲法	1・前	2			○								兼1
	人権の歴史	1・前	2			○								兼1
	政治学	1・前	2			○								兼1
	社会学	1・前	2			○								兼1
	経済学	1・前	2			○								兼1
	現代社会の理解	1・前	2			○								兼1
	小計(7科目)	—	2	12	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼7
自然と科学	生命倫理学	1・前	2			○								兼1
	心理学	1・前	2			○								兼1
	化学	1・前	2			○								兼1
	生物学	1・前	2			○								兼1
	身のまわりの科学	1・前	2			○								兼2
	プログラミング入門	1・後	2			○								兼1
	小計(6科目)	—	0	12	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼6
くらしと健康	食と健康	1・後	2			○								兼1
	健康・スポーツ科学Ⅰ(講義)	1・後	2			○								兼1
	健康・スポーツ科学Ⅱ(実技)	1・前	1					○						兼2
	健康・スポーツ科学Ⅲ(実技)	1・後	1					○						兼1
	小計(4科目)	—	2	4	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼4
キャリアインデ	私のためのキャリア設計	1・前	2			○								兼1
	ヒューマンサービスとマネジメント	3・後	2			○								兼3
	入門ボランティア	1・通年	2					○						兼3
	小計(3科目)	—	0	6	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼6
	小計(48科目)	—	12	80	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼32

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
専門教育科目	ゼミナール科目	クラスゼミナールⅠ	1・前	2				○		3	1	1				共同		
		クラスゼミナールⅡ	1・後	2				○		2	3					共同		
		クラスゼミナールⅢ	2・前	2					○	2	2	1				共同		
		クラスゼミナールⅣ	2・後	2					○	2	2					共同		
		卒業研究Ⅰ	3・前	2					○	9	8	2						
		卒業研究Ⅱ	3・後	2					○	9	8	2						
		卒業研究Ⅲ	4・前	2					○	9	8	2						
		卒業研究Ⅳ	4・後	2					○	9	8	2						
		小計(8科目)	—	—	16	0	0	—	—	—	9	8	2	0	0	兼0		
	幼児教育・保育内容科目	こどもと健康	1・前		1				○							兼1		
		こどもと人間関係	1・前		1				○		1					兼1		
		こどもと環境	1・後		1				○							兼1		
		こどもと言葉	1・前		1				○							兼1	オムニバス 共同(一部)	
		こどもと表現	1・後		1				○	1	1					兼1		
		こどもとサイエンス (こどもと科学遊び)	2・後		1				○		1					兼1		
		保育内容総論	2・後		1				○							兼1		
		保育内容「健康」の指導法	2・後		2				○							兼1		
		保育内容「人間関係」の指導法	2・後		2				○							兼2		
		保育内容「環境」の指導法	2・前		2				○							兼1		
		保育内容「言葉」の指導法	2・後		2				○		1					兼1		
		保育内容「表現」の指導法	2・前		2				○		1	1				兼1	オムニバス 共同(一部)	
	小計(12科目)	—	—	0	17	0	—	—	—	1	4	0	0	0	兼5			
	教育・保育実践科目	幼児教育・保育実践科目	音楽Ⅰ	1・前		1				○						2		共同
			音楽Ⅱ	1・後		1				○						2		共同
総合表現教育Ⅰ			1・後		1				○	1	1				1		兼1	
総合表現教育Ⅱ			2・前		1				○	1	1				1		兼1	
教師・保育者論			3・前		2			○		1	1				1		兼1	
教育・保育の課程と評価			2・前		2			○		1	1				1		兼1	
幼児理解			2・後		1				○	1					1		兼1	
保育原理			1・前		2				○		1				1		兼1	
こども家庭福祉			2・前		2				○	1					1		兼1	
社会福祉			1・前		2				○	2					1		兼1	
こども家庭支援論			2・前		2				○						1		兼1	
こども家庭支援の心理学			3・後		2				○						1		兼1	
こどもの保健		1・後		2				○						1		兼1		
こどもの食と栄養Ⅰ		2・前		1				○						1		兼1		
こどもの食と栄養Ⅱ		2・後		1				○						1		兼1		
乳児保育Ⅰ		1・前		2				○						1		兼1		
乳児保育Ⅱ		1・後		1				○						1		兼1		
こどもの健康と安全		2・後		1				○						1		兼1		
特別支援教育Ⅰ		2・前		1				○			1			1		兼1		
特別支援教育Ⅱ		2・後		1				○			1			1		兼1		
社会的養護Ⅰ		2・前		2				○						1		兼1		
社会的養護Ⅱ		3・前		1				○						1		兼1		
子育て支援		2・後		1				○						1		兼1		
青年心理学		3・後		2				○		1				1		兼1		
小計(24科目)	—	—	0	35	0	—	—	—	4	5	0	0	0	兼9				
初等教科内容科目	初等国語科内容論	1・前		1				○	1									
	初等社会科内容論	1・前		1				○	1									
	初等算数科内容論	1・後		1				○	1									
	初等理科内容論	1・前		1				○		1						※実験・実習		
	初等生活科内容論	1・後		1				○	1									
	初等音楽科内容論	1・前		1				○		1						※演習		
	初等図画工作科内容論	1・後		1				○		1						※演習		
	初等家庭科内容論	1・前		1				○								兼1		
	初等体育科内容論	1・後		1				○								兼1		
	初等英語科内容論	1・後		1				○								兼1		
小計(10科目)	—	—	0	10	0	—	—	—	4	2	0	0	0	兼3				
初等教科指導法科目	初等国語科教育法	2・後		2				○	1									
	初等社会科教育法	2・後		2				○	1									
	初等算数科教育法	2・前		2				○	1									
	初等理科教育法	2・後		2				○		1								
	初等生活科教育法	2・前		2				○	1									
	初等音楽科教育法	2・後		2				○		1						※演習		
	初等図画工作科教育法	2・前		2				○		1						※演習		
	初等家庭科教育法	2・後		2				○								兼1		
	初等体育科教育法	2・前		2				○								兼1		
	初等英語科教育法	2・前		2				○								兼1		
小計(10科目)	—	—	0	20	0	—	—	—	4	2	0	0	0	兼3				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
教職発展科目	発 展 科 目 こ ど も 支 援	個別教育計画概論	2・前	2			○			1							
		個別教育計画作成演習	3・後	1				○		1							
		小計(2科目)	—	1	2	0				1	0	0	0	0	兼0		
	発 展 科 目 学 校 ・ 地 域 教 育 活 動	ふれあい体験活動	1・後	1					○	1							
		インターンシップⅠ	2・通年	1					○	4	2					共同 共同	
		インターンシップⅡ	3・通年	1					○	3	1	1					
		防災とコミュニティ	3・前	2			○								兼1		
		子育て支援地域活動Ⅰ	2・前後	1				○			1						
		子育て支援地域活動Ⅱ	3・前後	1				○			1						
		小計(6科目)	—	2	5	0				7	4	1	0	0	兼1		
	I C T 活 用 科 目	学校教育におけるICT活用	1・後	2				○								兼1	
		情報社会と情報モラル教育	1・後	2			○				1						
		情報活用の実践Ⅰ	2・前	2					○	3	2						
		情報活用の実践Ⅱ (デジタル教科書の活用を含む)	2・後	2					○	1	2					兼1	
		教育データの利活用	3・前	2			○				1					兼1	
	小計(5科目)	—	2	8	0				4	3	0	0	0	兼3			
	展 開 支 援 保 育 発 展	発達障害児への支援	3・後	2					○			1				兼1	
		社会的スキルトレーニングの理論と実践	4・前	2					○							兼1	
		スクールソーシャルワーク論	3・前	2			○										
		こども音楽療育論	3・後	2			○				1						
小計(4科目)	—	0	8	0				0	1	1	0	0	兼2				
専 門 教 育 科 目	教 職 基 礎 科 目	教育の思想と原理	1・前	2			○								兼2	オムニバス	
		教育史	3・後	2			○								兼1		
		教育哲学	2・前	2			○								兼2	オムニバス	
		教職入門	1・前	2			○			1							
		教育制度論	1・後	2			○			1							
		教育社会学	2・後	2			○								兼1		
		教育心理学	3・前	2			○			1							
		発達心理学	1・後	2			○			1							
		教育課程論	1・後	2			○			1							
		学校組織マネジメント	3・後	2			○									兼1	
	小計(10科目)	—	10	10	0				3	0	0	0	0	兼5			
	教 職 ・ 保 育 キ ャ リ ア 科 目	教 職 支 援 科 目	道徳教育論	2・前	2			○		1							
			総合的な学習の理論と実践	2・後	2			○		1	1						オムニバス 共同(一部)
特別活動論			3・前	2			○			2						オムニバス 共同(一部)	
教育方法・技術論			1・後	2			○				1						
教育におけるICT活用の理論と方法			2・前	2			○				1						
生徒指導論			2・後	2			○									兼1	
教育相談			2・後	2			○										
小計(7科目)	—	0	14	0				2	2	1	0	0	兼1				
教 職 実 践 科 目	教 職 実 践 科 目	教職実践演習(小学校)	4・後	2				○	1								
		保育・教職実践演習	4・後	2				○		1							
		幼稚園教育実習	4・通年	4					○		1						
		小学校教育実習	3・後	4					○		1						
		特別支援教育実習	4・通年	2					○	1	1	2					
		幼稚園教育実習リフレクション	4・通年	1				○			1						
		小学校教育実習リフレクション	3・通年	1				○			1						
		特別支援教育実習リフレクション	4・通年	1				○		1	1	2					
		小計(8科目)	—	0	17	0				2	3	2	0	0	兼0		
保 育 実 習	保 育 実 習	保育実習指導Ⅰ(保育所)	2・前	1				○		1							
		保育実習Ⅰ(保育所)	2・前	2							1						
		保育実習指導Ⅰ(施設)	2・後	1				○		1	1					共同 共同	
		保育実習Ⅰ(施設)	2・後	2						1	1						
		保育実習指導Ⅱ	3・前	1				○			1						
		保育実習Ⅱ	3・前	2							1						
		保育実習指導Ⅲ	3・前	1				○		1	1					共同 共同	
		保育実習Ⅲ	3・前	2						1	1						
小計(8科目)	—	0	12	0				1	2	0	0	0	兼0				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	特別支援教育総論	1・後		2		○			1	1	2					オムニバス
	知的障害児の心理・生理・病理	2・前		2		○					1				兼1	オムニバス
	肢体不自由児の心理・生理・病理	2・前		2		○					1				兼1	オムニバス
	病弱児の心理・生理・病理	2・後		2		○					1				兼1	オムニバス
	知的障害児の教育課程と指導法	3・前		2		○					1					
	肢体不自由児の教育課程と指導法	3・後		2		○			1		1					オムニバス
	病弱児の教育課程と指導法	3・後		2		○						1			兼1	
	知的障害教育総論	2・後		2		○						1				
	肢体不自由教育総論	2・後		2		○			1							
	病弱教育総論	3・後		2		○									兼1	
	視覚障害教育総論	4・前		2		○									兼1	
	聴覚障害教育総論	4・前		2		○					1					
	重複・発達障害教育総論	3・前		2		○			1	1	2					オムニバス
	心理検査法	3・前		2			○			1	1	1				共同
小計(14科目)		—	0	28	0	—		1	1	2	0	0	0	0	兼4	
小計(128科目)			31	186	0			10	8	2	0	0	0	0	兼32	
合計(176科目)		—	43	266	0	—		10	8	2	0	0	0	0	兼61	
学位又は称号	学士(教育学)		学位又は学科の分野			教育学・保育学関係										
卒業要件及び履修方法						授業期間等										
① 卒業要件単位数は124単位である。 その履修方法は、『共通教育科目』から20単位以上、『専門教育科目』から92単位以上(「ゼミナール科目」から16単位、「教育・保育実践科目」から20単位以上、「教職発展科目」から5単位以上、「教職・保育キャリア科目」から20単位以上を含む)及び『共通教育科目』『専門教育科目』のいずれかから12単位以上の計124単位以上を修得しなければならない。 ② 履修科目の登録の上限は各学期24単位、年間48単位である。						1学年の学期区分			2期							
						1学期の授業期間			15週							
						1時限の授業時間			90分							

(注)

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。
 - 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。

GIGA スクール 構想の実現へ

1人1台端末は令和の学びの「スタンダード」




多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、子供たち一人一人に公正に個別最適化され、
資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境の実現へ



G I G Aスクール構想

- ✓ 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する
- ✓ これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す



	「1人1台端末」ではない環境		「1人1台端末」の環境
一斉学習	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が大型提示装置等を用いて説明し、子供たちの興味関心意欲を高めることはできる 	学びの深化	<ul style="list-style-type: none"> ・教師は授業中でも一人一人の反応を把握できる →子供たち一人一人の反応を踏まえた、双方向型の一斉授業が可能に 
個別学習	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が同時に同じ内容を学習する（一人一人の理解度等に応じた学びは困難） 	学びの転換	<ul style="list-style-type: none"> ・各人が同時に別々の内容を学習 ・個々人の学習履歴を記録 →一人一人の教育的ニーズや、学習状況に応じた個別学習が可能 
協働学習	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を発表する子供に限られる 		<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の考えをお互いにリアルタイムで共有 ・子供同士で双方向の意見交換が可能に →各自の考えを即時に共有し、多様な意見にも即時に触れられる 

ICTの活用により充実する学習の例

- ☐調べ学習 課題や目的に応じて、インターネット等を用い、様々な情報を主体的に収集・整理・分析
- ☐表現・制作 推敲しながらの長文の作成や、写真・音声・動画等を用いた多様な資料・作品の制作
- ☐遠隔教育 大学・海外・専門家との連携、過疎地・離島の子供たちが多様な考えに触れる機会、入院中の子供と教室をつないだ学び
- ☐情報モラル教育 実際に情報・情報技術を活用する場面（収集・発信など）が増えることにより、情報モラルを意識する機会の増加

“すぐにでも” “どの教科でも” “誰でも”使えるICT

🌱 検索サイトを活用した調べ学習

- ・一人一人が情報を検索し、収集・整理
- ・子供たち自身が様々な情報にアクセスし、主体的に情報を選択する



🌱 文章作成ソフト、プレゼンソフトの利用

- ・子供たち一人一人が考えをまとめて発表
- ・共同編集で、リアルタイムで考えを共有しながら学び合い



🌱 一斉学習の場面での活用

- ・誰もがイメージしやすい教材提示
- ・一人一人の反応や考えを即時に把握しながら双方向的に授業を進める



🌱 一人一人の学習状況に応じた個別学習

- ・デジタル教材を活用し、一人一人の学習進捗状況を可視化
- ・様々な特徴を持った生徒によりきめ細やかな対応を行う



“1人1台”を活用して、教科の学びを深める。教科の学びの本質に迫る。

🌱 国語

書く過程を記録し、よりよい文章作成に役立てる

- ・文書作成ソフトで文章を書き、コメント機能等を用いて助言しあう
- ・文章作成ソフトの校閲機能を用いて推敲し、データを共有する



🌱 社会

国内外のデータを加工して可視化したり、地図情報に統合したりして、深く分析する

- ・各自で収集したデータや地図を重ね合わせ、情報を読み取る
- ・分析した情報を、プレゼンソフトで、わかりやすく加工して発表



(国土交通省HPより引用)

🌱 算数・数学

関数や図形などの変化の様子を可視化して、繰り返し試行錯誤する

- ・画面上に表示した二次関数のグラフについて、式の値を変化させて動かしながら、二次関数の特徴を考察する
- ・正多角形の基本的な性質をもとに、プログラミングを通して正多角形の作図を行う



🌱 理科

観察、実験を行い、動画等を使ってより深く分析・考察する

- ・観察、実験を動画等で記録することで、現象を科学的に分析し、考察を深める
- ・観察、実験のレポートやプレゼンテーション資料などを、写真やグラフを挿入するなどして、一人一人が主体的に作成する



🌱 外国語

海外とつながる「本物のコミュニケーション」により、発信力を高める

- ・一人一人が海外の子供とつながり、英語で交流・議論を行う
- ・ライティングの自動添削機能やスピーキングの音声認識機能を使い、アウトプットの質と量を大幅に高める



“1人1台”を活用して、教科の学びをつなぐ。社会課題の解決に生かす。

ICTを含む様々なツールを駆使して、各教科等での学びをつなぎ探究するSTEAM教育 ※

※Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics等の各教科での学習を実社会での課題解決に生かしていくための教科横断的な教育

探究のプロセスにおける様々な場面において、ICTを効果的に活用することができる

探究のプロセス



課題の設定	実社会の問題状況に関わる課題、進路や教科等、横断的な課題などを設定
情報の収集	文献検索、ネット検索、インタビュー、アンケート、実験、フィールドワーク等
整理・分析	統計による分析、思考ツール、テキストマイニング等で分析
まとめ・表現	論文作成、プレゼンテーション、ポスターセッション、提言等で発信

教育学部の地域活動教育

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	I期	II期	I期	II期	I期	II期	I期	II期
幼稚園教諭一種免許		ふれあい体験活動	⇒ インターンシップ I	⇒	⇒ インターンシップ II	⇒	幼稚園教育実習	
小学校教諭一種免許		ふれあい体験活動	⇒ インターンシップ I	⇒	⇒ インターンシップ II			
				⇒		小学校教育実習		
特別支援教諭一種免許		ふれあい体験活動	⇒ インターンシップ I	⇒	⇒ インターンシップ II	⇒	特別支援教育実習	
保育士資格			保育実習 I (保育所)	⇒	保育実習 II			
			保育実習 II (施設)	⇒	保育実習 III			
			子育て支援地域活動 I		子育て支援地域活動 II			



兵大 " 学びのカルテ "

ヒョウゴ タロウ
兵庫 太郎

学籍番号 F2251234 看護学部・看護学科(2年在学)
入学年月日 2020年4月

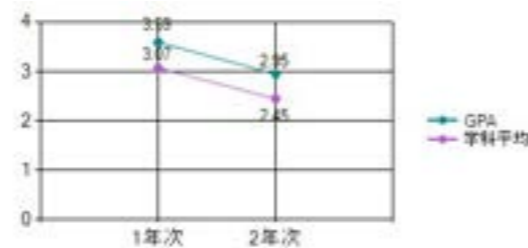
1. 看護学科ディプロマポリシー

- 卒業までに次の力を身につけた者に学士（看護学）の学位を授与する。
- 豊かな感性と倫理観をもち、命の尊厳と人間尊重に基づいて幅広い視点で人とその生活について理解し、行動する力
 - 多様な価値観をもつ人びとや自分と世代・立場の異なる人びとを理解し、看護に必要な援助的人間関係を形成する力
 - 成長発達段階や健康レベルに応じた健康課題をもつ人びとに対して、科学的根拠に基づいた看護を実践する力
 - 保健医療福祉に携わる人と協働しながら看護の専門性を発揮する力

2. 正課活動状況 ※履修データ作成日時 (2021/10/04 15:20:07)

(1) 修得単位数及びGPA

学年	単位数	GPA	学科平均	順位
1年次	54	3.59	3.07	18
2年次	20	2.95	2.45	
累計	74	3.41	2.88	16 / 96



(2) 履修・修得単位数の内訳

学年	履修	修得	未修	秀	優	良	可	不	欠	認	他
1年次	54	54		37	12	5					
2年次	20	20		4	11	5					
総計	74	74		41	23	10					



3. 兵大BasicsABC・兵大プロフェッショナルカ

(1) 兵大Basics"A" (プレースメントテスト)

伸びと達成度の確認	年度	学年	得点	受験者平均	配点
日本語(4月)	2020	1	68	50.2	100
日本語(7月)					
英語(4月)	2020	1	52	57.3	100
英語(7月)					
PC演習(4月)	2020	1	56	45.2	80
PC演習(7月)					



(2) 兵大Basics"B"

ループリック評価を踏まえて実施	年度	学年	学期	評価点	受講者平均
看護学概論	2020	1	I	92	89.6
科目平均 (兵大Basics"B" 達成度)				92.0	89.6

(3) 兵大Basics"C" (PROGテスト)

成績評価 (1~7)	年度	学年	評価点	受験者平均	年度	学年	評価点	受験者平均
コンピテンシー	2020	1	5	3.51				
リテラシー	2020	1	6	2.96				



学年	テーマ	内容
1年次	強み・弱み等	伸ばしたい力
3年次	強み・弱み等	伸ばしたい力

(4) 兵大プロフェッショナルカ

P L 1 (基礎)	No.	科目名	年度	学年	学期	評価点	受講者平均
	1	看護学概論	2020	1	I	92	89.6
	2	形態機能論 I	2020	1	I	92	77.8
	3	形態機能論 II	2020	1	II	86	79.0
	4	臨床病理病態学 I (内科系)	2021	2	I	82	76.4
科目平均 (P L 1達成度)						88.0	80.7

P L 2 (応用)	No.	科目名	年度	学年	学期	評価点	受講者平均
	1	成人看護学概論	2021	2	I	89	81.1
	2	母性看護学概論	2021	2	I	82	62.8
	6	老年看護学概論	2021	2	I	96	85.6
科目平均 (P L 2達成度)						89.0	76.5

P L 3 (実践)	No.	科目名	年度	学年	学期	評価点	受講者平均
	4	国際看護学 I	2021	2	I	90	76.3
科目平均 (P L 3達成度)						90.0	76.3

4. 正課外活動

[クラブ活動]

- [ボランティア] 1. おうちで簡単マスク作り(2020/5/1~8/31)
2. おうちで千羽鶴作成(2020/5/1~8/31)
3. おうちで伝える学びの知識(2020/5/1~8/31)

[地域活動]

5. 講座参加(教職・学習支援センター)

講座名	受講学年	年度	学期	曜日	時限	参加回数	講座回数	参加率
グループ学習	池本	2021	II	金	2	1	2	50.0%

6. 実習・インターンシップ

名称	実習先	学年	開始年月日	終了年月日
基礎看護学実習 I	甲南加古川病院	1	2020/09/01	2020/09/03

7. 留学・国際交流

特記事項なし

8. 表彰歴

なし

9. 目標と成果

(1)学習目標

学年	目標	成果
2	GPA3.45以上を目標とする。	

(2)活動目標(部活動、ボランティア、地域活動、その他の活動)

学年	目標	成果
2	ボランティア活動に3つ参加する。	

(3)将来に向けての考え(進路等)

学年	目標
2	国家試験を見据えた学習を普段から実施し、模擬試験で合格圏内に入る。

10. チューター(担任)所見

本学の定めるディプロマ・ポリシーに基づき、諸活動に意欲的に取り組み組んだことを証する

2021年12月
兵庫大学
学長 河野 真



①履修モデル（幼稚園教諭一種免許状）

科目区分		1年次		2年次				3年次				4年次				単位数				
		I 期		II 期		I 期		II 期		I 期		II 期		I 期			II 期			
		授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位		授業科目名	単位		
共通教育科目	建学の精神			宗教と人生	2	地域と仏教	1											20		
	コミュニケーション	日本語（読解と表現）	2	英語	2															
		コンピュータ演習	2																	
	地域に学ぶ									ファシリテーション入門	2									
	現代社会を読み解く	日本国憲法	2																	
	自然と科学							心理学	2											
	くらしと健康	健康・スポーツ科学Ⅱ（実技）	1	健康・スポーツ科学Ⅰ（講義）	2															
キャリアデザイン												ヒューマンサービスとマネジメント	2							
専門教育科目	ゼミナール科目	クラスゼミナールⅠ	2	クラスゼミナールⅡ	2	クラスゼミナールⅢ	2	クラスゼミナールⅣ	2	卒業研究Ⅰ	2	卒業研究Ⅱ	2	卒業研究Ⅲ	2	卒業研究Ⅳ	2	16		
	幼児教育・保育内容科目	こどもと健康	1	こどもと環境	1	保育内容「環境」の指導法	2	保育内容総論	1										16	
		こどもと人間関係	1	こどもと表現	1	保育内容「表現」の指導法	2	保育内容「健康」の指導法	2											
		こどもと言葉	1				保育内容「人間関係」の指導法	2	保育内容「言葉」の指導法	2										
	幼児教育・保育実践科目	音楽Ⅰ	1	音楽Ⅱ	1	総合表現教育Ⅱ	1	幼児理解	1	教師・保育者論	2	こども家庭支援の心理学	2						32	
		保育原理	2	こどもの保健	2	教育・保育の課程と評価	2	こどもの食と栄養Ⅱ	1	社会的養護Ⅱ	1									
		社会福祉	2	乳児保育Ⅱ	1	こども家庭福祉	2	こどもの健康と安全	1											
		乳児保育Ⅰ	2			こども家庭支援論	2	特別支援教育Ⅱ	1											
						社会的養護Ⅰ	2	子育て支援	1											
						こどもの食と栄養Ⅰ	1													
					特別支援教育Ⅰ	1														
	教職発展科目	こども支援発展科目											個別教育計画作成演習	1					1	
		学校・地域教育活動発展科目			ふれあい体験活動	1	インターンシップⅠ	1			インターンシップⅡ	1							5	
											防災とコミュニティ	2								
		ICT活用科目			学校教育におけるICT活用	2													2	
	特別支援保育発展科目											発達障害児への支援	2	社会的スキルトレーニングの理論と実践	2			6		
											こども音楽療育概論	2								
教職・保育キャリア科目	教職基礎科目	教育の思想と原理	2	教育制度論	2					教育心理学	2							10		
		教職入門	2	教育課程論	2															
	教職支援科目			教育方法・技術論	2	道徳教育論	2	教育相談	2									8		
教職実践科目														幼稚園教育実習	4			3		
													幼稚園教育実習 リフレクション	1	保育・教職実践演習	2				
特別支援教育専門科目																		0		
修得単位数		23単位		23単位		23単位		18単位		13単位		11単位		9単位		4単位		124		

②履修モデル（小学校教諭一種免許状）

科目区分		1年次				2年次				3年次				4年次				単位数
		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅰ期		Ⅱ期		
		授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	
共通教育科目	建学の精神			宗教と人生	2	地域と仏教	1											20
	コミュニケーション	日本語（読解と表現）	2	英語	2													
		コンピュータ演習	2															
	地域に学ぶ									ファシリテーション入門	2							
	現代社会を読み解く	日本国憲法	2															
	自然と科学							心理学	2									
	くらしと健康	健康・スポーツ科学Ⅱ（実技）	1	健康・スポーツ科学Ⅰ（講義）	2													
キャリアデザイン												ヒューマンサービスとマネジメント	2					
ゼミナール科目		クラスゼミナールⅠ	2	クラスゼミナールⅡ	2	クラスゼミナールⅢ	2	クラスゼミナールⅣ	2	卒業研究Ⅰ	2	卒業研究Ⅱ	2	卒業研究Ⅲ	2	卒業研究Ⅳ	2	16
	教育・保育実践科目	幼児教育・保育実践科目	音楽Ⅰ	1														1
教育実践科目	初等教科内容科目	初等国語科内容論	1	初等算数科内容論	1													10
		初等社会科内容論	1	初等生活科内容論	1													
		初等理科内容論	1	初等図画工作科内容論	1													
		初等音楽科内容論	1	初等体育科内容論	1													
		初等家庭科内容論	1	初等英語科内容論	1													
	初等教科指導法科目					初等算数科教育法	2	初等国語科教育法	2									20
					初等生活科教育法	2	初等社会科教育法	2										
					初等図画工作科教育法	2	初等理科教育法	2										
					初等体育科教育法	2	初等音楽科教育法	2										
					初等英語科教育法	2	初等家庭科教育法	2										
教職発展科目	こども支援発展科目					個別教育計画概論	2					個別教育計画作成演習	1				3	
	学校・地域教育活動発展科目			ふれあい体験活動	1	インターンシップⅠ	1			インターンシップⅡ	1						5	
										防災とコミュニティ	2							
	ICT活用科目			学校教育におけるICT活用	2	情報活用の実践Ⅰ	2	情報活用の実践Ⅱ（デジタル教科書の活用含む）	2	教育データの利活用	2						8	
特別支援保育発展科目												発達障害児への支援	2	社会的スキルトレーニングの理論と実践	2		6	
												こども音楽療育概論	2					
教職基礎科目	教育の思想と原理	教育の思想と原理	2	教育制度論	2					教育心理学	2	学校組織マネジメント	2				14	
		教職入門	2	教育課程論	2					特別支援教育入門	2							
	教職支援科目			教育方法・技術論	2	道徳教育論	2	総合的な学習の理論と実践	2	特別活動論	2						14	
					教育におけるICT活用の理論と方法	2	生徒指導論	2										
						教育相談	2											
教職実践科目									小学校教育実習リフレクション	1	小学校教育実習	4			教職実践演習（小学校）	2	7	
特別支援教育専門科目																	0	
修得単位数		19単位		22単位		22単位		22単位		16単位		15単位		4単位		4単位		124

③履修モデル（幼稚園教諭一種免許状＋保育士資格）

科目区分		1年次				2年次				3年次				4年次				単位数	
		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅰ期		Ⅱ期			
		授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位		
共通教育科目	建学の精神		宗教と人生	2	地域と仏教	1												20	
	コミュニケーション	日本語（読解と表現）	2	英語	2														
		コンピュータ演習	2																
	地域に学ぶ								ファシリテーション入門	2									
	現代社会を読み解く	日本国憲法	2																
	自然と科学							心理学	2										
	暮らしと健康	健康・スポーツ科学Ⅱ（実技）	1	健康・スポーツ科学Ⅰ（講義）	2														
キャリアデザイン												ヒューマンサービスとマネジメント	2						
ゼミナール科目		クラスゼミナールⅠ	2	クラスゼミナールⅡ	2	クラスゼミナールⅢ	2	クラスゼミナールⅣ	2	卒業研究Ⅰ	2	卒業研究Ⅱ	2	卒業研究Ⅲ	2	卒業研究Ⅳ	2	16	
教育・保育実践科目	幼児教育・保育内容科目	こどもと健康	1	こどもと環境	1	保育内容「環境」の指導法	2	保育内容総論	1									16	
		こどもと人間関係	1	こどもと表現	1	保育内容「表現」の指導法	2	保育内容「健康」の指導法	2										
こどもと言葉		1				保育内容「人間関係」の指導法	2	保育内容「言葉」の指導法	2										
教育・保育実践科目	幼児教育・保育実践科目	音楽Ⅰ	1	こどもの保健	2	教育・保育の課程と評価	2	幼児理解	1	教師・保育者論	2	こども家庭支援の心理学	2					32	
		保育原理	2	乳児保育Ⅱ	1	こども家庭福祉	2	こどもの食と栄養Ⅱ	1	社会的養護Ⅱ	1	青年心理学	2						
		社会福祉	2			こども家庭支援論	2	こどもの健康と安全	1										
		乳児保育Ⅰ	2			社会的養護Ⅰ	2	特別支援教育Ⅱ	1										
						こどもの食と栄養Ⅰ	1	子育て支援	1										
				特別支援教育Ⅰ	1														
教職発展科目	こども支援発展科目											個別教育計画作成演習	1				1		
	学校・地域教育活動発展科目			ふれあい体験活動	1	子育て支援地域活動Ⅰ	1			インターンシップⅡ	1						6		
										防災とコミュニティ	2								
	ICT活用科目			学校教育におけるICT活用	2												2		
特別支援保育発展科目												発達障害児への支援	2	社会的スキルトレーニングの理論と実践	2		4		
教職・保育キャリア科	教職基礎科目	教育の思想と原理	2	教育制度論	2			教育社会学	2	教育心理学	2						14		
		教職入門	2	発達心理学	2														
				教育課程論	2														
教職実践科目	教職支援科目			教育方法・技術論	2	教育におけるICT活用の理論と方法	2	教育相談	2							6			
														幼稚園教育実習	4	保育・教職実践演習	2	7	
保育キャリア科目	保育実習					保育実習指導Ⅰ（保育所）	1	保育実習実習指導Ⅰ（施設）	1	保育実習指導Ⅱ	1			幼稚園教育実習リフレクション	1		9		
						保育実習Ⅰ（保育所）	2	保育実習Ⅰ（施設）	2	保育実習Ⅱ	2								
修得単位数		23単位		24単位		23単位		23単位		16単位		11単位		9単位		4単位		133	

④履修モデル（幼稚園教諭一種免許状＋特別支援学校教諭一種免許状）

科目区分		1年次				2年次				3年次				4年次				単位数
		I 期		II 期		I 期		II 期		I 期		II 期		I 期		II 期		
		授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	
共通教育科目	建学の精神		宗教と人生	2	地域と仏教	1											20	
	コミュニケーション	日本語（読解と表現）	2	英語	2													
		コンピュータ演習	2															
	地域に学ぶ								ファッション入門	2								
	現代社会を読み解く	日本国憲法	2															
	自然と科学					心理学	2											
	くらしと健康	健康・スポーツ科学Ⅱ（実技）	1	健康・スポーツ科学Ⅰ（講義）	2													
キャリアデザイン										ヒューマンサービスとマネジメント	2							
教育・保育実践科目	ゼミナール科目	クラスゼミナールⅠ	2	クラスゼミナールⅡ	2	クラスゼミナールⅢ	2	クラスゼミナールⅣ	2	卒業研究Ⅰ	2	卒業研究Ⅱ	2	卒業研究Ⅲ	2	卒業研究Ⅳ	2	16
	幼児教育・保育内容科目	こどもと健康	1	こどもと環境	1	保育内容「環境」の指導法	2	保育内容総論	1									16
		こどもと人間関係	1	こどもと表現	1	保育内容「表現」の指導法	2	保育内容「健康」の指導法	2									
		こどもと言葉	1				保育内容「人間関係」の指導法	2										
								保育内容「言葉」の指導法	2									
	幼児教育・保育実践科目	音楽Ⅰ	1	総合表現教育Ⅰ	1	総合表現教育Ⅱ	1	幼児理解	1	教師・保育者論	2						10	
						教育・保育の課程と評価	2	特別支援教育Ⅱ	1									
	教職発展科目	こども支援発展科目										個別教育計画作成演習	1				1	
		学校・地域教育活動発展科目			ふれあい体験活動	1					防災とコミュニティ	2					3	
		ICT活用科目			学校教育におけるICT活用	2					教育データの利活用	2					4	
教職基礎科目	教育の思想と原理	2	教育制度論	2						教育心理学	2					12		
	教職入門	2	教育課程論	2						特別支援教育入門	2							
教職支援科目			教育方法・技術論	2	道徳教育論	2	教育相談	2								8		
					教育におけるICT活用の理論と方法	2												
教職実践科目													幼稚園教育実習	4	保育・教職実践演習	2	10	
													幼稚園教育実習 リフレクション	1				
													特別支援教育実習	2				
													特別支援教育実習 リフレクション	1				
特別支援教育専門科目			特別支援教育総論	2	知的障害児の心理・生理・病理	2	病弱児の心理・生理・病理	2	知的障害児の教育課程と指導法	2	肢体不自由教育指導法	2	視覚障害教育総論	2		28		
					肢体不自由児の心理・生理・病理	2	知的障害教育総論	2	重複・発達障害教育総論	2	病弱児の教育課程と指導法	2	聴覚障害教育総論	2				
							肢体不自由教育総論	2	心理検査法	2	病弱教育総論	2						
修得単位数		17単位		22単位		19単位		21単位		20単位		11単位		14単位		4単位		128

⑤履修モデル（小学校教諭一種免許状＋特別支援学校教諭一種免許状）

科目区分		1年次				2年次				3年次				4年次				単位数
		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅰ期		Ⅱ期		
		授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	
共通教育科目	建学の精神	地域と仏教	1	宗教と人生	2													20
	コミュニケーション	日本語（読解と表現）	2	英語	2													
		コンピュータ演習	2															
	現代社会を読み解く	日本国憲法	2															
	自然と科学	心理学	2			生命倫理学	2											
	くらしと健康		1	健康・スポーツ科学Ⅰ（講義）	2													
キャリアデザイン											ヒューマンサービスとマネジメント	2						
教育・保育実践科目	ゼミナール科目	クラスゼミナールⅠ	2	クラスゼミナールⅡ	2	クラスゼミナールⅢ	2	クラスゼミナールⅣ	2	卒業研究Ⅰ	2	卒業研究Ⅱ	2	卒業研究Ⅲ	2	卒業研究Ⅳ	2	16
	幼児教育・保育実践科目	音楽Ⅰ	1															1
教育実践科目	初等教科内容科目	初等国語科内容論	1	初等算数科内容論	1													10
		初等社会科内容論	1	初等生活科内容論	1													
		初等理科内容論	1	初等図画工作科内容論	1													
		初等音楽科内容論	1	初等体育科内容論	1													
		初等家庭科内容論	1	初等英語科内容論	1													
	初等教科指導法科目					初等算数科教育法	2	初等国語科教育法	2									20
				初等生活科教育法	2	初等社会科教育法	2											
				初等図画工作科教育法	2	初等理科教育法	2											
				初等体育科教育法	2	初等音楽科教育法	2											
				初等英語科教育法	2	初等家庭科教育法	2											
教職発展科目	こども支援発展科目										個別教育計画作成演習	1					1	
	学校・地域教育活動発展科目					インターンシップⅠ	1			インターンシップⅡ	1						4	
											防災とコミュニティ	2						
ICT活用科目			学校教育におけるICT活用	2													2	
教職・保育キャリア科目	教職基礎科目	教育の思想と原理	2	教育制度論	2					教育心理学	2						12	
		教職入門	2	教育課程論	2					特別支援教育入門	2							
	教職支援科目		教育方法・技術論	2	道徳教育論	2	総合的な学習の理論と実践	2	特別活動論	2							14	
				教育におけるICT活用の理論と方法	2	生徒指導論	2											
	教職実践科目									小学校教育実習リフレクション	1	小学校教育実習	4	特別支援教育実習	2	教職実践演習（小学校）	2	10
												特別支援教育実習リフレクション	1					
特別支援教育専門科目						知的障害児の心理・生理・病理	2	病弱児の心理・生理・病理	2	知的障害児の教育課程と指導法	2	肢体不自由教育指導法	2	視覚障害教育総論	2		26	
					肢体不自由児の心理・生理・病理	2	知的障害教育総論	2	重複・発達障害教育総論	2	病弱児の教育課程と指導法	2	聴覚障害教育総論	2				
							肢体不自由教育総論	2	心理検査法	2	病弱教育総論	2						
修得単位数		22単位		21単位		23単位		24単位		18単位		15単位		9単位		4単位		136

兵庫大学等定年規則

〔平成11年4月1日制定〕
〔睦学則第27号〕

(趣旨)

第1条 この規則は、就業規則（加古川団地）第12条第2項の規定に基づき、兵庫大学・兵庫大学短期大学部（以下「大学部門」という。）及び兵庫大学附属加古川幼稚園（以下「幼稚園」という。）の職員（以下「職員」という。）の定年に関して必要な事項を定める。

(定年)

第2条 職員は、定年に達した日の属する学年度の終了する日をもって、なんらの通知を要せず当然に雇用契約が終了するものとする。

2 職員の定年は、大学部門においては、教育職員満67歳、事務職員満65歳、技術職員及び作業員満65歳、幼稚園においては満60歳とする。

3 大学設置等の認可申請における教員資格審査の対象となり、教員資格審査を経て採用された者については、当該学部等の完成年度まで定年退職の時期を延長することがある。

4 大学設置等の認可申請における教員資格審査の対象となり、教員資格審査を経て採用する者については、第2項に定める定年年齢を超えて採用することがある。この場合の定年は、当該学部等の完成年度の末日とする。

(定年延長)

第3条 職務の都合により特に必要があると認められた者については、定年を延長することがある。

2 前項の定年延長は、辞令を交付して、1年毎にこれを行う。

(再雇用)

第4条 学校法人睦学園を定年退職した者を、再雇用することがある。

2 再雇用に関する事項は別に定める。

3 第1項の再雇用の期間は1年以内とし、辞令を交付してこれを行う。その後の更新についても、また同様とする。

(適用除外)

第5条 部門長の地位にある職員については、その地位にある間は定年に関する規定を適用しない。

(改廃)

第6条 この規則の改廃は、理事会の議を経て、理事長がこれを行う。

附 則

1 この規則は、平成11年4月1日から施行する。

2 この規則施行の際、兵庫大学教員として、学部等の設置に伴い採用された者に対する第2条第2項の規定の適用については、当該学部等が完成年度となるまでは、その者が兵庫大学に採用された日における年令に5年を加えた年令と第2条第2項に規定する年令とのいずれか多いものをもって、その者の定年とする。

- 3 平成20年3月31日現在に、在籍する者については、経過措置として、平成20年度から平成24年度における定年は、第2条第2項の規定にかかわらず、次のとおりとする。

期 間	教 育 職 員	事務職員・技術職員・作業員
平成20年度	満69歳	満69歳
平成21年度	満68歳	満68歳
平成22年度	満67歳	満67歳
平成23年度	—	満66歳
平成24年度	—	満65歳

- 4 この規則は、平成20年4月1日から施行する。
5 この規則は、平成27年4月1日から施行する。
6 この規則は、平成30年1月27日から施行する。
7 この規則は、平成31年2月1日から施行する。

教員の一週間の時間割表

關 浩和

Ⅰ期

	月	火	水	木	金	土
1			クラスゼミナールⅠ		初等生活科教育法	
2						
3						
4	初等社会科内容論					
5	卒業研究Ⅲ			卒業研究Ⅰ	情報活用の実践Ⅰ (※2/15回担当)	
6						

Ⅱ期

	月	火	水	木	金	土
1				初等生活科内容論		
2			卒業研究Ⅳ			
3						
4				教育課程論		
5				初等社会科教育法		
6		卒業研究Ⅱ				

インターンシップⅠ (2年次・通年、1単位・共同)

専任教員個別時間割

松田 信樹

I 期

	月	火	水	木	金	土
1					教育心理学	
2						
3	個別教育計画概論					
4						
5	卒業研究Ⅲ			卒業研究Ⅰ		
6						

II 期

	月	火	水	木	金	土
1	個別教育計画 作成演習 (A)		クラスゼミナールⅡ			
2	個別教育計画 作成演習 (B)		卒業研究Ⅳ			
3	幼児理解 (B)					
4	幼児理解 (A)	青年心理学				
5		発達心理学				
6		卒業研究Ⅱ				

インターンシップⅡ (3年次・通年、1単位・共同)

専任教員個別時間割

赤井 利行

I 期

	月	火	水	木	金	土
1			クラスゼミナールⅢ			
2						
3						
4			初等算数科教育法			
5	卒業研究Ⅲ			卒業研究Ⅰ	情報活用の実践Ⅰ (※2/15回担当)	
6						

II 期

	月	火	水	木	金	土
1						
2		初等算数科内容論	卒業研究Ⅳ			
3						
4						
5						
6		卒業研究Ⅱ				

インターンシップⅠ (2年次・通年、1単位・共同)

専任教員個別時間割

大江 実代子

I 期

	月	火	水	木	金	土
1	特別活動論 (※8/15回担当)					
2						
3					初等国語科内容論	
4						
5	卒業研究Ⅲ			卒業研究Ⅰ	情報活用の実践Ⅰ (※2/15回担当)	
6						

II 期

	月	火	水	木	金	土
1	ふれあい 体験活動		クラスゼミナールⅣ			
2			卒業研究Ⅳ			
3		初等国語科教育法				
4	教職実践演習(小学校)					
5						
6		卒業研究Ⅱ				

インターンシップⅠ(2年次・通年、1単位・共同)

専任教員個別時間割

橋本 正巳

I 期

	月	火	水	木	金	土
1						
2						
3						
4		重複・発達障害教育総論 (※5/15回担当)	特別支援教育実習リフレ クション			
5	卒業研究Ⅲ			卒業研究Ⅰ		
6						

II 期

	月	火	水	木	金	土
1			クラスゼミナールⅡ			
2			卒業研究Ⅳ			
3						
4			特別支援教育実習リフレ クション			
5		肢体不自由児の教育課程 と指導法 (※8/15回担当)		特別支援教育総論 (※3/15回担当)		
6		卒業研究Ⅱ		肢体不自由教育総論		

特別支援教育実習 (4年次・通年、1単位・共同)

専任教員個別時間割

河野 真

I 期

	月	火	水	木	金	土
1						
2						
3						
4					社会福祉 (※3/15回担当)	
5						
6						

II 期

	月	火	水	木	金	土
1						
2						
3						
4						
5						
6						

専任教員個別時間割

林 敦司

I 期

	月	火	水	木	金	土
1	特別活動論 (※9/15回担当)	道徳教育論	クラスゼミナール I			
2						
3						
4						
5	卒業研究 III			卒業研究 I		
6						

II 期

	月	火	水	木	金	土
1						
2			卒業研究 IV			
3						
4				総合的な学習の理論と実践 (※9/15回担当)		
5						
6		卒業研究 II				

インターンシップ I (2年次・通年、1単位・共同)

専任教員個別時間割

半田 結

I 期

	月	火	水	木	金	土
1	総合表現教育Ⅱ (B)		クラスゼミナールⅢ	保育内容「表現」の指導法 (A) (※11/15回担当)		
2						
3	保育内容「表現」の指導法 (B) (※11/15回担当)	総合表現教育Ⅱ (A)	初等図画工作科教育法			
4						
5	卒業研究Ⅲ			卒業研究Ⅰ		
6						

II 期

	月	火	水	木	金	土
1					こどもと表現 (B) (※9/15回担当)	
2			卒業研究Ⅳ		こどもと表現 (A) (※9/15回担当)	
3				総合表現教育Ⅰ (A)	総合表現教育Ⅰ (B)	
4		初等図画工作内容論	情報活用の実践Ⅱ (デジタル教科書の活用含む) (※2/15回担当)			
5						
6		卒業研究Ⅱ				

インターンシップⅡ (3年次・通年、1単位・共同)

専任教員個別時間割

古田 薫

I 期

	月	火	水	木	金	土
1						
2					教職入門	
3						
4						
5	卒業研究Ⅲ			卒業研究Ⅰ		
6						

II 期

	月	火	水	木	金	土
1			クラスゼミナールⅣ			
2			卒業研究Ⅳ			
3		教育制度論				
4						
5						
6		卒業研究Ⅱ				

インターンシップⅡ (3年次・通年、1単位・共同)

専任教員個別時間割

田邊 哲雄

I 期

	月	火	水	木	金	土
1			クラスゼミナール I			
2			こども家庭福祉			
3			保育実習指導 III			
4					社会福祉 (※12/15回担当)	
5	卒業研究 III			卒業研究 I		
6						

II 期

	月	火	水	木	金	土
1						
2			卒業研究 IV			
3						
4			保育実習指導 I (施設) (A)			
5		保育実習指導 I (施設) (B)				
6		卒業研究 II				

保育実習 I (施設) (2年次・後期、2単位・共同)

保育実習 III (3年次・前期、2単位・共同)

専任教員個別時間割

安部 洋一郎

I 期

	月	火	水	木	金	土
1						
2						
3						
4			初等理科内容論		小学校教育実習リフレクション	
5	卒業研究Ⅲ			卒業研究Ⅰ	情報活用の実践Ⅰ (※2/15回担当)	
6						

II 期

	月	火	水	木	金	土
1		こどもとサイエンス (こどもと科学遊び)	クラスゼミナールⅡ			
2			卒業研究Ⅳ	初等理科教育法		
3	小学校教育実習リフレクション					
4				総合的な学習の理論と実践 (※8/15回担当)		
5						
6		卒業研究Ⅱ				

小学校教育実習 (3年次・後期、4単位)

専任教員個別時間割

石川 恵美

I 期

	月	火	水	木	金	土
1			クラスゼミナール I			
2		こどもと言葉 (A)	こどもと言葉 (B)			
3			保育実習指導 III			
4						
5	卒業研究 III			卒業研究 I		
6						

II 期

	月	火	水	木	金	土
1						
2	保育内容「言葉」の指導法 (A)		卒業研究 IV			
3					保育内容「言葉」の指導法 (B)	
4			保育実習指導 I (施設) (A)			
5		保育実習指導 I (施設) (B)				
6		卒業研究 II				

保育実習 I (施設) (2年次・後期、2単位・共同)

保育実習 III (3年次・前期、2単位・共同)

専任教員個別時間割

磯野 久美子

I 期

	月	火	水	木	金	土
1	こどもと人間関係 (B)		クラスゼミナールⅢ			
2	教師・保育者論					
3			幼稚園教育実習リフレクション	こどもと人間関係 (A)		
4						
5	卒業研究Ⅲ			卒業研究Ⅰ		
6						

II 期

	月	火	水	木	金	土
1						
2			卒業研究Ⅳ			
3			幼稚園教育実習リフレクション		保育・教職実践演習 (A)	
4					保育・教職実践演習 (B)	
5						
6		卒業研究Ⅱ				

幼稚園教育実習 (4年次・通年、4単位)

専任教員個別時間割

井上 朋子

I 期

	月	火	水	木	金	土
1	総合表現教育Ⅱ (B)		クラスゼミナールⅢ			
2		音楽Ⅰ (B)	音楽Ⅰ (A)			
3	初等音楽科内容論	総合表現教育Ⅱ (A)				
4						
5	卒業研究Ⅲ			卒業研究Ⅰ		
6						

II 期

	月	火	水	木	金	土
1						
2			卒業研究Ⅳ	音楽Ⅱ (B)		
3				総合表現教育Ⅰ (A)	総合表現教育Ⅰ (B)	
4			情報活用の実践Ⅱ (デジタル教科書の活用含む) (※2/15回担当)		音楽Ⅱ (A)	
5					初等音楽科教育法	
6		卒業研究Ⅱ				

インターンシップⅠ (2年次・通年、1単位・共同)

専任教員個別時間割

河野 稔

I 期

	月	火	水	木	金	土
1						
2						
3						
4	教育におけるICT活用の理論と方法			教育データの利活用		
5	卒業研究Ⅲ			卒業研究Ⅰ	情報活用の実践Ⅰ (※15/15回担当)	
6						

II 期

	月	火	水	木	金	土
1			クラスゼミナールⅣ			
2			卒業研究Ⅳ	教育方法・技術論 (A)		
3				教育方法・技術論 (B)		
4			情報活用の実践Ⅱ (デジタル教科書の活用含む) (※15/15回担当)			
5					情報社会と情報モラル教育	
6		卒業研究Ⅱ				

インターンシップⅠ (2年次・通年、1単位・共同)

専任教員個別時間割

澤田 真弓

I 期

	月	火	水	木	金	土
1		保育原理		保育実習指導Ⅰ（保育所）（B）		
2	教育・保育の課程と評価	子育て支援地域活動Ⅰ 子育て支援地域活動Ⅱ（A②）		子育て支援地域活動Ⅰ 子育て支援地域活動Ⅱ（B②）		
3	保育実習指導Ⅱ			保育実習指導Ⅰ（保育所）（A）		
4						
5	卒業研究Ⅲ			卒業研究Ⅰ		
6						

II 期

	月	火	水	木	金	土
1			クラスゼミナールⅡ			
2		子育て支援地域活動Ⅰ 子育て支援地域活動Ⅱ（A①）	卒業研究Ⅳ	子育て支援地域活動Ⅰ 子育て支援地域活動Ⅱ（B①）		
3						
4						
5						
6		卒業研究Ⅱ				

専任教員個別時間割

杉田 律子

I 期

	月	火	水	木	金	土
1						
2		聴覚障害教育総論	心理検査法	特別支援教育Ⅰ (A)		
3						
4		重複・発達障害教育総論 (※5/15回担当)	特別支援教育実習リフレ クション	特別支援教育Ⅰ (B)		
5	卒業研究Ⅲ			卒業研究Ⅰ		
6						

II 期

	月	火	水	木	金	土
1			クラスゼミナールⅣ			
2			卒業研究Ⅳ			
3			特別支援教育Ⅱ (A)	特別支援教育Ⅱ (B)		
4			特別支援教育実習リフレ クション			
5				特別支援教育総論 (※5/15回担当)		
6		卒業研究Ⅱ				

特別支援教育実習 (4年次・通年、1単位・共同)

専任教員個別時間割

立本 千寿子

I 期

	月	火	水	木	金	土
1				保育内容「表現」の指導法 (A) (※11/15回担当)		
2		音楽 I (B)	音楽 I (A)			
3	保育内容「表現」の指導法 (B) (※11/15回担当)					
4						
5	卒業研究 III			卒業研究 I		
6						

II 期

	月	火	水	木	金	土
1			クラスゼミナール II		こどもと表現 (B) (※9/15回担当)	
2			卒業研究 IV	音楽 II (B)	こどもと表現 (A) (※9/15回担当)	
3					こども音楽療育論	
4					音楽 II (A)	
5						
6		卒業研究 II				

インターンシップ II (3年次・通年、1単位・共同)

専任教員個別時間割

平田 真二

I 期

	月	火	水	木	金	土
1			クラスゼミナールⅢ			
2		知的障害児の教育課程と指導法				
3						
4		重複・発達障害教育総論 (※3/15回担当)	特別支援教育実習リフレクション			
5	卒業研究Ⅲ			卒業研究Ⅰ		
6						

II 期

	月	火	水	木	金	土
1						
2			卒業研究Ⅳ			
3						
4	発達障害児への支援		特別支援教育実習リフレクション			
5	知的障害教育総論	肢体不自由児の教育課程と指導法 (※7/15回担当)		特別支援教育総論 (※3/15回担当)		
6		卒業研究Ⅱ				

特別支援教育実習 (4年次・通年、1単位・共同)

専任教員個別時間割

藤野 正和

I 期

	月	火	水	木	金	土
1			クラスゼミナール I			
2			心理検査法			
3						
4		重複・発達障害教育総論 (※2/15回担当)	特別支援教育実習リフレ クション			
5	卒業研究 III	肢体不自由児の心理・生 理・病理 (※9/15回担当)		卒業研究 I		
6		知的障害児の心理・生 理・病理 (※8/15回担当)				

II 期

	月	火	水	木	金	土
1						
2			卒業研究 IV			
3	病弱児の心理・生理・病 理 (※8/15回担当)					
4			特別支援教育実習リフレ クション			
5	教育相談			特別支援教育総論 (※4/15回担当)		
6		卒業研究 II				

インターンシップ II (3年次・通年、1単位・共同)

特別支援教育実習 (4年次・通年、1単位・共同)

教育課程等の概要																
(生涯福祉学部社会福祉学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	建学の精神	宗教と人生	1・後	2		○				1					兼2 兼1	
		仏教と現代社会	1・後	2		○				1						
		兵庫大学の学びと和	1・後	2		○				1						
		地域と仏教	1・前	1		○										
		兵大京都学	1・後	1		○					1					
		小計(5科目)	—	2	6	0	—	—	—	—	1	1	0	0		0
	コミュニケーション	日本語(読解と表現)	1・前	2			○								兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼2	
		英語	1・後	2			○									
		実用英語I	1・後	2			○									
		実用英語II	2・前	2			○									
		中国語(初級)	1・前	2			○									
		中国語(中級)	1・後	2			○									
		韓国語(初級)	1・前	2			○									
		韓国語(中級)	1・後	2			○									
		コンピュータ演習	1・前	2			○			1						
		コンピュータグラフィックスの基礎	1・後	2			○									
	小計(10科目)	—	6	14	0	—	—	—	—	1	0	0	0	0	兼7	
	国際理解	国際理解と宗教I(キリスト教)	1・前	2			○								兼1 兼1	
		国際理解と宗教II(イスラム教)	1・後	2			○									
		国際関係論	1・後	2			○				1					
		比較文化論	1・前	2			○				1					
	小計(4科目)	—	0	8	0	—	—	—	—	0	2	0	0	0	兼2	
	歴史と文化	歴史学	1・前	2			○								兼1 兼1 兼1	
		文学	1・後	2			○									
		色彩とデザイン	1・前	2			○									
		小計(3科目)	—	0	6	0	—	—	—	—	0	0	0	0		0
	地域に学ぶ	地域文化論	1・後	2			○								兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	
		建築デザインと地域	1・後	2			○									
		地域と文化財	1・前	2			○									
		地域資料を読む	1・後	2			○									
		日本の伝統文化「将棋」を学ぶ	1・前	2			○									
		ファンリテーション入門	1・前	2			○			2	1					
	小計(6科目)	—	0	12	0	—	—	—	—	2	1	0	0	0	兼3	
	現代社会を読み解く	哲学	1・前	2			○								兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	
		日本国憲法	1・前	2			○									
		人権の歴史	1・前	2			○									
		政治学	1・前	2			○				1					
		社会学	1・前	2			○			1						
		経済学	1・前	2			○									
		現代社会の理解	1・前	2			○									
		小計(7科目)	—	2	12	0	—	—	—	—	1	1	0	0		0
	自然と科学	生命倫理学	1・前	2			○				1				兼1 兼1 兼1 兼2 兼1	
		心理学	1・前	2			○									
		化学	1・前	2			○									
		生物学	1・前	2			○									
		身のまわりの科学	1・前	2			○									
		プログラミング入門	1・後	2			○									
	小計(6科目)	—	0	12	0	—	—	—	—	1	0	0	0	0	兼5	
くらしと健康	食と健康	1・後	2			○								兼1 兼1 兼2 兼1		
	健康・スポーツ科学I(講義)	1・後	2			○										
	健康・スポーツ科学II(実技)	1・前	1					○								
	健康・スポーツ科学III(実技)	1・後	1					○								
	小計(4科目)	—	2	4	0	—	—	—	—	0	0	0	0		0	兼4
キャリアインテ	私のためのキャリア設計	1・前	2			○								兼1 兼2 兼3		
	ヒューマンサービスとマネジメント	2・後	2			○			1							
	入門ボランティア	1・通年	2					○								
	小計(3科目)	—	0	6	0	—	—	—	—	1	0	0	0		0	兼6
小計(48科目)		—	12	80	0	—	—	—	—	5	2	0	0	0	兼24	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	医学概論	1・後	2			○									兼1
	心理学と心理的支援	1・後	2			○			1						
	社会学と社会システム	1・後	2			○			1						
	ソーシャルワークの基盤と専門職	1・前	2			○			1						
	ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	1・後	2			○			1						
	介護概論	2・前		2		○			1						
	法学	1・後		2		○									兼1
	行政法	1・後		2		○									兼1
	生涯発達心理学	1・前		2		○				1					
	こころの基盤の理解	2・前		2		○			1						
	コミュニケーション論	2・前		2		○									兼1
	社会心理学	2・前		2		○			1						
	態度の心理学	2・後		2		○			1						
	基礎ゼミナールⅠ	1・前	2				○		2	1					
	基礎ゼミナールⅡ	1・後	2				○		2	1					
	専門基礎ゼミナールⅠ	2・前	2				○		1	1	1				
	専門基礎ゼミナールⅡ	2・後	2				○		1	1	1				
小計(17科目)	—	—	18	16	0	—	—	—	5	2	1	0	0	兼3	
専門教育科目	社会福祉の原理と政策Ⅰ	1・前	2			○			1						
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	1・後	2			○			1						
	社会保障論Ⅰ	2・前	2			○			1						
	社会保障論Ⅱ	2・後	2			○			1						
	社会福祉調査の基礎	1・後		2		○			1						
	高齢者福祉	2・前		2		○			1						
	障害者福祉	1・後		2		○									兼1
	児童・家庭福祉	1・前		2		○			1						
	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2・後	2			○				1					
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	3・前	2			○				1					
	保健医療と福祉	2・前		2		○			1						
	医療ソーシャルワーク論	3・前		2		○			1						
	社会福祉アドバンス実習	3・後、4・前	4			○	○								兼1
	貧困に対する支援	2・後		2		○									兼1
	権利擁護を支える法制度	2・後		2		○									兼1
	ソーシャルワークの理論と方法	2・後	4			○			1						
	ソーシャルワークの理論と方法(専門)	3・前	4			○			1						
	ソーシャルワーク演習	2・後	2				○		1						
	ソーシャルワーク演習(専門)A	3・前		4			○		1						
	ソーシャルワーク演習(専門)B	3・後		4			○		1						
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1・通年	4				○		1						兼1
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	2・通年	4				○		2	1					
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	3・通年	4				○		2	1					
	ソーシャルワーク実習Ⅰ	1・通年	1					○	5	2					
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	2・通年	2					○	5	2					
	ソーシャルワーク実習Ⅲ	3・通年	4					○	5	2					
	専門ゼミナールⅠ	3・前	2				○		4	2	1				
	専門ゼミナールⅡ	3・後	2				○		4	2	1				
	卒業演習	4・通年	4				○		4	2	1				
小計(29科目)	—	—	30	47	0	—	—	—	5	2	1	0	0	兼5	
ソーシャルワーク基盤科目	刑事司法と福祉	3・後		2		○									兼1
	福祉サービスの組織と経営	3・後		2		○				1					
	心理検査法	3・後		2		○				1					
	臨床心理学	3・後		2		○				1					
	統計学の基礎	2・後		2		○			1						
	加齢及び障害に関する理解	3・後		2		○									兼1
	福祉住環境論	1・前		2		○									兼1
	精神保健福祉制度論	3・前		2		○					1				
	精神医学と精神医療Ⅰ	2・前		2		○			1						
	精神医学と精神医療Ⅱ	2・後		2		○			1						
	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	3・前		2		○									兼1
	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	3・後		2		○									兼1
	精神保健福祉の原理Ⅰ	2・前		2		○									兼1
精神保健福祉の原理Ⅱ	2・後		2		○									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門教育科目	ソーシャルワーク基盤科目	メンタルヘルス・ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	3・前	2		○					1				兼1 兼1 兼1		
		メンタルヘルス・ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	3・後	2		○					1						
		精神障害リハビリテーション論	3・後	2		○											
		メンタルヘルス・ソーシャルワーク演習(専門) A	4・前	2			○										
		メンタルヘルス・ソーシャルワーク演習(専門) B	4・後	4			○										
		メンタルヘルス・ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	3・後	4			○			1		1					
		メンタルヘルス・ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	4・通年	4			○			1		1					
		メンタルヘルス・ソーシャルワーク実習	4・通年	4					○	1		1					
		スクール・ソーシャルワーク論	3・前	2			○										兼1 兼1 兼1 兼1
		スクール・ソーシャルワーク演習	3・後、4・前	1				○									
		スクール・ソーシャルワーク実習指導	3・後、4・前	1				○									
		スクール・ソーシャルワーク実習	3・後、4・前	2				○									
		小計(26科目)		—	0	56	0	—			2	2	1	0		0	兼7
		専門発展科目	レクリエーションワーク	1・前	2			○				1					兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
	福祉レクリエーションⅠ		2・前	2			○										
	福祉レクリエーションⅡ		2・後	2			○										
	福祉レクリエーション演習ⅠA		1・後	2				○									
	福祉レクリエーション演習ⅠB		2・前	2				○									
	福祉レクリエーション演習Ⅱ		2・後	2				○			1						
	生活支援技術		2・後	2				○		1							
	病気の理解		2・後	2			○			1							
	ケアマネジメント論		2・前	2			○								兼1		
	在宅ケア論		3・後	2			○				1						
	教育心理学		1・後	2			○								兼1		
	国際福祉論		4・後	2			○				1						
	仏教と社会福祉	4・後	2			○				1							
インターンシップ	3・通年	4					○	1						兼1			
小計(14科目)		—	0	30	0	—			3	4	0	0	0	兼5			
小計(86科目)			48	149	0	—			7	4	1	0	0	兼18			
合計(134科目)			60	229	0	—			7	4	1	0	0	兼41			
学位又は称号		学士(社会福祉学)			学位又は学科の分野			文学関係、社会学・社会福祉学関係									
卒業要件及び履修方法							授業期間等										
①卒業要件単位数は124単位である。 その履修方法は『共通教育科目』から22単位以上、『専門教育科目』のうち「専門基礎科目」から18単位以上、「ソーシャルワーク共通科目」から30単位以上、「ソーシャルワーク基盤科目」から4単位以上、「専門発展科目」から4単位以上、の計78単位以上、及び『共通教育科目』『専門教育科目』のいずれかから46単位以上の計124単位以上を修得しなければならない。 ②履修科目の登録の上限は各学期36単位、年間60単位である。							1学年の学期区分		2期								
							1学期の授業期間		15週								
							1時限の授業時間		90分								

(注)

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行うおとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行うおとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行うおとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。
 - 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。

兵庫大学生涯福祉学部社会福祉学科 3 年次編入学生の既修得単位認定要領

この要領は、兵庫大学生涯福祉学部社会福祉学科（以下「本学科」という）に、3 年次編入をする際、編入学生が既に卒業した四年制大学、短期大学、あるいは専門学校等において修得した単位（以下「既修得単位」という）のうち、いずれを本学科の教育課程において既に修得したものと認定するかについて定めたものである。

1. 単位の認定を受けようとする編入学生は、既修得単位認定に係る申請書を本学に提出しなければならない。認定の審査は、当該の申請書をもとに行うことを原則とする。
2. 認定する単位の上限は 62 単位とする。
3. 本学科に設定している授業科目群それぞれからの、認定する単位の上限等は次のとおりとする。
 - (1) 共通教育科目から、22 単位を上限として次の内容で認定する。
 - ①共通教育科目の必修科目「宗教と人生」2 単位を個別認定する。
 - ②共通教育科目の必修科目〔「日本語（読解と表現）」、「英語」、「コンピュータ演習」〕の 6 単位を上限として一括認定する。
 - ③共通教育科目の選択科目 14 単位を一括認定する。
 - (2) 専門教育科目から、40 単位を上限として次の内容で認定する。
 - ①専門教育科目から基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ、専門基礎ゼミナールⅠ・Ⅱの必修科目 8 単位を一括認定する。
 - ②上記以外の専門教育科目〔ソーシャルワーク実習指導Ⅱ、ソーシャルワーク実習指導Ⅲ、ソーシャルワーク実習Ⅱ、ソーシャルワーク実習Ⅲ、ソーシャルワーク演習、ソーシャルワーク演習（専門 A）、ソーシャルワーク演習（専門 B）を除く〕から、32 単位を上限として個別認定する。
4. 既修得単位の認定については、教務委員会で審議し、教授会に諮り、学長が決定する。
5. この要領は、令和 5 年度編入学生から適用する。

附 則

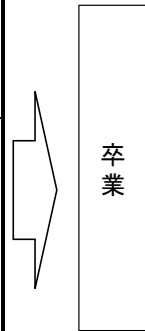
この要領は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

実習及び実習指導の流れ

		社会福祉士		社会福祉士 精神保健福祉士	
		実習	実習指導	実習	実習指導
1年	前期	ソーシャルワーク実習Ⅰ（児童福祉分野、障害福祉分野、高齢者・介護分野等）	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	ソーシャルワーク実習Ⅰ（児童福祉分野、障害福祉分野、高齢者・介護分野等）	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ
	後期				
2年	前期	ソーシャルワーク実習Ⅱ	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	ソーシャルワーク実習Ⅱ	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ
	後期				
3年	前期	ソーシャルワーク実習Ⅲ	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	ソーシャルワーク実習Ⅲ	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ
	後期				
4年	前期			メンタルヘルス・ ソーシャル ワーク実習	メンタルヘルス・ ソーシャルワーク 実習指導Ⅱ
	後期				

生涯福祉学部社会福祉学科の履修モデル〈社会福祉学科3年次編入：社会福祉士の資格を活かす進路をめざす〉

モデルパターン	学年	3年	4年	単位数
社会変革を目指す ソーシャルワーカー を育成する履修モデル	授業科目区分			
	共通教育科目		心理学 2 人権の歴史 2 社会学 2 日本国憲法 2 現代社会の理解 2	10
	専門基礎科目	◎ 医学概論 2 ◎ 心理学と心理的支援 2 ◎ 社会学と社会システム 2 ◎ ソーシャルワークの基盤と専門職 2	◎ ソーシャルワークの基盤と専門職（専門） 2	10
	専門教育科目	◎ 社会福祉の原理と政策Ⅰ 2 ◎ 社会福祉の原理と政策Ⅱ 2 ◎ 社会保障論Ⅰ 2 ◎ 社会保障論Ⅱ 2 社会福祉調査の基礎 2 高齢者福祉 2 障害者福祉 2 児童・家庭福祉 2 ◎ 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ 2 保健医療と福祉 2 貧困に対する支援 2 権利擁護を支える法制度 2 ◎ ソーシャルワークの理論と方法 4 ◎ ソーシャルワーク演習 2 相談援助実習指導Ⅱ 4 ソーシャルワーク実習Ⅱ 2 ◎ 専門ゼミナールⅠ 2 ◎ 専門ゼミナールⅡ 2	◎ 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ 2 ◎ ソーシャルワークの理論と方法（専門） 4 ソーシャルワーク演習（専門）A 4 ソーシャルワーク演習（専門）B 4 ソーシャルワーク実習指導Ⅲ 4 ◎ ソーシャルワーク実習Ⅲ 4 ◎ 卒業演習 4	66
	ソーシャルワーク基盤科目		刑事司法と福祉 2 福祉サービスの組織と経営 2	4
	専門発展科目		生活支援技術 2 ケアマネジメント論 2 在宅ケア論 2	6
	教職に関する科目			
単位数	計	0	10	10
	計	48	38	86
	計	48	48	96
	計	0	0	0



【留意点】 卒業要件単位数は一括認定・個別認定を含め124単位である。（※年間48単位を単位取得を上限とする）

図書等リスト

和洋区分	分類	書名	著者名	出版社	出版年月
国内書	学級経営	もっと！少人数学級：豊かな学びを実現するためのアイデア	山崎洋介・山沢智樹	旬報社	202103
国内書	学級経営	2時間でわかる学級経営の基礎・基本	丸岡慎弥	東洋館出版社	202103
国内書	学級経営	クラスづくりで大切にしたいこと	盛山隆雄	東洋館出版社	202103
国内書	学級経営	教師1年目の学級経営：担任スキルと広い視野を身につけるために	大前暁政	東洋館出版社	202102
国内書	学級経営	本音で語り合うクラスづくり：すべての子どもを探究の主人公にする	小川雅裕	東洋館出版社	202103
国内書	学級経営	アドラー心理学で考える学級経営：学級崩壊と荒れに向き合う	赤坂真二	明治図書出版	202104
国内書	学級経営	子どもの笑顔を取り戻す！「むずかしい学級」ビルドアップガイド	山田洋一	明治図書出版	202102
国内書	学級経営	NEW学級力向上プロジェクト：小中学校のクラスが変わる学級カブロット図誕生！（ダ	今宮信吾・田中博之	金子書房	202104
国内書	学級経営	算数×学級経営：魔法の言葉でもう一歩先の授業・クラスを！	高橋丈夫・青山尚司	光文書院	202106
国内書	学級経営	学級通信で見ると！田中博史の学級づくり 1年生	田中博史	東洋館出版社	202103
国内書	学級経営	〈たのしい授業〉のすすめ方：実況★オバランゲの仮説実験授業入門	小原茂巳	仮説社	202103
国内書	学級経営	教育現場の防災読本	「防災読本」出版委員会：中井仁	京都大学学術出版会	201806
国内書	学級経営	『学び合い』が機能する学級経営：進め方・考え方・あり方で示す60の事例	阿部隆幸	学事出版	202104
国内書	学級経営	多文化クラスの授業デザイン：外国につながる子どものために	松尾知明	明石書店	202103
国内書	学級経営	初等生活科教育、初等音楽科教育、初等図画工作科教育、初等家庭科教育、初等体育科教育	石崎和宏・中村和世	協同出版	202107
国内書	学級経営	学校ってボクらの力で変わるね。子供の権利が生きる学校づくり	植田一夫	高文研	202104
国内書	学級経営	「つながり」を育み授業を愉しむ	園田雅春	解放出版社	202107
国内書	学級経営	子供を面白がらせるワザ	多賀一郎・依原正仁	学事出版	202103
国内書	学級経営	教室ギア55：教室の「すべて」を子どもたちのために。	鈴木優太	東洋館出版社	202102
国内書	学級経営	気になる子どもの心に寄り添う教師のための心理術	浦野裕司	明治図書出版	202108
国内書	学級経営	困難な現場を生き抜く！やんちゃな子がいるクラスのまとめかた	野中信行	学陽書房	202107
国内書	学級経営	学級担任の全仕事：学級づくり成功の秘訣	山本修司	黎明書房	202101
国内書	学級経営	さる先生の学校ゲームチェンジ：これからの教育を面白くする！	坂本良晶	学陽書房	202102
国内書	学級経営	教師が悩んだときに読む本	諸富祥彦・教師を支える会	図書文化社	202103
国内書	学級経営	6つの声を意識した声かけ50：伝わり方が劇的に変わる！	熱海康太	東洋館出版社	202103
国内書	学級経営	教師のコミュニケーション大全	三好真史	東洋館出版社	202102
国内書	学級経営	センセイの「仕事」入門130：学級＆授業だけじゃない！	山本純人	明治図書出版	202109
国内書	学級経営	1年生あそび101：学校が大好きになる！小1プロブレムもスルッと解消！	三好真史	学陽書房	202103
国内書	学級経営	「少ない時間で豊かに学ぶ」授業のつくり方：脱「カリキュラム・オーバーロード」への処	奈須正裕	ぎょうせい	202108
国内書	学級経営	授業づくりの深め方：「よい授業」をデザインするための5つのツボ	石井英真	ミネルヴァ書房	202006
国内書	学級経営	今日からはじめる省エネ教育	三神彰子・赤石記子	開隆堂出版(発売：開隆堂)	202104
国内書	学級経営	子どもの「問い」が立ちあがる	上越教育大学附属小学校	学事出版	202103
国内書	学級経営	子どもの聞く力、行動する力を育てる！指示の技術	土居正博	学陽書房	202109
国内書	学級経営	自由進度学習のはじめかた：子どもが自ら学び出す！	袁手章吾	学陽書房	202102
国内書	学級経営	算数・数学における関数概念の認識発達を培う理論と実践	二澤善紀	仏教大学(発売：ミネルヴァ)	202006
国内書	学級経営	生活課題解決能力を育成する授業デザインの実践的研究：授業評価・改善に関するモ	野中美津枝	福村出版	201902
国内書	学級経営	日常をとらえ直すための子どもの造形教育プログラムの構想：ユーモアを基盤として	北澤俊之	ナカニシヤ出版	202001
国内書	学級経営	熱中授業をつくる！子どもの思考をゆきぶる授業づくりの技術：教師の「役割」が子どもの「日常」を変える！	森川正樹	学陽書房	202105
国内書	学級経営	国語科×音楽科の教科横断授業：共通「用語」で汎用的能力を育む	白石範孝・野中太一	学事出版	201805
国内書	学級経営	ことわざあそび学習資料集：問題を読んであげるだけで面白さが2倍になる	近野士志夫	民衆社	202002
国内書	学級経営	ライブ・学ぼう教材解説	平田治	一荃書房	202106
国内書	学級経営	読む文化をハックする：読むことを嫌いにする国語の授業に意味があるのか？	ジェラルド・ドーンソン・山元隆春	新評論	202101
国内書	学級経営	「くちばし」「じどう車くらべ」「どうぶつのお赤ちゃん」全時間・全板書：青山由紀の授業	青山由紀	東洋館出版社	201806
国内書	学級経営	教師も楽しむ作文生活	白石壽文・権藤順子	銀の鈴社	202001
国内書	学級経営	「書く」指導：授業で使えるアイデア&フレームワーク	坪井綾子	東洋館出版社	202003
国内書	学級経営	教師のすごい！書く指導：子どもの思考がぐんぐん深まる	森川正樹	東洋館出版社	201803
国内書	学級経営	インタラクティブ・ティーチング 実践編：学びを促す授業設計―クラスデザインの作法と事例― 1	中村長史・栗田佳代子	河合出版	202103
国内書	学級経営	学校で困っている子どもへの支援と指導：「子どもの気持ち」と「先生のギモン」から考え	目戸由刈・安居院みどり	学苑社	202110
国内書	学級経営	小学校教員を目指す人のための外国語(英語)教育の基礎：CD付き	高橋和子(英語教育)・佐藤玲子	明星大学出版部	201812
国内書	学級経営	子どもが育つ学級をつくる「仕掛け」の技術：3つのステップで、自律と協働を！	若松俊介	学陽書房	202108
外国書	教育一般	A Cultural History of Fairy Tales (The Cultural Histories)	Duggan, Anne E. (EDT)	Bloomsbury Academic	202107
外国書	教育一般	Critical Content Analysis of Visual Images in Books for Young People : Reading Images	Johnson, Holly (EDT)/ Mathis, Janelle (EDT)/ Short, Kathy G. (EDT)	Routledge	201906
外国書	教育一般	Children Draw : A Guide to Why, When and How Children Make Art	Goodman, Marilyn J. S.	Reaktion Books	202101
外国書	教育一般	Play in the Early Years	Fleer, Marilyn	Cambridge Univ Pr	202109
外国書	教育一般	Global Childhoods in International Perspective : Universality, Diversity and Inequalities (Sage Studies in International Sociology)	Baraldi, Claudio (EDT)/ De Castro, Lucia Rabello	Sage	202004
外国書	教育一般	Individual Differences in Arithmetic : Implications for Psychology, Neuroscience and Education	Dowker, Ann	Psychology Pr	201903
外国書	教育一般	A Vygotskian Analysis of Children's Play Behaviours : Beyond the Home Corner (Towards an Ethical Praxis in Early Childhood)	Kingdon, Zenna (EDT)	Routledge	202005
外国書	教育一般	Child-centred Education (Understanding Primary Education Series)	Rogers, Sue	Routledge	202101
外国書	教育一般	Authentic Project-based Learning in Grades 48 : Standards-Based Strategies and Scaffolding for Success	Laur, Dayna	Routledge	201909
外国書	教育一般	Research through Play : Participatory Methods in Early Childhood	Arnott, Lorna (EDT)/ Wall, Kate (EDT)	Sage Pubns Ltd	202107
外国書	教育一般	Mastering Primary Geography (Mastering Primary Teaching)	Barlow, Anthony/ Whitehouse, Sarah	Bloomsbury USA Academic	201906
外国書	教育一般	The Spread the Happiness Approach : Happy Teachers, Happy Classrooms, Better Education	Bason-Wood, Shonette	Routledge	202102
外国書	教育一般	Early Years Pedagogy in Practice : A Guide for Students and Practitioners	Beigi, Ruksana	Routledge	202007
外国書	教育一般	The Really Useful Art Book (The Really Useful)	Benbow, Elaine	Routledge	202101
外国書	教育一般	Reclaiming the Early Years : Keeping It Unique	Bennett, Elaine (EDT)	Routledge	202110
外国書	教育一般	Enhancing Digital Literacy and Creativity : Makerspaces in the Early Years	Blum-Ross, Alicia (EDT)/ Kumpulainen, Kristiina (EDT)/ Marsh, Jackie (Routledge	201911
外国書	教育一般	Debates in Primary Education (Debates in Subject Teaching)	Bower, Virginia (EDT)	Taylor & Francis	202010
外国書	教育一般	Visualising Literacy and How to Teach It : A Guide to Developing Thinking Skills, Vocabulary and Imagination for 9-12 Year Olds	Bowkett, Steve/ Hitchman, Tony	Routledge	202109
外国書	教育一般	Supporting Early Speech-language Development : Strategies for Ages 0-8	Boynton, Kimberly A.	Routledge	202104
外国書	教育一般	Using Innovative Methods in Early Years Research : Beyond the Conventional	Brown, Zeta (EDT)/ Perkins, Helen (EDT)	Routledge	201906
外国書	教育一般	Putting Storytelling at the Heart of Early Childhood Practice : A Reflective Guide for Early Years Practitioners	Bruce, Tina (EDT)/ Mcnair, Lynn (EDT)/ Whinnett, Jane (EDT)	Routledge	202004
外国書	教育一般	Creating Curriculum in Early Childhood : Enhanced Learning through Backward Design	Bullard, Julie	Routledge	201911
外国書	教育一般	Science in Early Childhood	Campbell, Coral (EDT)/ Jobling, Wendy (EDT)/ Howitt, Christine (EDT)	Cambridge Univ Pr	202105
外国書	教育一般	Professional Knowledge and Skills in the Early Years	Campbell-Barr, Verity	Sage Pubns Ltd	201905

和洋区分	分類	書名	著者名	出版社	出版年月
外国書	教育一般	The Teachers' Standards in Primary Schools : Understanding & Evidencing Effective Practice	Carroll, Joy/ Alexander, Genea	Sage Pubns Ltd	202010
外国書	教育一般	More Planning to Teach Writing : A Practical Guide for Primary School Teachers	Caulfield, Emma	Routledge	202105
外国書	教育一般	Explaining Primary Science	Chambers, Paul/ Souter, Nicholas	Sage Pubns Ltd	202005
外国書	教育一般	How to Recognise and Support Mathematical Mastery in Young Childrens Play : A Pedagogical Approach	Chilvers, Di (EDT)	Routledge	202107
外国書	教育一般	The Trouble with Maths : A Practical Guide to Helping Learners with Numeracy	Chinn, Steve	Routledge India	202009
外国書	教育一般	Maths 5-11 : A Guide for Teachers (5-11)	Clissold, Caroline	Routledge	201911
外国書	教育一般	Understanding and Teaching Primary Mathematics	Cotton, Tony	Routledge	202009
外国書	教育一般	Teaching Science and Technology in the Early Years (37)	Davies, Dan/ Howe, Alan/ Collier, Christopher/ Digby, Rebecca/ Earle,	Routledge	201905
外国書	教育一般	Teaching Critical Thinking Skills : An Introduction for Children Aged 9-12	Delamain, Catherine/ Spring, Jill	Taylor & Francis	202010
外国書	教育一般	Anti-Bias Education for Young Children & Ourselves	Derman-Sparks, Louise/ Edwards, Julie Olsen/ Goins, Catherine M. (CON)	Natl Assn for the Education	202004
外国書	教育一般	Listening to Children's Advice about Starting School and School Age Care (Towards an Ethical Praxis in Early Childhood)	Dockett, Sue (EDT)/ Einarsdottir, Johanna (EDT)/ Perry, Bob (EDT)	Routledge	201903
外国書	教育一般	Evaluating Transition to School Programs : Learning from Research and Practice	Dockett, Sue/ Perry, Bob	Routledge	202110
外国書	教育一般	Teaching Climate Change in Primary Schools : An Interdisciplinary Approach	Dolan, Anne M. (EDT)	Routledge	202107
外国書	教育一般	Kids Have All the Write Stuff : Revised and Updated for a Digital Age	Edwards, Sharon A./ Maloy, Robert W./ Trust,	Univ of Massachusetts Pr	201911
外国書	教育一般	Researching Early Childhood Education for Sustainability : Challenging Assumptions and Orthodoxies	Elliott, Sue (EDT)/ rlemalm-hagsr, Eva (EDT)/ Davis, Julie (EDT)	Routledge	202004
外国書	教育一般	Health and Physical Education for Elementary Classroom Teachers : An Integrated Approach	Evans, Retta R./ Sims, Sandra K.	Human Kinetics	202103
外国書	教育一般	Setting Up Parental Support in Schools and Early Years Settings : A Practical Guide	Filer, Janice	Taylor & Francis	202101
外国書	教育一般	Leading Primary Mathematics	Foley, Catherine/ Mcneill, Jane/ Suter, Stephanie	Sage Pubns Ltd	201904
外国書	教育一般	Understanding Pedagogic Documentation in Early Childhood Education : Revealing and Reflecting on High Quality Learning and Teaching (Towards an Ethica	Formosinho, Joao (EDT)/ Peeters, Jan (EDT)	Routledge	201905
外国書	教育一般	Teaching the Primary Curriculum	Forster, Colin (EDT)/ Eperjesi, Rachel (EDT)	Sage Pubns Ltd	202001
外国書	教育一般	Young Childrens Play Practices with Digital Tablets : Playful Literacy	Fres, Isabel	Emerald Group Pub Ltd	201907
外国書	教育一般	Health & Wellbeing in Childhood	Garvis, Susanne (EDT)/ Pendergast, Donna (EDT)	Cambridge Univ Pr	202011
外国書	教育一般	Mentoring and Coaching in Early Childhood Education	Gasper, Michael (EDT)/ Walker, Rosie (EDT)	Bloomsbury USA Academic	202001
外国書	教育一般	Challenging the Intersection of Policy with Pedagogy (Thinking about Pedagogy in Early Childhood Education)	Gibbs, Leanne (EDT)/ Gasper, Michael (EDT)	Routledge	201903
外国書	教育一般	Developing a Love of Reading and Books : Teaching and Nurturing Readers in Primary Schools (Transforming Primary Qts)	Gill, Angela/ Stephenson, Megan/ Waugh, David	Learning Matters	202105
外国書	教育一般	Early Learning in the Digital Age	Gray, Colette (EDT)/ Palaologou, Ioanna (EDT)	Sage Pubns Ltd	201904
外国書	教育一般	Making Humanities and Social Sciences Come Alive : Early Years and Primary Education, Includes Website	Green, Deborah (EDT)/ Price, Deborah (EDT)	Cambridge Univ Pr	202002
外国書	教育一般	Routledge Handbook of Primary Physical Education	Griggs, Gerald (EDT)/ Petrie, Kirsten (EDT)	Taylor & Francis	202002
外国書	教育一般	Scientific Influences on Early Childhood Education : From Diverse Perspectives to Common Practices	Gullo, Dominic F. (EDT)/ Graue, M. Elizabeth (EDT)	Routledge	202005
外国書	教育一般	Disciplinary Literacy and Gamified Learning in Elementary Classrooms : Questing Through Time and Space (Springer Texts in Education)	Haas, Leslie/ Metzger, Michelle/ Tussey, Jill T.	Springer	202109
外国書	教育一般	Children's Errors in Mathematics (Transforming Primary Qts)	Hansen, Alice (EDT)	Learning Matters	202010
外国書	教育一般	Children's Transitions in Everyday Life and Institutions (Transitions in Childhood and Youth)	Hedegaard, Mariane (EDT)/ Fleer, Marilyn	Bloomsbury USA Academic	202007
外国書	教育一般	Sensory Motor Activities for Early Development : A Practical Resource	Hong, Chia Swee/ Rumford, Heidi	Routledge	202008
外国書	教育一般	English in the Primary Classroom (Creative Teaching)	Horner, Chris/ Ryf,	Routledge	202101
外国書	教育一般	Mentoring Teachers in the Primary School : A Practical Guide (Mentoring Trainee and Newly Qualified Teachers)	Howells, Kristy (EDT)/ Lawrence, Julia (EDT)/ Roden, Judith (EDT)	Routledge	202012
外国書	教育一般	High Possibility Stem Classrooms : Integrated Stem Learning in Research and Practice	Hunter, Jane	Taylor & Francis	202012
外国書	教育一般	Body Image in the Primary School : A Self-Esteem Approach to Building Body Confidence	Hutchinson, Nicky/ Calland, Chris	Routledge	201911
外国書	教育一般	Mastering Primary Religious Education (Mastering Primary Teaching)	James, Maria/ Stern, Julian	Bloomsbury USA Academic	201902
外国書	教育一般	Designing Meaning-Based Interventions for Struggling Readers	Johnson, Andrew P.	Guilford Pubn	202103
外国書	教育一般	Teaching Systematic Synthetic Phonics in Primary Schools (Transforming Primary Qts)	Jolliffe, Wendy/ Waugh, David/ Gill, Angela	Learning Matters	201903
外国書	教育一般	Communication for the Early Years : A Holistic Approach	Kent, Julie (EDT)/ Moran, Moira (EDT)	Routledge	201905
外国書	教育一般	Learning to Teach Young Children : Theoretical Perspectives and Implications for Practice	Kirova, Anna/ Prochner, Larry/ Massing, Christine	Bloomsbury USA Academic	201912
外国書	教育一般	Nurturing Nature and the Environment with Young Children : Children, Elders, Earth	Kroeger, Janice (EDT)/ Myers, Casey Y. (EDT)/ Morgan, Katy (EDT)	Routledge	201905
外国書	教育一般	The Early Childhood Curriculum : Inquiry Learning through Integration	Krogh, Suzanne L./ Morehouse, Pamela	Routledge	202007
外国書	教育一般	Children Reading for Pleasure in the Digital Age : Mapping Reader Engagement	Kucirkova, Natalia/ Cremin, Teresa	Sage Pubns Ltd	202010
外国書	教育一般	Implementing Project Based Learning in Early Childhood : Overcoming Misconceptions and Reaching Success	Lev, Sara/ Clark, Amanda/ Starkey, Erin	Routledge	202007
外国書	教育一般	Teach Smarter : Literacy Strategies for Early Childhood Teachers	Levin, Vanessa	Wiley	202107
外国書	教育一般	This Is Play : Environments and Interactions That Engage Infants and Toddlers	Luckenbill, Julia/ Subramaniam, Aarti/ Thompson, Janet	Natl Assn for the Education	201910
外国書	教育一般	Teaching Disciplinary Literacy in Grades K-6 : Infusing Content with Reading, Writing, and Language	Lupo, Sarah M./ Hardgree, Christine/ Thacker, Emma S./ Sawyer, Amanda	Routledge	202109
外国書	教育一般	Learning to Talk : The Many Contexts of Children's Language Development	Macrory, Gee	Sage Pubns Ltd	202109
外国書	教育一般	Relationships and Sex Education 311 : Supporting Childrens Development and Well-Being	Mason, Sacha/ Woolley, Richard	Bloomsbury USA Academic	201903
外国書	教育一般	Inspiring Primary Learners : Insights and Inspiration Across the Curriculum	McDonald, Roger (EDT)/ Gibson, Poppy (EDT)	Routledge	202102

和洋区分	分類	書名	著者名	出版社	出版年月
外国書	教育一般	Childhood in Society for the Early Years	Mcdowall-clark, Rory	Learning Matters	202002
外国書	教育一般	Maker Literacies and Maker Identities in the Digital Age : Learning and Playing through Modes and Media	McLean, Cheryl A. (EDT)/ Rowsell, Jennifer (EDT)	Taylor & Francis	202011
外国書	教育一般	Expressive Arts and Design in the Early Years : Supporting Young Children's Creativity through Art, Design, Music, Dance and Imaginative Play	Mctavish, Anni	Routledge	202110
外国書	教育一般	Alphabets for Emerging Learners : Building Strong Reading Foundations in Prek	Mesmer, Heidi Anne E.	Routledge	202109
外国書	教育一般	Primary Mathematics : Teaching Theory & Practice (Achieving Qts)	Mooney, Claire/ Briggs, Mary/ Hansen, Alice/ Mccullough, Judith/ Fletc	Learning Matters	202105
外国書	教育一般	Primary Mathematics : Knowledge & Understanding (Achieving Qts)	Mooney, Claire/ Hansen, Alice/ Davidson, Lindsey/ Fox, Sue/ Wrathmell,	Learning Matters	202105
外国書	教育一般	Developing Secure Attachment through Play : Helping Vulnerable Children Build Their Social and Emotional Wellbeing	Moore, Joan	Routledge	202107
外国書	教育一般	Child Development for Early Years Students and Practitioners	Neaum, Sally	Learning Matters	201906
外国書	教育一般	Essential Skills for Managers of Child-Centred Settings	Newstead, Shelly/ Isles-Buck, Emma	Routledge	201903
外国書	教育一般	Culturally Responsive Self-Care Practices for Early Childhood Educators	Nicholson, Julie/ Driscoll, Priya Shimpi/ Kurtz, Julie/ Mrquez, Dominic	Routledge	201912
外国書	教育一般	Challenging Early Learning : Helping Young Children Learn How to Learn	Nottingham, James/ Nottingham, Jill	Routledge	201905
外国書	教育一般	Schools Out, Learnings in : Home-Learning Activities to Keep Children Engaged, Curious, and Thoughtful	Nottingham, Jill/ Bergmann, Carmen/ Nottingham, James	Routledge	202107
外国書	教育一般	The Student Practitioner in Early Childhood Studies : An Essential Guide to Working with Children	Oates, Ruby (EDT)	Routledge	202007
外国書	教育一般	Child Observation : A Guide for Students of Early Childhood	Palaologou, Ioanna	Learning Matters	201911
外国書	教育一般	The Early Years Foundation Stage : Theory and Practice	Palaologou, Ioanna (EDT)	Sage Pubns Ltd	202106
外国書	教育一般	Visual Arts with Young Children : Practices, Pedagogies, and Learning (Changing Images of Early Childhood)	Park, Hayon (EDT)/ Schulte, Christopher M. (EDT)	Routledge	202102
外国書	教育一般	Principles of Effective Literacy Instruction Grades K-5	Parsons, Seth A. (EDT)/ Vaughn, Margaret (EDT)/ Duke, Nell K. (FRW)	Guilford Pubn	202105
外国書	教育一般	Teaching Physical Education Creatively (Learning to Teach in the Primary School)	Pickard, Angela/ Maude, Patricia	Routledge	202102
外国書	教育一般	Supporting Young Children Experiencing Loss and Grief : A Practical Guide	Price, Deborah/ Barnard, Clair	Routledge	202011
外国書	教育一般	Exploring Maths through Stories and Rhymes : Active Learning in the Early Years	Rees, Janet	Routledge	201906
外国書	教育一般	Elementary Mathematics Curriculum Materials : Designs for Student Learning and Teacher Enactment (Research in Mathematics Education)	Remillard, Janine T./ Kim, Ok-Kyeong	Springer	202103
外国書	教育一般	Sustaining Early Childhood Learning Gains : Program, School, and Family Influences	Reynolds, Arthur J. (EDT)/ Temple, Judy A. (EDT)	Cambridge Univ Pr	202010
外国書	教育一般	In Dialogue with Reggio Emilia : Listening, Researching and Learning (Contesting Early Childhood)	Rinaldi, Carlina	Routledge	202110
外国書	教育一般	A Problem Solving Approach to Supporting Mathematics Instruction in Elementary School : A Guide for Parents, Teachers, and Students (Problem Solving i	Rothman, Sheldon N.	World Scientific Pub Co Inc	201906
外国書	教育一般	An Integrated Play-Based Curriculum for Young Children	Saracho, Olivia N.	Taylor & Francis	202010
外国書	教育一般	Training Teachers in Emotional Intelligence : A Transactional Model for Elementary Education	Savina, Elena/ Fulton, Caroline/ Beaton,	Routledge	202110
外国書	教育一般	Advocacy for Early Childhood Educators : Speaking Up for Your Students, Your Colleagues, and Yourself	Schmit, Colleen	Routledge	202005
外国書	教育一般	Purposeful Planning for Learning : Shaping Learning and Teaching in the Primary School	Serret, Natasha (EDT)/ Gripton, Catherine (EDT)	Routledge	202009
外国書	教育一般	Montessori in Action : Building Resilient Montessori Schools	Slade, Elizabeth	Wiley	202109
外国書	教育一般	Emerging Biology in the Early Years : How Young Children Learn about the Living World	Tunnicliffe, Sue Dale	Routledge	202003
外国書	教育一般	Why Play Works : Big Changes Start Small	Violet, Jill	Wiley	202109
外国書	教育一般	Developing and Sustaining Children's Centres : Learning from the Stories of the Pen Green Centre for Children and Families (Pen Green Books for Early	Whalley, Margy	Routledge	202110
外国書	教育一般	Providing Quality Early Childhood Education and Care : Results from the Starting Strong Survey 2018		OECD	201911
外国書	教育一般	Involving Parents in their Children's Learning : A Knowledge-Sharing Approach	Whalley, Margy (EDT)/ Pen Green Centre Team (CON)	Sage Pubns Ltd	201904
内国書	教育一般	学級担任のための外国人児童指導ハンドブック	菊池聡	小学館	202103
内国書	教育一般	「探究」する学びをつくる:社会とつながるプロジェクト型学習	藤原さと	平凡社	202012
内国書	教育一般	現場発! 人間的な英語の授業を求めて	池田真澄	高文研	201908
内国書	教育一般	子どもと大人の主体的・自律的な学びを支える実践:教師・指導者のための自己調整	中谷素之・岡田涼	福村出版	202109
内国書	教育一般	最先端の教育世界を変える学び手	アレックス・ペアー:岩崎晋也(翻訳家)	東洋館出版社	202107
内国書	教育一般	自立って何だろう:社会と子どもたち	都筑学	新日本出版社	202107
内国書	教育一般	子どもと教師の未来を拓く総合戦略55	村川雅弘	教育開発研究所	202109
内国書	教育一般	教師のバイブル:教師のための50のヒント	佐藤芳徳	協同出版	202107
内国書	教育一般	教師になったら読む本	小川真也	三晃書房	202103
内国書	教育一般	大人を本気にさせる子どもたち:社会とつながるリアル・プロジェクト学習	福田晃・山田滋彦	さくら社	202108
内国書	教育一般	教えない授業:美術館発、「正解のない問い」に挑む力の育て方	鈴木有紀	英治出版	201904
内国書	教育一般	学びを広げる教科の架け橋:教科架橋型教科教育実践学の構築	菊地章:兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究	九州大学出版会	202102
内国書	教育一般	プロジェクト学習とは:地域や世界につながる教室	スーシー・ボス:ジョン・ラマー	新評論	202106
内国書	教育一般	静かな子どもも大切に:内向的な人の最高の力を引き出す	クリスティー・ロマノ・アラビト:古賀洋一	新評論	202107
内国書	教育一般	持続可能な社会に向けての教育カリキュラム:地理歴史科・公民科・社会科・理科・融	井田仁康	古今書院	202102
内国書	教育一般	社会科における多文化教育:多様性・社会正義・公正を学ぶ	森茂岳雄:川崎誠司	明石書店	201906
内国書	教育一般	自ら動いて読みを深めるフリー交流:6つのバリエーション	三浦剛	東洋館出版社	202103
内国書	教育一般	JSLハンドスケール(小学校編):子どもの日本語の発達段階を把握し、ことばの実践を	川上郁雄	明石書店	202008
内国書	教育一般	子どもの生活理解と環境づくり:就学前教育領域「環境」と小学校教育「生活科」から考	岡野聡子	ふくろう出版	201903
内国書	教育一般	運動・遊び・学びを育てるムーブメント教育プログラム100:幼児教育・保育、小学校体	小林芳文:是枝喜代治	大修館書店	202104
内国書	教育一般	インクルーシブな学校をつくる:北欧の研究と実践に学びながら	石田祥代:是永かな子	ニセルヴァ書房	202104
内国書	教育一般	流行に踊る日本の教育:本当に大切なことは、私たちの足元にある!	石井英真	東洋館出版社	202101
内国書	教育一般	対話・話し合いの授業づくり:子どもたちが生き生きと輝く	菊池省三:菊池道場	中村堂	202102
内国書	教育一般	子どもの内面からつくる授業:学ぶよこびをランドセルの中に	渡邊和志	東洋館出版社	202107
内国書	教育一般	「なぜ」で読み解く社会科授業のヒント:「なぜ」がわかると、授業が変わる	北俊夫	文溪堂	202005
内国書	教育一般	関係論的アプローチによる体育学習の再検討	岡野昇	風間書房	201812
内国書	教育一般	唱歌教育の展開に関する実証的研究	嶋田由美	学文社	201812
内国書	教育一般	アクティブ・ラーニング時代の古典教育:小・中・高・大の授業づくり	河添房江	東京学芸大学出版会(発	201801
内国書	教育一般	初等国語科教育法	長谷川清之	明星大学出版部	202012

和洋区分	分類	書名	著者名	出版社	出版年月
国内書	教育一般	ヴィゴツキーの「発達最近接領域」論と対話のある授業	麻実ゆう子	子どもの未来社	202106
国内書	教育一般	「気になる子」が通常学級に溶け込む！10の理論・10の技法	曾山和彦	ほんの森出版	202101
国内書	教育一般	その指導は、しない	めがね旦那	東洋館出版社	202107
国内書	教育一般	深い学び	田村学	東洋館出版社	201804
国内書	教育一般	深い学びへ誘う社会科の授業づくり：視点の意識化と問いの質の向上への取り組み～兵庫県佐	永田忠道・桑田隆男	日本文教出版（大阪）	202104
国内書	教育一般	じぶんで考えじぶんで話せることを育てる哲学レッスン	河野哲也	河出書房新社	202102
国内書	教育一般	学校で使える心理技法入門	岡本泰弘	少年写真新聞社	202106
国内書	教育一般	子どもの絵の世界：絵から読み取る発達の道筋とその指導	東山明・清田哲男	日本文教出版（大阪）	201807
国内書	教育一般	教育評価重要用語事典	西岡加名恵・石井英真	明治図書出版	202103
国内書	教育一般	1人1人の個性を生かした通知表の書き方&文例集。小学校高学年(5・6年生)	渡部理枝	ナツメ社	202106
国内書	教育一般	1人1人の個性を生かした通知表の書き方&文例集。小学校中学年(3・4年生)	渡部理枝	ナツメ社	202106
国内書	教育一般	1人1人の個性を生かした通知表の書き方&文例集。小学校低学年(1・2年生)	渡部理枝	ナツメ社	202106
国内書	教育一般	ヤマ場をおさえる学習評価 小学校：深い学びを促す指導と評価の一体化入門	石井英真・鈴木秀幸	図書文化社	202107
国内書	教育一般	学習評価	田村学	東洋館出版社	202105
国内書	教育一般	LGBTQ+の児童・生徒・学生への支援：教育現場をセーフ・ゾーンにするために	葛西真記子	誠信書房	201906
国内書	教育一般	学びの本質を解きほぐす	池田賢司	新泉社	202104
国内書	教育一般	7人に1人の子どもが貧困：主体的な18歳を社会に送り出すための学校コーディネ	アスクネット	明治図書出版	202102
国内書	教育一般	自傷行為への学校での対応：援助者と当事者の語りから考える	坂口由佳	新曜社	202102
国内書	教育一般	教員のメンタルヘルス：先生のごころが壊れないためのヒント	大石智	大修館書店	202105
国内書	教育一般	教師が学びあう学校づくり：「若手教師の育て方」実践事例集	脇本健弘・町支大祐	第一法規出版	202110
国内書	教育一般	これから教壇に立つあなたに伝えたいこと	樋口万太郎	東洋館出版社	202105
国内書	国語	熱中授業をつくる打率10割の型とシカケ：そのまま追試できる「大造いさんとガン」	西野宏明	明治図書出版	201911
国内書	国語	学力観を問い直す国語科の資質・能力と見方・考え方	藤森裕治	明治図書出版	201807
国内書	国語	書くことが大好きになる！「選択」と「対話」のある作文指導	原田義則・鹿兒島国語教育研究会原国会	明治図書出版	201904
国内書	国語	国語教師のための読解ツール10&24の指導アイデア：「読むこと」の授業が10倍面白くなる！	高橋達哉・三浦剛	明治図書出版	201810
国内書	国語	小学校国語科「交流型」授業づくり&言語活動アイデアブック	成家雅史	明治図書出版	202107
国内書	国語	読み書きが苦手な子どもへの「作文」支援ワーク	竹田契一・村井敏宏	明治図書出版	202004
国内書	国語	どの子も熱中！東田式小学生のおさらい漢字パズル	東田大志	明治図書出版	201904
国内書	国語	クラス全員のやる気が高まる！音読指導法：学習活動アイデア&指導技術	土居正博	明治図書出版	202107
国内書	国語	クラス全員が熱心に取り組む！漢字指導法：学習活動アイデア&指導技術	土居正博	明治図書出版	201903
国内書	国語	「子どもの論理」で創る国語の授業：読むこと	白坂洋一・香月正登	明治図書出版	201811
国内書	国語	国語力を高める究極の音読指導法&厳選教材	岩下修	明治図書出版	201806
国内書	国語	子どもに確かな力がつく授業づくり7の原則×発問と指示：「言葉による見方・考え方」を育てる！	小林康宏	明治図書出版	201803
国内書	国語	小学校国語科授業づくりガイドブック：主体的・対話的で深い学びを実現する！	遠藤真司・俣田康之	明治図書出版	201806
国内書	国語	3年目教師勝負の国語授業づくり：楽しさと深い学びを生み出す！スキル&テクニック	樋口綾香・授業力&学級づくり研究会	明治図書出版	201803
国内書	国語	文字化資料・振り返り活動でつくる小学校国語科「話し合い」の授業：対話力がぐんぐん伸びる！	長崎伸仁・香月正登	明治図書出版	201802
国内書	国語	5分でできる！小学校国語3言語活動アイデア事典	二瓶弘行	明治図書出版	201802
国内書	国語	国語力をつける物語・小説の「読み」の授業：「言葉による見方・考え方」を鍛えるあたらしい授業の	阿部昇	明治図書出版	202002
国内書	国語	教科の本質をふまえたコンピテンシー・ベースの国語科授業づくり	鶴田清司	明治図書出版	202005
国内書	国語	小学校国語科の子ども必ず書けるようになる「書くこと」の授業づくり：すぐに使える練習ドリル付き	長谷川祥子・小川智勢子	明治図書出版	202008
国内書	国語	わくわく楽しい群読指導&群読詩：学級経営・行事にも使える！	秋山欣彦	明治図書出版	202011
国内書	国語	課題・対話・学習シート3つのしかけで生まれるわくわく国語授業	稲葉久子	明治図書出版	202010
国内書	国語	15分で言葉の力が楽しく身につく！小学校低学年の「書くこと」ミニ活動60	佐藤一世	明治図書出版	202009
国内書	国語	論理的に思考する「考える国語」の授業づくり：教材分析から課題、思考のズレ、問い、解決までわかる	白石範孝	明治図書出版	202108
国内書	国語	国語の授業Q&A：WHYでわかる！HOWでできる！	瀧澤真	明治図書出版	202012
国内書	国語	楽しく書く力が育つ10分間ミニワーク1・2年：令和2年度全面実施学習指導要領	細川太輔・井上陽童	明治図書出版	202101
国内書	国語	楽しく書く力が育つ10分間ミニワーク3・4年：令和2年度全面実施学習指導要領	細川太輔・成家雅史	明治図書出版	202101
国内書	国語	楽しく書く力が育つ10分間ミニワーク5・6年：令和2年度全面実施学習指導要領	細川太輔・藤村由紀子	明治図書出版	202101
国内書	国語	読み書きが苦手な子どもへの「漢字」支援ワーク1年：新教科書対応版	竹田契一・村井敏宏	明治図書出版	202006
国内書	国語	読み書きが苦手な子どもへの「漢字」支援ワーク2年：新教科書対応版	竹田契一・村井敏宏	明治図書出版	202006
国内書	国語	読み書きが苦手な子どもへの「漢字」支援ワーク3年：新教科書対応版	竹田契一・村井敏宏	明治図書出版	202006
国内書	国語	読み書きが苦手な子どもへの「漢字」支援ワーク4年：新教科書対応版	竹田契一・村井敏宏	明治図書出版	202006
国内書	国語	読み書きが苦手な子どもへの「漢字」支援ワーク5年：新教科書対応版	竹田契一・村井敏宏	明治図書出版	202006
国内書	国語	読み書きが苦手な子どもへの「漢字」支援ワーク6年：新教科書対応版	竹田契一・村井敏宏	明治図書出版	202006
国内書	国語	本当は国語が苦手な教師のための国語授業の板書・ノート指導 小学校編	加藤辰雄	学陽書房	201804
国内書	国語	本当は国語が苦手な教師のための国語授業の発問テクニック 小学校編	加藤辰雄	学陽書房	202104
国内書	国語	学び合いで授業をアップデートAI時代の国語授業	細川太輔	学陽書房	202007
国内書	国語	国語あそび101：読み書きが得意になる！対話力がアップする！	三好真史	学陽書房	202010
国内書	国語	イラストでよくわかる！漢字指導の新常識	土居正博	学陽書房	202009
国内書	国語	国語の発問いいのはどっち？問いたら	山中伸之	学陽書房	202105
国内書	国語	国語教育指導用語辞典	田近洵一・井上尚美	教育出版	201811
国内書	国語	小学校国語科授業研究	田近洵一・中村和弘	教育出版	201804
国内書	国語	漢字指導の手引き 用例編	教育出版編集局	教育出版	201803
国内書	国語	小学校国語科「めあて・ふりかえり表」10の指導ステップ：主体的に学習に取り組む態度が育つ	藤原隆博	教育出版	202004
国内書	国語	「深い学び」を促す小学校英語授業の進め方：スモールトークからコミュニケーション活	樋口忠彦・泉恵美子	教育出版	202105
国内書	国語	小学校指導法国語	植松雅美・奥水かおり	玉川大学出版部	202007
国内書	国語	小学校英語の文字指導：リタラシー指導の理論と実践	アレン玉井光江	東京書籍	201903
国内書	国語	「見方・考え方」を鍛える小学校国語科の「思考スキル」	伊崎一夫	東洋館出版社	201802
国内書	国語	見方・考え方[国語科編]：「見方・考え方」を働かせる真の授業の姿とは？	中村和弘・東京学芸大学附属小学校国語研究会	東洋館出版社	201802
国内書	国語	子どもの「全力」を育てる国語科指導ことば50	土居正博	東洋館出版社	201908
国内書	国語	対話で深める国語授業	全国国語授業研究会：筑波大学附属小学校国語研	東洋館出版社	201908
国内書	国語	子どもに「問い」と「気付き」がうまれる「?型板書」の国語授業	植原宏樹	東洋館出版社	202103
国内書	国語	小学校国語科若い先生のための子どもが輝く授業づくり：物語文の教材研究と実践	よこはま国語の会若僧の会：入内嶋周一	東洋館出版社	201912
国内書	国語	小学校国語科教育研究：新たな時代の学びを創る	全国大学国語教育学会	東洋館出版社	201909
国内書	国語	「立体型板書」の国語授業：10のバリエーション	沼田拓弥	東洋館出版社	202001
国内書	国語	国語授業4つの発問：子どもの思考が動き出す	白坂洋一	東洋館出版社	202103
国内書	国語	「繰り返して」で子どもを育てる国語科基礎カトレーニング	土居正博	東洋館出版社	202003
国内書	国語	「一瞬」で読みが深まる「もしも発問」の国語授業	高橋達哉	東洋館出版社	202003
国内書	国語	「見方・考え方」を働かせる実践事例&プラン：小学校国語科の系統的な指導がまるわかり！	横浜市小学校国語教育研究会	東洋館出版社	202005
国内書	国語	白石範孝の「教材研究」：教材分析と単元構想	白石範孝	東洋館出版社	202012
国内書	国語	第三の書く：読むために書く書くために読む	青木幹勇	東洋館出版社	202010
国内書	国語	国語授業のこだわり33：3ステップで学びの土台をつくる	牧園浩亘	東洋館出版社	202010
国内書	国語	小学校国語「深い学び」をうむ授業改善プラン 文学	全国国語授業研究会：筑波大学附属小学校国語研	東洋館出版社	202103

和洋区分	分類	書名	著者名	出版社	出版年月
内国書	国語	小学校国語「深い学び」をうむ授業改善プラン 説明文	全国国語授業研究会：筑波大学附属小学校国語研	東洋館出版社	202103
内国書	国語	初等国語科教育	原清治・春日井敏之	ミネルヴァ書房	201807
内国書	国語	初等国語科教育	吉田武男・塚田泰彦	ミネルヴァ書房	201803
内国書	国語	子ども先生も感動！健一&久仁裕の目からうろこの俳句の授業	中村健一・武馬久仁裕	黎明書房	201909
内国書	国語	教室で家庭でめっちゃ楽しく学べる国語のネタ63	多賀一郎・中村健一	黎明書房	202004
内国書	国語	子どもの読みが見つかる文学の授業：コロナ禍をこえる「学び合う学び」	石井順治	明石書店	202108
内国書	国語	深い学びを実現する「考える国語」の単元プランと実践	白石範孝：「考える国語」研究会	学事出版	201808
内国書	国語	深い学びが育つ「考える国語」の系統的授業のつくり方	白石範孝：「考える国語」研究会	学事出版	201908
内国書	国語	読み方いろいろ音読言葉あそび：学級活動にも使える	加藤誠則	学事出版	201912
内国書	国語	言語活動中心国語概説：小学校教師を目指す人のために	岩崎淳・木下ひさし	学文社	201809
内国書	国語	国語の授業で「深い学び」をどう実現していくか：「言葉による見方・考え方」の解明と教材研究の深化	「読み」の授業研究会	学文社	201808
内国書	国語	国語の授業で「言葉による見方・考え方」をどう鍛えるのか：「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざして	「読み」の授業研究会	学文社	201908
内国書	国語	あたらしい国語科指導法	柴田義松・阿部昇	学文社	202103
内国書	国語	小学校国語科教育法	阿部藤子・益地憲一	建帛社	201803
内国書	国語	こころの作文：綴り、読み合い、育ち合う子どもたち	勝村謙司・宮崎亮	かもがわ出版	201802
内国書	国語	4年生国語—教科書教材の読みを深める言語活動：発問を中心とした全時間の展開例	今井成司・林真由美	本の泉社	201804
内国書	国語	作家の時間：「書く」ことが好きになる教え方・学び方(実践編)	プロジェクト・ワークショップ	新評論	201807
内国書	国語	考える力を高める国語科の授業づくり：「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて	中村和弘・大塚健太郎	文溪堂	201902
内国書	国語	新国語授業を変える「用語」	白石範孝	文溪堂	202107
内国書	国語	資質・能力ベースの小学校国語科の授業と評価：「読むこと」の授業はどう変わるか	中村和弘	日本標準	201803
内国書	国語	国語教科書の定番教材を検討する！：教科書でつくられる日本人の教養	石井正己(日本文学)	三弥井書店	202101
内国書	国語	「読み」の交流で育てるコミュニケーション力：くじら(小1)から「やまなし(小6)」まで	阪谷幸光	深水区(広島)	201807
内国書	国語	小学校「物語づくり」学習の指導：実践史をふまえて	浜本純逸・三藤恭弘	深水区(広島)	201902
内国書	国語	幼・小・中・高の発達を視野に入れた国語単元学習の展開：「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指して	世羅博昭	深水区(広島)	201905
内国書	国語	国語科クリティカル・リーディングの研究	澤口哲弥	深水区(広島)	201912
内国書	国語	小学校国語科における話し合い学習指導論の構築：メタ認知を促す授業とカリキュラムの開発をめざして	上山伸幸	深水区(広島)	202103
内国書	国語	対話を通してことばを深く学ぶ主体の形成：神戸大学附属住吉小学校・中学校の国語科総合単元学習	浜本純逸・松崎正治	深水区(広島)	202105
内国書	国語	基本を大切にしたい国語科授業づくり	赤木雅宣	大学教育出版	201812
内国書	算数	初等算数科教育	蒔苗直道・松浦武人	協同出版	202103
内国書	算数	わかる！小学校の先生のための統計教育入門：新学習指導要領対応	坂谷内勝	ミネルヴァ書房	201903
内国書	算数	熊本登「生活数理」の軌跡：「学びに向かう力」を育てる新たな挑戦	笠井健一・吉良智恵美	東洋館出版社	201810
内国書	算数	主体的・対話的に深く学ぶ算数・数学教育：コンテンツとコンピテンシーを見すえて	小寺隆幸	ミネルヴァ書房	201810
内国書	算数	算数・数学授業研究ハンドブック	日本数学教育学会	東洋館出版社	202108
内国書	算数	数学的な授業を創る	齊藤一弥	東洋館出版社	202103
内国書	算数	21世紀型スキルを伸ばす算数教育：日本・アメリカ・オーストラリアの教科書を比較す	田中義隆	明石書店	202103
内国書	算数	初等算数科教育	吉田武男・清水美憲	ミネルヴァ書房	201903
内国書	算数	算数科教育	原清治・春日井敏之	ミネルヴァ書房	201810
内国書	算数	これだけは知っておきたい小学校教師のための算数と数学15講	溝口達也・岩崎秀樹	ミネルヴァ書房	201901
内国書	算数	本当は使える算数教科書：教科書のトリセツ	尾崎正彦・松村隆年	学術図書	202006
内国書	算数	算数教育の基礎がわかる本	石井洋・岡島美智子	学術図書出版社	201910
内国書	算数	3ステップでできる！ワクワク子どもが学びだす算数授業	樋口万太郎	学陽書房	202102
内国書	算数	これでどの子ども文章題に立ち向かえる！算数授業づくり	樋口万太郎	学陽書房	201904
内国書	算数	「はてな？」「なるほど！」「だったら？」「？」をつくる算数授業：問いの連続が生み出す「主体的・対話的で深い学び」	細水保宏・大野桂	教育出版	202109
内国書	算数	算数教育指導用語辞典	日本数学教育学会	教育出版	201807
内国書	算数	小学校指導法算数	守屋誠司	玉川大学出版部	201909
内国書	算数	小学校算数	守屋誠司	玉川大学出版部	202109
内国書	算数	小学校算数科教育法	鈴木将史	建帛社	201804
内国書	算数	みんなができる算数授業づくり：数学的な見方・考え方をいっきと動かして	笠井健一・盛山隆雄	光文書院	201907
内国書	算数	伝説の算数教科書『尋常小学算術』で深い学びの授業づくり	鈴木純(算数教育)：未来につなぐ算数研究会	光文書院	202107
内国書	算数	数学的活動を通して深い学びのつくり方：子どもがわかる！たのしい！算数授業	盛山隆雄・盛算研	光文書院	201807
内国書	算数	授業改革の二大論点：算数の活動・算数の活用	全国算数授業研究会	東洋館出版社	201808
内国書	算数	対話的な算数授業に変える教師の言語活動	全国算数授業研究会	東洋館出版社	201908
内国書	算数	「割合」指導の3つの方略：子どもが「なるほど！」「そうか！」と納得する！	山下英俊・算数教育研究チーム「ベクトル」	東洋館出版社	201810
内国書	算数	「数学的な見方・考え方」を働かせる子どもを育てる「しかけ」と「しこみ」	山本良和	東洋館出版社	201909
内国書	算数	「問いをつくり出す力」を育てる算数の授業開発13の視点	尾崎正彦	東洋館出版社	202103
内国書	算数	20代で知っておきたい算数授業のつくり方	楠博文	東洋館出版社	202010
内国書	算数	20日間でできる学び合いスキル30の算数指導	石田淳一	東洋館出版社	202103
内国書	算数	3つの「感」をつくる算数授業：安心感・期待感・納得感	森寛暁	東洋館出版社	201912
内国書	算数	50の実践を掲載！「見方・考え方」を働かせる算数授業：領域を貫く10の数学的な見方・考え方の提案	瀬ヶ平悠史：本創研	東洋館出版社	201807
内国書	算数	UDマインドでつながる算数科授業のユニバーサルデザイン	久木田雅義	東洋館出版社	202102
内国書	算数	すべての子どもを算数好きにする「データの活用」の「しかけ」と「しこみ」	山本良和・子どもの心に「こだま」する算数授業研	東洋館出版社	201807
内国書	算数	わかる算数科指導法	赤井利行・新木伸次	東洋館出版社	201803
内国書	算数	語義からの算数指導：算数・数学学習指導法編	黒田春海	東洋館出版社	201801
内国書	算数	算数7つの決めゼリフ：そのひと言で授業・子供が変わる！	樋口万太郎	東洋館出版社	201908
内国書	算数	算数科教育研究	算数科教育学研究会	東洋館出版社	201903
内国書	算数	算数授業を子どもと創る：授業を変える言葉とかかわり方	森本隆史	東洋館出版社	202103
内国書	算数	子どもの学びを深める新しい算数科教育法	齋藤昇・秋田美代	東洋館出版社	201804
内国書	算数	子どもの数学的な見方・考え方が働く算数授業 1	全国算数授業研究会	東洋館出版社	202003
内国書	算数	子どもの数学的な見方・考え方が働く算数授業 2	全国算数授業研究会	東洋館出版社	202003
内国書	算数	子どもの数学的な見方・考え方が働く算数授業 3	全国算数授業研究会	東洋館出版社	202003
内国書	算数	子どもの数学的な見方・考え方が働く算数授業 4	全国算数授業研究会	東洋館出版社	202003
内国書	算数	子どもの数学的な見方・考え方が働く算数授業 5	全国算数授業研究会	東洋館出版社	202003
内国書	算数	子どもの数学的な見方・考え方が働く算数授業 6	全国算数授業研究会	東洋館出版社	202003
内国書	算数	思考と表現を深める算数の発問：新規の発問と問い返し発問で子どもが気づき考え	盛山隆雄	東洋館出版社	202103
内国書	算数	思考過程を大切にしたい算数発問・指示づくり	中村光晴	東洋館出版社	201802
内国書	算数	初等教育算数科基礎基本講座：子どもの実態に合った算数授業のための84講座	筑波大学附属小学校算数教育研究部	東洋館出版社	201906
内国書	算数	新学習指導要領から見えてくる算数授業で変えなきゃいけないこと・変えてはいけない深い学びを支える算数教科書の数学的背景	宮本博規・藤本邦昭	東洋館出版社	201808
内国書	算数	算数科教育研究	齋藤昇・小原豊	東洋館出版社	202004
内国書	算数	数学的な見方・考え方が育つ整理整頓の算数の授業	山本良和	東洋館出版社	202103
内国書	算数	数学的に考える資質・能力を育成する算数の授業：Before・Afterで分かる！ 横浜発	横浜市小学校算数教育研究会	東洋館出版社	201911
内国書	算数	対話を楽しみ、学びを深める算数指導	石田淳一	東洋館出版社	202109
内国書	算数	田中博史の算数授業実況中継：写真と対話全記録で追う！	田中博史	東洋館出版社	201903
内国書	算数	発想の源を問う	加回希支男	東洋館出版社	201903

和洋区分	分類	書名	著者名	出版社	出版年月
内国書	社会	初等生活科教育	片平克弘・唐木清志	ミネルヴァ書房	201810
内国書	社会	小学校の多文化歴史教育:授業構成とカリキュラム開発	太田満	明石書店	202001
内国書	社会	小学校家庭科の授業づくりテキスト:指導スキルから面白アイデアまで	佐藤翔	明治図書出版	202006
内国書	社会	小学校家庭科資質・能力を育む学習指導と評価の工夫	筒井恭子	東洋館出版社	202010
内国書	社会	小学校指導法社会	寺本潔	玉川大学出版部	202102
内国書	社会	小学校指導法生活	寺本潔	玉川大学出版部	202002
内国書	社会	小学校社会おもしろ授業ネタ70:子どもの好奇心をグッと掴んで離さない	楠木宏	明治図書出版	202109
内国書	社会	小学校社会科「重点単元」授業モデル	北俊夫	明治図書出版	201806
内国書	社会	小学校社会科カリキュラムの新構想:地理を基盤とした小学校社会科カリキュラムの提	佐藤浩樹	学文社	201907
内国書	社会	小学校社会科の授業モデル&学習評価:「見方・考え方」を働かせて、「主体的に学習	小倉勝登・廣嶋憲一郎	明治図書出版	202109
内国書	社会	小学校社会科学習指導案文例集	澤井陽介・廣嶋憲一郎	東洋館出版社	201803
内国書	社会	小学校社会科教育	社会認識教育学会	学術図書出版社	201904
内国書	社会	小学校社会科教師の専門性育成	大澤克美	教育出版	201903
内国書	社会	小学校社会科実践の不易:新学習指導要領の実現に向けてのヒントがいっぱい社会	出井伸宏	黎明書房	202002
内国書	社会	小学校社会科指導スキル大全	澤井陽介・小倉勝登	明治図書出版	201904
内国書	社会	小学校新学習指導要領社会科の授業デザイン図:単元構想が1枚で隈なくわかる	社会科授業デザイン研究	明治図書出版	202002
内国書	社会	小学校新教科書ここが変わった!社会:「主体的・対話的で深い学び」をめざす新教科	鎌田和宏	日本標準	202012
内国書	社会	小学校新教科書「新内容・新教材」指導アイデア	北俊夫	明治図書出版	201804
内国書	社会	小学校新社会科の単元&授業モデル:平成29年版学習指導要領	石井正広	明治図書出版	201809
内国書	社会	小中社会科の授業づくり:社会科教師はどう学ぶか	澤井陽介・唐木清志	東洋館出版社	202108
内国書	社会	生活科カリキュラム・マネジメント	関浩和	ふくろう出版	201907
内国書	社会	生活科で子どもは何を学ぶか:キーワードはカリキュラム・マネジメント	須本良夫	東洋館出版社	201803
内国書	社会	生活科教育	原清治・春日井敏之	ミネルヴァ書房	201803
内国書	社会	梅澤真一の「深い学び」をつくる社会科授業 5年	梅澤真一	明治図書出版	201906
内国書	社会	粕谷昌良の「深い学び」をつくる社会科授業 4年	粕谷昌良	東洋館出版社	201906
内国書	社会	板書&写真でよくわかる365日の全授業 小学校社会3年	木村博一・新谷和幸	明治図書出版	202103
内国書	社会	板書&写真でよくわかる365日の全授業 小学校社会4年	木村博一・小田泰司	明治図書出版	202103
内国書	社会	板書&写真でよくわかる365日の全授業 小学校社会5年	木村博一・松岡靖	明治図書出版	202103
内国書	社会	板書&写真でよくわかる365日の全授業 小学校社会6年	木村博一・福田喜彦	明治図書出版	202103
内国書	社会	板書&展開例でよくわかる社会科授業づくりの教科書3・4年:主体的・対話的で深い学	朝倉一民	明治図書出版	201806
内国書	社会	板書&展開例でよくわかる社会科授業づくりの教科書5年:主体的・対話的で深い学	朝倉一民	明治図書出版	201804
内国書	社会	板書&展開例でよくわかる社会科授業づくりの教科書6年:主体的・対話的で深い学	朝倉一民	明治図書出版	201803
内国書	社会	未来を変える目標SDGsアイデアブック	ThinktheEarth	Think the Earth(発売)	201805
内国書	社会	由井園健の「深い学び」をつくる社会科授業3年	由井園健	東洋館出版社	201907
内国書	社会	歴史人物エピソードからつくる社会科授業42+α	山の麓の会	明治図書出版	202010
外国書	理科	Life Cycles : Everything from Start to Finish	Dorling Kindersley, Inc. (COR)/ Falconer, Sam	Dk Pub	202009
外国書	理科	Our World in Pictures: Trees, Leaves, Flowers & Seeds	DK/ Smithsonian Institution (CON)	DK Children	201909
外国書	理科	It Can't Be True! Animals: Unbelievable Facts About Amazing Animals	DK	DK Children	202003
外国書	理科	The Animal Atlas : A Pictorial Guide to the World's Wildlife	Lilly, Kenneth/ Lilly, Kenneth (ILT)	Dk Pub	202005
外国書	理科	Under Threat : An Album of Endangered Animals	Jenkins, Martin/ Frost, Tom (ILT)	Candlewick Pr	201909
外国書	理科	RHS Under Your Feet: Soil, Sand and other stuff	Royal Horticultural Society (DK Rights) (DK IPL)	DK Children	202004
外国書	理科	How to Know the Birds : The Art & Adventure of Birding	Floyd, Ted/ Schmitt, N. John (ILT)	Natl Geographic Society	201903
外国書	理科	Secrets of the Whales	Skerry, Brian/ Sander, Libby (CON)	Natl Geographic Society	202104
外国書	理科	Survival! : A Step-by-Step Guide to Camping and Outdoor Skills	Towell, Colin	Dk Pub	201905
外国書	理科	Down to Earth : Gardening Wisdom	Don, Monty	Dk Pub	201911
外国書	理科	Grow Easy Vegetables : Essential Know-How and Expert Advice for Gardening	Whittingham, Jo	Dk Pub	202107
外国書	理科	Encyclopedia of Plants & Flowers	Brickell, Christopher (EDT)	Dk Pub	201910
外国書	理科	Climate Change (Dk Eyewitness Books)	Woodward, John	Dk Pub	202108
外国書	理科	Climate Emergency Atlas: What's Happening - What We Can Do	Hooke, Dan/ Bonnin, Liz (FRW)	DK Children	202010
外国書	理科	The Ecology Book : Big Ideas Simply Explained (Big Ideas)	Dorling Kindersley, Inc. (COR)/ Juniper, Tony (FRW)	Dk Pub	201904
外国書	理科	Kids Fight Plastic : How to Be a #2minutesuperhero	Dorey, Martin/ Wesson, Tim (ILT)	Candlewick Pr	202009
外国書	理科	People and Places A Children's Encyclopedia	DK	DK Children	201908
外国書	理科	Where on Earth? : Dinosaurs and Other Prehistoric Life (Where on Earth?)	Dorling Kindersley, Inc. (COR)/ Smithsonian Institution (COR)	Dk Pub	201903
外国書	理科	Super Dinosaur Encyclopedia	Barker, Chris/ Miller, Matthew T. (CON)/ Naish, Darren (CON)	Dk Pub	202007
外国書	理科	The Wonders of Nature	Hoare, Ben	DK Children	201909
外国書	理科	How Space Works : The Facts Visually Explained -- Hardback	Dk	Dorling Kindersley Ltd	202103
外国書	理科	Space: a children's encyclopedia	DK	DK Children	202008
外国書	理科	Did You Know? Earth (Did You Know?)	Dennie, Devin	Dk Pub	201904
外国書	理科	History! (Dk Smithsonian Knowledge Encyclopedia)	Dorling Kindersley, Inc. (COR)	Dk Pub	201908
外国書	理科	History Year by Year : A Journey through time, from mammoths and mummies to flying	Dk	Dorling Kindersley Ltd	201907
外国書	理科	A Street Through Time: A 12,000 Year Journey Along the Same Street	Noon, Steve (ILL)/ DK	DK Children	202001
外国書	理科	Explanatorium of Science	Dorling Kindersley, Inc. (COR)/ Winston, Robert (FRW)	Dk Pub	201910
外国書	理科	Supersimple Chemistry : The Ultimate Bite-Size Study Guide	Dorling Kindersley, Inc. (COR)	Dk Pub	202006
外国書	理科	Ice: Chilling Stories from a Disappearing World	DK/ Buchanan, Gordon (FRW)	DK Children	201909
外国書	理科	Ocean! (Dk Smithsonian Knowledge Encyclopedia)	Harvey, Derek/ Temple, Nicola/ Woodward, John/ Beckett, Andrew (ILT)/	Dk Pub	202009
外国書	理科	Water Cycles	DK	DK Children	202107
外国書	理科	1000 Inventions and Discoveries	Bridgman, Roger/ Smithsonian Institution (CON)	DK Children	202007
外国書	理科	How Super Cool Tech Works	DK	DK Children	202007

和洋区分	分類	書名	著者名	出版社	出版年月
国内書	理科	つってあそぼう！本といっしょに、つってかかてあそぼう	吉井潤・柏原寛一	青弓社	201806
国内書	理科	おもむき理科授業の極意・未知への探究で好奇心をかき立てる感動の理科授業	左巻健男	東京書籍	201905
国内書	理科	イラスト図解ですっきりわかる理科	鳴川哲也・山中謙司	東洋館出版社	201902
国内書	理科	若い先生のための理科教育概論	畑中忠雄	東洋館出版社	201808
国内書	理科	理科は教材研究がすべて	田中千尋・辻健	東洋館出版社	202108
国内書	理科	福岡発！資質・能力が育つ理科学習指導の展開と評価：若さあふれる理科教師のチャレンジ授業	鳴川哲也・日置光久	ぎょうせい	202005
国内書	理科	戦後日本の小学校理科教育改革の展開過程	柴一実	すずさわ書店	202003
国内書	理科	初等理科教育	吉田武男・大高泉	ミネルヴァ書房	201807
国内書	理科	初等理科教育	原清治・春日井敏之	ミネルヴァ書房	201811
国内書	理科	授業をつくる！最新小学校理科教育法	左巻健男・山下芳樹	学文社	201803
国内書	理科	まるごと授業理科3年：全授業の板書例と展開がわかるDVDからすぐ使える映	園部勝章・平田庄三郎	喜楽研	201904
国内書	理科	まるごと授業理科4年：全授業の板書例と展開がわかるDVDからすぐ使える映	園部勝章・平田庄三郎	喜楽研	201904
国内書	理科	まるごと授業理科5年：全授業の板書例と展開がわかるDVDからすぐ使える映	園部勝章・平田庄三郎	喜楽研	201904
国内書	理科	まるごと授業理科6年：全授業の板書例と展開がわかるDVDからすぐ使える映	園部勝章・平田庄三郎	喜楽研	201904
国内書	理科	なぜクラス中がどどんと理科に夢中になるのか：改訂・全部見せます小5理科授業	大前暁政	教育出版	202003
国内書	理科	なぜクラス中がどどんと理科のとりこになるのか：改訂・全部見せます小4理科授業	大前暁政	教育出版	202003
国内書	理科	なぜクラス中がどどんと理科を好きになるのか：改訂・全部見せます小3理科授業	大前暁政	教育出版	202003
国内書	理科	なぜクラス中がどどんと理科を得意になるのか：改訂・全部見せます小6理科授業	大前暁政	教育出版	202003
国内書	理科	小学校指導法理科	石井恭子・市川直子	宝島大学出版部	202102
国内書	理科	小学校理科教育法	森本信也・森藤義孝	建帛社	201804
国内書	理科	知識とスキルがアップする小学校教員と教育学部生のための理科授業の理論と実践	藤岡達也	講談社	202103
国内書	理科	はじめての人のための小学校理科の「学び合い」	三崎隆	大学教育出版	201810
国内書	理科	理科教育法：理論をふまえた理科の授業実践	秋吉博之	大学教育出版	201810
国内書	理科	板書で見る全単元・全時間の授業のすべて理科：令和2年度全面実施学習指導要領対応 DVD付き 小学校3年	鳴川哲也・寺本貴啓	東洋館出版社	202004
国内書	理科	板書で見る全単元・全時間の授業のすべて理科：令和2年度全面実施学習指導要領対応 DVD付き 小学校4年	鳴川哲也・塚田昭一	東洋館出版社	202004
国内書	理科	板書で見る全単元・全時間の授業のすべて理科：令和2年度全面実施学習指導要領対応 DVD付き 小学校5年	鳴川哲也・鈴木康史	東洋館出版社	202004
国内書	理科	板書で見る全単元・全時間の授業のすべて理科：令和2年度全面実施学習指導要領対応 DVD付き 小学校6年	鳴川哲也・山中謙司	東洋館出版社	202004
国内書	理科	授業で語るこれからの理科教育	日産財団・森本信也	東洋館出版社	202008
国内書	理科	小学校理科「フローチャート型」授業ガイド：ベストな展開が選べる！	理科おもしろゼミ	東洋館出版社	202012
国内書	理科	理科の授業を形づくるもの	鳴川哲也	東洋館出版社	202004
国内書	理科	理科教育入門書：平成29年版学習指導要領対応	松森靖夫・森本信也	東洋館出版社	201803
国内書	理科	小学校新教科書ここが変わった！理科：「主体的・対話的で深い学び」をめざす新教科書の使い	寺本貴啓	日本標準	202012
国内書	理科	小学校理科・生活科授業で使える科学あそび60	月僧秀弥	明治図書出版	202008
国内書	理科	これだけは身につけたい指導の技45：佐々木昭弘の理科授業	佐々木昭弘	明治図書出版	201802
国内書	理科	小学校見方・考え方を働かせる問題解決の理科授業	鳴川哲也・寺本貴啓	明治図書出版	202107
国内書	理科	小学校理科の雑談ネタ40 3・4年：授業をもっと面白くする！	溝邊和成	明治図書出版	202102
国内書	理科	小学校理科の雑談ネタ40 5・6年：授業をもっと面白くする！	溝邊和成	明治図書出版	202102
国内書	理科	小学校理科指導スキル大全	鳴川哲也	明治図書出版	201904
国内書	理科	文系教師のための理科授業ワークシート3年生の全授業：全単元・全時間を収録！	福井広和・國眼厚志	明治図書出版	201904
国内書	理科	文系教師のための理科授業ワークシート4年生の全授業：全単元・全時間を収録！	福井広和・國眼厚志	明治図書出版	201904
国内書	理科	文系教師のための理科授業ワークシート5年生の全授業：全単元・全時間を収録！	福井広和・國眼厚志	明治図書出版	201904
国内書	理科	文系教師のための理科授業ワークシート6年生の全授業：全単元・全時間を収録！	福井広和・國眼厚志	明治図書出版	201904
国内書	理科	理科の授業Q&A・WHYでわかる！HOWでできる！	大前暁政	明治図書出版	202012
国内書	理科	初等理科教育法：先生を目指す人と若い先生のために	磯崎哲夫	学校図書	202003
国内書	理科	令和の時代を拓く心を寄せ合う理科教育法	小田切真	学校図書	202004
国内書	英語	身体論と英語教育：子どもの心とからだを動かす英語の授業	山本玲子（言語文化学）	青山社（相模原）	202003
国内書	英語	先生といっしょ！はじめての英語：これから英語を教える幼稚園・保育園・小学校低学	小川隆夫（英語教育）	フレーベル館	201907
国内書	英語	個に応じた英語指導をめざして：ユニバーサルデザインの授業づくり	村上加代子	くろしお出版	202105
国内書	英語	まいて・みて・まねて覚える英語の音：動画でできる音声指導	河合裕美・高山芳樹（英	大修館書店	202109
国内書	英語	初等外国語教育	名畑目真吾・松宮奈貴子	協同出版	202103
国内書	英語	1日5分！教室でできる英語コグトレ小学校3・4年生	宮口幸治・正頭英和	東洋館出版社	202004
国内書	英語	1日5分！教室でできる英語コグトレ小学校5・6年生	宮口幸治・正頭英和	東洋館出版社	202004
国内書	英語	1日5分で英語の授業を劇的に変える方法：すぐできる！北相木メソッド 担任の先生だからこそ使	松倉邦幸	エッセンシャル出版社	201901
国内書	英語	小学校教師のためのやっつけられない英語の授業	菅正隆	ぎょうせい	202109
国内書	英語	“先生”のための小学校英語の知恵袋：現場の「？」に困らないために	酒井志延	くろしお出版	201807
国内書	英語	初等外国語教育	原清治・春日井敏之	ミネルヴァ書房	201803
国内書	英語	小学校英語授業バンク（全8巻セット）	小泉仁（英語教育）：瀧口	メトロポリタンプレス	202011
国内書	英語	小学校英語のためのスキルアップセミナー：理論と実践を往還する	鈴木涉・西原哲雄	開拓社	201907
国内書	英語	これで、小学校外国語の「学び合い」は成功する！：実例で見る！外国語×働き方改革	水落芳明・阿部隆幸	学事出版	201811
国内書	英語	授業が必ず盛り上がる！小学校英語ゲームベスト50	瀧沢広人	学陽書房	201905
国内書	英語	小学校外国語活動「Let's Try！」指導案・評価完全ガイド	兼重昇・佐々木淳一	学陽書房	201805
国内書	英語	小学校英語「5領域」評価事例集	池田勝久	教育開発研究所	202010
国内書	英語	低学年から始める英語短時間学習：すぐに使える活動アイデアと単元展開	泉惠美子・田縁真弓	教育出版	201907
国内書	英語	これからの英語の文字指導：書きやすく読みやすく	手島良	研究社	201902
国内書	英語	すぐれた小学校英語授業：先行実践と理論から指導法を考える	泉惠美子・小泉仁（英語教育）	研究社	202010
国内書	英語	絵本で教える英語の読み書き：小学校で実践したい英語絵本の指導法	田中真紀子	研究社	202003
国内書	英語	小学校英語内容論入門：小学校の授業に結びつく英語の基礎知識を解説	樋口忠彦・泉惠美子	研究社	201905
国内書	英語	小学校教室英語ハンドブック	向後秀明・土屋佳雅里	光村図書出版	201901
国内書	英語	わかる・できる！英語授業のひと工夫明日から使える26事例	粕谷恭子	光文書院	201907
国内書	英語	イラスト図解小学校英語の教え方25のルール	佐藤久美子（言語学）	講談社	201803
国内書	英語	学びをつなぐ小学校外国語教育のCLIL実践：「知りたい」「伝えたい」「考えたい」を育てる	笹島茂・山野有紀	三修社	201905
国内書	英語	小学校の英語 教室で使える基本表現200	永井淳子・粕谷恭子	三省堂	201907
国内書	英語	小学校英語だれでもできる英語の音と文字の指導：音から文字への7つのステップ	山本玲子（言語文化学）：田縁真弓	三省堂	202011
国内書	英語	小学校英語への専門的アプローチ：こぼれの世界を拓く	綾部保志	春風社	201912
国内書	英語	なぜ、いま小学校で外国語を学ぶのか	直山木綿子・浅原孝子	小学館	201903
国内書	英語	小学校外国語「二大テーマ」に答えます：「小学校外国語不安」と「小中連携」の各地域の取り組み	兼重昇・小倉弘之	新興出版社啓林館	201904
国内書	英語	コア・カリキュラム準拠小学校英語教育の基礎知識	村野井仁	大修館書店	201807
国内書	英語	ワクワクする小学校英語授業の作り方	酒井志延	大修館書店	201909
国内書	英語	英語授業ハンドブック（小学校編）：動画でわかる	金谷憲・粕谷恭子	大修館書店	202102
国内書	英語	小・中学校で取り組む はじめてのCLIL授業づくり	柏木賀津子・伊藤由紀子	大修館書店	202007
国内書	英語	小学校英語はじめての一步：授業づくりのポイント	太田洋・阿野幸一	大修館書店	201912
国内書	英語	小学校英語授業づくりの心と技：児童の学びの力を育む	小泉清裕	大修館書店	202004
国内書	英語	小・中学校で英語を教えるための必携テキスト：コア・カリキュラム対応	中村典生・鈴木涉	東京書籍	201903
国内書	英語	小学校英語教育ハンドブック：理論と実践	小学校英語教育学会20周年記念誌編集委員：萬谷隆一	東京書籍	202010

和洋区分	分類	書名	著者名	出版社	出版年月
内国書	英語	基本が分かる外国語活動・外国語科の授業:実践!新学習指導要領	外国語活動・外国語科実践研究会	東洋館出版社	201902
内国書	英語	小学校英語教育概論	ポール・バテン	美巧社	202003
内国書	英語	小学校英語指導の実際:明るく、楽しく、確かな指導のために	齋藤喜則・濱中紀子	美巧社	201803
内国書	英語	小学校外国語「We Can!1」の授業&評価プラン	菅正隆・千早赤阪村立千早小吹台小学校	明治図書出版	201803
内国書	英語	小学校外国語「We Can!2」の授業&評価プラン	菅正隆・千早赤阪村立千早小吹台小学校	明治図書出版	201803
内国書	英語	小学校外国語活動「Let's Try!1&2」の授業&評価プラン	菅正隆・千早赤阪村立千早小吹台小学校	明治図書出版	201806
内国書	英語	心身リラックスでコミュニケーションアップ!ただただおもしろい外国語活動48手	日野英之	明治図書出版	201910
内国書	英語	60の技で4技能を圧倒的に伸ばす英語授業の裏ワザ指導術:教師の負担を軽くす	正頭英和	明治図書出版	201802
内国書	英語	英語が話せない先生のための小学校外国語指導の教科書	江尻寛正	明治図書出版	201902
内国書	英語	主体的・対話的で深い学びを実現する!小学校外国語「学び合い」活動ブック:通知表文例つき	西川純・橋本和幸(教育学)	明治図書出版	201903
内国書	英語	小学校英語指導スキル大全	坂井邦晃	明治図書出版	201904
内国書	英語	絶対成功する!外国語活動35時間の授業アイデアブック小学3年	瀧沢広人	明治図書出版	202003
内国書	英語	絶対成功する!外国語活動35時間の授業アイデアブック小学4年	瀧沢広人	明治図書出版	202003
内国書	英語	絶対成功する!外国語活動33の英語表現指導アイデアブック小学5年	瀧沢広人	明治図書出版	202003
内国書	英語	絶対成功する!外国語活動33の英語表現指導アイデアブック小学6年	瀧沢広人	明治図書出版	202003
内国書	英語	板書&イラストでよくわかる365日の全授業 小学校外国語5年	菅正隆	明治図書出版	202103
内国書	英語	板書&イラストでよくわかる365日の全授業 小学校外国語6年	菅正隆	明治図書出版	202103
内国書	英語	板書&イラストでよくわかる365日の全授業 小学校外国語活動3年	菅正隆	明治図書出版	202103
内国書	英語	板書&イラストでよくわかる365日の全授業 小学校外国語活動4年	菅正隆	明治図書出版	202103
内国書	英語	板書でわかる小学校外国語活動「Let's Try!2」の授業づくり4年	江尻寛正	明治図書出版	201907
内国書	英語	板書でわかる小学校外国語活動「Let's Try!1」の授業づくり3年	江尻寛正	明治図書出版	201907
内国書	英語	小学校英語はじめる教科書:外国語科・外国語活動指導者養成のためにーコア・カリ	小川隆夫(英語教育)・東仁美	mpi松香フォニックス(発)	202108
内国書	英語	イラストで見る全単元・全時間の授業のすべて外国語:令和2年度全面実施学習指導要領対応 DVD付き 小学校5年	直山木綿子	東洋館出版社	202103
内国書	英語	イラストで見る全単元・全時間の授業のすべて外国語:令和2年度全面実施学習指導要領対応 DVD付き 小学校6年	直山木綿子	東洋館出版社	202103
内国書	英語	イラストで見る全単元・全時間の授業のすべて外国語活動:令和2年度全面実施学習指導要領対応 DVD付き 小学校3年	直山木綿子	東洋館出版社	202103
内国書	英語	イラストで見る全単元・全時間の授業のすべて外国語活動:令和2年度全面実施学習指導要領対応 DVD付き 小学校4年	直山木綿子	東洋館出版社	202103
内国書	英語	1回5分で英語の基礎力を育む!英語音韻認識ワーク44	瀧沢広人	明治図書出版	202008
内国書	英語	1日10分語彙・表現がしっかり定着!小学校外国語アクティビティ50	川村一代	明治図書出版	201902
内国書	英語	5分でできる!小学校英語ミニ活動60選	前田陽子	明治図書出版	201908
内国書	英語	Q&Aでわかる!はじめての小学校英語専科	服部晃範	明治図書出版	202102
内国書	英語	Small Talkで英語表現が身につく!小学生のためのすらすら英会話	瀧沢広人	明治図書出版	201810
内国書	英語	ペア・グループで盛り上がる!英語が大好きになる!小学校英語ゲーム&アクティビ	加藤拓由	明治図書出版	201904
内国書	英語	英語教師のためのTeacher's Talk & Small Talk入門:40のトピックを収録!つくり方から使い方まで丸ごと	瀧沢広人	明治図書出版	201906
内国書	英語	外国語活動・外国語授業のユニバーサルデザイン英語ゲーム&アクティビティ80	瀧沢広人・葛西希美	明治図書出版	202110
内国書	英語	覚えたい600語を収録!小学校英語教科書単語パズル&クイズ100	吉田典典	明治図書出版	202008
内国書	英語	楽しみながらくぐん定着する!アルファベット&英単語読み書き練習ワーク78	瀧沢広人	明治図書出版	202101
内国書	英語	楽しみながらくぐん定着する!小学生のためのアルファベット&英単語パズル80	瀧沢広人	明治図書出版	202006
内国書	英語	小学校外国語活動&外国語の新学習評価ハンドブック:単元末テスト・パフォーマンステストの実例つき!	瀧沢広人	明治図書出版	202003
内国書	英語	小学校外国語活動・外国語とっておきの言語活動レシピ	加藤拓由・狩野晶子	明治図書出版	202108
内国書	英語	身近な話題で楽しく話せる! Small Talk月別メニュー-88	山口美穂	明治図書出版	201908
内国書	英語	導入・展開でクラスが熱中する!小学校英語の授業パーツ100	瀧沢広人	明治図書出版	201902
内国書	英語	読み書きが苦手な子のためのアルファベットワーク:イラストと音で覚える	小野村哲	明治図書出版	202011
内国書	英語	小学校外国語ワークシート&テストづくり完全ガイドブック:新3観点対応の106の実例を収録!	菅正隆	明治図書出版	202009
内国書	英語	小学校外国語活動新3観点の評価づくり完全ガイドブック:指導要録記入例&通知表文例が満載!	菅正隆	明治図書出版	202002
内国書	英語	小学校外国語新3観点の評価づくり完全ガイドブック:指導要録記入例&通知表文例が満載!	菅正隆	明治図書出版	202004
内国書	英語	日々の授業から校内研修・研究授業までフルサポート!小学校外国語活動・外国語授業づくり:この1冊で小学校英語のすべてが分かる!	菅正隆	明治図書出版	201905
内国書	英語	苦手な子供でもできる!アルファベットと英単語の覚え方	三浦光哉・佐竹絵理	ジヤース教育新社	201807
内国書	英語	読み書きが苦手な子どものための英単語指導ワーク	村上加代子	明治図書出版	201802
内国書	英語	小学校「外国語活動」における英語習得の動態	堀尾邦子	花書院	201903
内国書	英語	学級担任が創る小学校英語の授業	猪井新一・齋藤英敏	株式会社 大学教育出版	202004
内国書	英語	小学校英語科教育法:理論と実践	金森強	成美堂	201901
内国書	音楽	子どもの音楽表現:大槻志津江の仕事に学ぶ	小池順子	一筆書房	201807
内国書	音楽	みんなが音楽を好きになる!やすしげ先生の楽しい合唱メロッド: DVD付き	田中安茂	音楽之友社	201903
内国書	音楽	唱歌で学ぶ日本音楽: DVD付き	日本音楽の教育と研究をつなぐ会・徳丸吉彦	音楽之友社	201903
内国書	音楽	キーワードで分かる!音楽科学習指導要領	伊野義博	音楽之友社	202004
内国書	音楽	音楽はなぜ学校に必要か:その人間的・教育的価値を考える	山本茂茂	音楽之友社	201807
内国書	音楽	スキマ時間を活用した音楽科授業プラン	城佳世・八木正一	学事出版	202106
内国書	音楽	学校行事で使える音楽活動のアイデア	城佳世・八木正一	学事出版	202106
内国書	音楽	学校音楽の「カリキュラム経験」:潜在的カリキュラムの生成過程	笹野恵理子	多賀出版	202102
内国書	音楽	「子どもファースト」でつくる!音楽授業プラン成功のアイデア	高倉弘光・音楽授業ラボトリー研究会	明治図書出版	201803
内国書	音楽	音楽授業の「見方・考え方」成功の指導スキル&題材アイデア	高倉弘光・音楽授業ラボトリー研究会	明治図書出版	201903
内国書	音楽	恥ずかしがらずに声を出せるようになる「声遊び」のアイデア&授業レシピ:発声練習より効果てきめん!	熊木真見子・笠原社史	明治図書出版	202007
内国書	音楽	日本一分かりやすい!伝統音楽の基礎知識&活動アイデア:にほんごはおんがくのすてきなおかあさん	伊野義博	明治図書出版	201904
内国書	音楽	音楽鑑賞指導入門:新時代への音楽鑑賞指導のあり方と指導法 特別活動・	山崎正彦	スタイルノート	201909
内国書	音楽	初等音楽科教育法	木下和彦	ふくろう出版	202103
内国書	音楽	小学校音楽科教育法:学力の構築をめざして	吉富功修・三村真弓	ふくろう出版	202007
内国書	音楽	初等音楽科教育	笹野恵理子	ミネルヴァ書房	201804
内国書	音楽	初等音楽科教育:保幼小の確かな連携をめざして	原清治・春日井敏之	ミネルヴァ書房	201803
内国書	音楽	新しい小学校音楽科の授業をつくる	高見仁志	ミネルヴァ書房	201803
内国書	音楽	ごっこーの低学年だからできる!楽しい音楽!	小梨貴弘	音楽之友社	201906
内国書	音楽	中島先生の鑑賞授業の教材研究メモ	中島寿	音楽之友社	202011
内国書	音楽	評価が手軽にできる音楽科授業プラン	城佳世・八木正一	学事出版	202106
内国書	音楽	「我が国の音楽」の魅力を実感できるワクワク音楽の授業:小学校学習指導要領対応実践動画視聴QRコード付	津田正之・小川公子	学事出版	202005
内国書	音楽	小学校音楽科教育法	本多佐保美・中嶋俊夫	教育出版	201803
内国書	音楽	小学校指導法音楽	梅沢一彦	玉川大学出版部	202007
内国書	音楽	「音楽」のユニバーサルデザイン:授業づくりをチェンジする15のポイント	増田謙太郎	明治図書出版	201907

和洋区分	分類	書名	著者名	出版社	出版年月
国内書	音楽	「常時活動」を位置づけた小学校音楽の新授業プラン	近藤真子・岩井智宏	明治図書出版	202107
国内書	音楽	こなっしーの音楽授業をステキにする100のアイデア	小梨貴弘	明治図書出版	202010
国内書	音楽	みんなで深める！小学校音楽あそび70:歌唱共通教材から伝統音楽、各分野の教材	石上則子	明治図書出版	202009
国内書	音楽	小学校音楽「常時活動」のアイデア100:授業をもっとアクティブに！	岩井智宏	明治図書出版	202002
国内書	音楽	楽譜が読めない先生のための音楽指導の教科書	森薫(教育)・城佳世	明治図書出版	201910
国内書	音楽	小学校音楽イチ押し授業モデル高学年:新学習指導要領対応	今村行道・津田正之	明治図書出版	202011
国内書	音楽	小学校音楽イチ押し授業モデル中学年:新学習指導要領対応	今村行道・津田正之	明治図書出版	202011
国内書	音楽	小学校音楽イチ押し授業モデル低学年:新学習指導要領対応	今村行道・津田正之	明治図書出版	202011
国内書	音楽	小学校音楽指導スキル大全	酒井美恵子・阪井恵	明治図書出版	201904
国内書	音楽	小学校音楽授業プラン&ワークシート 高学年:学びがグーンと充実する！	津田正之・酒井美恵子	明治図書出版	202005
国内書	音楽	小学校音楽授業プラン&ワークシート 中学年:学びがグーンと充実する！	津田正之・酒井美恵子	明治図書出版	202005
国内書	音楽	小学校音楽授業プラン&ワークシート 低学年:学びがグーンと充実する！	津田正之・酒井美恵子	明治図書出版	202005
国内書	音楽	小学校音楽科の学習指導:生成の原理による授業デザイン	小島律子	廣済堂あかつき	201805
国内書	音楽	やんば先生の楽しい音楽！	岩本達明	音楽之友社	202107
国内書	音楽	わらべうたと子どもの育ち	木村はるみ	エイトル研究所	201904
国内書	音楽	先生になろう！音楽編:保育士、幼稚園教諭、小学校教諭になるための音楽の基	杉本明・川口潤子	ステイルノート	202003
国内書	音楽	「わらべうた」から始める音楽教育 乳児の遊び編:実践と理論に基づく	十時やよい	明治図書出版	202004
国内書	音楽	音楽授業のユニバーサルデザインはじめる一歩	阪井恵・酒井美恵子	明治図書出版	201810
国内書	音楽	音楽が変わる！魔法の言葉がけ:やる気を引き出す音楽ペップトークガイド	岩崎由純・音楽之友社言葉がけ研究チーム	音楽之友社	202108
国内書	音楽	音楽教育研究ハンドブック:設立50周年記念出版	日本音楽教育学会	音楽之友社	201910
国内書	音楽	幼児・初等教育のための音楽表現と指導法:歳時記と学ぶ楽典・子どもうた・鑑賞	山本美紀・岡田美紀	ヨベル	201803
国内書	音楽	童謡・唱歌でたどる音楽教科書のあゆみ:明治・大正・昭和初中期く普及版>	松村直行	和泉書院	201904
国内書	音楽	すぐに役立つ音楽用語ハンドブック:音楽・教育・保育に携わる人々に	カワイ音楽教育研究所	カワイ出版	201804
国内書	音楽	新しい音楽鑑賞:知識から体験へ	久保田慶一	水曜社	201902
国内書	音楽	よくわかる日本音楽基礎講座:雅楽から民謡まで	福井昭史	音楽之友社	202004
国内書	図画工作	子どもの表現力を引き出す「想像画」指導のコツ	鈴木夏来	ナツメ社	201903
国内書	図画工作	子どもの心を動かす読み聞かせの本とは:解説&ブックガイド400	岡崎一実・野口武悟	日外アソシエーツ	201910
国内書	図画工作	総合学習とアート	高橋陽一(教育)・杉山貴	武蔵野美術大学出版局	201904
国内書	図画工作	子どもが夢を叶える図工室・美術室:創造性が社会と出会う造形教育(ANCS)をめざし	清田哲男・上田久利	あいり出版	201811
国内書	図画工作	初等図画工作科教育	吉田武男・石崎和宏	ミネルヴァ書房	201811
国内書	図画工作	図画工作科教育	原清治・春日井敏之	ミネルヴァ書房	201903
国内書	図画工作	やわらかな感性を育む図画工作科教育の指導と学び:アートの体験による子どもの感性の成長・発達	村田利裕・新開伸也	ミネルヴァ書房	201803
国内書	図画工作	小学校図画工作科教育法	山口喜雄・佐藤昌彦	建帛社	201803
国内書	図画工作	図画工作科・美術科教育法研究会	建帛社	201903	
国内書	図画工作	ルーブリックで変わる美術鑑賞学習	新開伸也・松岡宏明	三元社(文京区)	202012
国内書	図画工作	美術教育ハンドブック	神林恒道・ふじえみつる	三元社(文京区)	201803
国内書	図画工作	図画工作科指導法研究	佐藤洋照・藤江充	日本文教出版(大阪)	201910
国内書	図画工作	図画工作実践ガイド	佐藤洋照・藤江充	日本文教出版(大阪)	201910
国内書	図画工作	美術教育概論	大橋功・新開伸也	日本文教出版(大阪)	201810
国内書	図画工作	求められる美術教育	大坪圭輔・小池研二	武蔵野美術大学出版局	202003
国内書	図画工作	美術の授業のつくりかた	三澤一実・神野真吾	武蔵野美術大学出版局	202003
国内書	図画工作	「できる・わかる・みえる」子どもが変わる工作教育:教科書を活用して	松本達郎	萌文書林	201807
国内書	図画工作	子どもの資質・能力を育む図画工作科教育法:明日の小学校教諭を目指して	新野貴則・福岡知子	萌文書林	201908
国内書	図画工作	小学校図画工作の基礎:造形的な見方や考え方を働かせる学び	樋口一成	萌文書林	202001
国内書	図画工作	3年目教師勝負の図工授業づくり:思いを表現して「学びの笑顔」をつくり出す！スキル&	松井典夫・授業力&学級づくり研究会	明治図書出版	201907
国内書	図画工作	クレヨンから版画まで小学校図工絵の指導テクニック&題材48	北村仁	明治図書出版	202009
国内書	図画工作	小学校図工スキマ時間に大活躍！おもしろショートワーク:絵あそび編	山田芳明	明治図書出版	201910
国内書	図画工作	小学校図工スキマ時間に大活躍！おもしろショートワーク:工作あそび編	竹井史	明治図書出版	201910
国内書	図画工作	小学校図工スキマ時間に大活躍！おもしろショートワーク:造形・立体あそび編	山田芳明・竹井史	明治図書出版	201910
国内書	図画工作	小学校図工春夏秋冬の題材50選	平田耕介	明治図書出版	201903
国内書	図画工作	図画工作指導テクニック114	竹井史	明治図書出版	202110
国内書	図画工作	用具指導から作品展示までできることわかる！図画工作指導のアイデア50	中村隆介	明治図書出版	201902
国内書	図画工作	たっぷり55選！2時間でできる図画工作題材集	玉置一仁・大畑祐之	明治図書出版	201810
国内書	図画工作	会話形式で学ぶ、図画工作科の授業づくり:世界一わかりやすい！	岡田京子	明治図書出版	201809
国内書	図画工作	絵心がない先生のための図工指導のコツ50	細見均	明治図書出版	201809
国内書	図画工作	小学校図工テッパン題材モデル 高学年:指導から評価まですべてがわかる！ 新学習指導要領対応	竹井史・中村僚志	明治図書出版	202005
国内書	図画工作	小学校図工テッパン題材モデル 中学年:指導から評価まですべてがわかる！ 新学習指導要領対応	竹井史・中村僚志	明治図書出版	202005
国内書	図画工作	小学校図工テッパン題材モデル 低学年:指導から評価まですべてがわかる！ 新学習指導要領対応	竹井史・中村僚志	明治図書出版	202005
国内書	図画工作	小学校図工の授業づくりはじめる一歩	南育子	明治図書出版	201809
国内書	図画工作	小学校図工指導スキル大全	岡田京子	明治図書出版	201904
国内書	図画工作	筑波の図画工作言葉かけ&題材ネタ51:手軽でカンタン！子どもが夢中になる！	仲藤盛之・北川智久	明治図書出版	201902
国内書	図画工作	造形表現・図画工作	磯部錦司	建帛社	201803
国内書	図画工作	未来につなぐ美術教育:日本美術教育学会70周年記念論集	日本美術教育学会「70周年記念論集」編集	日本美術教育学会(発売)	202108
国内書	図画工作	その子は、なにを描こうとしたのか?	岡田京子	東洋館出版社	202007
国内書	図画工作	造形的イメージ操作の分析による思考の解明と造形教育カリキュラムへの適用	佐藤史子	溪水社(広島)	202002
国内書	家庭科	家庭科授業の理論と実践:持続可能な生活をつくる	大本久美子	あいり出版	202001
国内書	家庭科	リスクに向き合う授業の創造:未来に向かう家庭科	高木幸子	開隆堂出版(発売:開隆堂学文社)	201803
国内書	家庭科	家庭科教育	池崎喜美恵・仙波圭子	学文社	201801
国内書	家庭科	技術科教育概論	日本産業技術教育学会・技術教育分科会	九州大学出版会	201804
国内書	家庭科	技術・家庭科ものづくり大全:その教育理念と授業実践	産業教育研究連盟	合同出版	202108
国内書	家庭科	生活をデザインする家庭科教育	堀内かおる	世界思想社	202003
国内書	家庭科	実践的指導力をつける家庭科教育法	多々納道子・伊藤圭子	大学教育出版	201810
国内書	家庭科	コンピテンシー・ベースの家庭科カリキュラム	鈴木明子(教育学)	東洋館出版社	201907
国内書	家庭科	授業力UP家庭科の授業	伊藤葉子(家庭科教育学)	日本標準	201810
国内書	家庭科	未来の生活をつくる:家庭科で育む生活リテラシー	日本家庭科教育学会	明治図書出版	201906
国内書	家庭科	初等家庭科教育	吉田武男・河村美穂	ミネルヴァ書房	202003
国内書	家庭科	初等家庭科教育	原清治・春日井敏之	ミネルヴァ書房	201903
国内書	家庭科	先生も子どもも楽しくなる小学校家庭科:授業づくりの理論と実践	岸田蘭子	ミネルヴァ書房	202003
国内書	家庭科	小学校指導法家庭	池崎喜美恵	玉川大学出版部	202002
国内書	家庭科	小学校家庭科教育法	大竹美登利・鈴木真由子	建帛社	201804
国内書	家庭科	教科書+α絶対楽しい家庭科授業	横山みどり:楽しい家庭科の授業を考える会	東洋館出版社	201910
国内書	家庭科	新技術科の授業を創る:子どもの学びが教師を育てる	尾高進・川俣純	学文社	202009
国内書	家庭科	新編技術科教材論:力のある教材は授業に鼓動を与える	安東茂樹・藤川聡	竹谷教材出版事業部	202104
国内書	家庭科	子どもが世界に触れる瞬間:子どもが自分らしく創造する図画工作科の学びの豊かさ	笠雷太	東洋館出版社	202008
国内書	家庭科	子どものための美術:図画工作・造形教育教材集	福岡教育大学美術教育ユニット	日本文教出版(大阪)	202003
国内書	家庭科	ヨーロッパの学校における食教育・家庭科教育	表真美	ナカニシヤ出版	201903

和洋区分	分類	書名	著者名	出版社	出版年月
内国書	家庭科	家庭科教育入門:平成29年告示学習指導要領対応版	岐阜大学教育学部家政教育講座	開隆堂出版(発売:開隆堂)	202003
内国書	家庭科	SDGsと家庭科カリキュラム・デザイン:探究的で深い学びを暮らしの場からつくる	荒井紀子・高木幸子	教育図書	202006
内国書	家庭科	実践的問題中心カリキュラムに基づく家庭科授業:理論と実践	ユ・テミン・イスヒ	南方新社	202002
内国書	家庭科	初等家庭科の研究:指導力につなげる専門性の育成	大竹美登利・倉持清美	萌文書林	201805
外国書	保健体育	Human Body A Children's Encyclopedia	DK	DK Children	201902
外国書	保健体育	It Can't Be True! Human Body!: 1,000 Amazing Facts About You	DK	DK Children	202108
外国書	保健体育	What to Eat When : A Strategic Plan to Improve Your Health & Life through Food (What to Eat When)	Roizen, Michael F., M.D./ Crupain, Michael, M.D./ Spiker, Ted (CON)/ S	Natl Geographic Society	201912
内国書	保健体育	スポーツの科学と教育:スポーツ・体育指導者必携最新活用法	小澤治夫・小林寛道	ベースボール・マガジン社	201803
内国書	保健体育	スポーツ・体育 指導・執務必携	笠原一也・園山和夫	道和書院	201905
内国書	保健体育	LGBTってなんだろう?: 自認する性・からだの性・好きになる性・表現する性	薬師実芳・笹原千奈未	合同出版	201905
内国書	保健体育	教科書にみる世界の性教育	橋本紀子・池谷壽夫	かもがわ出版	201802
内国書	保健体育	伝承遊び大百科:現代アレンジで遊ぶ	西村誠(教育心理学):山口孝治	昭和堂(京都)	202104
内国書	保健体育	最新学校保健	岡本陽子・郷木義子	ふくろう出版	202103
内国書	保健体育	新版基礎から学ぶ学校保健	瀧澤利行・青柳直子	建邦社	201804
内国書	保健体育	学校保健概論	渡邊正樹	光生館	202003
内国書	保健体育	保健指導おたすけパワーポイントブック:書き換えも自由自在. 3	高田恵美子	少年写真新聞社	201802
内国書	保健体育	健康教育の理論と実践:わが国と外国の事例をもとに	伊藤武彦・松村京子	日本学校保健会(発売:日本学校保健会)	201803
内国書	保健体育	体をどンドン動かしたくなる!運動あそび111	山崎功一	明治図書出版	202109
内国書	保健体育	まるごと体育遊び・ゲーム:みんなであまくなるBEST 113	黒井信隆	いかだ社	202103
内国書	保健体育	子供が一瞬で動く!体育の授業マネジメント:用具準備一場づくり超時短ワザ100	工藤俊輔	学芸みらい社	202012
内国書	保健体育	体操科における「運動技術」指導をめぐる問題	藤川和俊	現代図書(発売:星雲社)	202004
内国書	保健体育	スポーツの主人公を育てる体育・保健の授業づくり:指導案の基本とプラン集	学校体育研究同志会	創文企画	201803
内国書	保健体育	子どもの学びがみえてくる体育授業研究のすゝめ	木原成一郎・大後戸一樹	創文企画	202006
内国書	保健体育	体育科教育入門	岡出美則・友添秀則	大修館書店	202105
内国書	保健体育	子どもの体育指導のエッセンス	明星大学保健体育部会	明星大学出版部	201808
内国書	保健体育	ボール運動の運動感覚指導	三木四郎・瀧英世	明和出版	201803
内国書	保健体育	初等体育科教育	吉田武男・岡出美則	ミネルヴァ書房	201812
内国書	保健体育	初等体育科教育	原清治・春日井敏之	ミネルヴァ書房	201805
内国書	保健体育	たのしいマット運動への道:子ども達を楽しませることができる!の処方箋	峯岸昌弘	仮説社	201806
内国書	保健体育	小学校高学年体育の授業	学校体育研究同志会	創文企画	202104
内国書	保健体育	小学校中学年体育の授業	学校体育研究同志会	創文企画	201909
内国書	保健体育	小学校低学年体育の授業	学校体育研究同志会	創文企画	201907
内国書	保健体育	スポーツの授業を創ろう:スポーツの主人公を育てるために	大貫耕一	創文企画	202003
内国書	保健体育	アクティブ・ラーニングで学ぶ小学校体育の授業づくり:読書を通して	鈴木直樹・成家篤史	大学教育出版	201904
内国書	保健体育	初等体育授業づくり入門:Introduction to Elementary	岩田靖・吉野聡	大修館書店	201804
内国書	保健体育	小学校体育12ヶ月の学びのデザイン:「学びのこよみ」の活用と展開	岡野昇・佐藤学(教育学)	大修館書店	201903
内国書	保健体育	体育授業のユニバーサルデザイン	清水由	東洋館出版社	201911
内国書	保健体育	個が輝く!「テニソンの授業づくり	今井茂樹	東洋館出版社	202102
内国書	保健体育	「脚のつけ根軸」でコントロール!みんなができる!器械運動の指導	中村賢	東洋館出版社	202003
内国書	保健体育	『学び合い』で上達する体育の授業	西川純	東洋館出版社	201904
内国書	保健体育	新「体育授業」の基本:小学校これだけは知っておきたい	白旗和也	東洋館出版社	201908
内国書	保健体育	やさしく学ぶ子どもの保健ハンドブック	田村美由紀	萌文書林	201810
内国書	保健体育	新・体育あそびアラカルト	西村誠(教育心理学):山口孝治	昭和堂(京都)	201803
内国書	保健体育	幼児期:運動あそびの進め方	学校体育研究同志会	創文企画	202103
内国書	保健体育	基礎から学ぶ発達のための身体活動:元気な子どもを育てる確かな根拠	田中千晶	杏林書院	201910
内国書	保健体育	子どもがやる気になる!スポーツ指導	佐藤善人	学文社	201804
内国書	保健体育	子どもの発達から考える運動指導法:体力と運動能力を伸ばすプログラム	新田収・松田雅弘	ナッブ	201805
内国書	保健体育	運動遊びのアイデアBOOK	白金俊二	ほおずき書籍(発売:星雲社)	202105
内国書	保健体育	武道をたずねて:武道教育への活用	出口達也・金【ヒョン】勇	大学教育出版	201802
内国書	保健体育	保健科教育	家田重晴	杏林書院	202004
内国書	保健体育	学校体育事故への備え:裁判所は何をどう見るのか	山口裕貴	合同文化社	202001
内国書	保健体育	身体教育と間身体性:道徳性の礎として	石垣健二	不昧堂出版	202012
外国書	道徳	First Emotions: My Little Box of Emotions: Little guides for all my emotions	DK	DK Children	202010
外国書	道徳	Calm - Mindfulness For Kids	Kinder, Wynne	DK Children	201902
外国書	道徳	Pathways through Europe (The Human Path Across the Continents)	Miles, John C.	Crabtree Pub Co	201908
外国書	道徳	Pathways through Asia (The Human Path Across the Continents)	Auld, Mary	Crabtree Pub Co	201908
外国書	道徳	Pathways through Africa (Human Path Across the Continents)	Hudak, Heather C.	Crabtree Pub Co	201908
外国書	道徳	Pathways through North America (The Human Path Across the Continents)	O'Brien, Cynthia	Crabtree Pub Co	201908
外国書	道徳	Pathways through South America (The Human Path Across the Continents)	Hudak, Heather C.	Crabtree Pub Co	201908
外国書	道徳	Pathways through Australia (The Human Path Across the Continents)	Morganelli, Adriana	Crabtree Pub Co	201908
外国書	道徳	Pathways through Antarctica (The Human Path Across the Continents)	Miles, John C.	Crabtree Pub Co	201908
外国書	道徳	An ABC of Equality	Ewing, Chana Ginelle/ Morgan, Paulina (ILT)	Frances Lincoln Childrens Books	201909
外国書	道徳	People and Places : A Visual Encyclopedia	Arlon, Penelope/ Mack, Lorrie/ Shalev, Zahavit	Dk Pub	201908
外国書	道徳	All Kinds of Bodies (All Kinds of People)	Heneghan, Judith/ Rubio, Ayesha (ILT)/ Palmer, Jenny (ILT)	Crabtree Pub Co	202001
外国書	道徳	An ABC of Families	Williams, Abbey/ Morgan, Paulina (ILT)	Frances Lincoln Childrens Books	202102
外国書	道徳	All Kinds of Families (All Kinds of People)	Ganeri, Anita/ Rubio, Ayesha (ILT)/ Palmer, Jenny (ILT)	Crabtree Pub Co	202001
外国書	道徳	Families Like Mine (Many Ways)	Miller, Marie-Therese	Lerner Pub Group	202008
外国書	道徳	Money for Beginners (For Beginners) --- Hardback	Oldham, Matthew/ Reynolds, Eddie/ Bonatti, Marco	Usborne Publishing Ltd	201909
内国書	道徳	いじめ防止の3R:すべての子どもへのいじめの予防と対処	ロリ・アーンズパーガー:奥田健次	学苑社	202109
内国書	道徳	いじめ予防スキルアップガイド:エビデンスに基づく安心・安全な学校づくりの実践	飯田順子・杉本希映	金子書房	202104
内国書	道徳	学校を変えるいじめの科学	和久田学	日本評論社	201904
内国書	道徳	「不登校」は心の問題なのか?:逃げる・ズレる。を考える	中島浩壽	書籍工房早山	202109
内国書	道徳	教育・保育機関におけるハラスメント・いじめ対策の手引:大学・小中高・幼保の現場対	井口博	新日本法規出版	202109
内国書	道徳	体系・道徳教育の理論と指導法	早田幸政	エイデル研究所	201910
内国書	道徳	悩めるあなたの道徳教育読本	神代健彦・藤谷秀	はるか書房(発売:星雲社)	201909
内国書	道徳	新たな道徳教育の創造:ともに考え深めよう!	谷田貝公昭・大沢裕	一藝社	201903
内国書	道徳	道徳科の「授業革命」:人権を軸に	園田雅春	解放出版社	201806
内国書	道徳	道徳の授業がもっとうまくなる50の技	佐藤幸司	明治図書出版	201808
内国書	道徳	道徳科授業構想グランドデザイン	浅見哲也	明治図書出版	202109
内国書	道徳	アニメーションで道徳:楽しむ・うたがう・議論する	岩辺泰史・読書のアニメーション研究会	かもがわ出版	201906
内国書	道徳	いじめ・ジェンダーと道徳教科書:どう読む、どう使う	大和久勝・今関和子	クリエイツかもがわ	201908
内国書	道徳	楽しく豊かな道徳科の授業をつくる. 2	牧崎幸夫・広岡義之	ミネルヴァ書房	201905

和洋区分	分類	書名	著者名	出版社	出版年月
国内書	道徳	全時間の授業展開で見せる「考え、議論する道徳」小学校3・4年	山中伸之・松澤正仁	学事出版	201801
国内書	道徳	全時間の授業展開で見せる「考え、議論する道徳」小学校5・6年	山中伸之・駒井康弘	学事出版	201801
国内書	道徳	やるべきことがスッキリわかる！考え、議論する道徳授業のつくり方・評価	丸岡慎弥	学陽書房	201804
国内書	道徳	日本の偉人伝3分話：道徳授業でそのまま使える！	中嶋郁雄	学陽書房	201804
国内書	道徳	「特別の教科 道徳」ってなんだ？：子どもの内面に介しにくい授業・評価の実践例	宮澤弘道・池田賢市	現代書館	201801
国内書	道徳	道徳の評価通信簿と指導要録の記入文例 小学校中学校	石田恒好・押谷由夫	図書文化社	201903
国内書	道徳	子どもの問いでつくる道徳科実践事例集	宮城教育大学上廣倫理教育アカデミー・野澤令照	東京書籍	201911
国内書	道徳	「小学校」道徳科授業スタンダード：「資質・能力」を育む授業と評価「実践の手引き」	田沼茂紀	東洋館出版社	201903
国内書	道徳	「分けて比べる」道徳科授業	坂本哲彦	東洋館出版社	201801
国内書	道徳	加藤宣行の道徳授業実況中継：この一冊でぜんぶわかる！	加藤宣行	東洋館出版社	201802
国内書	道徳	小学校「動き」のある道徳科授業のつくり方	磯部一雄・杉中康平	東洋館出版社	202107
国内書	道徳	小学校道徳科の指導と評価：一枚のシートが授業を変える！豊かな心を育む一枚布	堀哲夫・中国昭彦	東洋館出版社	201907
国内書	道徳	道徳の評価で大切なこと	赤堀博行	東洋館出版社	201811
国内書	道徳	問いで紡ぐ小学校道徳科授業づくり：学びのストーリーで「自分ごと」の道徳学びを生み	田沼茂紀	東洋館出版社	202007
国内書	道徳	「特別の教科 道徳」の評価通知表所見の書き方&文例集 小学校高学年	尾高正浩	日本標準	201803
国内書	道徳	「特別の教科 道徳」の評価通知表所見の書き方&文例集 小学校中・高学年	尾高正浩	日本標準	201803
国内書	道徳	「特別の教科 道徳」の評価通知表所見の書き方&文例集 小学校低学年	尾高正浩	日本標準	201803
国内書	道徳	とっておきの道徳授業：これからは生きる子どもたちへ 絶対外さない！鉄板の16	佐藤幸司	日本標準	201903
国内書	道徳	考え議論する新しい道徳科実践事例集	鈴木明雄・江川登	日本文教出版(大阪)	201909
国内書	道徳	考える道徳教育：「道徳科」の授業づくり	徳田博通・山口匡	福村出版	201808
国内書	道徳	小学校「特別の教科 道徳」の通知表文例318：NG文例ガイド付	『道徳教育』編集部	明治図書出版	201906
国内書	道徳	小学校特別の教科 道徳新教科書の授業プラン	『道徳教育』編集部	明治図書出版	201803
国内書	道徳	いちばんわかりやすい道徳の授業づくり：対話する道徳をデザインする	荒木寿友	明治図書出版	202108
国内書	道徳	考え、議論する道徳に変える教材研究&授業構想の鉄則35：加藤宣行の道徳授業	加藤宣行	明治図書出版	202003
国内書	道徳	考え、議論する道徳に変える話し合い&道徳ノートの鉄則45：加藤宣行の道徳授業	加藤宣行	明治図書出版	201902
国内書	道徳	道徳の授業Q&A：WHYでわかる！HOWでできる！	佐藤幸司	明治図書出版	202012
国内書	道徳	道徳科授業のネタ&アイデア100 小学校編	田沼茂紀	明治図書出版	201803
国内書	道徳	学校現場発、これが本物の道徳科の授業づくり：主体的・対話的で深い学びの原点は道徳科の授業の中に	平山勉	黎明書房	202001
国内書	道徳	思考力を育む道徳教育の理論と実践：コールバーグからハーバーマスへ	浅沼茂	黎明書房	201803
国内書	道徳	山下幸の道徳授業づくり社会につながる道徳授業	山下幸	明治図書出版	202007
国内書	道徳	教科書教材でつくる道徳科授業のユニバーサルデザイン	坂本哲彦	明治図書出版	201903
国内書	道徳	「特別の教科 道徳」とライフキャリア教育：生きる力をつけて生きる意味と生き方を学ぶ	渡邊昭宏	明治図書出版	201809
国内書	道徳	やさしい道徳授業のつくり方	鈴木由美子(教育学)・宮里智恵	溪水社(広島)	201909
国内書	道徳	あのね、ほんとうはね：言葉の向こうの子どもの気持ち	副島賢和	へるす出版	202109
国内書	道徳	小学校道徳科の授業実践：がんばれ現場の先生！	吉田裕子(国語教師)	創英社(三省堂書店)	202105
国内書	道徳	虐待・いじめ・不登校の交流分析：親子と教師に役立つ心理学	江花昭一	岩崎学術出版社	202102
外国書	特別支援	Gifted Education in Rural Schools : Developing Place-based Interventions (Routledge Research in Achievement and Gifted Education)	Azano, Amy Price (EDT)/ Callahan, Carolyn M. (EDT)	Routledge	202103
外国書	特別支援	Teaching Students with Moderate and Severe Disabilities	Browder, Diane M./ Spooner, Fred/ Courtade, Ginevra R.	Guilford Pubn	202003
外国書	特別支援	Assistive Technology to Support Inclusive Education (International Perspectives on Inclusive Education)	Chambers, Dianne (EDT)	Emerald Group Pub Ltd	202009
外国書	特別支援	The Next Big Thing in Learning and Behavioral Disabilities (Advances in Learning and Behavioral Disabilities)	Cook, Bryan G. (EDT)/ Tankersley, Melody (EDT)/ Landrum, Timothy J. (E	Emerald Group Pub Ltd	202104
外国書	特別支援	Disabled Children and Digital Technologies : Learning in the Context of Inclusive Education	Cranmer, Sue	Bloomsbury USA Acader	202011
外国書	特別支援	The Right to Inclusive Education in International Human Rights Law (Cambridge Disability Law and Policy)	De Beco, Gauthier (EDT)/ Quinlivan, Shivaun (EDT)/ Lord, Janet E. (EDT)	Cambridge Univ Pr	201905
外国書	特別支援	English as a Foreign Language for Deaf and Hard of Hearing Learners : Teaching Strategies and Interventions (Routledge Research in Special Educational	Domagala-zysk, Ewa (EDT)/ Moritz, Nuzha (EDT)/ Podlowska, Anna (EDT)	Routledge	202104
外国書	特別支援	Conducting Independent Educational Evaluations : A Practical Guide to School-based Assessments (Critical Specialties in Treating Autism and Other Beha	Dorsey, Michael F./ Forte, Solandy/ Nulty, Elizabeth C./ Palmieri, Mar	Academic Pr	201904
外国書	特別支援	Get Feedback : Giving, Exhibiting, and Teaching Feedback in Special Education Teacher Preparation	Elford, Martha D./ Haynes Smith, Heather/ James, Susanne	Slack Inc	202110
外国書	特別支援	Lesson Study in Inclusive Educational Settings (Wals-routledge Lesson Study Series)	Goei, Sui Lin (EDT)/ Nowich, Brahm (EDT)/ Dudley, Peter (EDT)	Routledge	202104
外国書	特別支援	Resourcing Inclusive Education (International Perspectives on Inclusive Education)	Lambrecht, Jennifer (EDT)/ Loreman, Tim (EDT)	Emerald Group Pub Ltd	202101
外国書	特別支援	Systems Thinking for Supporting Students with Special Needs and Disabilities : A Handbook for Classroom Teachers	Gonzales, Mabel	Springer	202102
外国書	特別支援	The Special Educator's Guide to Assessment : A Comprehensive Summary by Idea Disability Category	Guerriero, Tara S./ Houser, Mary A./ Mcginley,	Sage Pubns	202008
外国書	特別支援	Routledge Handbook of Adapted Physical Education (Routledge International Handbooks)	Haeghele, Justin A. (EDT)/ Hodge, Samuel R. (EDT)/ Shapiro, Deborah R.	Taylor & Francis	202002
外国書	特別支援	Inclusion, Equity and Access for Individuals with Disabilities : Insights from Educators Across World	Halder, Santoshi (EDT)/ Argyropoulos, Vassilis	Palgrave Macmillan	201903
外国書	特別支援	Research Methods in Special Education	Hott, Brittany L., Ph.D./ Brigham, Frederick J., Ph.D. (ART)/ Peltier,	Slack Inc	202108
外国書	特別支援	Teaching Social Communication to Children with Autism and Other Developmental Delays (2-Volume Set) : The Project ImpACT Guide to Coaching Parents	Ingersoll, Brooke/ Dvortcsak, Anna	Guilford Pubn	201907
外国書	特別支援	The SAGE Handbook of Autism and Education	Jordan, Rita (EDT)/ Roberts, Jacqueline M. (EDT)/ Hume, Kara (EDT)	Sage	201909
外国書	特別支援	Deaf Education Beyond the Western World : Context, Challenges, and Prospects (Perspectives on Deafness)	Knoors, Harry (EDT)/ Brons, Maria (EDT)/ Marschark, Marc (EDT)	Oxford Univ Pr	201902
外国書	特別支援	Music, Sound and Vibration in Special Education : How to Enrich Your Specialist	Anderson, Ange	Routledge	202106
外国書	特別支援	Therapeutic Trampoline for Children and Young People with Special Educational Needs : A Practical Guide to Supporting Emotional and Physical Wellbei	Anderson, Ange	Routledge	202004
外国書	特別支援	Family, School, and Community Partnerships for Students with Disabilities (Advancing Inclusive and Special Education in the Asia-Pacific)	Lo, Lusa (EDT)/ Xu, Yaoying (EDT)	Springer	201904
外国書	特別支援	Neoliberalism and Inclusive Education : Students with Disabilities in the Education Marketplace (Studies in Educational Ethnography)	MAC, Sylvia	Emerald	202109
外国書	特別支援	Life Skills Activities for Secondary Students with Special Needs	Mannix, Darlene	Wiley	202108

和洋区分	分類	書名	著者名	出版社	出版年月
外国書	特別支援	Co-Enrollment in Deaf Education (Perspectives on Deafness)	Marschark, Marc (EDT)/ Antia, Shirin (EDT)/ Knooks, Harry (EDT)	Oxford Univ Pr	201904
外国書	特別支援	Virtual Reality, Augmented Reality and Artificial Intelligence in Special Education : A Practical Guide to Supporting Students with Learning Differences	Anderson, Ange	Routledge	201903
外国書	特別支援	Action Research for Inclusive Education : Participation and Democracy in Teaching and Learning	Armstrong, Felicity (EDT)/ Tsokova, Diana (EDT)	Routledge	201905
外国書	特別支援	Special Education Leadership : Building Effective Programming in Schools	Bateman, David/ Cline, Jennifer	Routledge	201903
外国書	特別支援	The Governance Handbook for SEND and Inclusion : Schools That Work for All Learners (Nasen Spotlight)	Boddison, Adam	Routledge	202012
外国書	特別支援	Augmentative and Assistive Communication with Children : A Protocol and Intervention Plan to Support Children with Complex Communication Profiles	Mayne, Lesley E./ Rogers, Sharon M.	Routledge	202006
外国書	特別支援	Special Educational Needs in the Early Years : A Guide to Inclusive Practice	Borkett, Penny	Sage Pubns Ltd	202101
外国書	特別支援	Legal Issues in Special Education : Principles, Policies, and Practices	Brady, Kevin P. (EDT)/ Russo, Charles J. (EDT)/ Dieterich, Cynthia A.	Routledge	201911
外国書	特別支援	Supporting Students on the Autism Spectrum in Inclusive Schools : A Practical Guide to Implementing Evidence-based Approaches	Carrington, Suzanne/ Saggers, Beth/ Harper-hill, Keely/ Whelan, Michae	Routledge	202105
外国書	特別支援	Understanding and Working with Gifted Learners : They're Not Bringing My Brain Out	Cathcart, Rosemary, Ph.D.	Routledge	202004
外国書	特別支援	More Trouble with Maths : A Complete Manual to Identifying and Diagnosing Mathematical Difficulties	Chinn, Steve	Routledge	202004
外国書	特別支援	Principles and Practices of Working with Pupils with Special Educational Needs and Disability : A Student Guide	Cotterill, Trevor	Routledge	201901
外国書	特別支援	Enhancing the Well-Being of Students on the Autism Spectrum : Learning from Students, Parents, and Teachers	Danker, Joanne	Routledge	201912
外国書	特別支援	Creating Multi-Sensory Environments : Practical Ideas for Teaching and Learning (Nasen Spotlight)	Davies, Christopher	Routledge	201912
外国書	特別支援	Special Education for Young Learners with Disabilities (Advances in Special Education)	Obiakor, Festus E. (EDT)/ Bakken, Jeffrey P. (EDT)	Emerald Group Pub Ltd	201901
外国書	特別支援	Traditional and Innovative Assessment Techniques for Students with Disabilities (Advances in Special Education)	Obiakor, Festus E. (EDT)/ Bakken, Jeffrey P. (EDT)	Emerald Group Pub Ltd	202108
外国書	特別支援	Motivating Students with Dyslexia : 100 Ideas for Empowering Teachers in the	Elbeheri, Gad Farmer, Thomas W. (EDT)	Routledge	202101
外国書	特別支援	Handbook of Research on Emotional and Behavioral Disorders : Interdisciplinary Developmental Perspectives on Children and Youth	Conroy, Maureen A. (EDT)/ Farmer, Elizabeth	Routledge	202004
外国書	特別支援	Special Education and the Law : A Guide for Practitioners	Osborne, Allan G., Jr./ Russo, Charles J./ Lavoie, Richard D. (FRW)/ E	Corwin Pr	202101
外国書	特別支援	Essentials of Special Education : What Educators Need to Know	Frank, Catherine Lawless/ Richards, Stephen B.	Routledge	202012
外国書	特別支援	The Pedagogy of Special Needs Education : Phenomenology of Sameness and Difference (Phenomenology of Practice)	Fujita, Chizuko	Routledge	202012
外国書	特別支援	Families Creating Employment Opportunities for Individuals with Developmental Disabilities : Understanding the Contribution of Familial Entrepreneursh	Percival, Jennifer	Routledge	202107
外国書	特別支援	Recognising Autism and Aspergers Syndrome : A Practical Guide to Adult Diagnosis and Beyond	Powell, Trevor	Routledge	202103
外国書	特別支援	Recognising Autism and Asperger's Syndrome : A Practical Guide to Adult Diagnosis and Beyond	Powell, Trevor	Routledge	202103
外国書	特別支援	The Effective Teaching Assistant : A Practical Guide to Supporting Achievement for Pupils with Send	Gray, Abigail/ Wright, Melanie	Taylor & Francis	202012
外国書	特別支援	Developing Excellence in Autism Practice : Making a Difference in Education	Guldberg, Karen	Routledge	202005
外国書	特別支援	Special Education Law and Policy : From Foundation to Application	Rodriguez, Jacqueline A., Ph.D./ Murawski, Wendy W., Ph.D.	Plural Pub Inc	202012
外国書	特別支援	Differentiated Curriculum and Instruction for Advanced and Gifted Learners	Kaplan, Sandra, N.	Routledge	202109
外国書	特別支援	Assessing Dyslexia	Kennedy, Becky/ Ryan, Kathleen	Routledge	202103
外国書	特別支援	Methods for Teaching in Early Education	Ledford, Jennifer/ Lane, Justin D./ Barton, Erin E.	Routledge	201903
外国書	特別支援	Handbook of Educational Psychology and Students with Special Needs (Educational Psychology Handbook)	Martin, Andrew J. (EDT)/ Sperling, Rayne A. (EDT)/ Newton, Kristie J.	Routledge	202003
外国書	特別支援	The Sage Handbook of Inclusion and Diversity in Education	Schuelka, Matthew J. (EDT)/ Johnstone, Christopher J. (EDT)/ Thomas, G	Sage Pubns Ltd	201911
外国書	特別支援	The Oxford Encyclopedia of Inclusive and Special Education (2-Volume Set)	Sharma, Umesh (EDT)/ Salend, Spencer J. (EDT)	Oxford Univ Pr	202109
外国書	特別支援	Handbook of Intellectual Disabilities : Integrating Theory, Research, and Practice (Autism and Child Psychopathology Series)	Matson, Johnny L. (EDT)	Springer	202009
外国書	特別支援	Handbook of Research on Critical Issues in Special Education for School Rehabilitation Practices	Singh, Ajay (EDT)/ Yeh, Chia (EDT)/ Blanchard, Sheresa (EDT)/ Anunciac	IGI Global	202104
外国書	特別支援	Working with Gifted and Talented Pupils in the Secondary School : A Guide for Teachers and Other Professionals	Smith, Dick/ Baylis, Justine	Sage Pubns Ltd	201912
外国書	特別支援	Handbook of Giftedness and Talent Development in the Asia-Pacific (Springer International Handbooks of Education)	Smith, Susen (EDT)	Springer	202101
外国書	特別支援	Handbook of Effective Inclusive Elementary Schools : Research and Practice	McLeskey, James (EDT)/ Waldron, Nancy (EDT)/ Spooner, Fred (EDT)	Routledge	202110
外国書	特別支援	Learning through Touch : Supporting Learners with Multiple Disabilities and Vision Impairment through a Bioecological Systems Perspective	McLinden, Mike/ McCall, Steve/ Hodges, Liz	Routledge	201911
外国書	特別支援	Communication at the Heart of the School : A Guide for Practitioners Working with Children with Learning Disabilities	Miles, Ann/ Sawford, Rachel	Routledge	202106
外国書	特別支援	What Really Works in Special and Inclusive Education : Using Evidence-based Teaching Strategies	Mitchell, David/ Sutherland, Dean	Routledge	202003
外国書	特別支援	Successfully Teaching and Managing Children with ADHD : A Resource for SENCOs and Teachers (Nasen Spotlight)	O'Regan, Fintan J.	Routledge	201905
外国書	特別支援	Special Educational Needs : A Guide for Inclusive Practice	Peer, Lindsay (EDT)/ Reid, Gavin (EDT)	Sage Pubns Ltd	202101
外国書	特別支援	Conversations with Families of Children with Disabilities : Insights for Teacher Understanding	Recchia, Susan L./ Victoria, Puig	Routledge	202007
外国書	特別支援	Establishing Pathways to Inclusion : Investigating the Experiences and Outcomes for Students with Special Educational Needs (Connecting Research with	Rose, Richard/ Shevlin, Michael	Routledge	202102

和洋区分	分類	書名	著者名	出版社	出版年月
外国書	特別支援	Perspectives on Wellbeing : A Reader (Studies in Inclusive Education)	Vella, Sue (EDT)/ Falzon, Ruth (EDT)/ Azzopardi, Andrew (EDT)	Brill Academic Pub	201903
外国書	特別支援	Essential Skills for Struggling Learners : A Framework for Student Support Teams	Von Hahn, Erik, MD/ Horowitz, Sheldon H./ Linse, Caroline	Brookes Pub	201911
外国書	特別支援	Critical Readings in Interdisciplinary Disability Studies : (Dis)Assemblages (Critical Studies of Education)	Ware, Linda (EDT)	Springer	202003
外国書	特別支援	Talkabout Theory of Mind : Teaching Theory of Mind to Improve Social Skills and Relationships (Talkabout)	Wareham, Katherine/ Kelly, Alex	Routledge	202004
外国書	特別支援	The Routledge Handbook of Sign Language Pedagogy (Routledge Language Handbooks)	Rosen, Russell S. (EDT)	Routledge	202106
外国書	特別支援	Sexuality for All Abilities : Teaching and Discussing Sexual Health in Special Education	Thune, Katie/ Gage, Molly	Taylor & Francis	202007
外国書	特別支援	Safe, Supportive, and Inclusive Learning Environments for Young People in Crisis and Trauma : Plaiting the Rope	Towl, Patty (EDT)/ Hemphill, Sheryl A. (EDT)	Routledge	202005
外国書	特別支援	Rethinking Disability : A Disability Studies Approach to Inclusive Practices	Valle, Jan W./ Connor, David J.	Taylor & Francis	201902
外国書	特別支援	Learning Disabilities and E-Information : Navigating the Electronic Hypermaze	Williams, Peter	Emerald Group Pub Ltd	202006
外国書	特別支援	Talent Development in Gifted Education : Theory, Research, and Practice	VanTassel-Baska, Joyce (EDT)	Routledge	202107
外国書	特別支援	Special Educational Needs and Disabilities in Schools : A Critical Introduction	Wearmouth, Janice	Bloomsbury USA Acader	202109
外国書	特別支援	Handbook of Adolescent Transition Education for Youth with Disabilities	Wehmeyer, Michael L. (EDT)/ Shogren, Karrie A. (EDT)	Routledge	202006
外国書	特別支援	Teaching Adolescents and Young Adults with Autism Spectrum Disorder : Curriculum Planning and Strategies	Wehmeyer, Michael L./ Zager, Dianne	Routledge	201911
外国書	特別支援	Careers for Students with Special Educational Needs : Perspectives on Development and Transitions from the Asia-Pacific Region (Advancing Inclusive and Special Education in the Asia-Pacific)	Yuen, Mantak (EDT)/ Beamish, Wendi (EDT)/ Solberg, V. Scott (EDT)	Springer	202007
外国書	特別支援	Special Needs in Singapore : Trends and Issues	Wong, Meng Ee (EDT)/ Lim, Levan (EDT)	World Scientific Pub Co	202107
外国書	特別支援	The School Handbook for Dual and Multiple Exceptionality : High Learning Potential with Special Educational Needs or Disabilities (Nasen Spotlight)	Yates, Denise/ Boddison, Adam	Routledge	202005
外国書	特別支援	Understanding Giftedness : A Guide for Parents and Educators (Understanding Atypical Development)	Zanetti, Maria Assunta (EDT)/ Gualdi, Gianluca (EDT)/ Cascianelli, Mic	Routledge	201911
内国書	特別支援	不登校の予防と対応:教育カウンセリングで徹底サポート!	会沢信彦・諸富祥彦	図書文化社	202010
内国書	特別支援	厳選! 教員が使える5つのカウンセリング	米田薫	ほんの森出版	201903
内国書	特別支援	保護者の声に寄り添い、学ぶ吃音のある子どもと家族の支援:暮らしから社会へつなげるために	堅田利明・菊池良和	学苑社	202009
内国書	特別支援	イギリスにおけるインクルーシブ教育政策の歴史的展開	水野和代	風間書房	201902
内国書	特別支援	ドイツのインクルーシブ教育と障害児者の余暇・スポーツ:移民・難民を含む多様性に対する学校と地域の挑戦	安井友康・千賀愛	明石書店	201911
内国書	特別支援	人的環境のユニバーサルデザイン:子どもたちが安心してできる学級づくり	阿部利彦・赤坂真二	東洋館出版社	201911
内国書	特別支援	小学校でのスクールカウンセリングに活かすアダー心理学:どうすれば子ども、保護者、学校を勇気づけられるのか	山口麻美	アルテ(発売:星雲社)	202007
内国書	特別支援	学校福祉論入門:多職種協働の新時代を切り開く	鈴木庸裕	学事出版	202109
内国書	特別支援	幼児と小学校低学年のソーシャルスキル:社会性・情緒・セルフコントロールを育む! 就学前・就	岡田智・愛下啓恵	明治図書出版	202105
内国書	特別支援	フル・インクルーシブ教育の実現にむけて:大阪市立大空小学校の実践と今後の制度	野口友康	明石書店	202008
内国書	特別支援	インクルーシブ教育を通常学級で実践するってどういうこと?	青山新吾・岩瀬直樹	学事出版	201901
内国書	特別支援	現場発! ソーシャル・インクルージョンとインクルーシブ教育	高原浩	学事出版	201912
内国書	特別支援	スクールカウンセリングのこれから	石隈利紀・家近早苗	創元社	202108
内国書	特別支援	スクールカウンセラーと教師のための「チーム学校」入門	半田一郎	日本評論社	202004
内国書	特別支援	スクールカウンセラーと担任教師の協働:教師はどんな期待を持って協働に臨み、何を得ているか	山本渉	日本評論社	202102
内国書	特別支援	教師・保育者のためのカウンセリングの理論と方法:先生をめざすあなたへ	会沢信彦	北樹出版	202109
内国書	特別支援	教師のための学校カウンセリング	小林正幸・橋本創一	有斐閣	202109
内国書	特別支援	特別支援教育概論	花熊暁・川住隆一	建帛社	202001
内国書	特別支援	教師のためのスクールソーシャルワーカー入門:連携・協働のために	朝倉隆司・竹鼻ゆかり	大修館書店	201908
内国書	特別支援	「チーム学校」を実現するスクールソーシャルワーク:理論と実践をつなぐメソ・アプローチの展開	大塚美和子・西野緑	明石書店	202008
内国書	特別支援	保護者と先生のための応用行動分析入門ハンドブック:子どもの行動を「ありのまま観る」ために	井上雅彦(心理学):三田地真実	金剛出版	201906
内国書	特別支援	RPMで自己刺激行動と問題行動に対処する	ソマ・ムコパディアイ:鈴木麻子	エスコアール	202012
内国書	特別支援	重症心身障害児者の新たな療育活動を求めて:その人らしく、輝く、人生の履歴のため	飯野順子・大瀬ひとみ	ジアース教育新社	202007
内国書	特別支援	重度・重複障害児の学習とは?:障害が重い子どもが主体的・対話的で深い学びを行う	樋口和彦	ジアース教育新社	202104
内国書	特別支援	CALMS:吃音のある学齢期の子どものための評価尺度	E・チャールズ・ヒーリー:川合紀宗	学苑社	201908
内国書	特別支援	吃音の合理的配慮	菊池良和	学苑社	201908
内国書	特別支援	手で見るとのち:ある不思議な授業の力	柳楽未未	岩波書店	201902
内国書	特別支援	ろう者と難聴者のための目で学ぶ英語レッスン	バイリンガル・バイカルチュラルろう教育セ:岡典栄	大修館書店	201911
内国書	特別支援	日本語を母語とする特異的言語発達障害児の言語特徴	村尾愛美	風間書房	202102
内国書	特別支援	肢体不自由児の教育	川間健之介・長沼俊夫	放送大学教育振興会(発)	202003
内国書	特別支援	視覚障害教育の源流をたどる:京都盲三院モノがたり	岸博実	明石書店	201907
内国書	特別支援	いじめ・虐待・貧困から子どもたちを守るためのQ&A100:スクールソーシャルワーカーの実践から	岩田美香・高良麻子	生活書院	201907
内国書	特別支援	グローバル定義にもとづくスクールソーシャルワーク入門:スクールソーシャルワーカーをめざす高校生・大学生の	佐野治	みらい	202103
内国書	特別支援	学校心理学者レポートハンドブック:子どもの援助に関わる教師・スクールカウンセラーのた	学校心理士認定運営機構	風間書房	202101
内国書	特別支援	性の教育ユニバーサルデザイン:配慮を必要とする人への支援と対応	小栗正幸・園分聡子	金剛出版	202102
内国書	特別支援	学校で知っておきたい精神医学ハンドブック:養護教諭、スクールカウンセラー、一般教諭、スクール	高宮幹男	星和書店	202103
内国書	特別支援	読み聞かせて発達支援 絵本でひろく心とことば	本と子どもの発達を考える	かがわ出版	201912
内国書	特別支援	コグトレ実践集:子どもの特性に合わせた導入事例	日本COG-TR学会:宮口幸治	三輪書店	202107
内国書	特別支援	もっとやさしいコグトレ:思考力や社会性の基礎を養う認知機能強化トレーニング	宮口幸治・青山芳文	三輪書店	202008
内国書	特別支援	ADHDのコーチング:実行機能へのアプローチ	熊谷恵子・安藤瑞穂	図書文化社	201912
内国書	特別支援	学級担任のための発達障害支援ガイド:自閉スペクトラム症のある子どもが学校生活で輝くため	デボラ・ファイン:ミシェル・A. ダン	星和書店	202008
内国書	特別支援	TEACHプログラムに基づく自閉症児・者のための自立課題アイデア集:身近な材料を活かす95例	諏訪利明:林大輔	中央法規出版	201903
内国書	特別支援	応用行動分析に基づくASD(自閉スペクトラム症)の人のコミュニケーション支援:当事者の不安を解消する「7つ道具」とアセスメント	今本繁	中央法規出版	202103
内国書	特別支援	教室でできる気になる子への認知行動療法実践ワーク編	松浦直己	中央法規出版	202009
内国書	特別支援	脳からわかる発達障害:多様な脳・多様な発達・多様な学び	鳥居深雪	中央法規出版	202007

和洋区分	分類	書名	著者名	出版社	出版年月
内国書	特別支援	発達に気になる子の学校生活における合理的配慮:教師が活用できる 親も知ってお	鴨下賢一・池田千紗	中央法規出版	202007
内国書	特別支援	発達障害のある子どもと周囲との関係性を支援する:コミュニケーション支援のための6つのポイントと5つ	野口晃菜・陶貴行	中央法規出版	202007
内国書	特別支援	発達障害のある子の相談・支援のキホン52:本人理解にもとづくコミュニケーションとかがわり方	阿佐野智昭	中央法規出版	202009
内国書	特別支援	ADHDクlostーク	齊藤万比古・飯田順三	中外医学社	202007
内国書	特別支援	知的障害教育の場とグレーゾーンの子どもたち:インクルーシブ社会への教育学	堤英俊	東京大学出版会	201903
内国書	特別支援	自閉症児と絵カードでコミュニケーション:PECSとAAC	アンディ・ボンディ:ロリ・フロスト	二瓶社	202004
内国書	特別支援	学習障害のある子どもを支援する	宮本信也	日本評論社	201901
内国書	特別支援	近江学園・びわこ学園における重症児者の「発達保障」:(ヨコへの発達)の歴史的・思想的・実践的定位置	垂髪あかり	風間書房	202102
内国書	特別支援	発達障害児者のライフプランニングに関する研究	清水浩(教育学)	風間書房	202008
内国書	特別支援	発達障害当事者の睡眠困難と発達支援の研究	柴田真緒・高橋智	風間書房	202003
内国書	特別支援	自閉症スペクトラムの子どものソーシャルスキルを育てるゲームと遊び:先生と保護者のためのガイドブック	レイチェル・バラケット:上田勢子	黎明書房	202104
内国書	特別支援	特別支援教育と介護入門:特別な教育的支援を必要とする子どもたちの理解と支援	見上昌隆・猪狩恵美子	あいり出版	201907
内国書	特別支援	みんなであつた読み書き支援プログラム:フローチャートで分析、子どもに応じたオーダーメイド	井川典克・高畑脩平	クリエイツかもがわ	202002
内国書	特別支援	ユーマ的即興から生まれる表現の創発:発達障害・新喜劇・ノリツコミ	赤木和重	クリエイツかもがわ	201902
内国書	特別支援	学校に作業療法を:「届けたい教育」でつなぐ学校・家庭・地域	仲間知穂:こども相談支援センターゆいまわる	クリエイツかもがわ	201902
内国書	特別支援	教員になりたい学生のためのテキスト特別支援教育	京都教育大学教育創生リサーチセンター:相澤	クリエイツかもがわ	201905
内国書	特別支援	自閉症スペクトラム障害の性支援ハンドブック:障害が重い人のセクシュアリティ	ケイト・レイノルズ:森由美	クリエイツかもがわ	201910
内国書	特別支援	病気の子どもへの教育入門	全国病弱教育研究会	クリエイツかもがわ	202109
内国書	特別支援	小・中学校等における多様な個のニーズに応じたキャリア教育:深い学びとキャリア発	キャリア発達支援研究会	ジース教育新社	201912
内国書	特別支援	小学部から組織的に取り組む「キャリア発達支援」の実践	千葉県立夷隅特別支援学校:菊地一文	ジース教育新社	202103
内国書	特別支援	運動機能の困難への対応:肢体不自由教育領域	櫻木暢子:笠井新一郎	建帛社	202105
内国書	特別支援	健康面の困難への対応:病弱教育領域	中野広輔:櫻木暢子	建帛社	202107
内国書	特別支援	聞こえの困難への対応:聴覚障害教育領域	宇高二良:長嶋比奈美	建帛社	202102
内国書	特別支援	特別支援教育	齋藤雅英:宇部弘子	中山書店	202106
内国書	特別支援	子ども・クラスが変わる!ソーシャルスキルポスター:通常学級でもできるソーシャルスキルトレーニング	イトケン太ロウ	東洋館出版社	201909
内国書	特別支援	知的障害特別支援学校における「深い学び」の実現:指導と評価の一体化 事例18	横倉久:全国特別支援学校知的障害教育校長会	東洋館出版社	202010
内国書	特別支援	知的障害特別支援学校における深い学びへのアプローチ:「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業実践	全国特別支援学校知的障害教育校長会	東洋館出版社	201901
内国書	特別支援	知的障害特別支援学校子ども主体の授業づくりガイドブック	佐藤慎二	東洋館出版社	202002
内国書	特別支援	入門自閉症・情緒障害特別支援学級(小学校):今日からできる!自立活動の授業づくり	佐藤慎二	東洋館出版社	201903
内国書	特別支援	T式ひらがな音読支援の理論と実践:ディスレクシアから読みの苦手な子まで	小枝達也:関あゆみ	日本小児医学出版社	201901
内国書	特別支援	教師になるための特別支援教育:「パーポイント」で学ぶ	田中良三:湯浅恭正	培風館	202004
内国書	特別支援	アクティブ・ラーニング時代の実践をひらく「障害児の教授学」	障害児の教授学研究会	福村出版	201910
内国書	特別支援	教職をめざす人への特別支援教育:基礎から学べる子どもの理解と支援	杉中拓央:呉義喜	福村出版	202105
内国書	特別支援	知的障害・発達障害/情緒障害の教育支援ミニマエッセンスー心理・生理・病理・カリ:特別支援学校・特別支援学級・通級による指導・通常の	渡邊貴裕:橋本創一	福村出版	202105
内国書	特別支援	特別支援教育:一人ひとりの教育的ニーズに応じて	柳本雄次:河合康	福村出版	201904
内国書	特別支援	特別支援教育新学習指導要領を踏まえたキャリア教育の実践	上岡一世	明治図書出版	201911
内国書	特別支援	発達障害のある子どもの「タイプ別」支援スタートブック:実態把握・指導計画の立案に役立つ!	鬼秀範	明治図書出版	202009
内国書	特別支援	発達障害のある子どものためのアンガーマネジメント	本田恵子:大森良平	明治図書出版	202110
内国書	特別支援	発達障害のある子への「自立活動」指導アイデア110:通級指導教室	喜多好一	明治図書出版	201910
内国書	特別支援	発達障害のある子へのアセスメントと指導プログラム:通信指導教室・療育で活かす	高畑英樹:高畑芳美	明治図書出版	202010
内国書	特別支援	夢中になる子どもたち:授業に入りたい6つのポイント	愛知教育大学附属特別支援学校	明治図書出版	201911
内国書	特別支援	余暇支援・意思決定支援×ライフキャリア教育:人生を思いっきり楽しむ力をつけるた	渡邊昭宏	明治図書出版	202104
内国書	特別支援	周りが変われば、子どもは変わる!:発達に課題を感じる子どもの可能性を伸ばすた	齋藤澄子	翔雲社(福知山)(発売:)	202105
内国書	特別支援	間違いだらけのインクルーシブ教育	多賀一郎:南恵介	黎明書房	202105
内国書	特別支援	小学校高学年発達障害が映す子どもたち:症状の本性が見えてくる	崎濱盛三	ミネルヴァ書房	202108
内国書	特別支援	小学校低学年発達障害が映す子どもたち:症状が表面に見えてくる	崎濱盛三	ミネルヴァ書房	202007
内国書	特別支援	発達障害の悩みに答える一問一答:生き難い私はもしかしてASD?それともADHD?	宮尾益知	河出書房新社	202012
内国書	特別支援	気になる子どものSST実践ガイド:親子で成長!	山本淳一:作田亮一	金剛出版	202101
内国書	特別支援	思春期・青年期トラブル対応ワークブック	小栗正幸:特別支援教育ネット	金剛出版	201901
内国書	特別支援	発達性協調運動障害[DCD]:不器用さのある子どもの理解と支援	辻井正次:宮原資英	金子書房	201908
内国書	特別支援	幼児期の発達障害に気づいて・育てる完全ガイド:(対象)幼児期 4歳~就学前まで	黒澤礼子	講談社	201909
内国書	特別支援	ケースで学ぶ自閉症スペクトラム障害と性ガダンス	田宮聡	みすず書房	201902
内国書	特別支援	ふれあいベアレントプログラム指導者用ガイド:社会的コミュニケーション発達が気になる子の育て方	尾崎康子	ミネルヴァ書房	201909
内国書	特別支援	愛着障害児とのつきあい方:特別支援学校教員チームとの実践	大橋良枝	金剛出版	201912
内国書	特別支援	学童期の感覚統合遊び:学童保育と作業療法士のコラボレーション	太田篤志:森川芳彦	クリエイツかもがわ	201911
外国書	ICT	Teaching Computational Thinking and Coding to Young Children (Advances in Early Childhood and K-12 Education)	Bers, Marina (EDT)	Information Science Ref	202106
外国書	ICT	Brave New Digital Classroom : Technology and Foreign Language Learning	Blake, Robert J./ Guilln, Gabriel/ Thorne, Steven L. (FRW)	Georgetown Univ Pr	202002
外国書	ICT	Digital Initiatives for Literacy Development in Elementary Classrooms : Emerging Research and Opportunities (Advances in Early Childhood and K-12 Educ	Brown, Sally Ann	Information Science Pub	201708
外国書	ICT	Teaching Computing Unplugged in Primary Schools: Exploring Primary Computing Through Practical Activities Away from the Computer	Caldwell, Helen (EDT)/ Smith, Neil (EDT)	SAGE Publications Ltd	201611
外国書	ICT	Computer-Based Mathematics Education and the Use of Matcos Software in Primary and Secondary Schools (Advances in Early Childhood and K-12 Education)	Costabile, Francesco/ Altomare, Mariavittoria/ Tricoli, Gianluca	Information Science Ref	202008
外国書	ICT	Curriculum Provision for the Gifted and Talented in the Primary School : English, Maths, Science and ICT	Deborah, Eyre (EDT)/ McClure, Lynne (EDT)	David Fulton Pub	201702
外国書	ICT	Coordinating Information and Communications Technology Across the Primary School : Study in the Adjectives of English (Longman Linguistics Library)	Ferris, Connor	Taylor & Francis	201702
外国書	ICT	Exploring Digital Technologies for Art-based Special Education : Models and Methods for the Inclusive K-12 Classroom	Garner, Rick L. (EDT)	Routledge	202012
外国書	ICT	Connecting Disciplinary Literacy and Digital Storytelling in K-12 Education	Haas, Leslie (EDT)/ Tussey, Jill (EDT)	Information Science Ref	202101
外国書	ICT	Equity and Quality in Digital Learning : Realizing the Promise in K-12 Education	Heinrich, Carolyn J./ Darling-aduana, Jennifer/ Good, Annalee G.	Harvard Education Pr	202009
外国書	ICT	Handbook on Digital Learning for K-12 Schools	Herausgegeben:Marcus-Quinn, Ann/ Hourigan, Tríona	SPRINGER, BERLIN; SP	201800

和洋区分	分類	書名	著者名	出版社	出版年月
外国書	ICT	Teaching Early Years Mathematics, Science and ICT : Core Concepts and Practice for the First Three Years of Schooling	Hilton, Geoff/ Hilton, Annette/ Dole, Shelley/ Campbell, Chris	Routledge	202103
外国書	ICT	Emerging Realities and the Future of Technology in the Classroom	Jaafar, Inaya (EDT)/ Pedersen, James (EDT)	Information Science Ref	202104
外国書	ICT	Active Literacy Across the Curriculum : Connecting Print Literacy with Digital, Media, and Global Competence, K-12	Jacobs, Heidi Hayes	Routledge	201710
外国書	ICT	Handbook of Research on Tools for Teaching Computational Thinking in P-12 Education (Advances in Early Childhood and K-12 Education)	Kalogiannakis, Michail (EDT)/ Papadakis, Stamatis (EDT)	Information Science Ref	202006
外国書	ICT	Remixing the Curriculum : The Teacher's Guide to Technology in the Classroom	Keefe, Elizabeth Stringer/ Steiner, Adam	Rowman & Littlefield Pub	201802
外国書	ICT	Handbook of Research on Integrating Computer Science and Computational Thinking in K-12 Education	Keengwe, Jared (EDT)/ Wachira, Patrick (EDT)	Information Science Ref	201912
外国書	ICT	Developing the ICT Capable School	Kennewell, Steve	Taylor & Francis	201709
外国書	ICT	Participatory Literacy Practices for P-12 Classrooms in the Digital Age (Advances in Early Childhood and K-12 Education)	Mitchell, Jessica S. (EDT)/ Vaughn, Erin N. (EDT)	Information Science Ref	201910
外国書	ICT	Literacy and ICT in the Primary School : A Creative Approach to English	Rudd, Andrew	Routledge	201707
外国書	ICT	Information and Communications Technology in Primary School Education	Sarkar, Subrata/ Mohapatra, Sanjay/	SPRINGER, BERLIN; SP	201800
外国書	ICT	Students Taking Charge in Grades K-5 : Inside the Learner-Active, Technology-Infused Classroom (Eye on Education)	Sulla, Nancy	Routledge	201811
外国書	ICT	Creativity, Technology, and Learning : Theory for Classroom Practice	Sullivan, Florence R.	Routledge	201702
外国書	ICT	Handbook of Research on Diverse Teaching Strategies for the Technology-Rich Classroom (Advances in Educational Technologies and Instructional Design)	Tomei, Lawrence A. (EDT)/ David D. (EDT)/ Lynn, David/ Fradale, Paul/ Lawless, Edward/ Turner,	Information Science Ref	201907
外国書	ICT	Improving Schools with Blended Learning : How to Make Technology Work in the Modern Classroom	Zhang, Jimbo (EDT)/ Yang, Junfeng (EDT)/ Chang, Maiga (EDT)/	Routledge	202102
外国書	ICT	ICT in Education in Global Context : The Best Practices in K-12 Schools (Lecture Notes in Educational Technology)	Zhang, Jimbo (EDT)/ Yang, Junfeng (EDT)/ Chang, Maiga (EDT)/	Springer Verlag	201803
国内書	ICT	デジタル・AI時代の暮らし力:アナログ知のポテンシャル	浅間正道	南雲堂	202005
国内書	ICT	教育情報科学:ICT・データ分析・プログラミング	黒澤和人, 船田真里子	学文社	202004
国内書	ICT	デジタル世界のスキル形成:デジタルトランスフォーメーションが導く仕事・生活・	経済協力開発機構:菅原	明石書店	202110
国内書	ICT	AI vs. 教科書が読めない子どもたち	新井紀子(数学)	東洋経済新報社	201802
国内書	ICT	だれもが実践できるネットモラル・セキュリティ	堀田龍也, 西田光昭	三省堂	201801
国内書	ICT	情報と職業:AI時代に向けてのキャリア開発	豊田雄彦, 加藤晃(リスクマネジメント)	日本教育訓練センター(株)	201808
国内書	ICT	子どもの本:情報教育・プログラミングの本2000冊	野口武悟	日外アソシエーツ	201811
国内書	ICT	スマホ・ネット基礎・基本ワーク:小学生のうちに身につけたい!コピーして使える!	竹内和雄:ソーシャルメディア研究会	学事出版	202010
国内書	ICT	60分でわかる!プログラミング教育最前線	プログラミング教育研究会:CodeCampKIDS	技術評論社	201907
国内書	ICT	教材にすぐ使えるScratch3.0	梅原嘉介	工学社	202106
国内書	ICT	Scratchで学ぶビジュアルプログラミング:教えられる大人になる	黒川利明	朝倉書店	202009
国内書	ICT	スマホ・タブレットもめごとSOS:ネット社会を生きる子どもたちのために	富樫康明	批評社	201809
国内書	ICT	ニュー・チャイルドフード:つながりあった世界で生きる知恵を育む教育	ジョーダン・シャビロ:関美	NTT出版	202107
国内書	ICT	AI時代を生きる子供たちの資質・能力:新学習指導要領に対応	赤堀侃司	ジャムハウス	201903
国内書	ICT	AI時代の教師・授業・生きる力:これからの「教育」を探る	渡部信一	ミネルヴァ書房	202007
国内書	ICT	アフター・コロナの学校の条件	中村文夫	岩波書店	202107
国内書	ICT	能力2040:AI時代に人間する	池田賢市, 市野川容孝	太田出版	202005
国内書	ICT	AIに負けない!教育	渡部信一	大修館書店	201808
国内書	ICT	賢い子はスマホで何をしているのか	石戸奈々子	日経BPM(日本経済新聞)	202107
国内書	ICT	オンライン教育熟識オン・コメニウス	相馬伸一	晃洋書房	202011
国内書	ICT	「Google Classroom」の導入と遠隔教育の実践:無料アプリで始める遠隔教育入門	梅原嘉介	工学社	202101
国内書	ICT	情報時代の学校をデザインする:学習者中心の教育に変える6つのアイデア	チャールズ・M. ライゲル ース:ジェニファー・R. カ	北大路書房	201802
国内書	ICT	学校現場で今すぐできる「働き方改革」:目からウロコのICT活用術	新保元康	明治図書出版	201903
国内書	ICT	子どもがつながる!オンライン学級あそび	庄子寛之, 深見太一	学陽書房	202009
国内書	ICT	誰でもできる!オンライン学級の作り方	秋山真俊	東洋館出版社	202012
国内書	ICT	オンラインでも役立つ!小学校ワークシート&テンプレート:子どもが喜ぶイラストがいっぱい! DVD-ROM付	イクタケマコト	学陽書房	202103
国内書	ICT	withコロナの学級経営と授業づくり	河原和之	明治図書出版	202009
国内書	ICT	教職・情報機器の操作:ICTを活用した教材開発・授業設計	高橋参吉, 高橋朋子(情報教育)	コロナ社	202103
国内書	ICT	学校教育と情報機器	森田健宏, 田爪宏二	ミネルヴァ書房	201802
国内書	ICT	教育現場で役立つ情報リテラシー	守屋誠司, 太田直樹	実教出版	202003
国内書	ICT	学校の情報セキュリティ実践マニュアル:教育の現場で安心してICTを活用するために	NTTラーニングシステムズ	翔泳社	201807
国内書	ICT	コロナと闘う学校:全国120校が直面した課題と新たな教育環境の可能性	川崎雅和	学事出版	202102
国内書	ICT	教室でも楽しめる!みんなでZoomあそび!	桂聖:TKB36Zoom研究	東洋館出版社	202103
国内書	ICT	オンライン、ソーシャルディスタンスでできる学級あそび&授業アイスブレイク	鈴木邦明, 赤堀達也	明治図書出版	202101
国内書	ICT	iPad教育活用7つの秘訣:新しい学びの実践者に聞くICT活用実践と2020年、2	ウイネット	ウイネット(発売:星雲社)	201803
国内書	ICT	GIGAスクール時代の学びを拓く! PC1人1台授業スタートブック	中川一史, 赤堀侃司	ぎょうせい	202104
国内書	ICT	基礎と実践から学べる小・中学校プログラミング教育:今こそ知りたい!学び続ける先生のための	鳴門教育大学プログラミング教育研究会	ジアース教育新社	202102
国内書	ICT	プログラミング教育の考え方とすぐに使える教材集	赤堀侃司	ジャムハウス	201803
国内書	ICT	初等中等教育におけるICT活用	日本教育工学会:高橋純	ミネルヴァ書房	201803
国内書	ICT	人間性に回帰する情報メディア教育の新展開:人工知能と人間知能の連携のために	松原伸一	開隆堂出版(発売:開隆堂)	202002
国内書	ICT	これで、ICT活用・プログラミング×「学び合い」は成功する!	水落芳明:齋藤博(教材開発)	学事出版	202006
国内書	ICT	学校ICTサポートブック:授業中の「困った」にも即対応!	教育あるある探検隊	学事出版	202109
国内書	ICT	小学校担任が安心して取り組めるプログラミング教育	鷲見辰美	学事出版	201906
国内書	ICT	小学校におけるプログラミング教育の理論と実践	東京学芸大学プログラミング教育研究会:加藤直樹	学文社	201908
国内書	ICT	やってみよう!小学校はじめてのオンライン授業	樋口万太郎, 堀田龍也	学陽書房	202006
国内書	ICT	事例と動画でやさしくわかる!小学校プログラミングの授業づくり	Type T:堀田龍也	学陽書房	202106
国内書	ICT	実践事例でわかる!タブレット活用授業:GIGAスクール構想対応	田中博之	学陽書房	202103
国内書	ICT	小学校はじめてのプログラミング授業:結局、何を教えればいいのかスッキリわかる!	丸岡慎弥	学陽書房	202004
国内書	ICT	続やってみよう!小学校はじめてのオンライン授業	堀田龍也, 樋口万太郎	学陽書房	202008
国内書	ICT	なぜ、いま学校でプログラミングを学ぶのか:はじまる「プログラミング教育」必修化	平井聡一郎, 利根川裕太	技術評論社	202002
国内書	ICT	GIGAスクール構想で進化する学校、取り残される学校	平井聡一郎	教育開発研究所	202109
国内書	ICT	情報モラル教育:知っておきたい子どものネットコミュニケーションと	西野泰代, 原田恵理子	金子書房	201808
国内書	ICT	小・中・高等学校でのプログラミング教育実践:問題解決を目的とした論理的思考力の	日本産業技術教育学会	九州大学出版会	201909
国内書	ICT	教室へのICT活用入門	藤本おる	国書刊行会	201911
国内書	ICT	GIGAスクール・マネジメント:「ふつうの先生」がICTを「当たり前」に使う最先端	佐藤明彦, 前田康裕	時事通信社	202108
国内書	ICT	ICT活用指導力アップ!教育の情報化:教員になるための情報教育入門	梅田恭子, 齋藤ひとみ	実教出版	201904
国内書	ICT	クラウドで育てる次世代型情報活用能力:Google for Educationによる新し	堀田龍也, 山内祐平	小学館	202105

和洋区分	分類	書名	著者名	出版社	出版年月
国内書	ICT	パワポで簡単！GIGAスクール時代のスマホ・ゲーム・ネットリテラシー授業：CD-ROM付き	清川輝基	少年写真新聞社	202108
国内書	ICT	デジタル・シティズンシップ：コンピュータ1人1台時代の善き使い手をめざす学び	坂本旬・芳賀高洋	大月書店	202012
国内書	ICT	AI研究からわかる「プログラミング教育」成功の秘訣	渡部信一	大修館書店	201909
国内書	ICT	GIGAスクールで実現する新しい学び：1人1台環境での学力向上と全職員でのオンライン学習	赤堀侃司・堀田龍也	東京書籍	202101
国内書	ICT	GIGAスクール時代の学校：自己調整を促し創造性を発揮するICTの活用	堀田龍也・上越教育大学附属中学校	東京書籍	202104
国内書	ICT	これならできる小学校教科でのプログラミング教育	赤堀侃司・久保田善彦	東京書籍	201810
国内書	ICT	小学校低学年1人1台端末を活用した授業実践ガイド：GIGAスクール構想	堀田博史・佐藤和紀	東京書籍	202104
国内書	ICT	グローバル化、デジタル化で教育、社会は変わる	ホーン川嶋瑠子	東信堂	202108
国内書	ICT	主体的・対話的で深い学びの環境とICT：アクティブ・ラーニングによる資質・能力の育	久保田賢一・今野貴之	東信堂	201806
国内書	ICT	10X授業のすべて：小学校・中学校Google Workspace f	イーディーエル：平塚知真	東洋館出版社	202107
国内書	ICT	はじめての授業のデジタルトランスフォーメーション：ChromebookとGoogle Works	高橋純	東洋館出版社	202103
国内書	ICT	小学校の先生のためのWhy！？プログラミング授業活用ガイド：学年別・教科別に実	阿部和広・豊福晋平	日経BP発売：日経BP	201812
国内書	ICT	学校のICT活用：GIGAスクール構想を支えるICT支援員	永野和男・田中康平	日本標準	202110
国内書	ICT	情報モラルの授業2.0：スマホ世代の子どものための情報活用能力を育む	今度珠美・稲垣俊介	日本標準	201912
国内書	ICT	AI時代の情報モラル教育とビデオゲーム・リテラシー教育	小孫康平	風間書房	202008
国内書	ICT	デジタルメディア時代における教育方法と遊び、遊びとしてのビデオゲームに着目して	小孫康平	風間書房	201808
国内書	ICT	情報教育の成立・展開期におけるカリキュラム評価	本村猛能・森山潤	風間書房	201811
国内書	ICT	デジタル社会の学びのかたち：教育とテクノロジーの新たな関係	A. コリンズ：R. ハルバーソン	北大路書房	202010
国内書	ICT	教育AIが変える21世紀の学び：指導と学習の新たなかたち	ウェイン・ホルムス：マヤ・ピアリック	北大路書房	202011
国内書	ICT	1人1台タブレットではじめる小学校ICTの授業づくり超入門！	高橋純・水谷年孝	明治図書出版	202110
国内書	ICT	1人1台端末活用パーフェクトQ&A：GIGAのつまずきに徹底対応！	佐藤和紀・三井一希	明治図書出版	202109
国内書	ICT	70の事例でわかる・できる！小学校オンライン授業ガイド	佐藤正範	明治図書出版	202009
国内書	ICT	GIGAスクールに対応した全教科・領域の授業モデル：学校全体でつくるよりよい学び	新潟大学附属新潟小学校初等教育研究会	明治図書出版	202108
国内書	ICT	GIGAスクール構想で変える！：1人1台端末時代の授業づくり	樋口万太郎	明治図書出版	202102
国内書	ICT	GIGAスクール構想で変える！：1人1台端末時代の授業づくり 2	樋口万太郎・宗貴直樹	明治図書出版	202107
国内書	ICT	日本のオンライン教育最前線：アフターコロナの学びを考える	石戸奈々子	明石書店	202010
国内書	ICT	これで大丈夫！小学校プログラミングの授業：3+αの授業パターンを意識する[授業実践39]	小林祐紀・兼宗進	翔泳社	201804
国内書	ICT	小学校プログラミング教育の研修ガイドブック	小林祐紀・兼宗進	翔泳社	201903
国内書	ICT	GIGAスクール構想で変わる授業づくり入門：1人1台情報端末でできること50	蔵満逸司	黎明書房	202109
国内書	ICT	小学校プログラミング教育の考え方・進め方	蔵満逸司	黎明書房	201901
国内書	ICT	できるGoogle for Educationコンプリートガイド 導入・運用・実	ストリートスマート：できるシリーズ編集部	インプレス	202012
国内書	ICT	できるMicrosoft Teams for Educationすぐに始めるオン	清水理史：できるシリーズ編集部	インプレス	202103
国内書	ICT	いちばんやさしいGoogle for Educationの教本：人気教師が教える教育のリアルを変えるICT活用法	庄子寛之：二川佳祐	インプレス	202109
国内書	ICT	続「対話的学び」をつくる：聴き合いとICTの往還が生む豊かな授業	石井順治	ぎょうせい	202107
国内書	ICT	オンライン学習・授業のための基礎知識とアプリ操作ガイド：GIGAスクール時代に対	赤堀侃司・池田利夫	ジャムハウス	202103
国内書	ICT	オンライン学習・授業のデザインと実践	赤堀侃司	ジャムハウス	202009
国内書	ICT	探究の過程におけるすぐ実践できる情報活用スキル55：単元シートを活用した授業づ	塩谷京子	ミネルヴァ書房	201901
国内書	ICT	オンライン授業スタートブック：子どもとつながり、学びが広がる！	上条晴夫：オンライン授業をオンラインで学ぶ会	学事出版	202008
国内書	ICT	画一化する授業からの自律：スタンダード化・ICT化を超えて	子安潤	学文社	202109
国内書	ICT	子どもが「学び合う」オンライン授業！	西川純	学陽書房	202007
国内書	ICT	今すぐ使える！Google for Education：授業・校務で使える活用のコツと実践ガイド	イーディーエル：平塚知真	技術評論社	202010
国内書	ICT	小学校にオンライン教育がやってきた！	上松恵理子	三省堂	202101
国内書	ICT	情報社会を支える教師になるための教育の方法と技術：教職課程コアカリキュラム対	堀田龍也・佐藤和紀	三省堂	201903
国内書	ICT	オンライン授業のためのZoomレッスン：簡単にできるアクティブラーニングのコツ	岸田典子・鈴木有香	実教出版	202105
国内書	ICT	ピア・フィードバック：ICTも活用した生徒主体の学び方	スター・サクシュタイン：田中理紗	新評論	202110
国内書	ICT	学びと生き方を統合するSociety5.0の教育：サイエデュケーションで「知・徳・体」を総合的に育	柳沼良太	図書文化社	202005
国内書	ICT	ハード式Zoom授業入門：オンライン学習を効果的に支援するガイド	ダン・レヴィ：川瀬晃弘	青弓社	202104
国内書	ICT	YouTubeで授業／学級経営やってみた！	原口直	東洋館出版社	202008
国内書	ICT	オンライン学習でできること、できないこと：新しい学習様式への挑戦	千葉大学教育学部附属小学校	明治図書出版	202009
国内書	ICT	ゼロから学べるオンライン学習	石井英真・秋山貴俊	明治図書出版	202010
国内書	ICT	情報活用型プロジェクト学習ガイドブック：探究する学びをデザインする！	稲垣忠（情報教育）	明治図書出版	202008
国内書	ICT	反転授業の実践知：ICT教育を活かす「新しい学び」21の提言	反転授業研究会・問学教育研究部：中西洋介	明石書店	202007
国内書	ICT	情報化社会におけるメディア教育	苑復傑：中川一史	放送大学教育振興会（発	202003
国内書	ICT	メディア・リテラシーの教育論：知の継承と探究への誘い	中橋雄	北大路書房	202102
国内書	ICT	参加型メディア教育の理論と実践：ハッキングゲームによるメディア制作教育論の新たな展	時津啓	北石書店	201911
国内書	ICT	スマホ・ケータイ持ち込みの基本ルール：学校でのリスクトラブルをどう防ぐか	竹内和雄	学事出版	202102
国内書	ICT	教師が知らない！子どものスマホ・SNS「新常識」学校を変える可能性と危険性	藤川大祐	教育開発研究所	202104
国内書	ICT	Society5.0に向けた進路指導：個別最適化時代をどう生きるか	西川純：網代涼佑	明治図書出版	202007
国内書	ICT	ICTで変わる社会科授業ははじめの一歩：1人1台端末を活かす授業デザイン	朝倉一民	明治図書出版	202107
国内書	ICT	ICT×社会GIGAスクールに対応した1人1台端末の授業づくり 小学校・中学校	『社会科教育』編集部	明治図書出版	202108
国内書	ICT	GIGAスクールに対応した小学校道徳ICT活用BOOK	中野啓明	明治図書出版	202110
国内書	ICT	テンプレートでわかる算数・理科のクラウド活用：今すぐ始める Google Workspace	堀田龍也・久保田善彦	東洋館出版社	202109
国内書	ICT	GIGAスクール構想で変える！1人1台端末時代の算数授業づくり	樋口万太郎	明治図書出版	202110
国内書	ICT	ICT×算数GIGAスクールに対応した1人1台端末の授業づくり 小学校	『授業力&学級経営力』編集部	明治図書出版	202108
国内書	ICT	これが知りたかった！すぐにできるプログラミング授業実践小学校理科	高橋純・三井寿哉	東洋館出版社	201907
国内書	ICT	GIGAスクール時代における体育の「主体的・対話的で深い学び」：Society5.0がもたらす体育のユニークな	鈴木直樹（身体教育学）：中島寿宏	創文企画	202106
国内書	ICT	体育授業のICT活用アイデア56：8つのポイントで運動大好きの子供をつくる！	鈴木直樹	明治図書出版	202009
国内書	ICT	ICT×体育・保健体育GIGAスクールに対応した授業スタンダード 小・中・高等学校	鈴木直樹	明治図書出版	202108
国内書	ICT	音楽科教育とICT	深見友紀子：小梨貴弘	音楽之友社	201911
国内書	ICT	国語科教育におけるメディア・リテラシー教育の研究：マルチモーダル・テキストの活用を中心に	羽田潤	渓水社（広島）	202003
国内書	ICT	学びの質を高める！ICTで変える国語授業：応用スキル&実践事例集 2	野中潤	明治図書出版	202101
国内書	ICT	学びの質を高める！ICTで変える国語授業：基礎スキル&活用ガイドブック	野中潤	明治図書出版	201902
国内書	ICT	楽しみながら力を付ける！国語授業のICT簡単面白活用術50	細川太輔・鈴木秀樹	明治図書出版	201908
国内書	ICT	Chromebookでつくる小学校国語の授業	石丸憲一：正木友則	明治図書出版	202110
国内書	ICT	ICT×国語GIGAスクールに対応した1人1台端末の授業づくり 小学校・中学校	『国語教育』編集部	明治図書出版	202108
国内書	ICT	withコロナの国語授業づくり	『国語教育』編集部	明治図書出版	202009
国内書	ICT	教科の学びを進化させる小学校国語授業アップデート：シンキングツール×ICT×オンライン授業×家庭学習	中野裕己	明治図書出版	202107
国内書	ICT	小学校国語「学習者用デジタル教科書」徹底活用ガイド：GIGAスクール・1人1台端末に対応！	中川一史	明治図書出版	202107

和洋区分	分類	書名	著者名	出版社	出版年月
内国書	ICT	小学校国語科ICT&1人1台端末を活用した言語活動パーフェクトガイド	水戸部修治	明治図書出版	202109
内国書	ICT	小学校英語×ICT「楽しい！」を引き出す活動アイデア60	東口貴彰	明治図書出版	202009
内国書	ICT	ICT×英語GIGAスクールに対応した1人1台端末の授業づくり 小学校・中学校	『授業力&学級経営力』編集部	明治図書出版	202108
内国書	ICT	デジタル時代に向けた幼児教育・保育：人生初期の学びと育ちを支援する	アンドレアス・シュライヒャー：経済協力開発機構	明石書店	202002
内国書	ICT	ICT活用新しいはじめの一步	郡司竜平	学事出版	201909
内国書	ICT	タブレットPCを学習サポートに使うためのQ&A	河野俊寛	明治図書出版	201903
内国書	ICT	教材・教具・ICTの教室活用アイデア：発達障害のある子の学びを深める	金森克浩・梅田真理	明治図書出版	201912
内国書	ICT	子どもが目を輝かせて学びます！教材・教具・ICTアイデア100	『特別支援教育の実践情報』編集部：村野一臣	明治図書出版	202008
内国書	ICT	ICT×特別支援GIGAスクールに対応したタブレット活用 小・中・高等学校・特別	特別支援教育の実践研究	明治図書出版	202108
内国書	ICT	withコロナ時代の特別支援教育：『特別支援教育の実践情報』PLUS	特別支援教育の実践研究	明治図書出版	202009
内国書	ICT	オンラインとオフラインで考える特別支援教育	青山新吾・郡司竜平	明治図書出版	202107
内国書	ICT	遠隔教育・オンライン学習の実践と工夫	菅野和彦・下山直人	ジヤース教育新社	202012
内国書	ICT	新時代を生きる力を育む知的・発達障害のある子のプログラミング教育実践	金森克浩・水内豊和	ジヤース教育新社	202003
内国書	ICT	知的障害のある子への「プログラミング教育」にチャレンジ！	水内豊和・山崎智仁	明治図書出版	202109
内国書	ICT	オンデマンド・ラーニング：オンライン学習時代のeラーニング・デザイン	ティム・スレイド：足立美穂	日本能率協会マネジメン	202106
内国書	ICT	はじめてみようSTEAM教育：小学生からの実験とプログラミング	川村康文・前田譲治	オーム社	202104
内国書	ICT	芸術とコンピュータ：感性に響くICT超活用	松原伸一	開隆堂出版(発売：開隆堂)	202107
内国書	ICT	AIに負けない子どもを育てる	新井紀子(数学)	東洋経済新報社	201909
内国書	ICT	Scratchでたのしく学ぶプログラミング的思考	鷲崎弘宜・齋藤大輔	マイナビ出版	201909
内国書	ICT	新時代を生きる力を育む知的・発達障害のある子のプログラミング教育実践_2	金森克浩・水内豊和	ジヤース教育新社	202109
内国書	ICT	書くことの本質をわがくむマルチモーダル・アプローチ：自己認識としてのメディア・リテラシーをめざして	松山雅子	溪水社(広島)	202108
内国書	ICT	これで安心！小学校プログラミング教育必修化に向けた【学年別】実践集：スクラッチ・ビジュアルなどの操作方法から指導案など	大塚智治	秀麗出版	201908
内国書	ICT	情報教育 はじまりから現在・未来	中田美喜子	大学教育出版	202103
内国書	ICT	福祉職・保育者養成教育におけるICT活用への挑戦：より深い学びと質の高い支援スキル獲得を目指して	坂本毅啓・佐藤貴之	大学教育出版	201903
内国書	ICT	はじめてでもうまくいく！1人1台端末授業ガイド&アイデア：小学校全教科ICT活用事	宮本博規・山口修一	明治図書出版	202109
内国書	ICT	教育のデジタルエイジ：子どもの健康とウェルビーイングのために	トレーシー・バーンズ：フランチェスカ・ゴットシャルク	明石書店	202108

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

1	学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	p.2
	(1) 学生の確保の見通し	p.2
	ア 定員充足の見込み	p.2
	イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	p.3
	(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況	p.13
2	人材需要の動向等社会の要請	p.16
	(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(概要)	p.16
	(2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえた ものであることの客観的な根拠	p.17

学生の確保の見通し等を記載した書類

1 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

①入学定員設定の考え方

今回設置する教育学部教育学科は、入学定員を 100 人、3 年次編入学定員 5 人（収容定員 410 人）とする予定である。本学では、幼児教育を担う人材養成をおこなう学科として、四年制に生涯福祉学部こども福祉学科、同一法人の短期大学部に保育科を設置している。

このうち、生涯福祉学部こども福祉学科を基礎となる学部とし、令和 5（2023）年度に学生募集を停止し、教育学部教育学科を設置する。

新たに設置する教育学部教育学科では、教員としての使命感や情熱を持ち、発達や学びの連続性を踏まえた就学前教育及び学校教育に関する高度な専門知識と優れた技能・実践力を有し、子どもの個性と環境の多様性に対応しながら、共生社会の一員として地域社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。

基礎となる学部等である生涯福祉学部こども福祉学科の入学定員は 50 人であるが、教育学科では入学定員を 50 人増員し 100 人とする。こども福祉学科では幼児教育及び保育を担う人材養成を目的としており、新たに設置する教育学科は、幼児教育、保育に加え、小学校教諭、特別支援学校教諭の人材養成を目的としていることから、入学定員を 100 人と設定した。また、同一法人内の保育科第一部の入学定員を 100 人から 80 人へ減じ（△20 人）、法人全体での教員養成のバランスを踏まえ、入学定員を設定した。

加えて、生涯福祉学部社会福祉学科に 3 年次編入学（5 人）を令和 5（2023）年度に設定する。社会福祉学科は人間の福利を広く「人間一人ひとりの能力開発を支援すること」と捉え、少子高齢社会に対応しながら、人々とその環境に働きかけることにより、家族や地域の福祉力を高めるソーシャルワーカーを養成することを目的とし、平成 20（2008）年度に設置した。以来、少人数教育を活かした丁寧な教育により、地域で活躍する社会福祉人材（社会福祉士、精神保健福祉士）を輩出してきた。社会福祉学科設置後、十数年が経過する中で、地域で活躍する社会福祉士の必要性がますます高まっており、本学では、この社会的要請に応じ、少しでも多くの福祉人材を輩出するため、3 年次編入学定員（5 人）を設定する。

令和 5（2023）年度に計画している本学及び同一法人の学則変更の概要は〔表 1〕のとおりである。

〔表1〕本学園の教育者・保育者の人材養成における学部構成

《令和4（2022）年度》

《令和5（2023）年度以降（完成時）》

（兵庫大学）

学部名 学科名	入学 定員	編入学 定員	収容 定員		入学 定員	編入学 定員	収容 定員	増減
教育学部 教育学科	二	—	二	⇒	<u>100</u>	<u>5</u>	<u>410</u>	<u>410</u>
生涯福祉学部 こども福祉学科	<u>50</u>	<u>5</u>	<u>210</u>		二	二	二	<u>△210</u>
生涯福祉学部 社会福祉学科	40	二	<u>160</u>		40	<u>5</u>	<u>170</u>	<u>10</u>

（兵庫大学短期大学部）

学部名 学科名	入学 定員	編入学 定員	収容 定員		入学 定員	編入学 定員	収容 定員	増減
保育科第一部	<u>100</u>	—	<u>200</u>	⇒	<u>80</u>	—	<u>160</u>	<u>△40</u>

入学定員及び編入学定員の変更にあたっては、本学の主要な募集地域である兵庫県内の高等学校卒業者の進路状況、近隣競合校の募集状況および定員充足状況、ならびに本学への進学希望アンケート調査の結果などを踏まえ、本学が収容定員増員以前と同等以上の教育内容を担保できる適正規模を検討し決定した。

また、人材需要の動向等については、現在の教育・保育人材の現状、ソーシャルワーク専門職の現状及び社会環境等を踏まえ、本学が養成する人材は十分な需要があり、社会からの要請があることを確認した。

本学及び同一法人内の短期大学で培ってきた教育者・保育者の人材養成及び社会福祉人材養成の実績から、その教育内容をさらに充実・発展させることで、今後も適切な志願者及び入学者を維持し、収容定員変更後も入学定員を充足していくことが十分に可能であると考える。

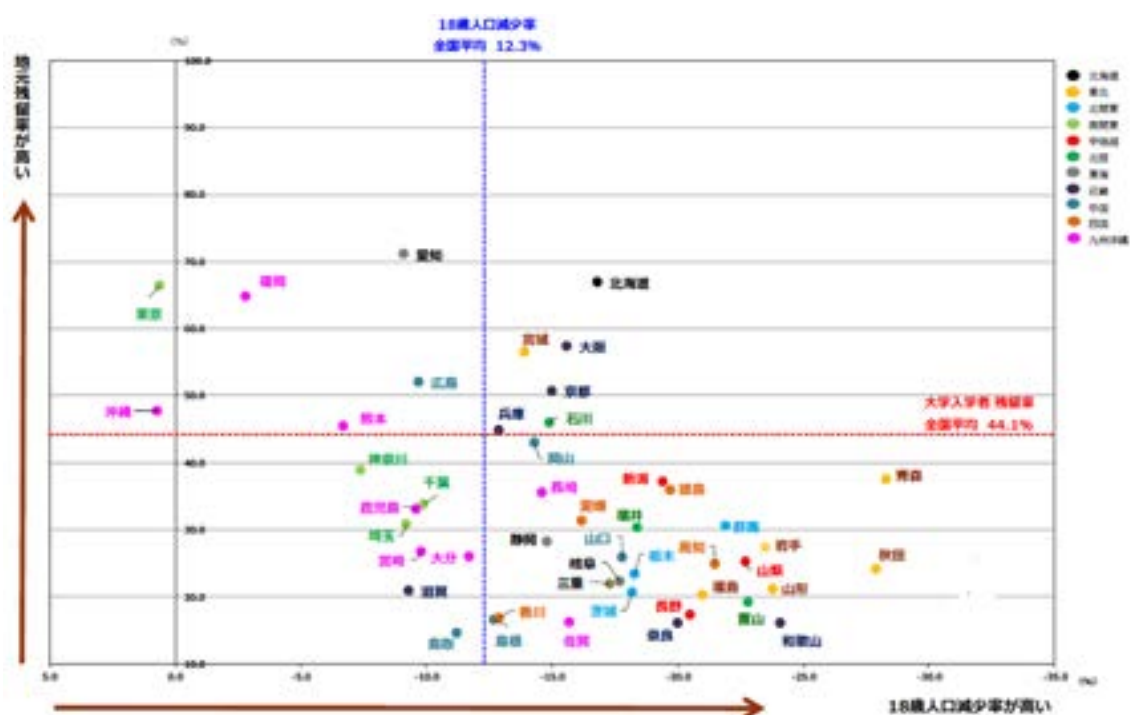
イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

①18歳人口の動向

リクルート進学総研の「18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向2020年」によると、全国の18歳人口は令和2（2020）年の116.7万人から、令和14（2032）年には14.3万人が減少し、102.4万人（減少率12.3%）となると予測されている。エリア別で見ると、本学が所在する兵庫県は減少率が12.9%と予測されて

おり、全国平均とほぼ同等の減少率となっている。また、2020年度の（参考）大学・短期大学・専門学校進学率ランキングによると、兵庫県の大学進学率は57.9%と全国で3番目に高く、地元残留率は近畿で46.3%となっており、大学への進学率が高く、そのうち約半数が地元に進学している【資料1】。〔図1〕の18歳人口減少率×地元残留率を見ると、兵庫県は18歳人口減少率及び地元残留率が全国平均とほぼ同数となっており、急激な変化がなく比較的安定している地域といえる。

〔図1〕 18歳人口減少率×地元残留率



【資料1 18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向 (リクルート進学総研 マーケットリポート) (抜粋)】

②同系統学部 of 学部学科の動向 (教育学部教育学科)

日本私立学校振興・共済事業団発行の「令和3(2021)年度私立大学・短期大学等入学志願動向」によると、本学が新たに設置する「教育学部教育学科」と同系統学部は、全国で104学部あり、志願動向では入学定員17,832人に対し、志願者は100,983人となっており、前年度から17,866人減少している。令和3(2021)年度の入学定員充足率は94.40%と減少したものの、過去5年間における入学定員充足率は平成29(2017)年度は102.52%、平成30(2018)年度は100.26%、令和元(2019)年度は100.75%、令和2(2020)年度は100.09%と、100%付近で推移しており、志願者が安定している学問分野といえる【資料2】。

【資料2 教育学系大学（私立）の設置数・志願者数・入学者数・入学定員充足率】

（生涯福祉学部社会福祉学科）

日本私立学校振興・共済事業団発行の「令和3（2021）年度私立大学・短期大学等入学志願動向」によると、本学が新たに3年次編入学を設定する「生涯福祉学部社会福祉学科」と同系統学部は、全国で34学部あり、入学定員6,580人に対し志願者は31,476人となっている。過去5年間における入学定員充足率は、社会福祉学部では平成29（2017）年度は92.59%、令和30（2018）年度は95.28、令和元（2019）年度は98.16%、令和2（2020）年度は103.45%、令和3（2021）年度は97.23%となっており、比較的安定している学問分野といえる【資料3】。

【資料3 社会科学系（社会福祉・人間福祉）大学（私立）の設置数・志願者数・入学者数・入学定員充足率】

③本学への大学進学状況

本学の入試状況を見ると平成29（2017）年度から令和3（2021）年度の過去5年間で平均した入学者の出身県は、兵庫県が85.4%、兵庫県を除く近畿地区が3.3%、中国地区4.6%、四国地区2.3%となっており、近畿地区・中四国地区の入学者が全体の95.6%を占める〔表2〕。また、県別で見ると、兵庫県に次いで多い順番では、大阪府、岡山県、北海道、広島県、高知県、鳥取県、香川県、島根県となっている〔表3〕。本学では、通学圏内である兵庫県及び大阪府、中四国地区を学生募集の重点地域としており、実績としても本学がターゲットとしている地域からの入学が多い。

〔表2〕 本学の地域別入学者の動向（平成29年～令和3年度実績）昇順

地域	人数	割合
兵庫県	1,575	85.4%
中国地区	85	4.6%
近畿地区	60	3.3%
四国地区	42	2.3%
北海道地区	27	1.5%
九州地区	25	1.4%
中部地区	14	0.8%
関東地区	10	0.5%
沖縄地区	5	0.3%
東北地区	2	0.1%

※近畿は兵庫県を除く。

※外国の学校卒、専修学校高等課程、高卒認定等、留学生を除く。

〔表 3〕 本学の県別入学者の動向（平成 29 年～令和 3 年度実績）昇順

地域	人数	割合	地域	人数	割合
兵庫県	1,575	85.4%	高知県	16	0.9%
大阪府	36	2.0%	鳥取県	14	0.8%
岡山県	31	1.7%	香川県	12	0.7%
北海道	27	1.5%	島根県	11	0.6%
広島県	20	1.1%	他地域等	103	6.8%

※外国の学校卒、専修学校高等課程、高卒認定等、留学生を除く。

本学の主な募集地域（近畿圏・中四国圏）における中長期的な 18 歳人口予測値【資料 4】によると、本学所在地である兵庫県は、令和 14（2032）年には 18 歳人口は 45,542 人となり、令和 2（2020）年度に比べ、 -12.9% となると予測されている。少子高齢社会の到来により、関東地域の一部を除き、全ての都道府県において 18 歳人口は減少の一途を辿る。そのような中、兵庫県は全国や近畿圏と比較しても中長期的に 18 歳人口の減少が比較的緩やかである。また本学の募集戦略のターゲット地域では、高知県（ -21.5% ）及び大阪府（ -15.6% ）の増減率は全国平均（ -12.3% ）を上回るとされるものの、広島県（ -9.7% ）や鳥取県（ -11.2% ）と全国平均より増減率が少ない地域もある。後述するが、本学では、ターゲット地域での戦略的な募集活動を展開することにより、学生確保を強化している。

【資料 4 本学の主な募集地域の 18 歳人口予測値】

④近隣大学における同系統の学部学科の状況

（教育学部教育学科）

本学の主な募集地域である近畿地区のうち、通学圏内となる兵庫県、大阪府、京都府に所在する教育系学部は 24 学部である。

そのうち、兵庫県では教育系学部を設置する大学は 11 大学となっている。過去 3 年間の入試結果をみると、令和元（2019）年度では、入学定員 2,145 人に対し志願者は 13,528 人、入学者は 2,127 人である。令和 2（2020）年度では入学定員 2,165 人に対し志願者は 11,949 人、入学者は 2,159 人、令和 3（2021）年度では入学定員 2,125 人に対し志願者は 10,640 人、入学者は 1,795 人となっている。兵庫県内の大学の入学定員充足率を平均すると、令和元（2019）年度＝ 99.2% 、令和 2（2020）年度＝ 99.7% 、令和 3（2021）年度＝ 84.5% となり、「②同系統学部の学部学科の動向」と同様、令和 3（2021）年度は減少傾向にあるものの、 100% 付近で推移している。また、志願者数についても令和 3（2021）年度に 10,640 人となるが、令和元（2019）年度は 13,528 人、令和 2（2020）年度において 11,949 人が兵庫県内の教育系学部を志願しており、入学定員に対し約 5 倍の志願者がいることが分かる

【資料 5】。

また、本学教育学部と競合が予測される大学は神戸女子大学、神戸常盤大学、関西福祉大学、姫路大学である。これらの大学は、本学が特に募集重点地域としている兵庫県西部から神戸地区に所在し、いずれの大学も本学の通学範囲と重複する。競合が予想される大学の教育系学部の取得可能資格を一覧にすると、〔表 4〕のとおりとなる。

〔表 4〕 競合が予想される大学の比較

大学名称	学部名称	学科・コース	幼一 種免	小一 種免	中・高 一種免	特支一 種免	保育士
神戸女子大学	文	教育	○	○	英語		○
神戸常盤大学	教育	こども教育・教員養成	○	○			
神戸常盤大学	教育	こども教育・保育者養成	○				○
関西福祉大学	教育	児童教育	○	○			○
姫路大学	教育	こども未来	○	○			○

競合が予想される大学の定員充足率は、令和 3 (2021) 年度では、全国的な傾向として志願者、入学者ともに減少しているものの、令和元 (2019) 年度、令和 2 (2020) 年度ともに 1.0 倍を超え、安定的に定員を確保できている。また、取得可能資格を比較すると、幼稚園教諭一種免許、小学校教諭一種免許、保育士資格はいずれの大学も取得可能であるが、神戸女子大学のみ中学校・高等学校教諭一種免許（英語）を取得可能となっている。本学では、幼稚園教諭一種免許、小学校教諭一種免許、保育士に加え、特別支援学校教諭一種免許を取得可能とする。また、兵庫県の私立大学の教育系学部において、特別支援学校教諭一種免許を取得可能な大学は 6 大学（芦屋大学、関西学院大学、関西国際大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸親和女子大学、武庫川女子大学）あるが、全ての大学が兵庫県東部に位置しており、本学部を設置することで、兵庫県西部における幼児教育、初等教育、特別支援教育人材の養成を担うことが可能となる。

【資料 5 近隣大学の教育学分野の大学の募集状況】

⑤本学の既設学部の募集状況

（教育学部教育学科）

本学では、同系統の学部学科として、生涯福祉学部こども福祉学科、同一法人の短期大学部において、保育科第一部・保育科第三部を有する。これら学部学科の過去 5 年間の募集状況を見ると、生涯福祉学部こども福祉学科の入学定員充足率では、平成 29 (2017) 年度＝1.16、平成 30 (2018) 年度＝0.70、令和元 (2019) 年度＝1.02、令和 2 (2020) 年度＝0.82、令和 3 (2021) 年度＝1.14 となっている。過去 5 年間の入学定員充足率で見ると 0.96 となり、年度により差異はあるものの、安定的な入学状況といえる。

次に、短期大学保育科第一部の入学定員充足率は、平成 29 (2017) 年度=0.96、平成 30 (2018) 年度=1.02、令和元 (2019) 年度=0.79、令和 2 (2020) 年度=0.80、令和 3 (2021) 年度=0.66 であり、過去 5 年間の平均入学定員充足率は 0.84 となっている。保育科第三部は、平成 29 (2017) 年度=1.00、平成 30 (2018) 年度=1.12、令和元 (2019) 年度=1.07、令和 2 (2020) 年度=1.11、令和 3 (2021) 年度=0.87 であり、過去 5 年間の平均入学定員充足率は 1.03 となっている【資料 6】。日本私立学校振興・共済事業団発行の「令和 3 (2021) 年度私立大学・短期大学等入学志願動向」によると、教育系の入学定員充足率は、令和 2 (2020) 年度は 81.44%、令和 3 (2021) 年度は 78.99%となっており、全国的な傾向として、短期大学においては志願者が減少傾向にあるものの、教育系は他分野に比べても減少幅が大きい。本学では、このような状況を鑑み保育科第一部については、令和 5 (2023) 年度より入学定員を 100 人から 80 人に定員減を行うこととしている。

新しく設置する教育学部教育学科においては、これまでの幼児教育・保育の専門職養成に加え、初等教育及び特別支援教育の教員養成を行うこととしている。複数の学校種について横断的に理解し、子どもの成長を見守ることのできる人材を養成する。

【資料 6 既設学部の募集状況等（生涯福祉学部こども福祉学科、短期大学保育科第一部・保育科第三部）】

（生涯福祉学部社会福祉学科）

生涯福祉学部は平成 20 (2008) 年に人間の福利を広く「人間一人ひとりの能力開発を支援すること」と捉え、少子高齢社会に対応しながら、人々とその環境に働きかけることにより、家族や地域の福祉力を高めるソーシャルワーカーを養成することを目的として設置された。開設当初は入学定員未充足の状況が続いたことから、平成 24 (2012) 年に入学定員減（入学定員 60 人⇒30 人）を行ったが、少人数教育による一人ひとりに寄り添う丁寧な指導や、国家試験合格率の高さなどから、地域からの志願者が増加し、令和 2 (2020) 年度に入学定員を 40 人に増加（10 人増）しており、入学定員充足率は、平成 29 (2017) 年度=0.83、平成 30 (2018) 年度=0.70、令和元 (2019) 年度=1.33、令和 2 (2020) 年度=1.07、令和 3 (2021) 年度=0.90 であり、過去 5 年間の平均入学定員充足率は 0.98 と年度により差はあるものの、近年はおおよそ入学定員を充足している。

【資料 7 既設学部の募集状況等（生涯福祉学部社会福祉学科）】

⑥第三者機関によるニーズ調査及びその結果からの見通し

本学部の学生募集におけるニーズを客観的に捉えるため、第三者機関に依頼しアンケート調査を実施した。

(教育学部教育学科)

通学が可能である近隣の高等学校及び入学実績のある高校の計 356 校に調査を依頼し、67 校 (9,944 人) から回答を得た (実施率 18.8%)。調査結果は以下の通りとなった。

このアンケート調査において、本学部への入学対象者となる高校 2 年生 418 人 (全回答者の 4.2%) より「受験したい」という結果が得られ、その 418 人の回答者に対して入学を希望するかを質問したところ、入学定員 100 人を超える 198 人から「入学したい」という結果が得られた。また「併願校の可否によっては入学を検討する」との回答結果が 210 人より得られた (以下の問 5、問 6 を参照)。さらに、上記 418 人に対して、興味・関心のある資格・免許 (複数回答可) を聞いたところ、幼稚園教諭一種免許状 210 人、小学校教諭一種免許状 236 人、特別支援学校教諭一種免許状 (知・肢・病) 86 人、保育士資格 208 人、兵庫大学先進保育士 (本学独自資格) 50 人との回答があり、教育学部教育学科で取得可能な資格・免許に興味・関心があるといえる。

本調査の結果、教育学部教育学科は入学定員を上回る入学意向を得ていることが示されており、十分な志願者、入学者の確保と定員充足の見込みを示す結果を得た【資料 8】。

調査目的	本調査は、兵庫大学が令和 5 (2023) 年 4 月設置に向けて構想中の「教育学部 教育学科 (仮称)」の入学生確保の見通しを、大学外の公正な第三者機関によりアンケートを用いて測ることを目的とする。
調査時期	令和 3 (2021) 年 10 月～12 月
調査対象	令和 5 (2023) 年度の大学入試を受験する可能性が最も高い、令和 3 (2021) 年度の高校 2 年生をアンケートの対象とした。
調査方法	兵庫大学の「教育学部教育学科 (仮称)」への通学が可能である近隣の高等学校及び入学実績のある高校の計 356 校に実施を依頼。実施の承認が得られた各校にアンケートを送付。各校の教員が調査対象である高校 2 年生にアンケート用紙を配布の上、回答後にその場で回収した。
実施高校	兵庫県・大阪府・京都府・岡山県・香川県・鳥取県・島根県・徳島県の高等学校 8 校
実施人数	9,944 人
調査実施	株式会社高等教育総合研究所

<入学意向アンケート調査結果 (主要な設問のみ抜粋) >

(教育学部 教育学科への受験意思)

問 5 あなたは兵庫大学が設置構想中の「教育学部 教育学科 (仮称)」を受験したいと

思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目	回答数	構成比
受験したい	418	4.2%
現時点では受験しない	9,162	92.1%
(無回答)	364	3.7%
合計	9,944	100.0%

※各構成比＝回答数÷9,944（全回答者数）

(教育学部 教育学科への入学意思)

問6 あなたは兵庫大学が設置構想中の「教育学部 教育学科（仮称）」に受験して合格した場合、入学したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目	回答数	構成比
合格した場合、入学したい	198	47.4%
合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい	210	50.2%
(無回答)	10	2.4%
合計	418	100.0%

※各構成比＝回答数÷418（問5「受験したい」選択者数）

(教育学部 教育学科の資格・免許への興味・関心)

問7 兵庫大学が設置構想中の「教育学部 教育学科（仮称）」で、現時点であなたが興味・関心のある資格・免許をお答えください。(あてはまるものすべてにマーク)

選択項目	回答数	構成比
幼稚園教諭一種免許状	210	50.2%
小学校教諭一種免許状	236	56.5%
特別支援学校教諭一種免許状（知・肢・病）	86	20.6%
保育士資格	208	49.8%
兵庫大学特別支援保育士（本学独自資格）	50	12.0%

※複数回答可のため、構成比の合計は100.0%以上となる。

※選択項目「兵庫大学特別支援保育士」は「兵庫大学先進保育士」に名称を変更

【資料8 兵庫大学「教育学部教育学科（仮称）」

設置構想についての高校生アンケート調査報告書】

(教育学部教育学科（3年次編入学）)

幼児教育・保育または初等教育の現場で勤務される方、教育・保育学関係の短期大学または教育・保育系専門学校を卒業された方、その他社会人等を対象として調査を実施し、

5,122人から回答を得た。調査結果は以下の通りとなった。

このアンケート調査において、本学部への編入学に対し308人（全回答者の6.0%）より「受験したい」という結果が得られ、その308人の回答者に対して編入学を希望するかを質問したところ、入学定員5人を超える164人から「入学したい」という結果が得られた。

本調査の結果、教育学部教育学科は3年次編入学定員を上回る入学意向を得ていることが示されており、十分な志願者、入学者の確保と定員充足の見込みを示す結果を得た【資料9】。

調査目的	本調査は、兵庫大学が令和5（2023）年4月設置に向けて構想中の「教育学部 教育学科（仮称）」の編入学生の学生確保の見通しを、大学外の公正な第三者機関によりアンケートを用いて測ることを目的とする。
調査時期	令和3（2021）年11月
調査対象	幼児教育・保育または初等教育の現場で勤務される方、教育・保育学関係の短期大学または教育・保育系専門学校を卒業された方、その他社会人等をアンケートの対象とした。
調査方法	近畿圏に在住の上記対象者に対して Web にてアンケートを実施。兵庫大学「教育学部 教育学科（仮称）」の概要を確認したうえで、アンケートへの回答をお願いした。
実施人数	5,122人
調査実施	株式会社高等教育総合研究所

<入学意向アンケート調査結果（主要な設問のみ抜粋）>

（教育学部 教育学科（3年次編入学）への受験意思）

問6 兵庫大学が設置構想中の「教育学部 教育学科（仮称）」では、2025年4月より3年次編入の受け入れを予定しています。あなたは「教育学部 教育学科（仮称）」への編入学を希望し、受験したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目	回答数	構成比
受験したい	308	6.0%
現時点で受験しない	4,814	94.0%
合計	5,122	100.0%

※各構成比＝回答数÷5,122（全回答者数）

(教育学部 教育学科への編入学意思)

問7 兵庫大学の「教育学部 教育学科 (仮称)」の3年次編入学試験に合格した場合、入学しますか。(あてはまるもの1つ)

選択項目	回答数	構成比
合格した場合、入学する	164	53.2%
合格した場合、状況によって入学する	143	46.4%
(無回答)	1	0.3%
合計	308	100.0%

※各構成比=回答数÷308 (問6「受験したい」選択者数)

【資料9 兵庫大学「教育学部教育学科 (仮称)」編入学についてのアンケート調査報告書】

(生涯福祉学部社会福祉学科 (3年次編入学))

近畿圏及び本学と関係のある福祉系(介護福祉、児童福祉を主とする)の短期大学または専門学校に在学中の方を対象として調査を依頼し、691人から回答を得た。調査結果は以下の通りとなった。

このアンケート調査において、本学部への編入学対象者となる74人(全回答者の10.7%)より「受験したい」という結果が得られ、その74人の回答者に対して入学を希望するかを質問したところ、入学定員5人を超える27人から「合格した場合、入学する」という結果が得られた。

本調査の結果、本学部は設定した編入学定員を上回る入学意向を得ていることが示されており、十分な志願者、入学者の確保と定員充足の見込みを示す結果を得た【資料10】。

調査目的	本調査は、兵庫大学が令和5(2023)年4月に収容定員増を構想中の生涯福祉学部「社会福祉学科」の編入学生の学生確保の見通しを、大学外の公正な第三者機関によりアンケートを用いて測ることを目的とする。
調査時期	令和3(2021)年11月～12月
調査対象	福祉系(介護福祉、児童福祉を主とする)の短期大学または専門学校に在学中の方をアンケートの対象とした。
調査方法	近畿圏及び本学と関係のある上記対象に対して郵送にてアンケートを実施。兵庫大学の生涯福祉学部「社会福祉学科」の概要を確認したうえで、アンケートへの回答をお願いした。
有効回答件数	691人
調査実施	株式会社高等教育総合研究所

<入学意向アンケート調査結果（主要な設問のみ抜粋）>

（生涯福祉学部 社会福祉学科（3年次編入学）への受験意思）

問5 兵庫大学が定員増構想中の生涯福祉学部「社会福祉学科」では、2023年4月より3年次編入の受け入れを予定しています。あなたは生涯福祉学部「社会福祉学科」への編入学を希望し、受験したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目	回答数	構成比
受験したい	74	10.7%
現時点で受験しない	608	88.0%
（無回答）	9	1.3%
合計	691	100.0%

※各構成比＝回答数÷691（全回答者数）

（生涯福祉学部 社会福祉学科（3年次編入学）への入学意思）

問6 兵庫大学の生涯福祉学部「社会福祉学科」の3年次編入学試験に合格した場合、入学しますか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目	回答数	構成比
合格した場合、入学する	27	36.5%
合格した場合、状況によって入学する	46	62.2%
（無回答）	1	1.4%
合計	74	100.0%

※各構成比＝回答数÷74（問5「受験したい」選択者数）

【資料10 兵庫大学 生涯福祉学部「社会福祉学科」編入学についてのアンケート調査報告書】

（2） 学生確保に向けた具体的な取組状況

本学においては、安定的な学生確保に向け、学生募集の専門部署として入学部入学課を設置し、さらに、大学全体の広報を学長室で行っており、両部署を中心に様々な広報活動を展開している。また、学生募集戦略、入試制度検討を行うため、各学科教員と入学課で審議するための「学生募集・入試制度検討委員会」を設置している。本委員会は入学部長を委員長に置き、入学部事務部長、入学課長、各研究科・学科教員（研究科・学科より各1人）により構成され、本学のアドミッション・ポリシーに基づく学生募集を展開するため、学生募集全般及び入試制度全般に関する事項を審議している。委員会では、学生募集に係る総括を行いながら、この総括や社会情勢を踏まえ、毎年度学生募集戦略を策定し、

それに基づく多様な戦略を展開、必要に応じて戦略の改善を図っている。

本学における学生確保に向けた主な取組としては、高校訪問、オープンキャンパス、模擬授業、高等学校からの来訪見学会、入試説明会や進学相談会等が挙げられる。また、大学案内や学部紹介パンフレット、受験情報ウェブサイト、公式サイト、動画公開、SNS発信等を行い、教育学部設置に向けた広報活動も計画している。

①高校訪問

本学における高校訪問は、入学部入学課の職員を中心としながら、他部署の事務職員も共に行っている。高校訪問は、本学が募集強化を行っている兵庫県、近畿地区（兵庫県を除く）、中四国地区を訪問し、高校の先生方と対話する機会を増やしている。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、活動が制限されているが、訪問した際には、各高等学校の進路担当教諭に対して、地域に根差した教育活動などの本学の教育に関する取り組みや今後の計画、前年度入試結果の報告、入試概要等の説明や、各高等学校を卒業し本学に入学した学生の近況等の報告を行っている。併せて、各高等学校の志願・受験動向等を含めた情報収集を行い、広報活動、募集活動に繋げている。

②オープンキャンパス

オープンキャンパスは年10回（3月から9月、12月）開催している。全体プログラムでは、入試概要や就職支援体制、奨学金制度等の説明や学生スタッフによるキャンパス見学を行う。学科別プログラムでは学科の特色等の紹介、模擬授業、学生スタッフ及び教員による進学相談などを実施する。本学では、学生スタッフと高校生が触れ合う機会を増やすプログラムを企画しており、等身大の大学生の姿を見せることで、本学への興味・関心を高める取り組みを行っている。このほか、保護者及び高校教諭を対象とした講演会も実施しており、キャリア支援としての教職支援や国家試験対策などの具体的な取り組みについても紹介する。

加えて、令和2（2020）年度より、「あなただけのオープンキャンパス」として、毎日平日は16時から19時、土曜日は10時から15時に、個別での対応を行っている。全体の雰囲気もさることながら、本学の教育活動や施設、これからの各学科の取り組み等、参加者個々の質問に丁寧に応える機会を設けている。この「あなただけのオープンキャンパス」は希望する学科に在籍する学生スタッフも参加し、学生の話をも直接聞ける機会を設定している。また、本学への来学が困難な高校生等へは、オンライン個別相談をおこなっており、参加者の希望に沿ったプログラムを実施している。

③出張講義（アカデミック・レクチャー）

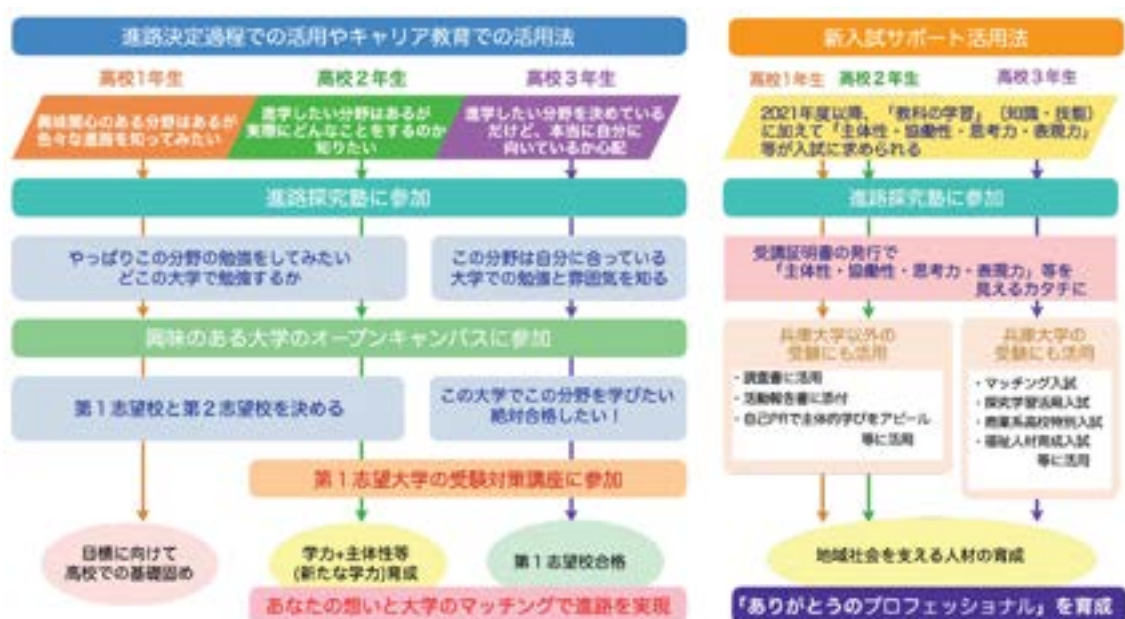
高校からの依頼に基づき、本学の教員を各高校へ派遣し、大学の授業の一部を実施する出張講義を、本学では、「アカデミック・レクチャー」とし、高校へ告知を行っている。本学

の学部学科の学問分野を生かした講座として、教養分野、科学・IT分野、国際・政治分野、ビジネス分野、食物・栄養分野、運動・スポーツ分野、医療・福祉分野、保育・教育分野を展開している。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、対面での授業に制限がかかったこと等から令和2(2020)年度及び令和3(2021)年度については、依頼実績は少なかったが、平成28(2016)年度21件、平成29(2017)年度29件、平成30(2018)年度13件、令和元(2019)年度6件、令和2(2020)年度2件、令和3(2021)年度10件となっている。今後は、これまで本学で培ってきた高等教育機関での学習及び「アカデミック・レクチャー」で展開してきた探究学習支援のリソースを組み合わせ、学びのパッケージ化を行い、これらを提供することで、高大接続連携教育の強化を図っていく。高大接続教育改革の中で、学力の3要素(知識・技能、思考力・表現力・判断力、主体性)がより重視されているが、高校と大学が共に教育を展開し、これらの能力を身につけることができるよう、これまで培ってきた高校との連携をさらに進化させるための教育プログラムを検討している。このことにより、高校及び高校生への本学の教育内容への理解を促進することで、引き続き本学で学びたい学生を創出していく。

④進路探究塾

興味のある分野の学びを理解し、進路決定等に活用できる機会を提供するため、本学では進路探究塾を開催している。自身の進路選択に悩む高校生に対し、興味・関心のある分野について、自身に合っているのか、どのような教育研究活動を行うのか、どのような力が身につく、どのようなキャリアが見込めるか等を紹介するプログラムとして実施している。高校1年生は、興味・関心のある分野に進学するために必要な高校での学びに対する意欲の向上が見込まれ、高校2年生、3年生においては、自身の興味・関心を確認し、更なる学習意欲の向上が見込まれる。進路探究塾では、希望者には本学の紹介や入試対策、進路相談等を行っている。

〔図2〕進路探究塾の活用方法



⑤公式ウェブサイト

受験生向けの特設サイトとして「受験生応援サイト」を運用し、受験生が必要とする情報をリアルタイムで提供することとしている。オープンキャンパス情報や、入試情報の他、大学の最新ニュースやイベント情報等の告知を行っている。また、合格者向けサイトを作成し、入学前教育（フォローアッププログラム）の紹介、クラブ・サークル活動の紹介や学生生活の風景を紹介している。

加えて公式 LINE や公式 Instagram の SNS を活用し、本学の様子について更新を行っている。これらの取り組みは、受験生に対する情報発信だけでなく、入学予定者に入学後の生活をイメージできる工夫を行うことで、歩留まり対策にもなっている。

2 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

(教育学部 教育学科)

教育学部教育学科は、既設学部である生涯福祉学部こども福祉学科でこれまで実践・展開してきた就学前教育（幼稚園教諭養成）及び特別支援教育を基盤に、さらにその教育領域を拡張・充実させるため、学校教育（小学校教諭養成・特別支援学校教諭養成）における高い実践力を有する人材育成を行う。教員としての使命感や情熱を持ち、発達や学びの連続性を踏まえた就学前教育及び学校教育に関する高度な専門知識と優れた技能・実践力を有し、子どもの個性と環境の多様性に対応しながら、共生社会の一員として地域社会に貢献できる

人材の育成を目指す。その具体的な養成する人材は以下のとおりである。

- ・教育者・保育者としての使命感と情熱、道徳性を身につけるとともに、学校や地域の課題を発見し、解決する力を身につけ、他の教育者・保育者や保護者、地域社会と適切な関係性を構築し、協働して地域社会に貢献することができる人材
- ・多様性に対応する能力や子ども理解（特別支援教育を含む）に基づき、教育を取り巻く状況をよりよくするための幅広い教養を基盤として、物事を深く思考する力や洞察力を有する人材
- ・教育活動全体の基盤となる基礎的素養及び教職に関する専門的知識・技能を向上させ、これらに基づいて的確な教科等の指導や保育を反省的に実践することができる人材

このような人材を養成するため、教育学部教育学科では、次代を生きる子どもを育てる教育者・保育者の視点から、①GIGA スクール構想に対応した ICT 教育の推進、②個別の教育的ニーズに対応した教育の推進、③地域との連携を重視した教育の推進の3つを教育方法の特色としている。

（生涯福祉学部 社会福祉学科）

生涯福祉学部は、基本的人権および社会正義の尊重を基礎とした社会福祉の理念と、ソーシャルワークの力量によって、人の生涯にわたる発達および自らによる地域福祉の現実に貢献する社会福祉専門職の人材を養成することを目的とする。

社会福祉学科は、人間の福利を広く「人間一人ひとりの能力開発を支援すること」と捉え、国際的視野に立つとともに小都市及び町村に焦点を当て、人々とその環境に働きかけることにより、家族や地域の福祉力を高めるソーシャルワーカーを養成する。社会福祉の価値について理解することを土台として、社会福祉の知識や技術を科学的方法論と職業的倫理観をもって実践に用いることのできる専門的能力を涵養することを目的とする。

上記目的を達成するため、生涯福祉学部社会福祉学科では、人への深い思いやりと、その人の気持ちに寄り添える「対人関係力」、幅広い学際的な知識を活用し、物事を見極める「課題分析力」、人々や社会に働きかけ、望ましい方向へと共に行動できる「課題解決力」を備えたソーシャルワーカーを育成することを目標に、社会福祉士、精神保健福祉士の国家試験受験資格、高等学校教諭一種免許状（福祉）、福祉レクリエーションワーカー等を取得できる教育課程を編成し、座学だけでなく、ボランティア体験、演習や実習を通じて、段階的に実践力を養成する。

（2） 上記（1）が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

①社会的及び地域的な人材需要の動向等

（教育学部 教育学科）

本学部は、既設学部である生涯福祉学部こども福祉学科でこれまで実践・展開してきた就学前教育（幼稚園教諭養成）及び特別支援教育を基盤に、さらにその教育領域を拡張・充実させるため、学校教育（小学校教諭養成・特別支援学校教諭養成）における高い実践力を有する人材育成を行う。教員としての使命感や情熱を持ち、発達や学びの連続性を踏まえた就学前教育及び学校教育に関する高度な専門知識と優れた技能・実践力を有し、子どもの個性と環境の多様性に対応しながら、共生社会の一員として地域社会に貢献できる人材の育成を目指す。

急速に変化する時代の中で、人格形成や国家・社会の形成を担う人材の育成に、教育が果たす役割は大きく、子どもたちが心身ともに健やかに育つ環境を整備することができる実践力の高い教員、活気のある学校づくりを担うことができる教員の養成が求められている。

人材需要の動向として、幼児教育・保育の全国的な動向を見ると、「保育士の有効求人倍率の推移（全国）」によると、直近の令和3年10月の保育士の有効求人倍率は2.66倍（対前年同月比で0.08ポイント上昇）となっており、全職種平均の1.16倍（対前年同月比で0.1ポイント上昇）と比べると、依然高い水準で推移している【資料11】。兵庫県に限定すると過去5年間の保育士の有効求人倍率では、1.94～2.68倍で推移しており、依然、保育人材の確保が求められている。

〔表5〕 兵庫県の有効求人倍率等の状況

	新規求職 申込件数	有効 求職者数	新規 求人数	有効 求人数	有効 求人倍率
平成29年11月	192	835	690	1,904	2.28
平成30年11月	187	881	888	2,358	2.68
令和元年5月	155	755	414	1,464	1.94
令和2年10月	199	916	695	2,022	2.21
令和3年10月	168	908	784	2,057	2.27

※出典：厚生労働省ホームページより

教育学部教育学科で養成する人材として、兵庫県公立学校教員採用試験（小学校・特別支援学校）の過去6年間の実施結果を見ると、平成29（2017）年度は受験者数2,238人、倍率4.7倍であったが、徐々に減少を続け、令和4（2022）年度では受験者数は1,636人、倍率は4.0倍となっている。兵庫県においては、過去6年間で受験者数は約70%まで減少し、これに伴い倍率も下降傾向にある【資料12】。

また、大阪府公立学校教員採用選考テスト（小学校・特別支援学校）の過去10年間の実施結果では、平成25（2013）年度は志願者数3,346人、最終倍率3.0倍であったが、受験者数が減少し、令和4（2022）年度では志願者数は1,760人、最終倍率は3.3倍となっている。大阪府においては、最終倍率は過去10年間で3.0倍から4.2倍の間を推移しているが、志願者数は約半数に減少している【資料13】。このことから、両府県ともに受

験者は減少を続けており、優秀な人材確保のために受験者数の確保は課題といえる。

【資料 11 保育士の有効求人倍率の推移（全国）】

【資料 12 兵庫県公立学校教員採用候補者選考試験結果】

【資料 13 大阪公立学校教員採用選考テスト結果】

（生涯福祉学部 社会福祉学科）

生涯福祉学部生涯福祉学科においては、社会福祉士、精神保健福祉士の国家試験受験資格を取得することができる課程となっている。3年次編入学においては、このうち、社会福祉士国家試験受験資格の取得が可能となっている。

人材需要の現状として、一般職業紹介状況によると、過去3年間ににおける全体での有効求人倍率は、平成30（2018）年度は1.54倍、令和元（2019）年度は1.62倍、令和2（2020）年度は1.55倍に対し、社会福祉の専門的職業での有効求人倍率は、平成30（2018）年度は2.99倍、令和元（2019）年度は3.18倍、令和2（2020）年度は2.88倍となっており、社会福祉の専門的職業は、多職種に比べ求人倍率が高い【資料14】。

社会福祉士の活躍の場は高齢者支援、障害児・者支援、子ども・子育て支援、生活困窮者支援など、その対象は多岐に亘っている。少子高齢化が進展する中で、社会保障分野だけでなく、教育分野や司法分野などにおいても対応が必要な課題が顕在化しつつあり、加えて、ニーズの多様化・複雑化に伴い、近年、様々な分野でソーシャルワークの機能を発揮することが求められている。

平成28年6月に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」では、全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現に向け、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを形成し、福祉などの地域の公的サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる仕組みの構築が掲げられた。社会福祉士には、ソーシャルワークの専門職として他の専門職や地域住民との協働、機関等との連携といった役割を担うことが期待されている。

加えて、社会保障審議会福祉部会 福祉人材確保専門委員会の報告書「ソーシャルワーク専門職である社会福祉士に求められる役割等について」（平成30年3月27日）では、社会福祉士には、ソーシャルワークの機能を発揮し、制度横断的な課題への対応や必要な社会資源の開発、地域住民の活動支援や関係者との連絡調整などの役割を担うことが期待されており、対象者にとっての幸せに寄り添うだけでなく、より良い社会の構築を目指し、人や機関を繋ぐ役割を担うことが求められている【資料15】。

【資料 14 社会福祉の専門的職業の有効求人倍率】

【資料 15 ソーシャルワーク専門職である社会福祉士に求められる役割等について（平成30年3月27日 社会保障審議会福祉部会 福祉人材確保専門委員会）（抜粋）】

②第三者機関によるニーズ調査及びその結果からの見通し

(教育学部 教育学科)

教育学部教育学科の人材需要の見通しを測定するため、令和3(2021)年10月～令和3(2021)年12月に本学の卒業生の採用が期待できる、これまでの兵庫大学の採用実績のある企業・機関・団体を含む1,205件を対象に「教育学部 教育学科」の採用意向アンケート調査を実施した。調査対象事業所の採用担当者に対し、本学が構想中の教育学部教育学科の概要とアンケート用紙を送付し、調査を実施した(無記名アンケート調査)。上記の1,205件の採用担当者宛にアンケートを依頼し、317件から回答を得た(回収率26.3%)。調査結果は以下の通りとなった【資料16】。

本調査において、本学部の卒業生の採用意向を質問したところ、卒業生を「採用したい」との回答が218件(回答者全体の68.8%)得られた。それら「採用したい」と回答した218件の採用予定人数と各回答数をそれぞれ計算(1人採用予定×75件+2人採用予定×78件・・・)すると「採用予定人数」の合計が、460人となった。コロナ禍の影響にあり採用意欲が減少している中においても、本学部の入学定員100人を十分に上回る採用需要があることが、本調査にて示された。本調査結果により、本学部の卒業予定者の人材需要が十分に大きく、また、卒業予定者に対する採用意向も確実に存在することが示された。

<採用意向アンケート調査の結果(主要な設問のみ抜粋)>

問6 兵庫大学「教育学部 教育学科(仮称)」で学び、卒業した人材を採用したいと思えますか。(あてはまるもの1つにマークをしてください)

選択項目	回答数	構成比
採用したい	218	68.8%
採用しない	5	1.6%
わからない	89	28.1%
無回答	5	1.6%
合計	317	100.0%

問7 問6で「採用したい」を回答いただいた方は、現時点で採用可能と思われる人数をお答えください。(あてはまるもの一つにマークをしてください)

回答人数	回答数	採用予定人数	構成比
1名	75	75	34.4%
2名	78	156	35.8%
3名	35	105	16.1%
4名	8	32	3.7%
5名	10	50	4.6%

6名	2	12	0.9%
7名	0	0	0.0%
8名	0	0	0.0%
9名	0	0	0.0%
10名以上	3	30	1.4%
無回答	7	0	3.2%
合計	218	460	100.0%

※問6で「採用したい」を選択した218件の回答者のみ選択可。

※回答のあった数値のみ記載

問9 教育学部 教育学科（仮称）に対して、期待される点やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

- ・実践的スキルの他に、教育者として子どもたちの未来を明るく切り拓くような志の醸成された人たちを期待しています。
- ・心の温かい人間性豊かな人材を育成してほしい。
- ・意欲や向上心を持って仕事にのぞむ基礎的な力は元からつけて就職して頂ければと思う。また、基本的なマナーも身につけてほしい。
- ・人とのかかわり方、コミュニケーション力が求められるので、実習を積み重ねていい人材を送って頂きたい。
- ・コミュニケーション能力のある人材。意欲的に社会人としての基礎を身につけられる人材。
- ・状況に応じて自分自身で考え、行動できる人材の育成に期待する。
- ・保育現場ではパソコンを使いこなせる人材が少ないのでスペシャリストになっていれば非常にありがたい。
- ・貴学の特別支援保育士に期待する。
- ・社会人としての一定のマナー、ICT化に向けての技術、コミュニケーション力。
- ・日頃から、研究者、教授、学生と交流できるような仕組み、仕掛けがあれば、ぜひ協力したい。
- ・専門的な学びを深められる学びの場として、及びその学部学科を卒業し現場に入ってくる学生にとっても期待している。

※自由記述一部抜粋。本学の養成する人材に関連する能力等に下線を追加した。

上記の調査結果により、本学部の卒業予定者が社会に必要と捉えられていることが読み取れ、また、本学部の卒業予定者の採用意向も確実に存在することが示されている。

【資料16 兵庫大学「教育学部 教育学科」設置構想についての人材需要アンケート調査報告書】

(生涯福祉学部 社会福祉学科)

生涯福祉学部社会福祉学科の人材需要の見通しを測定するため、令和3(2021)年11月～令和3(2021)年12月に本学の卒業生の採用が期待できる、これまでの兵庫大学の採用実績のある企業・機関・団体等を含む500件を対象に「生涯福祉学部 社会福祉学科」の採用意向アンケート調査を実施した。調査対象事業所の採用担当者に対し、本学が構想中の生涯福祉学部社会福祉学科の概要とアンケート用紙を送付し、調査を実施した(無記名アンケート調査)。上記の500件の採用担当者宛にアンケートを依頼し、151件から回答を得た(回収率30.2%)。調査結果は以下の通りとなった【資料17】。

本調査において、本学部の卒業生の採用意向を質問したところ、卒業生を「採用したい」との回答が115件(回答者全体の76.2%)得られた。それら「採用したい」と回答した115件の採用予定人数と各回答数をそれぞれ計算(1人採用予定×25件+2人採用予定×38件・・・)すると「採用予定人数」の合計が、311人となった。本学部の入学定員40人及び3年次編入学5人を十分に上回る採用需要があることが、本調査にて示された。本調査結果により、本学部の卒業予定者の人材需要が十分に大きく、また、卒業予定者に対する採用意向も確実に存在することが示された。

<採用意向アンケート調査の結果(主要な設問のみ抜粋)>

問6 生涯福祉学部「社会福祉学科」で学び、養成される人材を採用したいと思われませんか。(あてはまるもの1つにマークをしてください)

選択項目	回答数	構成比
採用したい	115	76.2%
採用したくない	1	0.7%
分からない	33	21.9%
無回答	2	1.3%
合計	151	100.0%

問7 問6で「採用したい」と回答いただいた方は、現時点で採用可能と思われる人数をお答えください。(あてはまるもの一つにマークをしてください)

回答人数	回答数	採用予定人数	構成比
1名	25	25	21.7%
2名	38	76	33.0%
3名	31	93	27.0%
4名	6	24	5.2%
5名	9	45	7.8%
8名	1	8	0.9%

10名以上	4	40	3.5%
無回答	1	0	0.9%
合計	115	311	100.0%

※問6で「採用したい」を選択した115件の回答者のみ選択可。

※回答のあった数値のみ記載

問8 生涯福祉学部「社会福祉学科」に対して、期待される点やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

- ・「その方の幸せ」等を実現し、支える視点を大事にする人材。
 - ・ケーススタディで議論を行うなど、より良い方法を探して考えていける方がほしい。
 - ・高齢分野で活躍することを期待する。
 - ・自身で作っていく、という気持ちを持ち何事にもチャレンジしてくださる学生を期待する。
 - ・積極的な姿勢と人とのコミュニケーション能力を育成してほしい。
 - ・地域福祉に情熱のある社会福祉士を輩出してほしい。
 - ・若い世代に福祉サービスの魅力を伝えられるようなカリキュラムを構築してほしい。
- ※自由記述一部抜粋。本学の養成する人材に関連する能力等に下線を追加。

上記の調査結果により、本学部の卒業予定者が社会に必要と捉えられていることが読み取れ、また、本学部の卒業予定者の採用意向も確実に存在することが示されている。

【資料17 兵庫大学「生涯福祉学部 社会福祉学科」の定員増構想についての人材需要アンケート調査報告書】

③本学の就職実績

(教育学部 教育学科)

本学では、基礎となる学部である生涯福祉学部こども福祉学科及び同一法人の短期大学保育科第一部・第三部において、幼児教育・保育の専門職を養成している。企業を除く過去5年間の幼稚園・保育所・認定こども園・施設からの本学への求人件数等の推移を見ると、平成28(2016)年度=1,713件、平成29(2017)年度=1,761件、平成30(2018)年度=1,744件、令和元(2019)年度=1,499件、令和2(2020)年度=1,492件と若干の増減はあるものの、約1,500件から1,700件で推移しており、安定して幼児教育・保育の専門職への求人がある。本学への求人件数の推移から、本学部を設置した場合でも、十分な求人件数があるといえる【資料18】。

また、就職実績では、生涯福祉学部こども福祉学科では、1期生から5年連続で就職率100%、短期大学部保育科第一部・第三部においても、過去10年間において連続して就職率は100%である。専門職等就職状況では、こども福祉学科では幼稚園・保育所・施設

への就職は1期生が卒業した平成29(2017)年度より85%前後の実績を有しており、保育科第一部・第三部においても、過去5年間で86.3%から93.9%の間で推移しており、本学では、これまでの実績から社会的要請に対応した幼児教育・保育の専門職を輩出していると言える【資料19】。

以上のことから、これまでの本学への企業からの求人件数の実績は、定員を大幅に超える求人件数となっており、教育学部教育学科を設置した後も、安定的かつ継続的に就職先を確保することができる。

【資料18 生涯福祉学部こども福祉学科及び短期大学保育科の就職状況等】

【資料19 生涯福祉学部こども福祉学科及び短期大学保育科の専門職等就職状況】

(生涯福祉学部 社会福祉学科)

本学では、福祉系(病院、施設、社会福祉協議会等)に係る安定的な求人件数を確保している。過去5年間の福祉系人材への求人件数を見ると、平成28(2016)年度=650件、平成29(2017)年度=699件、平成30(2018)年度=529件、令和元(2019)年度=363件、令和2(2020)年度=453件となっている。本学の入学定員40人に対し、最も求人件数の少ない令和元(2019)年度の363件を比べた場合でも、有効求人倍率は9.0倍となり、3年次編入学で5人増となった場合でも十分な求人件数があるといえる。

また、就職実績では、平成28(2016)年度が91.7%、平成29(2017)年度以降の就職率は100.0%となっており、就職を希望する者は全員が就職している。また業種別での就職状況では、本学科での学びを活かし、医療・福祉分野や卸売業、情報通信業、教育・学習支援業等へ就職していることから幅広い職種において、福祉人材は求められており、本学部の実績から、本学では社会的要請に対応した社会福祉人材を輩出していると言える【資料20】。

以上のことから、これまでの本学への企業からの求人件数の実績は、定員を大幅に超える求人件数となっており、生涯福祉学部社会福祉学科に3年次編入学を増員した後も、安定的かつ継続的に就職先を確保することができる。

【資料20 生涯福祉学部社会福祉学科の就職状況等】

以上

学生の確保の見通し等を記載した書類（資料）

資料目次

資料1	18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向（リクルート進学総研 マーケットレポート）（抜粋）	2
資料2	教育学系大学（私立）の設置数・志願者数・入学者数・入学定員充足率	9
資料3	社会科学系（社会福祉・人間福祉）大学（私立）の設置数・志願者数・入学者数・入学定員充足率	10
資料4	本学の主な募集地域の18歳人口予測値	11
資料5	近隣大学の教育学分野の大学の募集状況	12
資料6	既設学部（生涯福祉学部）の募集状況等（生涯福祉学部子ども福祉学科、短期大学保育科第一部・保育科第三部）	13
資料7	既設学部（生涯福祉学部社会福祉学科）の募集状況等	14
資料8	兵庫大学「教育学部教育学科（仮称）」設置構想についての高校生アンケート調査報告書	15
資料9	兵庫大学「教育学部教育学科（仮称）」編入学についてのアンケート調査報告書	29
資料10	兵庫大学 生涯福祉学部「社会福祉学科」編入学についてのアンケート調査報告書	43
資料11	保育士の有効求人倍率の推移（全国）	56
資料12	兵庫県公立学校教員採用候補者選考試験結果	58
資料13	大阪公立学校教員採用選考テスト結果	59
資料14	社会福祉の専門的職業の有効求人倍率	60
資料15	ソーシャルワーク専門職である社会福祉士に求められる役割等について（平成30年3月27日 社会保障審議会福祉部会 福祉人材確保専門委員会）（抜粋）	61
資料16	兵庫大学「教育学部 教育学科」設置構想についての人材需要アンケート調査報告書	69
資料17	兵庫大学生涯福祉学部「社会福祉学科」の定員増構想についての人材需要アンケート調査報告書	85
資料18	生涯福祉学部子ども福祉学科及び短期大学保育科の就職状況等	101
資料19	生涯福祉学部子ども福祉学科及び短期大学保育科の専門職等就職状況	102
資料20	生涯福祉学部社会福祉学科の就職状況等	103

18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向

【将来予測 2011～2032年】

▶18歳人口予測 P3～P8

- ・2020年116.7万人→2032年102.4万人（14.3万人減少）
- ・東北の減少率が高く、6県中5県で減少率20%以上
- ・2020年減少率が高いのは東北（78.3%）、減少数が大きいのは近畿（29,398人減）

【経過推移 2011年～2020年】

▶進学率(現役・過年度含)の推移 P9～P15

大学進学率(現役)

- ・2011年47.7%→2020年51.1%（3.4ポイント上昇）
- ・上昇率が高いのは、1位 北海道（124.0）、2位 東北（110.4）、3位 四国（108.1）。※
- ・進学率が高いのは、南関東、東海、近畿の三大都市圏

短期大学進学率(現役)

- ・2011年5.8%→2020年4.2%（1.6ポイント低下）。
- ・低下率が高いのは、1位 南関東（65.2）、2位 中国（66.7）、3位 東海（70.0）※
- ・進学率が高いのは、東北、甲信越、北陸

専門学校進学率(現役)

- ・2011年16.2%→2020年16.8%（0.6ポイント上昇）
- ・上昇率が高いのは、1位 南関東（115.0）、2位 近畿（107.1）、3位 北関東（105.8）※
- ・進学率が高いのは、甲信越、北海道、九州沖縄

都道府県別進学率(現役・2020年)

- ・大学進学率1位は東京、短期大学進学率1位は鳥取・大分、専門学校進学率1位は沖縄

大学・短期大学・専門学校進学率(現役・過年度含 比較・2011～2020年)

- ・2020年現役と過年度含の進学率の差は、大学は3.3ポイント（過年度含が高い）
短期大学は差なし。

注) ※の()内の数値は、2011年を100としたときの2020年の指数

▶地元残留率の推移 P16～P24

- ・大学入学者の地元残留率は、2011年43.2%→2020年44.1%（0.9ポイント上昇）
- ・短期大学入学者の地元残留率は、2011年67.4%→2020年69.9%（2.5ポイント上昇）
- ・大学入学者の地元残留率1位は愛知（71.1%）
- ・短期大学入学者の地元残留率1位は福岡（92.7%）

▶18歳人口減少率×地元残留率 P25・26

- ・大学入学者：都道府県別：2020→2032年
- ・短期大学入学者：都道府県別：2020→2032年

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ リクルート進学総研

<http://souken.shingakunet.com/>

分析・データについて

■分析・データについて

データ元：文部科学省「学校基本調査」

- ① 18歳人口概算は、文部科学省「学校基本調査」より、以下のとおり定義して算出した。
 - ・ 18歳人口 = 3年前の中学校卒業生および中等教育学校前期課程修了者数
 - ・ 中学校卒業生数 = 高校生 + フリーター + 就職者 すべて含む
- ② 表内の「年」に属する18歳とは、その年の3月に卒業を迎える高校3年生を指す。
- ③ 表内の「指数」とは、グラフ開始年の値を100とした際の値を示す。
- ④ 進学率（現役）とは、進学者数(大学・短大・専修学校専門課程(専門学校)) ÷ 高等学校卒業生数(全日制・定時制 + 中等教育学校後期課程)で算出した。
- ⑤ 残留率とは、自県内(地元)の大学・短期大学入学者数のうち自県内(地元)の高校出身の大学・短期大学入学者数の割合。(浪人含)
- ⑥ 図表で利用している百分率(%)は、小数点第2位を四捨五入しているため、数値の和が100.0にならない場合がある。
- ⑦ エリア別分析における各エリアに含まれる都道府県については以下のとおり。

北海道 : 北海道
 東北 : 青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
 北関東 : 茨城、栃木、群馬
 南関東 : 埼玉、千葉、東京、神奈川
 甲信越 : 新潟、山梨、長野
 北陸 : 富山、石川、福井
 東海 : 岐阜、静岡、愛知、三重
 近畿 : 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
 中国 : 鳥取、島根、岡山、広島、山口
 四国 : 徳島、香川、愛媛、高知
 九州沖縄 : 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

【年早見表】

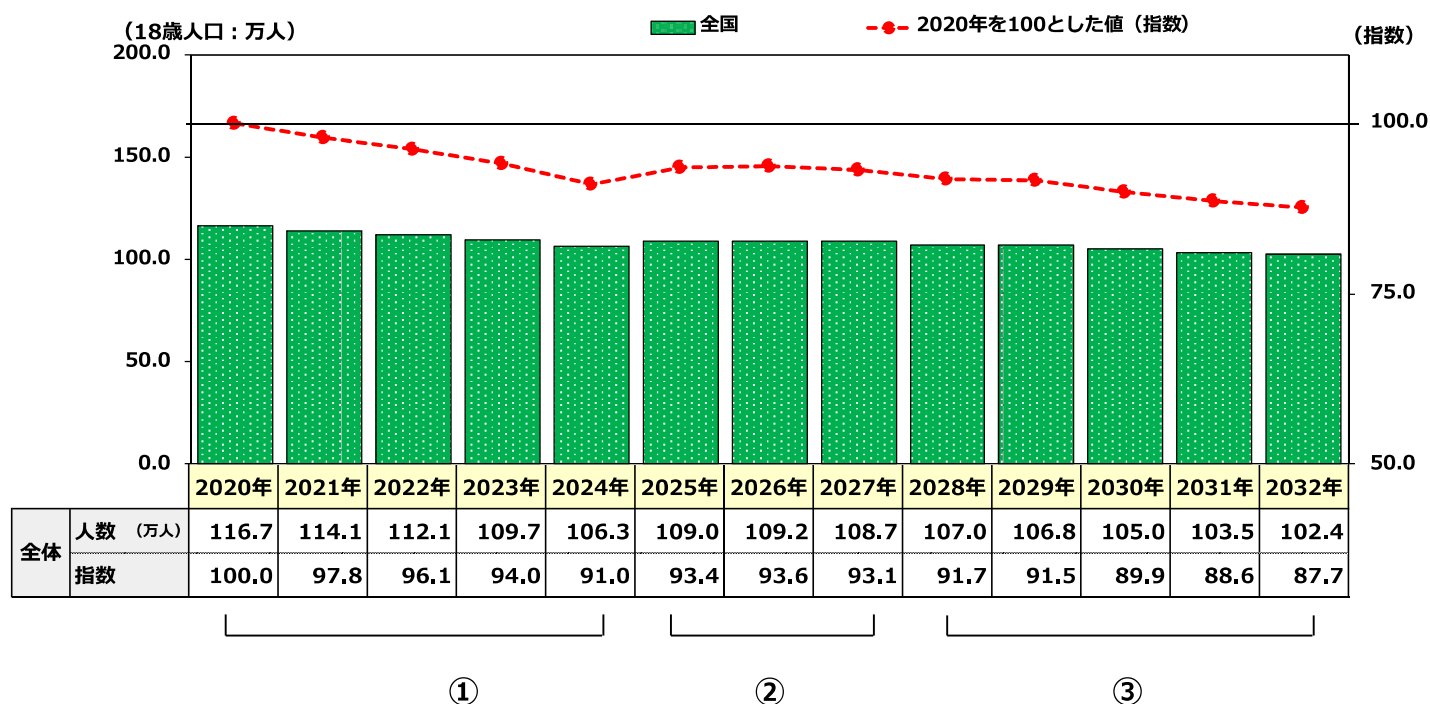
学校基本調査		18歳人口		2020年4月 現在高3	3年前の中学・中等教育卒業生
		図表(年)	人数		
確報	学校基本調査公表	2020	1,167,348	2019	(平成29年) 2017年 の中学校卒業生 + 中等教育学校前期課程修了者 + 義務教育学校卒業生数
確報	進学総研集計(予測)	2021	1,141,140	2020	(平成30年) 2018年 の中学校卒業生 + 中等教育学校前期課程修了者 + 義務教育学校卒業生数
確報	進学総研集計(予測)	2022	1,121,285	2021	(平成31年) 2019年 の中学校卒業生 + 中等教育学校前期課程修了者 + 義務教育学校卒業生数
速報	進学総研集計(予測)	2023	1,097,416	2022	(令和2年) 2020年 の中学校3年生 + 中等教育学校前期課程修了者(全国計のみ) + 義務教育学校卒業生数
速報	進学総研集計(予測)	2024	1,062,870	2023	(令和2年) 2020年 の中学校3年生 + 中等教育学校前期課程3年生 + 義務教育学校9年生の生徒数
速報	進学総研集計(予測)	2025	1,089,970	2024	(令和2年) 2020年 の中学校2年生 + 中等教育学校前期課程2年生 + 義務教育学校8年生の生徒数
速報	進学総研集計(予測)	2026	1,092,118	2025	(令和2年) 2020年 の中学校1年生 + 中等教育学校前期課程1年生 + 義務教育学校7年生の生徒数
速報	進学総研集計(予測)	2027	1,086,573	2026	(令和2年) 2020年 の小学校6年生 + 義務教育学校6年生の生徒数
速報	進学総研集計(予測)	2028	1,070,466	2027	(令和2年) 2020年 の小学校5年生 + 義務教育学校5年生の生徒数
速報	進学総研集計(予測)	2029	1,068,289	2028	(令和2年) 2020年 の小学校4年生 + 義務教育学校4年生の生徒数
速報	進学総研集計(予測)	2030	1,049,877	2029	(令和2年) 2020年 の小学校3年生 + 義務教育学校3年生の生徒数
速報	進学総研集計(予測)	2031	1,034,548	2030	(令和2年) 2020年 の小学校2年生 + 義務教育学校2年生の生徒数
速報	進学総研集計(予測)	2032	1,023,963	2031	(令和2年) 2020年 の小学校1年生 + 義務教育学校1年生の生徒数

18歳人口予測（全体：全国：2020～2032年）

■ 2020年116.7万人→2032年102.4万人（14.3万人減少）

・全体の18歳人口は、以下の3段階を経て経年的に減少する。

- ① 2020年～2024年：4年連続減少（116.7万人から106.3万人、10.4万人減少）。特に2023～2024年の1年で3.4万人と大きく減少する。
- ② 2025年～2027年：2025年に109.0万人と前年106.3万人に対し2.7万人増加に転じ、2027年は108.7万人とほぼ変わらず。
- ③ 2028年～2032年：2028年は107.0万人と前年108.7万に対し1.7万人と再び減少し、2032年は102.4万人となる。

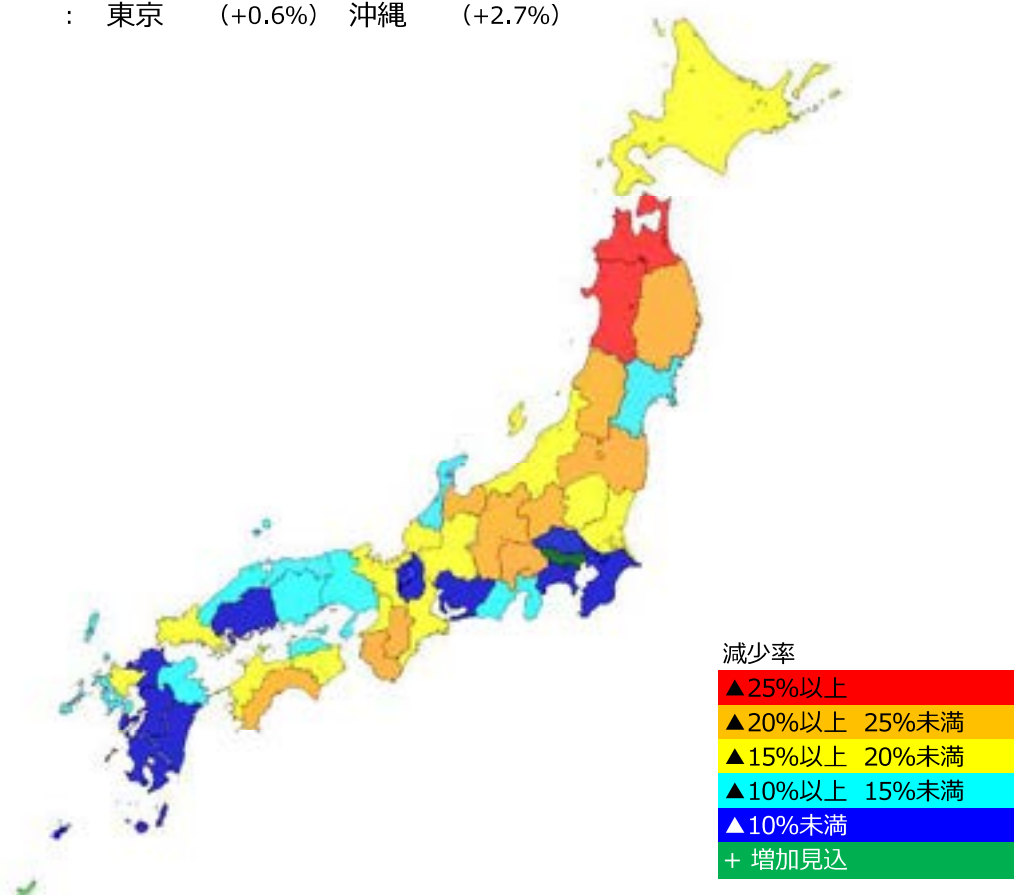


※データ元：文部科学省「学校基本調査」

18歳人口の予測（全体：都道府県別:2020→2032年）

■東北の減少率が高く、6県中5県で減少率20%以上、東京・沖縄が増加する見込み。

・減少率25%以上	：	青森	(28.3%)	秋田	(27.9%)		
・減少率20%以上25%未満	：	岩手	(23.5%)	山形	(23.8%)	福島	(21.0%)
		山梨	(22.7%)	長野	(20.5%)	富山	(22.8%)
		和歌山	(24.1%)	高知	(21.5%)	奈良	(20.0%)
・減少率15%以上20%未満	：	北海道	(16.8%)	茨城	(18.2%)	栃木	(18.3%)
		福井	(18.4%)	岐阜	(17.7%)	三重	(17.3%)
		大阪	(15.6%)	山口	(17.8%)	徳島	(19.7%)
		佐賀	(15.7%)			新潟	(19.4%)
・減少率10%以上15%未満	：	宮城	(13.9%)	石川	(14.9%)	静岡	(14.8%)
		鳥取	(11.2%)	島根	(12.7%)	岡山	(14.3%)
		長崎	(14.6%)	大分	(11.7%)	兵庫	(12.9%)
・減少率10%未満	：	埼玉	(9.2%)	千葉	(9.9%)	神奈川	(7.4%)
		滋賀	(9.3%)	広島	(9.7%)	福岡	(2.8%)
		宮崎	(9.8%)	鹿児島	(9.6%)	愛知	(9.1%)
・増加する見込み。	：	東京	(+0.6%)	沖縄	(+2.7%)	熊本	(6.7%)



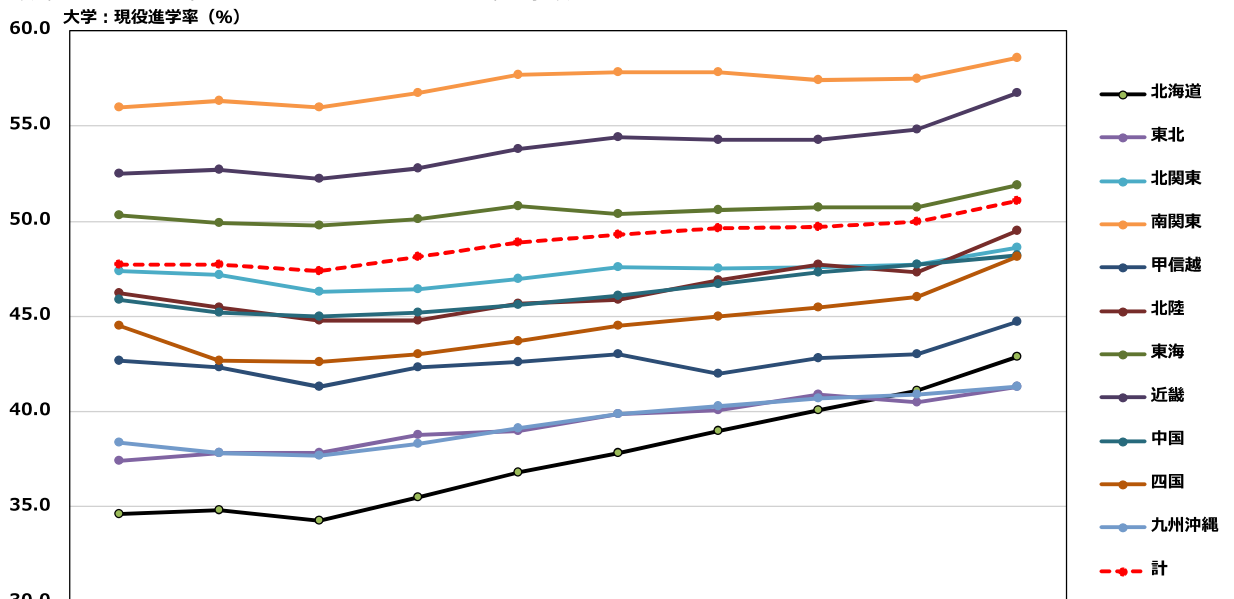
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

大学進学率の推移（現役：エリア別：2011～2020年）

■ 2011年47.7%→2020年51.1%（3.4ポイント上昇）

- ・全体の大学進学率は2011年47.7%→2020年51.1%と、10年間で3.4ポイント上昇。
2019年から50%台の進学率となっている。
2011～2013年の3年間は横ばいのトレンド(47.7%→47.4%)。
2014～2020年の7年間で3.0ポイントの上昇（48.1%→51.1%）。
- ・上昇率が高いのは、1位 北海道（124.0）、2位 東北（110.4）、3位 四国（108.1）。※
- ・上昇率が低いのは、1位 北関東（102.5）、2位 東海（103.2）、3位 南関東（104.6）。※
- ・2020年進学率が高いのは、1位 南関東（58.6%）、2位 近畿（56.7%）、3位 東海（51.9%）。

注）※の()内の数値は、2011年を100としたときの2020年の指数



		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
計	進学率	47.7	47.7	47.4	48.1	48.9	49.3	49.6	49.7	50.0	51.1
	指数	100.0	100.0	99.4	100.8	102.5	103.4	104.0	104.2	104.8	107.1
北海道	進学率	34.6	34.8	34.3	35.5	36.8	37.8	39.0	40.1	41.1	42.9
	指数	100.0	100.6	99.1	102.6	106.4	109.2	112.7	115.9	118.8	124.0
東北	進学率	37.4	37.8	37.8	38.8	39.0	39.9	40.1	40.9	40.5	41.3
	指数	100.0	101.1	101.1	103.7	104.3	106.7	107.2	109.4	108.3	110.4
北関東	進学率	47.4	47.2	46.3	46.4	47.0	47.6	47.5	47.6	47.7	48.6
	指数	100.0	99.6	97.7	97.9	99.2	100.4	100.2	100.4	100.6	102.5
南関東	進学率	56.0	56.3	56.0	56.7	57.7	57.8	57.8	57.4	57.5	58.6
	指数	100.0	100.5	100.0	101.3	103.0	103.2	103.2	102.5	102.7	104.6
甲信越	進学率	42.7	42.3	41.3	42.3	42.6	43.0	42.0	42.8	43.0	44.7
	指数	100.0	99.1	96.7	99.1	99.8	100.7	98.4	100.2	100.7	104.7
北陸	進学率	46.2	45.5	44.8	44.8	45.7	45.9	46.9	47.7	47.3	49.5
	指数	100.0	98.5	97.0	97.0	98.9	99.4	101.5	103.2	102.4	107.1
東海	進学率	50.3	49.9	49.8	50.1	50.8	50.4	50.6	50.7	50.7	51.9
	指数	100.0	99.2	99.0	99.6	101.0	100.2	100.6	100.8	100.8	103.2
近畿	進学率	52.5	52.7	52.2	52.8	53.8	54.4	54.3	54.3	54.8	56.7
	指数	100.0	100.4	99.4	100.6	102.5	103.6	103.4	103.4	104.4	108.0
中国	進学率	45.9	45.2	45.0	45.2	45.6	46.1	46.7	47.3	47.7	48.2
	指数	100.0	98.5	98.0	98.5	99.3	100.4	101.7	103.1	103.9	105.0
四国	進学率	44.5	42.7	42.6	43.0	43.7	44.5	45.0	45.5	46.0	48.1
	指数	100.0	96.0	95.7	96.6	98.2	100.0	101.1	102.2	103.4	108.1
九州沖縄	進学率	38.4	37.8	37.7	38.3	39.1	39.9	40.3	40.7	40.9	41.3
	指数	100.0	98.4	98.2	99.7	101.8	103.9	104.9	106.0	106.5	107.6

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

大学・短期大学・専門学校進学率（現役：都道府県別：2020年）

（参考）大学・短期大学・専門学校進学率ランキング

大学			短期大学			専門学校		
1	東京	64.7	1	大分	7.5	1	沖縄	25.8
2	京都	62.8	1	鳥取	7.5	2	新潟	25.4
3	兵庫	57.9	3	富山	7.3	3	長野	21.8
4	広島	57.6	3	長野	7.3	4	島根	21.6
5	神奈川	57.5	5	鹿児島	6.7	4	北海道	21.6
6	大阪	56.5	6	岐阜	6.1	6	鹿児島	19.9
7	愛知	55.0	7	石川	6.0	6	岩手	19.9
7	奈良	55.0	8	秋田	5.8	8	千葉	19.5
9	埼玉	54.2	9	滋賀	5.5	9	大分	19.3
10	千葉	52.4	9	山形	5.5	9	愛媛	19.3
11	山梨	51.6	11	福島	5.4	11	山形	19.1
12	福井	51.5	12	香川	5.3	12	鳥取	18.8
13	滋賀	51.0	13	大阪	5.2	13	栃木	18.7
14	石川	50.1	14	山梨	5.1	14	埼玉	18.3
14	岐阜	50.1	15	福井	5.0	14	茨城	18.3
16	静岡	49.5	16	福岡	4.9	16	和歌山	18.0
17	茨城	49.0	16	岩手	4.9	16	岡山	18.0
18	徳島	48.7	16	宮崎	4.9	18	熊本	17.9
19	愛媛	48.9	19	群馬	4.8	19	宮崎	17.8
20	群馬	48.8	19	島根	4.8	19	宮城	17.8

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

18歳人口減少率×地元残留率 (大学入学者：都道府県別：2020→2032年)

■「象限④」(18歳人口減少率が高く地元残留率が低い)に多くの県が集まる

- ・全国平均でラインを引き4象限に分けると、以下のとおりになる。

象限① 18歳人口減少率が低く、地元残留率が高い

：東京、愛知、広島、福岡、熊本、沖縄

→人口が減少せず、地元にも残るため、県内募集は比較的しやすいセグメント。

象限② 18歳人口減少率が高く、地元残留率が高い

：北海道、宮城、石川、大阪、京都、兵庫

→18歳は比較的地元に残るが、マーケット自体が縮小するセグメント。

象限③ 18歳人口減少率が低く、地元残留率が低い

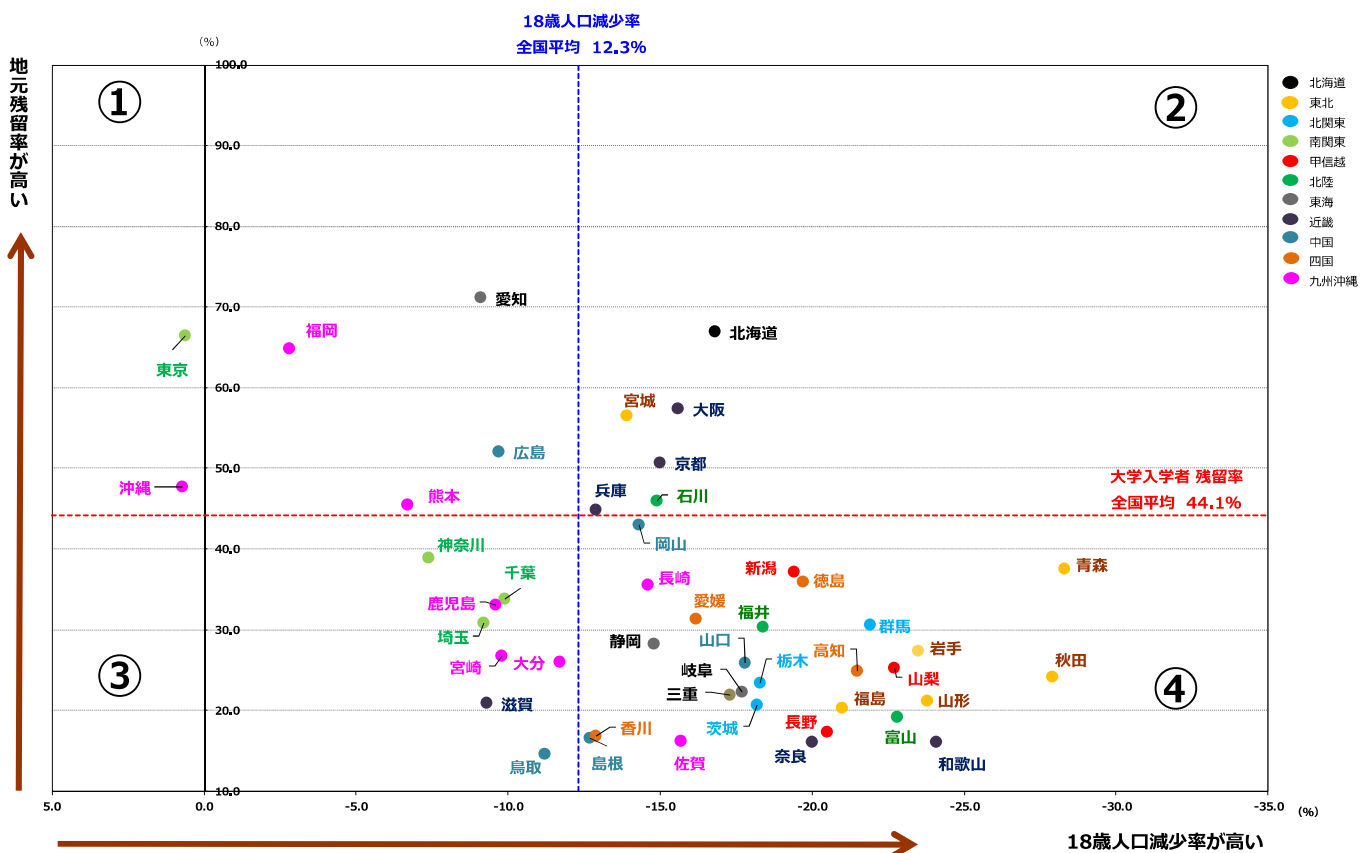
：神奈川、千葉、埼玉、滋賀、鳥取、大分、宮崎、鹿児島

→人口は大きくは減少しないものの、周辺県への流出が多いセグメント。

象限④ 18歳人口減少率が高く、地元残留率が低い

：その他の県

→人口減少に加え地元にも残留しないため、地元募集だけでは厳しいセグメント。



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

(資料2) 教育学系大学(私立)の設置数・志願者数・入学者数・入学定員充足率

【設置数の推移】

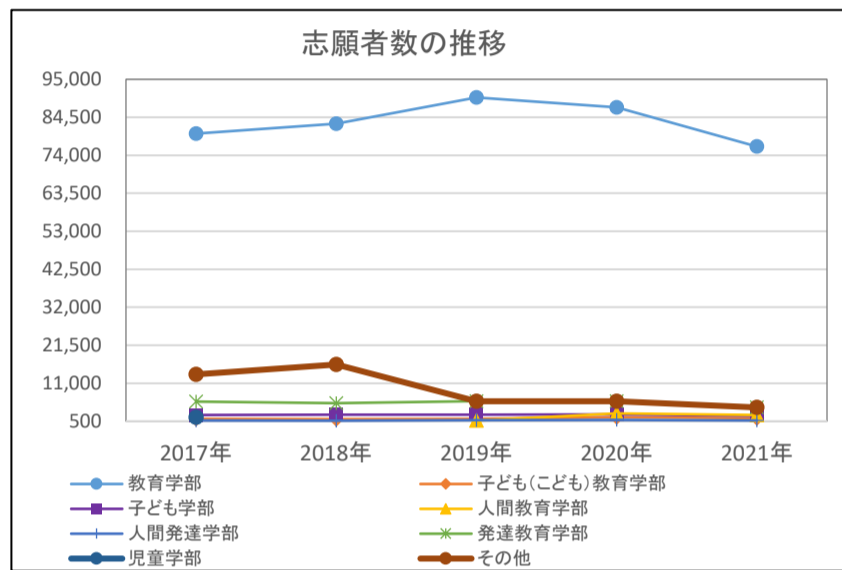
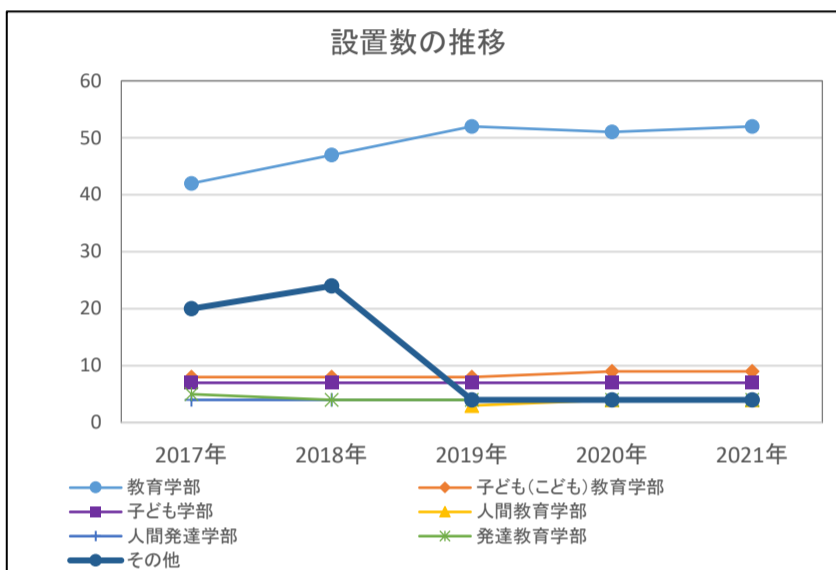
(校)

年度	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
教育学部	42	47	52	51	52
子ども(こども)教育学部	8	8	8	9	9
子ども学部	7	7	7	7	7
人間教育学部			3	4	4
人間発達学部	4	4	4	4	4
発達教育学部	5	4	4	4	4
児童学部	3				
その他	20	24	4	4	4
計	89	94	78	79	80

【志願者数の推移】

(人)

年度	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
教育学部	79,999	82,779	89,983	87,242	76,423
子ども(こども)教育学部	1,111	1,057	1,118	1,598	1,289
子ども学部	2,219	2,244	2,306	2,369	1,977
人間教育学部			654	2,645	2,177
人間発達学部	731	627	774	840	685
発達教育学部	5,927	5,506	6,038	5,991	4,290
児童学部	1,551				
その他	13,434	16,157	6,038	5,991	4,290
計	104,972	108,370	100,873	100,685	86,841



【入学者数の推移】

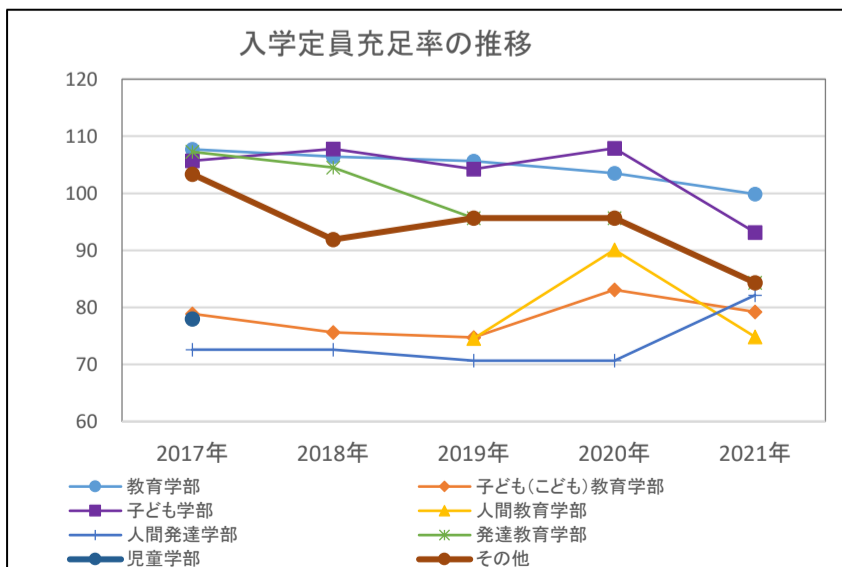
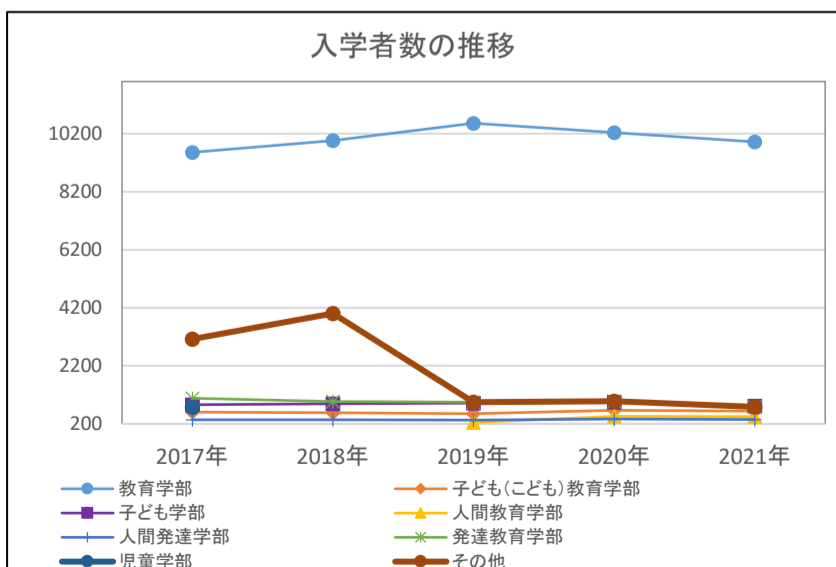
(人)

年度	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
教育学部	9555	9958	10,560	10,232	9,922
子ども(こども)教育学部	598	573	544	663	632
子ども学部	851	889	912	944	815
人間教育学部			246	455	449
人間発達学部	334	334	325	362	345
発達教育学部	1078	967	942	976	780
児童学部	764				
その他	3114	4001	942	976	780
計	16294	16722	14,471	13,632	12,943

【入学定員充足率の推移】

(%)

年度	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
教育学部	108	106	106	104	100
子ども(こども)教育学部	79	76	75	83	79
子ども学部	106	108	104	108	93
人間教育学部			75	90	75
人間発達学部	73	73	71	71	82
発達教育学部	107	105	96	96	84
児童学部	78				
その他	103	92	96	96	84
計	102.52	100.26	100.75	100.09	94.40



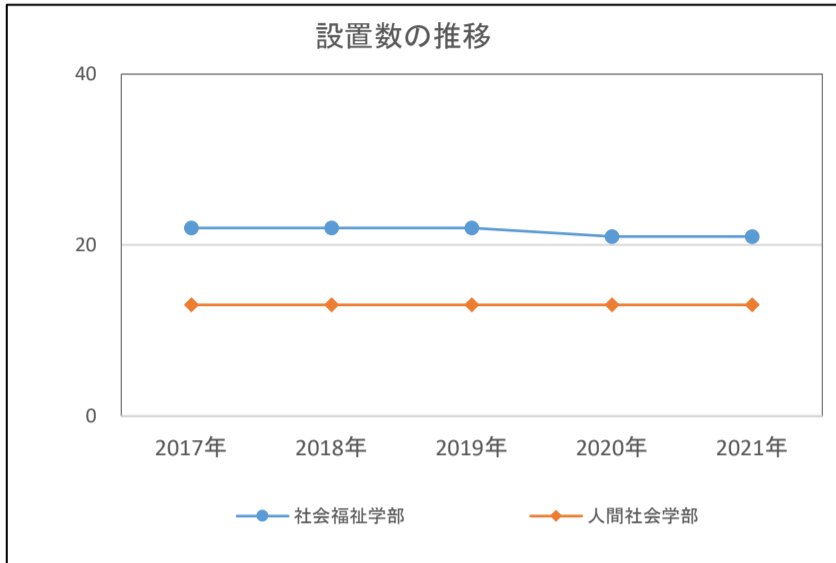
【出典】日本私立学校振興・共済事業団(私学経営情報センター)「令和元(2019)年度～令和3(2021)年度 私立大学・短期大学等 入学志願動向」

(資料3) 社会科学系(社会福祉・人間福祉)大学(私立)の設置数・志願者数・入学者数・入学定員充足率

【設置数の推移】

(校)

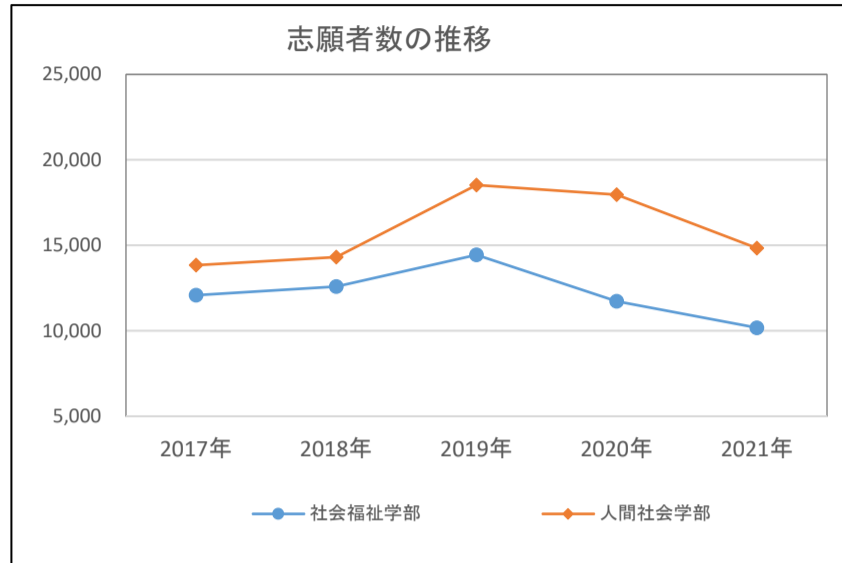
年度	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
社会福祉学部	22	22	22	21	21
人間社会学部	13	13	13	13	13
計	35	35	35	34	34



【志願者数の推移】

(人)

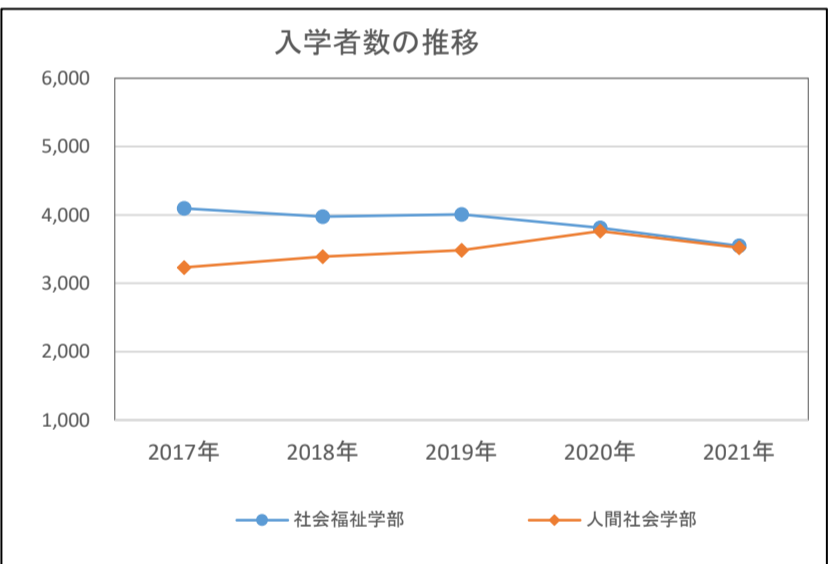
年度	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
社会福祉学部	12,079	12,597	14,442	11,735	10,181
人間社会学部	13,840	14,322	18,530	17,964	14,837
計	25,919	26,919	32,972	29,699	25,018



【入学者数の推移】

(人)

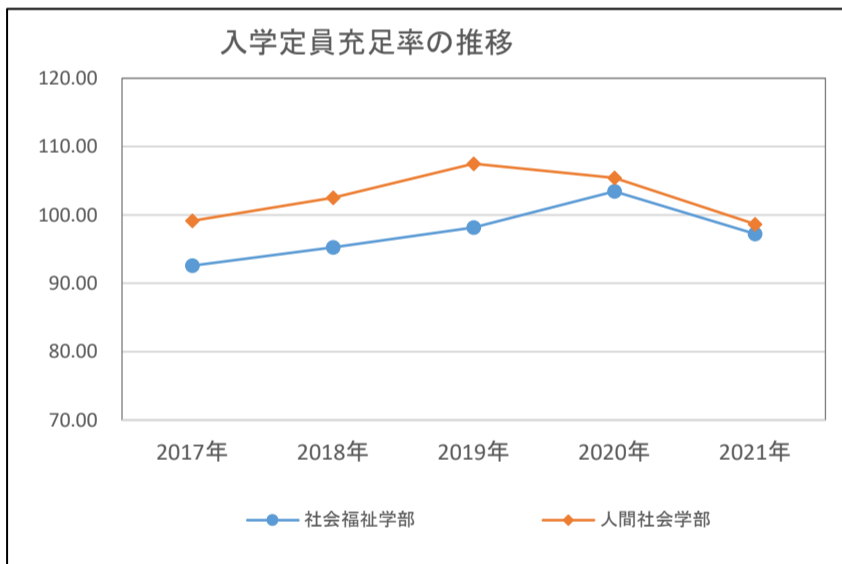
年度	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
社会福祉学部	4,096	3,977	4,009	3,811	3,548
人間社会学部	3,233	3,389	3,483	3,764	3,522
計	7,329	7,366	7,492	7,575	7,070



【入学定員充足率の推移】

(%)

年度	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
社会福祉学部	92.59	95.28	98.16	103.45	97.23
人間社会学部	99.17	102.54	107.50	105.43	98.66



【出典】日本私立学校振興・共済事業団(私学経営情報センター)「令和元(2019)年度～令和3(2021)年度 私立大学・短期大学等 入学志願動向」

(資料4)本学の主な募集地域の18歳人口予測値

区分		令和2年度 2020	令和3年度 2021	令和4年度 2022	令和5年度 2023	令和6年度 2024	令和7年度 2025	令和8年度 2026	令和9年度 2027	令和10年度 2028	令和11年度 2029	令和12年度 2030	令和13年度 2031	令和14年度 2032	2032-2020増減
全国計	人口予測値	1,167,348	1,141,140	1,121,276	1,097,105	1,062,870	1,089,970	1,092,118	1,086,573	1,070,466	1,068,289	1,049,877	1,034,548	1,023,963	-143,385
	予測値推移	100.0%	97.8%	96.1%	94.0%	91.0%	93.4%	93.6%	93.1%	91.7%	91.5%	89.9%	88.6%	87.7%	-12.3%
三重	人口予測値	17,513	17,458	16,894	16,477	15,774	16,172	16,006	16,024	15,720	15,569	15,409	14,878	14,479	14,479
	予測値推移	100.0%	99.7%	96.5%	94.1%	90.1%	92.3%	91.4%	91.5%	89.8%	88.9%	88.0%	85.0%	82.7%	-17.3%
滋賀	人口予測値	14,535	14,328	14,028	13,774	13,317	13,796	13,731	13,895	13,720	13,728	13,505	13,341	13,183	13,183
	予測値推移	100.0%	98.6%	96.5%	94.8%	91.6%	94.9%	94.5%	95.6%	94.4%	964.4%	92.9%	91.8%	90.7%	-9.3%
京都	人口予測値	23,646	23,145	22,734	22,309	22,199	22,510	22,283	21,618	21,103	21,098	20,758	20,154	20,092	20,092
	予測値推移	100.0%	97.9%	96.1%	94.3%	93.9%	95.2%	94.2%	91.4%	89.2%	89.2%	87.8%	85.2%	85.0%	-15.0%
大阪	人口予測値	81,797	79,549	77,446	75,832	72,803	74,401	74,532	74,254	72,937	72,650	71,491	70,406	68,997	68,997
	予測値推移	100.0%	97.3%	94.7%	92.7%	89.0%	91.1%	91.1%	90.8%	89.2%	88.8%	87.4%	86.1%	84.4%	-15.6%
兵庫	人口予測値	52,305	51,482	49,960	49,057	47,250	48,284	48,330	49,380	48,000	48,254	47,520	46,478	45,542	45,542
	予測値推移	100.0%	98.4%	95.5%	93.8%	90.3%	92.3%	92.4%	94.4%	91.8%	92.3%	90.9%	88.9%	87.1%	-12.9%
奈良	人口予測値	13,435	12,973	12,847	12,433	12,025	12,314	12,289	11,604	11,477	11,255	11,120	11,059	10,746	10,746
	予測値推移	100.0%	96.6%	95.6%	92.5%	89.5%	91.7%	91.5%	86.4%	85.4%	83.8%	82.8%	82.3%	80.0%	-20.0%
和歌山	人口予測値	9,283	8,809	8,607	8,126	7,907	7,943	7,994	7,949	7,611	7,505	7,566	7,359	7,043	7,043
	予測値推移	100.0%	94.9%	82.7%	87.5%	85.2%	85.6%	86.1%	85.6%	82.0%	80.8%	81.5%	79.3%	75.9%	-24.1%
近畿計	人口予測値	212,514	207,744	202,516	198,008	191,275	195,420	195,165	194,724	190,568	190,059	187,369	183,675	180,082	-32,432
	予測値推移	100.0%	97.8%	95.3%	93.2%	90.0%	92.0%	91.8%	91.6%	89.7%	89.4%	88.2%	86.4%	84.7%	-15.3%
鳥取	人口予測値	5,360	5,195	5,261	5,082	4,931	4,952	4,926	4,759	4,878	4,734	4,950	4,673	4,758	4,758
	予測値推移	100.0%	96.9%	98.2%	94.8%	92.0%	92.4%	91.9%	91.9%	88.8%	91.0%	88.3%	87.2%	88.8%	-11.2%
島根	人口予測値	6,482	6,233	6,009	5,993	5,678	6,001	5,918	5,789	5,798	5,777	5,758	5,653	5,662	5,662
	予測値推移	100.0%	96.2%	92.7%	92.5%	87.6%	92.6%	91.3%	89.3%	89.4%	89.1%	88.8%	87.2%	87.3%	-12.7%
岡山	人口予測値	18,638	18,190	17,689	17,293	16,767	17,170	17,288	16,847	16,663	16,715	16,442	16,260	15,966	15,966
	予測値推移	100.0%	97.6%	94.9%	92.8%	90.0%	92.1%	92.8%	90.4%	89.4%	89.7%	88.2%	87.2%	85.7%	-14.3%
広島	人口予測値	26,865	26,108	25,929	25,245	24,673	25,376	25,570	25,444	25,437	25,529	25,118	24,688	24,255	24,255
	予測値推移	100.0%	97.2%	96.5%	94.0%	91.8%	94.5%	95.2%	94.7%	94.7%	95.0%	83.5%	91.9%	90.3%	-9.7%
山口	人口予測値	12,848	12,219	11,930	11,669	11,198	11,359	11,428	11,406	11,284	11,442	10,866	10,727	10,564	10,564
	予測値推移	100.0%	95.1%	92.9%	90.8%	87.2%	88.4%	88.9%	88.8%	87.8%	89.1%	84.6%	83.5%	82.2%	-17.8%
中国計	人口予測値	70,193	67,945	66,818	65,282	63,247	64,858	65,130	64,245	64,060	64,197	63,134	62,001	61,205	-8,988
	予測値推移	100.0%	96.8%	95.2%	93.0%	90.1%	92.4%	92.8%	91.5%	91.3%	91.5%	89.9%	88.3%	87.2%	-12.8%
徳島	人口予測値	6,867	6,581	6,394	6,229	5,876	6,045	5,893	5,939	5,789	5,935	5,819	5,677	5,512	5,512
	予測値推移	100.0%	95.8%	93.1%	90.7%	85.6%	88.0%	85.8%	86.5%	84.3%	86.4%	84.7%	82.7%	80.3%	-19.7%
香川	人口予測値	9,275	9,310	8,936	7,849	8,491	8,529	8,547	8,653	8,448	8,326	8,343	8,139	8,079	8,079
	予測値推移	100.0%	100.4%	96.3%	96.5%	91.5%	92.0%	92.2%	93.3%	91.1%	89.8%	90.0%	87.8%	87.1%	-12.9%
愛媛	人口予測値	12,868	12,483	12,503	11,914	11,366	11,792	11,798	11,528	11,573	11,363	11,399	10,966	10,778	10,778
	予測値推移	100.0%	97.0%	97.2%	92.6%	88.3%	91.6%	91.7%	89.6%	89.9%	88.3%	88.6%	85.2%	83.6%	-16.2%
高知	人口予測値	6,543	6,184	6,008	5,764	5,701	5,818	5,542	5,704	5,372	5,366	5,224	5,249	5,136	5,136
	予測値推移	100.0%	94.5%	91.8%	88.1%	87.1%	88.9%	84.7%	87.2%	82.1%	82.0%	79.8%	80.2%	78.5%	-21.5%
四国計	人口予測値	35,553	34,558	33,841	32,856	31,434	32,184	31,780	31,824	31,182	30,990	30,785	30,031	29,505	-6,048
	予測値推移	100.0%	97.2%	95.2%	92.4%	88.4%	90.5%	89.4%	89.5%	87.7%	87.2%	86.6%	84.5%	83.0%	-17.0%

予測値算出方法 * 学校基本情報より下記データを抽出・加工

2020年	2017年	中学卒業生 + 中等教育学校前期課程卒業生 + 義務教育卒業生	2026年	2020年	中学1年生 + 中等教育学校前期課程3年生 + 義務教育9年生
2021年	2018年	中学卒業生 + 中等教育学校前期課程卒業生 + 義務教育卒業生	2027年	2020年	小学校6年生 + 義務教育6年生
2022年	2019年	中学卒業生 + 中等教育学校前期課程卒業生 + 義務教育卒業生	2028年	2020年	小学校5年生 + 義務教育5年生
2023年	2019年	中学3年生 + 中等教育学校前期課程3年生 + 義務教育9年生	2029年	2020年	小学校4年生 + 義務教育4年生
2024年	2020年	中学3年生 + 中等教育学校前期課程3年生 + 義務教育9年生	2030年	2020年	小学校3年生 + 義務教育3年生
2025年	2020年	中学2年生 + 中等教育学校前期課程3年生 + 義務教育9年生	2031年	2020年	小学校2年生 + 義務教育2年生
			2032年	2020年	小学校1年生 + 義務教育1年生

(資料5)近隣大学の教育学分野の大学の募集状況

所在地	大学	学部	難易度 ランク	入学定員			志願者			合格者			志願倍率			入学者			定員充足率		
				R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3
兵庫県	関西学院	教育	57.5	350	350	350	2,711	2,208	2,218	697	775	754	7.7	6.3	6.3	349	367	364	99.7%	104.9%	104.0%
	武庫川女子	教育	45.0	240	240	240	3,526	3,438	2,991	810	800	815	14.7	14.3	12.5	218	247	222	90.8%	102.9%	92.5%
	神戸女子	文	45.0	385	385	405	3,826	2,737	2,992	1,077	889	811	9.9	7.1	7.4	424	355	320	110.1%	92.2%	79.0%
	関西国際	教育	42.5	150	150	150	514	495	378	339	306	293	3.4	3.3	2.5	182	157	108	121.3%	104.7%	72.0%
	神戸常盤	教育	40.0	80	80	80	134	191	211	124	120	105	1.7	2.4	2.6	94	96	85	117.5%	120.0%	106.3%
	関西福祉	教育	37.5	160	160	160	497	649	507	356	457	335	3.1	4.1	3.2	152	177	171	95.0%	110.6%	106.9%
	神戸松蔭女子学院	教育	37.5	120	120	120	515	622	319	321	324	233	4.3	5.2	2.7	108	108	55	90.0%	90.0%	45.8%
	神戸親和女子	発達教育	37.5	335	355	295	1,370	1,170	574	1,039	879	502	4.1	3.3	1.9	317	340	201	94.6%	95.8%	68.1%
	芦屋	臨床教育	35.0	150	150	150	156	188	170	149	181	167	1.0	1.3	1.1	141	165	154	94.0%	110.0%	102.7%
	園田学園女子	人間教育	—	95	95	95	127	92	140	108	82	115	1.3	1.0	1.5	54	53	58	56.8%	55.8%	61.1%
	姫路	教育	—	80	80	80	152	159	140	143	137	133	1.9	2.0	1.8	88	94	57	110.0%	117.5%	71.3%
全体				2,145	2,165	2,125	13,528	11,949	10,640	5,163	4,950	4,263	6.3	5.5	5.0	2,127	2,159	1,795	99.2%	99.7%	84.5%
大阪府	四天王寺	教育	47.5	240	240	240	2,584	2,893	1,887	581	497	565	10.8	12.1	7.9	263	247	276	109.6%	102.9%	115.0%
	大和	教育	47.5	190	190	200	3,569	3,374	3,002	581	619	694	18.8	17.8	15.0	223	220	217	117.4%	115.8%	108.5%
	大阪大谷	教育	42.5	230	230	230	1,013	1,085	590	378	387	286	4.4	4.7	2.6	234	236	164	101.7%	102.6%	71.3%
	桃山学院教育	人間教育	40.0	175	175	270	1,823	1,920	1,565	676	790	1,045	10.4	11.0	5.8	193	178	249	110.3%	101.7%	92.2%
	大阪成蹊	教育	40.0	180	200	200	1,241	969	1,033	400	455	416	6.9	4.8	5.2	194	215	210	107.8%	107.5%	105.0%
	大阪総合保育	児童保育	—	110	180	180	776	1,059	586	169	372	209	7.1	5.9	3.3	112	178	154	101.8%	98.9%	85.6%
	大阪樟蔭女子	児童教育	—	170	170	170	—	258	159	—	232	154	—	1.5	0.9	118	127	92	69.4%	74.7%	54.1%
	関西福祉科学	教育	—	100	100	100	206	174	123	196	165	106	2.1	1.7	1.2	82	83	74	82.0%	83.0%	74.0%
京都府	佛教	教育	50.0	190	190	190	3,891	3,761	3,459	741	673	793	20.5	19.8	18.2	200	194	216	105.3%	102.1%	113.7%
	京都女子	発達教育	50.0	350	350	350	2,911	3,189	2,480	1,091	1,191	945	8.3	9.1	7.1	347	369	352	99.1%	105.4%	100.6%
	大谷	教育	47.5	130	130	130	1,309	1,220	709	346	348	467	10.1	9.4	5.5	140	121	134	107.7%	93.1%	103.1%
	京都橘	発達教育	45.0	140	140	140	1,771	1,581	1,119	444	465	460	12.7	11.3	8.0	146	140	143	104.3%	100.0%	102.1%
	京都光華女子	こども教育	35.0	80	80	80	207	182	136	195	172	105	2.6	2.3	1.7	76	74	42	95.0%	92.5%	52.5%
全体				4,430	4,540	4,605	34,829	33,614	27,488	10,961	11,316	10,508	7.9	7.4	6.0	4,455	4,541	4,118	100.6%	100.0%	89.4%
学部数				24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24

※出所 難易度ランクは「大学ランキング2021年版」

※出所 入試データは旺文社 蛍雪時代「2020年度用大学の真の実力情報公開BOOK」・「2021年度用大学の真の実力情報公開BOOK」・「2022年度用大学の真の実力情報公開BOOK」

(資料6)既設学部の募集状況等(生涯福祉学部こども福祉学科・保育科第一部・第三部)

(1)生涯福祉学部こども福祉学科の募集状況等

	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)
募集人員	50	50	50	50	50
志願者数	88	56	110	107	106
受験者数	87	55	102	98	94
合格者数	69	55	88	91	78
辞退者数	0	0	0	1	2
入学者数	58	35	51	41	57
歩留率	84.1	63.6	58	45.1	73.1
定員充足率	1.16	0.70	1.02	0.82	1.14

(2)短期大学保育科第一部の募集状況等

	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)
募集人員	100	100	100	100	100
志願者数	109	110	97	100	73
受験者数	102	109	95	95	72
合格者数	101	107	95	93	69
辞退者数	0	0	3	0	0
入学者数	96	102	79	80	66
歩留率	95.0	95.3	83.2	86.0	95.7
定員充足率	0.96	1.02	0.79	0.80	0.66

(3)短期大学保育科第三部の募集状況等

	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)
募集人員	80	80	80	80	80
志願者数	113	111	96	108	78
受験者数	113	111	96	107	78
合格者数	92	97	95	98	77
辞退者数	2	0	1	0	1
入学者数	80	90	86	89	70
歩留率	87.0	92.8	90.5	90.8	90.9
定員充足率	1.00	1.12	1.07	1.11	0.87

(資料7)既設学部¹の募集状況等(生涯福祉学部社会福祉学科)

	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)
募集人員	30	30	30	40	40
志願者数	52	49	96	128	105
受験者数	47	45	90	110	93
合格者数	45	45	84	107	87
辞退者数	1	0	2	1	1
入学者数	25	21	40	43	36
歩留率	55.6	46.7	47.6	40.2	41.4
定員充足率	0.83	0.70	1.33	1.07	0.90

兵庫大学「教育学部 教育学科（仮称）」
設置構想についての高校生アンケート調査
報告書

令和 4 年 1 月

株式会社高等教育総合研究所

目次

1 調査の概要	1
2 全質問項目の集計結果	3
3 集計結果のポイント	6

添付資料

兵庫大学「教育学部 教育学科（仮称）」設置構想についての高校生アンケート調査用紙

1 調査の概要

- ◆調査の目的：本調査は、兵庫大学が令和5（2023）年4月設置に向けて構想中の「教育学部 教育学科（仮称）」の入学確保の見通しを、大学外の公正な第三者機関によりアンケートを用いて測ることを目的とする。
- ◆調査期間：令和3（2021）年10月～12月
- ◆調査対象：令和5（2023）年度の大学入試を受験する可能性が最も高い、令和3（2021）年度の高校2年生をアンケートの対象とした。
- ◆調査方法：兵庫大学の「教育学部 教育学科（仮称）」への通学が可能である近隣の高等学校及び入学実績のある高校の計356校に実施を依頼。実施の承認が得られた各校にアンケートを送付。各校の教員が調査対象である高校2年生にアンケート用紙を配布の上、回答後にその場で回収した。
依頼対象校の内訳は以下の通り。

地域	学校数
近畿地区（兵庫県、大阪府、京都府）	240校
中国地区（岡山県、鳥取県、島根県）	81校
四国地区（香川県、徳島県）	35校
合計	356校

- ◆調査内容：アンケート項目は全8問で、全て選択肢式とした。
主な質問内容は、以下の通りである。
『回答者の基本情報（性別・居住地）について』
『回答者の高校卒業後の希望進路について』
『兵庫大学「教育学部 教育学科（仮称）」への受験・入学意欲について』
- ◆実施校：67校（実施率 18.8% / 依頼数 356校）
- ◆回答件数：9,944件

2 全質問項目の集計結果

※「構成比」(%) はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0% と一致しない。

3～5 ページは、アンケートで回答を得た 9,944 人の回答結果に基づく全質問項目の集計結果である。

問1 あなたが現在お住まいの場所をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目	回答数	構成比
兵庫県	8,494	85.4%
大阪府	169	1.7%
京都府	117	1.2%
岡山県	325	3.3%
徳島県	0	0.0%
香川県	723	7.3%
鳥取県	33	0.3%
島根県	3	0.0%
その他	55	0.6%
無回答	25	0.3%
計	9,944	100.0%

問2 性別をお答えください。(あてはまるものにマーク)

選択項目	回答数	構成比
男性	4,904	49.3%
女性	5,006	50.3%
無回答	34	0.3%
計	9,944	100.0%

問3 高校卒業後の希望進路をお答えください。(現時点であてはまるもの1つにマーク)

選択項目	回答数	構成比
進学	8,045	80.9%
就職	1,077	10.8%
現時点では未定	775	7.8%
無回答	47	0.5%
計	9,944	100.0%

問4 兵庫大学についてお答えください。(あてはまるものすべてにマーク)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答者 9,944 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目	回答数	構成比
兵庫大学という名前を聞いたことがある	6,683	67.2%
ホームページを見たことがある	729	7.3%
資料を取り寄せたことがある	543	5.5%
オープンキャンパスに参加したことがある	203	2.0%
入学・卒業した人を知っている	525	5.3%
全く知らない	2,916	29.3%

問5 あなたは兵庫大学が設置構想中の「教育学部 教育学科(仮称)」を受験したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目	回答数	構成比
受験したい	418	4.2%
現時点では受験しない	9,162	92.1%
無回答	364	3.7%
計	9,944	100.0%

以下の問6・問7は、問5で「受験したい」を選択した 418 人の集計結果。

問6 あなたは兵庫大学が設置構想中の「教育学部 教育学科(仮称)」に受験して合格した場合、入学したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

※ 構成比は、回答者 418 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目	回答数	構成比
合格した場合、入学したい	198	47.4%
合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい	210	50.2%
無回答	10	2.4%
計	418	100.0%

問7 兵庫大学が設置構想中の「教育学部 教育学科(仮称)」で、現時点であなたが興味・関心のある資格・免許をお答えください。(あてはまるものすべてにマーク)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答者 418 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目	回答数	構成比
幼稚園教諭一種免許状	210	50.2%
小学校教諭一種免許状	236	56.5%

特別支援学校教諭一種免許状(知・肢・病)	86	20.6%
保育士資格	208	49.8%
兵庫大学特別支援保育士(本学独自資格)	50	12.0%

以下の問8は、問5で「現時点では受験しない」と選択した 9,162 人の集計結果

問8 兵庫大学が設置構想中の「教育学部 教育学科(仮称)」を「現時点では受験しない」とした理由について、お答えください。(あてはまるものすべてにマーク)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答者 9,162 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目	回答数	構成比
興味・関心のある学問分野ではない	5,316	58.0%
興味・関心はあるが、詳しい情報を知った上で検討したい	832	9.1%
他大学への進学を目指している	3,656	39.9%
自宅からの通学が不便	503	5.5%
学費が高い	438	4.8%
就職を希望している	928	10.1%
その他	246	2.7%

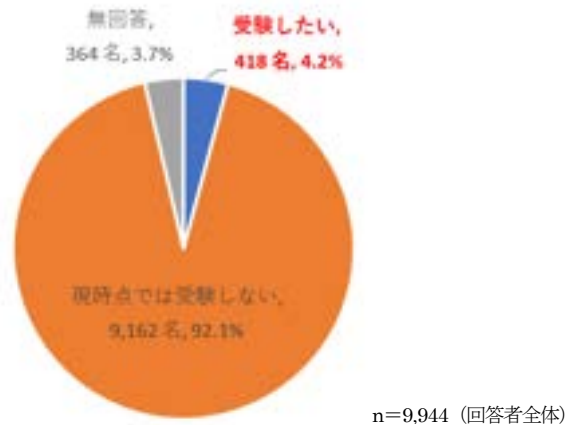
3 集計結果のポイント

※「構成比」(%) はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0%と一致しない。

- 「教育学部 教育学科 (仮称)」に対し、418 人が受験意欲を示す

「教育学部 教育学科 (仮称)」の概要を示した上で、受験意欲について質問したところ、418 人 (回答者全体の 4.2%) が「受験したい」と回答した。

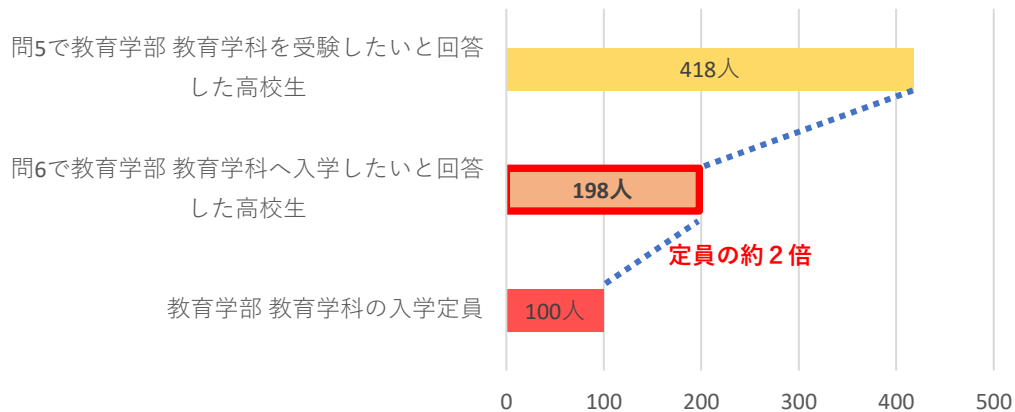
グラフ 「教育学部 教育学科 (仮称)」への受験意欲 (「問5」結果より)



- 198 人が「教育学部 教育学科 (仮称)」に「入学したい」と回答

「受験したい」と回答した 418 人のうち、入学意欲について質問したところ、予定される入学定員 100 人を超える 198 人が「合格した場合、入学したい」と回答、210 人が「合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい」と回答した。「教育学部 教育学科 (仮称)」の予定する入学定員 100 人を超える入学希望者が存在することが確認された。

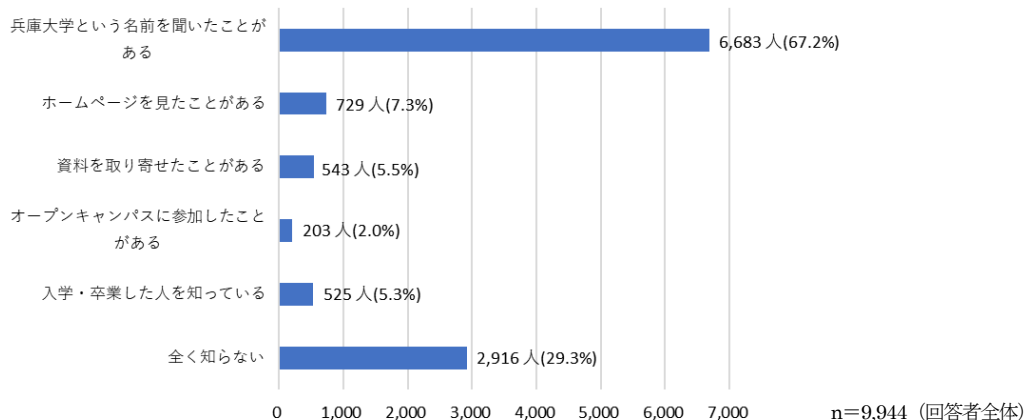
グラフ 「教育学部 教育学科 (仮称) (仮称)」への入学意欲 (「問6」結果より)



● 約7割が何らかの形で本学を認知

回答を得た高校生 9,944 人のうち、全体の約7割にあたる 6,683 人が「兵庫大学という名前を聞いたことがある」と回答し、729 人（回答者全体の 7.3%）が「ホームページを見たことがある」を選択した。「全く知らない」と回答したのは 2,916 人（同 29.3%）となった。

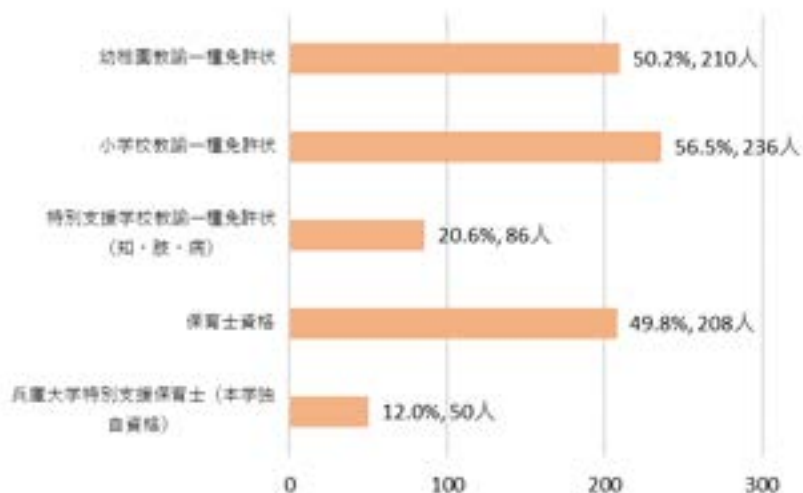
グラフ 兵庫大学についての回答（「問4」結果より）



● 「幼稚園教諭一種免許状」と「小学校教諭一種免許状」に対して半数以上が興味・関心を持つ

「受験したい」とした回答者 418 人に対し、教育学部 教育学科（仮称）で取得可能な資格・免許の5つの中で興味・関心のあるものについて質問したところ「小学校教諭一種免許状」が 236 人（56.5%（回答数 418 人の割合））、「幼稚園教諭一種免許状」が 210 人（同 50.2%）とそれぞれ半数以上が興味・関心を持った。「保育士資格」と「特別支援学校教諭一種免許状（知・肢・病）」はそれぞれ 208 人（同 49.8%）、86 人（同 20.6%）となった。（複数回答の結果）

グラフ 興味・関心のあるコース（「問7」結果より）



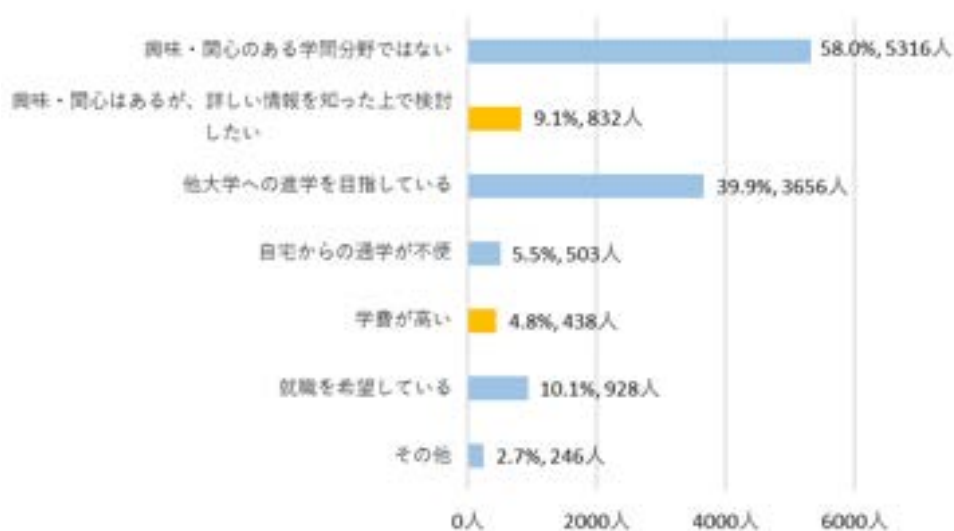
n=418 (問5で受験したいを選択した回答者)

● 受験・入学意欲を示した者のほかにも、今後の広報活動を通して受験者になり得る者が存在

「教育学部 教育学科（仮称）」を「現時点では受験しない」とした 9,162 人に対し、その理由について質問したところ「興味・関心はあるが、詳しい情報を知った上で検討したい」とした回答者が 832 人（回答者 9,162 人のうち、9.1%）、「学費が高い」とした回答者が 438 人（同 4.8%）存在した。

「現時点で受験しない」としたものの、奨学金等の経済的支援策の充実、また今後の広報活動を通じて受験者になり得る者も一定数存在することが確認できる。

グラフ 「教育学部 教育学科（仮称）」を受験しない理由（問8結果より）



n=9,162（問5で現時点では受験しないを選択した回答者）

以上の結果より、兵庫大学が令和5（2023）年4月に設置を予定する「教育学部 教育学科（仮称）」の学生の確保の見通しは、予定する入学定員を上回る回答を得たため、定員の確保は十分に可能であると考えられる。

添付資料

兵庫大学「教育学部 教育学科（仮称）」
設置構想についての高校生アンケート調査用紙

開設場所: 兵庫県加古川市平岡町新在家2301

修業年限: 4年

入学定員: 100名 (収容定員410名 (3年次編入定員5名))

取得学位: 学士 (教育学)

育成する人材: 建学の精神に基づき「感謝・寛容・互譲」のこころを基盤として、教員としての使命感や情熱を持ち、高度な専門知識・技能と実践力に優れ、多様性に対応しながら、地域社会に貢献できる人材を育成します。

取得可能な資格: 幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状、特別支援学校教諭一種免許状 (知・肢・病) 保育士資格、兵庫大学特別支援保育士 (本学独自資格)

◆ 学びの特色

教育学部教育学科は、これからの時代に求められる教育を実現する社会的要請に応えるため、子どもの成長と発達についての総合的な理解と広い視野の上に、使命感、得意分野、個性を備え、教育の課題に適切に対応できる実践力と人間性に優れた人材を養成します。

POINT 01 ICT教育への対応

学校現場で1人1台の学習用端末の導入が進むなか、教育の質の向上や時代が求める新しい学びの実現に向け、ICTを活用する専門知識や能力を修得します。また、一人ひとりに合わせた学びの最適化や学習の効率化にICTを活用し、子どもたちに主体的な学びを身に付けさせる力を養います。

POINT 02 実践的スキルの修得

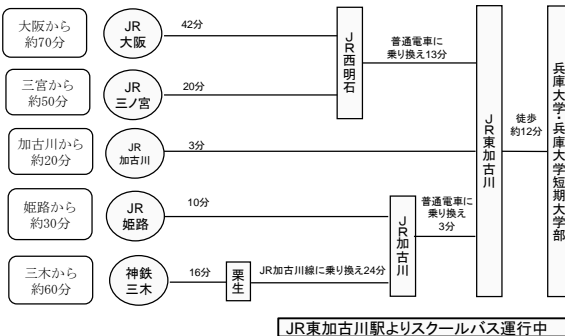
一人ひとりの教育的ニーズを感知し、個々の能力や適性に合わせた学習指導を行う力を養います。IEP (Individualized Education Plan) を推進する上で、確かな知識を修得し、実践をととして幅広い視野と洞察力、実践的スキルを身に付けます。

POINT 03 地域連携教育

地元加古川市の教育委員会をはじめとした近隣の学校現場と連携し、「知る」「発見する」「取り組む」という着実なステップで教育実習を行い、地域の人々と共に学校や地域の課題を発見・解決する能力を修得します。また、地域の資源を活かし、大学が教育と研究の中核を担い、教育研究の成果の還元に貢献します。

幼稚園教諭
小学校教諭
特別支援学校教諭
保育士 / 保育教諭 / 医療保育士
児童福祉施設職員 / 学習塾講師 など

本学へのアクセス



初年時納入金 (他大学を含む)

大学	学部・学科	入学金	初年度授業料	教育充実費・施設設備費等	計
兵庫大学	教育学部 教育学科	200,000	890,000	200,000	1,290,000
関西国際大学	教育学部 教育福祉学科	300,000	857,000	302,000	1,459,000
神戸親和女子大学	発達教育学部 児童教育学科	230,000	870,000	300,000	1,400,000
神戸女子大学	文学部 教育学科	250,000	850,000	270,000	1,370,000
関西福祉大学	教育学部 児童教育学科	200,000	850,000	200,000	1,250,000



兵庫大学 教育学部 教育学科 (仮称・設置構想中)

設置構想についての高校生アンケート調査 (対象：2021年度現在、高校2年生の皆さん)

兵庫大学（兵庫県加古川市平岡町）は2023年4月に「教育学部 教育学科（仮称）」を新設することを構想しています。本学ではアンケート調査を通して、2023年度に大学進学時期を迎える現・高校2年生の皆さんからさまざまなご意見をお聞きし、構想内容に反映したいと考えています。皆さんから得られた情報は兵庫大学の「教育学部 教育学科（仮称）」設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。

アンケート調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

※このアンケート調査は兵庫大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

記入例を参考にご回答ください。



問1 あなたが現在お住まいの場所をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 兵庫県 大阪府 京都府 岡山県 徳島県 香川県 鳥取県 島根県
 その他（ ）

問2 性別をお答えください。（あてはまるものにマーク）

- 男性 女性

問3 高校卒業後の希望進路をお答えください。（現時点であてはまるもの1つにマーク）

- 進学 就職 現時点では未定

問4 兵庫大学についてお答えください。（あてはまるものすべてにマーク）

- | | |
|--|---|
| <input type="radio"/> 兵庫大学という名前を聞いたことがある | <input type="radio"/> ホームページを見たことがある |
| <input type="radio"/> 資料を取り寄せたことがある | <input type="radio"/> オープンキャンパスに参加したことがある |
| <input type="radio"/> 入学・卒業した人を知っている | <input type="radio"/> 全く知らない |

※問5以降は、兵庫大学「教育学部 教育学科（仮称）」の概要をご覧の上でお答えください。

問5 あなたは兵庫大学が設置構想中の「教育学部 教育学科（仮称）」を受験したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

- 受験したい ⇒以下の問6・7にお答えください。
 現時点では受験しない ⇒以下の問8にお答えください。





※問6・問7は、問5で「受験したい」と回答した方がお答えください。

問6 あなたは兵庫大学が設置構想中の「教育学部 教育学科（仮称）」に受験して合格した場合、入学したいと思いますか。
（あてはまるもの1つにマーク）

- 合格した場合、入学したい 合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい

問7 兵庫大学が設置構想中の「教育学部 教育学科（仮称）」で、現時点であなたが興味・関心のある資格・免許をお答えください。
（あてはまるものすべてにマーク）

- 幼稚園教諭一種免許状
 小学校教諭一種免許状
 特別支援学校教諭一種免許状（知・肢・病）
 保育士資格
 兵庫大学特別支援保育士（本学独自資格）

※問8は、問5で「現時点では受験しない」と回答した方がお答えください。

問8 兵庫大学が設置構想中の「教育学部 教育学科（仮称）」を「現時点では受験しない」とした理由について、
お答えください。（あてはまるものすべてにマーク）

- 興味・関心のある学問分野ではない 興味・関心はあるが、詳しい情報を知った上で検討したい
 他大学への進学を目指している 自宅からの通学が不便
 学費が高い 就職を希望している
 その他（ ）

質問は以上となります。ご協力いただき、ありがとうございました。



兵庫大学「教育学部 教育学科（仮称）」
編入学についてのアンケート調査
報告書

令和4年1月

株式会社高等教育総合研究所

目次

1	調査の概要	1
2	全質問項目の集計結果	2
3	集計結果のポイント	5

添付資料

兵庫大学「教育学部 教育学科（仮称）」編入学についてのアンケート調査設問

1 調査の概要

- ◆調査の目的 : 本調査は、兵庫大学が令和 5 (2023) 年 4 月設置に向けて構想中の「教育学部 教育学科 (仮称)」の編入学生の学生確保の見通しを、大学外の公正な第三者機関によりアンケートを用いて測ることを目的とする。

- ◆調査期間 : 令和 3 (2021) 年 11 月

- ◆調査対象 : 幼児教育・保育または初等教育の現場で勤務される方、教育・保育学関係の短期大学または教育・保育系専門学校を卒業された方、その他社会人等をアンケートの対象とした。

- ◆調査方法 : 近畿圏に在住の上記対象者に対して Web にてアンケートを実施。兵庫大学「教育学部 教育学科 (仮称)」の概要を確認したうえで、アンケートへの回答をお願いした。

- ◆調査内容 : アンケート項目は全 10 問で、全て選択肢式とした。
主な質問内容は、以下の通りである。
『回答者の基本情報 (性別・居住地・現在の状況) について』
『回答者の関心のある勤務先について』
『兵庫大学「教育学部 教育学科 (仮称)」への編入学受験・入学意欲について』

- ◆有効回答件数 : 5,122 件

2 全質問項目の集計結果

※「構成比」(%) はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0% と一致しない。

2～4 ページは、アンケートで回答を得た 5,122 人の回答結果に基づく全質問項目の集計結果である。

問1 現在住まいの場所をお答えください。(あてはまるもの1つ)

選択項目	回答数	構成比
兵庫県	1434	28.0%
大阪府	2180	42.6%
京都府	636	12.4%
奈良県	354	6.9%
和歌山県	158	3.1%
滋賀県	321	6.3%
その他	39	0.8%
計	5,122	100.0%

問2 性別をお答えください。(あてはまるもの1つ)

選択項目	回答数	構成比
男性	2,941	57.4%
女性	2,181	42.6%
計	5,122	100.0%

問3 年代をお答えください。(あてはまるもの1つ)

選択項目	回答数	構成比
10代未満	0	0.0%
10代	0	0.0%
20代	425	8.3%
30代	910	17.8%
40代	1,654	32.3%
50代以上	2,133	41.6%
計	5,122	100.0%

※10代以下は回答数が一行であったため集計対象数から除外

問4 現在の状況についてお答えください。(あてはまるもの1つ)

選択項目	回答数	構成比
幼稚園に勤務中	37	0.7%
保育園・保育所に勤務中	84	1.6%

認定こども園に勤務中	59	1.2%
その他(福祉施設)に勤務中	212	4.1%
その他(企業)に勤務中	2676	52.2%
この中にはない	2054	40.1%
計	5,122	100.0%

問5 取得されている学位・称号をお答えください。(あてはまるもの全て)

- ※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。
- ※ 構成比は、回答者 5,122 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目	回答数	構成比
短期大学士	688	13.4%
学士	3428	66.9%
修士	820	16.0%
専門士	265	5.2%
高度専門士	57	1.1%
その他	59	1.2%
計	5,317	—

問6 兵庫大学が設置構想中の「教育学部 教育学科(仮称)」では、2025年4月より3年次編入の受け入れを予定しています。あなたは「教育学部 教育学科(仮称)」への編入学を希望し、受験したいと思えますか。(あてはまるもの1つ)

選択項目	回答数	構成比
受験したい	308	6.0%
現時点では受験しない	4,814	94.0%
計	5,122	100.0%

以下の問7は、問6で「受験したい」を選択した 308 人の集計結果。

問7 兵庫大学の「教育学部 教育学科(仮称)」の3年次編入学試験に合格した場合、入学しますか。(あてはまるもの1つ)

- ※ 構成比は、回答者 308 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目	回答数	構成比
合格した場合、入学する	164	53.2%
合格した場合、状況によって入学する	143	46.4%
無回答	1	0.3%
計	308	100.0%

以下の問8は、問7で「状況によって入学する」とした 143 人の集計結果

問8 問7で「状況によって入学する」とした理由をお答えください。(あてはまるものすべて)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答者 143 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目	回答数	構成比
勤務する職場の状況によって判断する	81	56.6%
家庭の状況によって判断する	70	49.0%
奨学金・学費減免制度の有無によって判断する	44	30.8%
他大学の編入学試験も受験するため、その可否結果次第で判断する	22	15.4%
その他	0	0.0%
計	217	—

以下の問9は、問6で「現時点では受験しない」とした 4,814 人の集計結果

問9 問6で「現時点では受験しない」とした理由について、お答えください。(あてはまるものすべて)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答者 4,814 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目	回答数	構成比
興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したい	343	7.1%
自宅からの通学が不便(時間が取れない)	449	9.3%
他大学への編入学を考えている	34	0.7%
学費等金銭的負担が大きい	502	10.4%
興味・関心がない	3,760	78.1%
その他	159	3.3%
計	5,247	—

問10 今後の勤務先として関心があるものをお答えください。(あてはまるものすべて)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答者 5,122 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目	回答数	構成比
幼稚園	145	3.0%
保育園・保育所	210	4.4%
認定こども園	160	3.3%
小学校	214	4.4%
特別支援学校	186	3.9%
その他	107	2.2%
特になし	4,107	85.1%
計	5,129	—

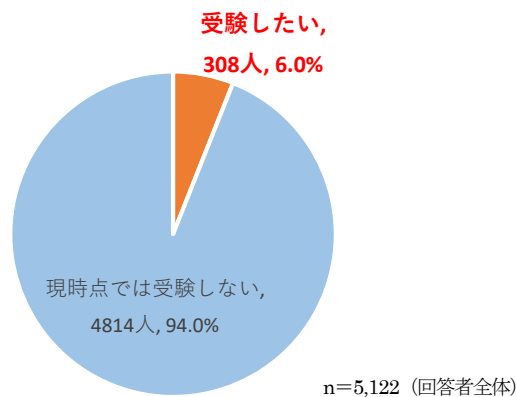
3 集計結果のポイント

※「構成比」(%) はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0% と一致しない。

- 「教育学部 教育学科 (仮称)」への編入学に対し、308 人が受験意欲を示す

「教育学部 教育学科 (仮称)」の概要を示した上で、受験意欲について質問したところ、308 人 (回答者全体の 6.0%) が「受験したい」と回答した。

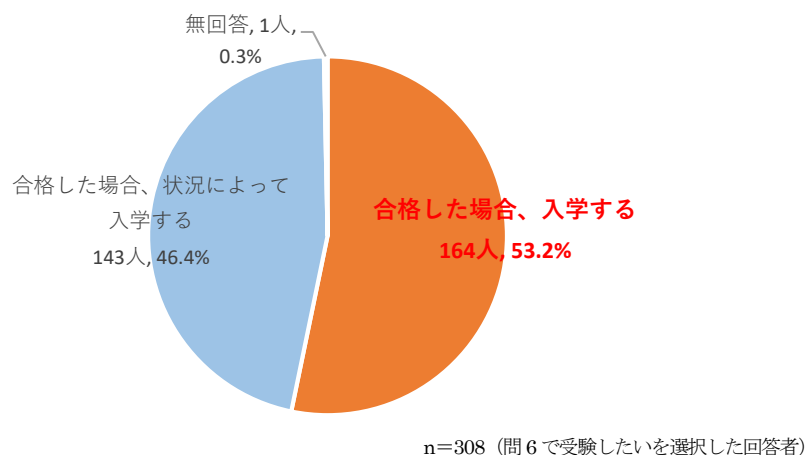
グラフ 「教育学部 教育学科 (仮称)」編入学への受験意欲 (「問 6」結果より)



- 164 人が「教育学部 教育学科 (仮称)」に編入したいと回答

問 6 において「受験したい」と回答した 308 人のうち、編入学意欲について質問したところ、予定される編入学定員 5 人を超える 164 人が「編入学試験に合格した場合、入学したい」と回答、143 人が「合格した場合、状況によって入学する」と回答した。「教育学部 教育学科 (仮称)」の予定する編入学定員 5 人を超える入学希望者が存在することが確認された。

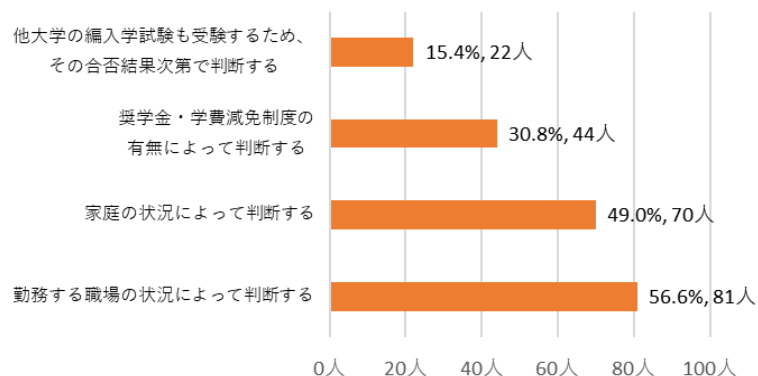
グラフ 「教育学部 教育学科 (仮称) (仮称)」への入学意欲 (「問 7」結果より)



● 3割が奨学金・学費減免制度の有無によって判断すると回答

問7で「合格した場合、状況によって入学する」と回答した143人に対し、どのような状況であれば入学するかと質問したところ、「勤務する職場の状況によって判断する」が最も多く、回答者全体の56.6%にあたる81人が回答。次に「家庭の状況によって判断する」を回答者全体の49.0%にあたる70人が回答した。また、回答者の約3割にあたる44人が「奨学金・学費減免制度の有無によって判断する」と回答した。

グラフ 状況により入学する理由（「問8」結果より）



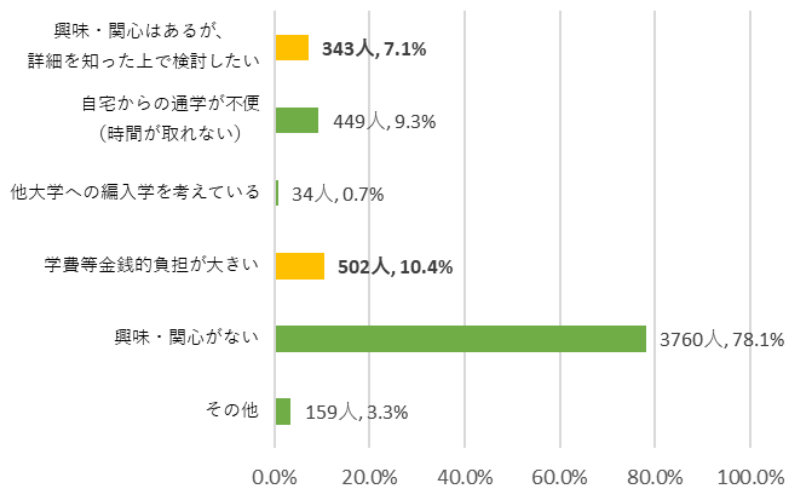
n=217（問7の「状況によって入学する」を選択した回答者）

● 受験・入学意欲を示した者のほかにも、今後の広報活動を通して受験者になり得る者が存在

問6で「教育学部 教育学科（仮称）」の3年次編入学試験を「現時点では受験しない」とした5,247人に対し、その理由について質問したところ「興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したい」とした回答者が343人（回答者5,247人のうち、7.1%）、「学費等金銭的負担が大きい」とした回答者が502人（同10.4%）存在した。

「現時点では受験しない」としたものの、奨学金等の経済的支援策の充実、また今後の広報活動を通じて受験者になり得る者も一定数存在することが確認できる。

グラフ 「教育学部 教育学科（仮称）」を受験しない理由（問8結果より）



n=5,247（問6で現時点では受験しないを選択した回答者）

以上の結果より、兵庫大学が設置を予定する「教育学部 教育学科（仮称）」の編入学生の確保の見通しは、予定する編入学定員を上回る回答を得たため、定員の確保は十分に可能であると考えます。

添付資料

兵庫大学「教育学部 教育学科（仮称）」
設置構想についての編入学アンケート調査設問

開設場所: 兵庫県加古川市平岡町新在家2301

修業年限: 4年

入学定員: 100名 (収容定員410名 (3年次編入定員5名))

取得学位: 学士 (教育学)

育成する人材: 建学の精神に基づき「感謝・寛容・互譲」のこころを基盤として、教員としての使命感や情熱を持ち、高度な専門知識・技能と実践力に優れ、多様性に対応しながら、地域社会に貢献できる人材を育成します。

取得可能な資格: 幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状、特別支援学校教諭一種免許状 (知・肢・病) 保育士資格、兵庫大学特別支援保育士 (本学独自資格)

◆ 学びの特色

教育学部教育学科は、これからの時代に求められる教育を実現する社会的要請に応えるため、子どもの成長と発達についての総合的な理解と広い視野の上に、使命感、得意分野、個性を備え、教育の課題に適切に対応できる実践力と人間性に優れた人材を養成します。

POINT 01 ICT教育への対応

学校現場で1人1台の学習用端末の導入が進むなか、教育の質の向上や時代が求める新しい学びの実現に向け、ICTを活用する専門知識や能力を修得します。また、一人ひとりに合わせた学びの最適化や学習の効率化にICTを活用し、子どもたちに主体的な学びを身に付けさせる力を養います。

POINT 02 実践的スキルの修得

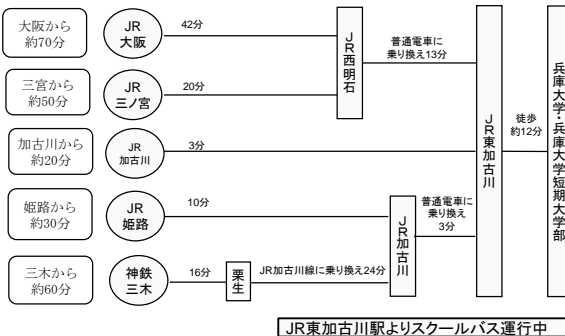
一人ひとりの教育的ニーズを感知し、個々の能力や適性に合わせた学習指導を行う力を養います。IEP (Individualized Education Plan) を推進する上で、確かな知識を修得し、実践をととして幅広い視野と洞察力、実践的スキルを身に付けます。

POINT 03 地域連携教育

地元加古川市の教育委員会をはじめとした近隣の学校現場と連携し、「知る」「発見する」「取り組む」という着実なステップで教育実習を行い、地域の人々と共に学校や地域の課題を発見・解決する能力を修得します。また、地域の資源を活かし、大学が教育と研究の中核を担い、教育研究の成果の還元に貢献します。

幼稚園教諭
小学校教諭
特別支援学校教諭
保育士 / 保育教諭 / 医療保育士
児童福祉施設職員 / 学習塾講師 など

本学へのアクセス



初年時納入金 (他大学を含む)

大学	学部・学科	入学金	初年度授業料	教育充実費・施設設備費等	計
兵庫大学	教育学部 教育学科	200,000	890,000	200,000	1,290,000
関西国際大学	教育学部 教育福祉学科	300,000	857,000	302,000	1,459,000
神戸親和女子大学	発達教育学部 児童教育学科	230,000	870,000	300,000	1,400,000
神戸女子大学	文学部 教育学科	250,000	850,000	270,000	1,370,000
関西福祉大学	教育学部 児童教育学科	200,000	850,000	200,000	1,250,000

兵庫大学
教育学部 教育学科（仮称・設置構想中）
編入学についてのアンケート調査
（対象：幼児教育・保育または初等教育の現場で勤務される方）

兵庫大学（兵庫県加古川市平岡町）は2023年4月に「教育学部 教育学科（仮称）」を新設し、2025年4月より3年次編入生（編入学定員5名）の受け入れを開始する予定です。対象は幼児教育・保育または初等教育の現場で勤務される方、もしくは教育・保育学関係の短期大学、教育・保育系専門学校を卒業された方となります。このアンケート調査を通して皆様から様々なご意見をお聞きし、構想内容に反映したいと考えています。皆様から得られた情報は兵庫大学の「教育学部 教育学科（仮称）」設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。

アンケート調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

問1 現在お住まいの場所をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

兵庫県 大阪府 京都府 奈良県 和歌山県 滋賀県 その他

問2 性別をお答えください。（あてはまるものにマーク）

男性 女性

問3 年代をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

10代未満 10代 20代 30代 40代 50代以上

問4 現在の状況についてお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

幼稚園に勤務中
保育園・保育所に勤務中
認定こども園に勤務中
その他（福祉施設）に勤務中
その他（企業）に勤務中
この中にはない

問5 取得されている学位・称号をお答えください（あてはまるものすべてにマーク）

短期大学士 学士 修士 専門士 高度専門士 その他

※問 6 以降は、兵庫大学「教育学部 教育学科（仮称）」の概要をご覧の上でお答えください。

問 6 兵庫大学が設置構想中の「教育学部 教育学科（仮称）」では、2025 年 4 月より 3 年次編入の受け入れを予定しています。あなたは「教育学部 教育学科（仮称）」への編入学を希望し、受験したいと思いますか。（あてはまるもの 1 つにマーク）

受験したい ⇒以下の問 7・8 にお答えください。

現時点では受験しない ⇒以下の問 9 にお答えください。

※以下の問 7・8 は、問 6 で「受験したい」と回答した方がお答えください。

問 7 兵庫大学の「教育学部 教育学科（仮称）」の 3 年次編入学試験に合格した場合、入学しますか。（あてはまるもの 1 つにマーク）

合格した場合、入学する

合格した場合、状況によって入学する

問 8 問 7 で「状況によって入学する」とした理由をお答えください。

（あてはまるものすべてにマーク）

勤務する職場の状況によって判断する

家庭の状況によって判断する

奨学金・学費減免制度の有無によって判断する

他大学の編入学試験も受験するため、その合否結果次第で判断する

その他

※問 9・10 は、問 6 で「現時点では受験しない」と回答した方がお答えください。

問 9 問 6 で「現時点では受験しない」とした理由について、お答えください。

（あてはまるものすべてにマーク）

興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したい

自宅からの通学が不便（時間が取れない）

他大学への編入学を考えている

学費等金銭的負担が大きい

興味・関心がない

その他

問 10 今後の勤務先として関心があるものをお答えください。

(あてはまるものすべてにマーク)

幼稚園

保育園・保育所

認定こども園

小学校

特別支援学校

その他

特になし

※質問は以上です。ありがとうございました。

(資料 10)

兵庫大学 生涯福祉学部「社会福祉学科」
編入学についてのアンケート調査
報告書

令和 4 年 1 月

株式会社高等教育総合研究所

目次

1	調査の概要	1
2	全質問項目の集計結果	2
3	集計結果のポイント	5

添付資料

兵庫大学 生涯福祉学部「社会福祉学科」編入学についてのアンケート調査設問

1 調査の概要

- ◆調査の目的 : 本調査は、兵庫大学が令和 5 (2023) 年 4 月に収容定員増を構想中の生涯福祉学部「社会福祉学科」の編入学生の学生確保の見通しを、大学外の公正な第三者機関によりアンケートを用いて測ることを目的とする。

- ◆調査期間 : 令和 3 (2021) 年 11 月～12 月

- ◆調査対象 : 福祉系 (介護福祉、児童福祉を主とする) の短期大学または専門学校に在学中の方をアンケートの対象とした。

- ◆調査方法 : 近畿圏及び本学と関係のある上記対象に対して郵送にてアンケートを実施。兵庫大学の生涯福祉学部「社会福祉学科」の概要を確認したうえで、アンケートへの回答をお願いした。

- ◆調査内容 : アンケート項目は全 10 問で、全て選択肢式とした。
主な質問内容は、以下の通りである。
『回答者の基本情報 (性別・居住地・現在の状況) について』
『回答者の関心のある勤務先について』
『兵庫大学 生涯福祉学部「社会福祉学科」への編入学受験・入学意欲について』

- ◆有効回答件数 : 691 件

2 全質問項目の集計結果

※「構成比」(%) はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0% と一致しない。

2～4 ページは、アンケートで回答を得た 691 人の回答結果に基づく全質問項目の集計結果である。

問1 現在お住まいの場所をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目	回答数	構成比
兵庫県	141	20.4%
大阪府	96	13.9%
京都府	24	3.5%
奈良県	9	1.3%
和歌山県	60	8.7%
滋賀県	1	0.1%
その他	335	48.5%
無回答	25	3.6%
計	691	100.0%

問2 性別をお答えください。(あてはまるものにマーク)

選択項目	回答数	構成比
男性	105	15.2%
女性	577	83.5%
無回答	9	1.3%
計	691	100.0%

問3 年代をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目	回答数	構成比
10代	469	67.9%
20代	172	24.9%
30代	29	4.2%
40代	7	1.0%
50代以上	11	1.6%
無回答	3	0.4%
計	691	100.0%

問4 現在の状況についてお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目	回答数	構成比
短期大学1年次	381	55.1%
短期大学2年次	127	18.4%
専門学校1年次	118	17.1%
専門学校2年次	13	1.9%
専門学校3年次	0	0.0%
専門学校4年次	0	0.0%
無回答	52	7.5%
計	691	100.0%

問5 兵庫大学が定員増構想中の生涯福祉学部「社会福祉学科」では、2023年4月より3年次編入の受け入れを予定しています。あなたは生涯福祉学部「社会福祉学科」への編入学を希望し、受験したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目	回答数	構成比
受験したい	74	10.7%
現時点では受験しない	608	88.0%
無回答	9	1.3%
計	691	100.0%

以下の問6は、問5で「受験したい」を選択した74人の集計結果。

問6 兵庫大学の生涯福祉学部「社会福祉学科」の3年次編入学試験に合格した場合、入学しますか。(あてはまるもの1つにマーク)

※ 構成比は、回答者74人のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目	回答数	構成比
合格した場合、入学する	27	36.5%
合格した場合、状況によって入学する	46	62.2%
無回答	1	1.4%
計	74	100.0%

以下の問7は、問6で「状況によって入学する」を選択した46人の集計結果。

問7 問6で「状況によって入学する」とした理由をお答えください。(あてはまるものすべてにマーク)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答者46人のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目	回答数	構成比
家庭の状況によって判断する	19	25.7%
就職活動の状況によって判断する	14	18.9%
奨学金・学費減免制度の有無によって判断する	26	35.1%
教育方針により判断する	5	6.8%
他大学の編入学試験も受験するため、その可否結果次第で判断する	1	1.4%
入学後の学生サポートの手厚さにより判断する	4	5.4%
その他	5	6.8%

以下の問8は、問5で「現時点では受験しない」とした 608 人の集計結果

問8 問5で「現時点では受験しない」とした理由について、お答えください。
(あてはまるものすべてにマーク)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答者 608 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目	回答数	構成比
興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したい	96	15.8%
自宅からの通学が不便	166	27.3%
他大学への編入学を考えている	16	2.6%
学費等金銭的負担が大きい	165	27.1%
興味・関心がない	313	51.5%
その他	47	7.7%

3 集計結果のポイント

※「構成比」(%) はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0% と一致しない。

- 生涯福祉学部「社会福祉学科」への編入学に対し、74 人が受験意欲を示す

生涯福祉学部「社会福祉学科」の概要を示した上で、編入学への受験意欲について質問したところ、74 人（回答者全体の 10.7%）が「受験したい」と回答した。

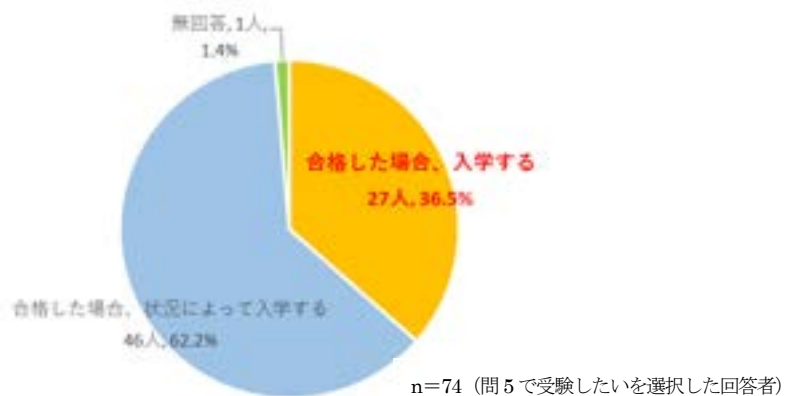
グラフ 生涯福祉学部「社会福祉学科」への編入学への受験意欲（「問5」結果より）



- 27 人が生涯福祉学部「社会福祉学科」に編入したいと回答

問5において「受験したい」と回答した 74 人のうち、編入学意欲について質問したところ、予定される編入学定員 5 人を超える 27 人が「編入学試験に合格した場合、入学したい」と回答、46 人が「合格した場合、状況によって入学する」と回答した。生涯福祉学部「社会福祉学科」の予定する編入学定員 5 人を超える入学希望者が存在することが確認された。

グラフ 生涯福祉学部「社会福祉学科」への編入学意欲（「問6」結果より）



● 約4割が奨学金・学費減免制度の有無によって判断

問6で「状況によって入学する」と回答した46人に対し、理由を質問したところ、「奨学金・学費減免制度の有無によって判断する」としたのが最も多く、回答者全体の35.1%にあたる26人が回答した。ほか「家庭の状況によって判断する」としたのは回答者の25.7%にあたる19人、「就職活動の状況によって判断する」としたのは回答者18.9%にあたる14人が回答した。

グラフ 状況により入学する理由（「問7」結果より）



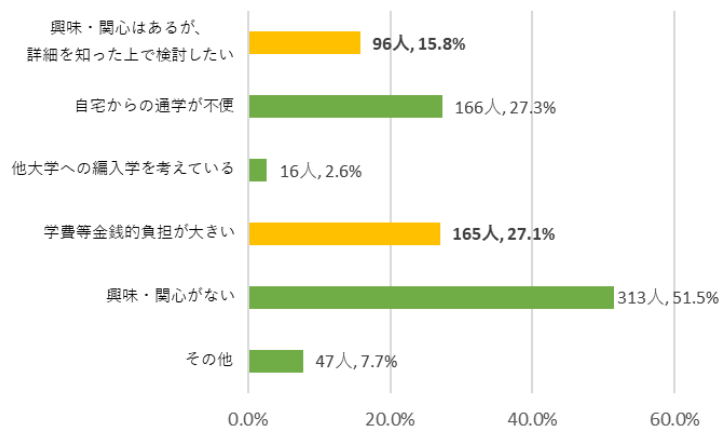
n=46（問6の「状況によって入学する」を選択した回答者）

● 受験・入学意欲を示した者のほかにも、今後の広報活動を通して受験者になり得る者が存在

問5で生涯福祉学部「社会福祉学科」の3年次編入学試験を「現時点では受験しない」とした608人に対し、その理由について質問したところ「興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したい」とした回答者が96人（回答者608人のうち、15.8%）、「学費等金銭的負担が大きい」とした回答者が165人（同27.1%）存在した。

「現時点では受験しない」としたものの、奨学金等の経済的支援策の充実、また今後の広報活動を通じて受験者になり得る者も一定数存在することが確認できる。

グラフ 生涯福祉学部「社会福祉学科」を受験しない理由（問8結果より）



n=608（問5で現時点では受験しないを選択した回答者）

以上の結果より、兵庫大学が定員増を予定する生涯福祉学部「社会福祉学科」の編入学生の確保の見通しは、予定する編入学定員を上回る回答を得たため、定員の確保は十分に可能であると考えます。

添付資料

兵庫大学 生涯福祉学部「社会福祉学科」
編入学についてのアンケート調査設問

学科の概要

開設場所：兵庫県加古川市平岡町新在家2301

修業年限：4年

入学定員：40名（収容定員170名（3年次編入定員5名））

取得学位：学士（社会福祉学）

育成する人材：社会福祉学科は、「和」の精神と地球規模でのソーシャルワークの価値と倫理を理解し、主に小都市・町村において実践する福祉の専門職を養成するとともに、生涯にわたって福祉社会の一翼を担う市民の育成を目指します。

取得可能な資格：社会福祉士（国家試験受験資格） ※編入学生は「社会福祉士」のみ取得可能

精神保健福祉士（国家試験受験資格）、高等学校教諭一種免許状「福祉」

社会福祉主事任用資格、児童指導員任用資格、福祉レクリエーション・ワーカー

学科の特色

◆ 学科の特色

一人ひとりの個性や適性に応じたきめ細かい教育を行い、将来の福祉専門職者として、幅広く活躍できる社会福祉のプロフェッショナル育成を目指しています。

POINT 01 社会福祉士・精神保健福祉士合格率は兵庫県No.1の実績！
入学時から国家試験を意識する指導を行い、計画的に受験勉強を進めます。国家試験対策講座は、本学教員による充実の講座を実施し、無料の学内模試を12回実施。さらに、学外模試では、受験費用の一部補助等受験環境を整え、物心両面のサポートを実現しています。

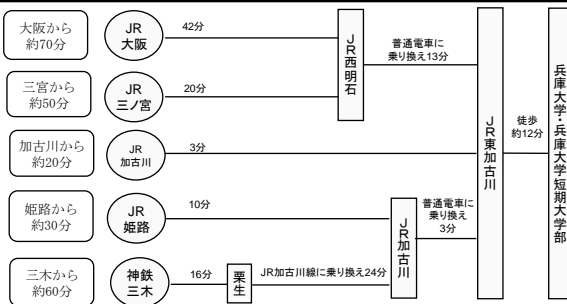
POINT 02 実務経験を有する専任教員が実践的な授業を展開
医療ソーシャルワーカー（MSW）、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）、スクールソーシャルワーカー（SSW）、精神科ソーシャルワーカー（PSW）としての実務経験を有する専任教員たちを配置しています。また、2020年度よりすべての学生が学外での実習に参加し、学内での実習を含むと総実習時間は600時間と他大学の2倍。専任教員による実習は専門性が高く、学生は自分が希望する実習を選択でき、実践力を高めます。

POINT 03 実際の臨床現場を学内に再現し、国内有数の最新設備で実践的な学び
本学科の特徴とする「コミュニケーションラボシステム」では、お互いの表情を録画しながら相談業務のロールプレイングを行います。利用者が発信するメッセージを引き出し、読み取る方法を学びます。さらに「特殊浴槽」では、入浴介助の実体験を行うことで、利用者レベルに合わせた入浴方法を選択できるなど、判断基準を身につけます。

卒業後の進路

高齢者施設、障害者施設
児童福祉施設、保健・医療機関
地域福祉機関、地域行政機関
学校・教育機関 など

本学へのアクセス



JR東加古川駅よりスクールバス運行中

初年時納入金（他大学を含む）

大学	学部・学科	入学金	初年度授業料	教育充実費・施設設備費等	計
兵庫大	生涯福祉学部 社会福祉学科	200,000	990,000	200,000	1,390,000
神戸学院大学	総合リハビリテーション学部 社会リハビリテーション学科	300,000	870,000	300,000	1,470,000
神戸女子大学	健康福祉学部 社会福祉学科	250,000	850,000	270,000	1,370,000
関西福祉大学	社会福祉学部 社会福祉学科	200,000	780,000	230,000	1,210,000
神戸医療福祉大学	人間社会学部 社会福祉学科	200,000	700,000	300,000	1,200,000



兵庫大学 生涯福祉学部 社会福祉学科 (学科定員増構想中)

編入学についてのアンケート調査

(対象：福祉系の短期大学、専門学校に在学中の方)

兵庫大学（兵庫県加古川市平岡町）は2023年4月、生涯福祉学部「社会福祉学科」に3年次編入枠（編入学定員5名）を設けて定員増を構想しています。このアンケート調査を通して皆様から様々なご意見をお聞きし、構想内容に反映したいと考えています。皆様から得られた情報は兵庫大学の定員増構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。

アンケート調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

※このアンケート調査は兵庫大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

記入例を参考にご回答ください。



問1 現在お住まいの場所をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 兵庫県 大阪府 京都府 奈良県 和歌山県 滋賀県 その他（ ）

問2 性別をお答えください。（あてはまるものにマーク）

- 男性 女性

問3 年代をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 10代 20代 30代 40代 50代以上

問4 現在の状況についてお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 短期大学1年次 短期大学2年次
 専門学校1年次 専門学校2年次
 専門学校3年次 専門学校4年次

※問5以降は、兵庫大学 生涯福祉学部「社会福祉学科」の概要をご覧の上でお答えください。

問5 兵庫大学が定員増構想中の生涯福祉学部「社会福祉学科」では、2023年4月より3年次編入の受け入れを予定しています。あなたは生涯福祉学部「社会福祉学科」への編入学を希望し、受験したいと思いますか。

（あてはまるもの1つにマーク）

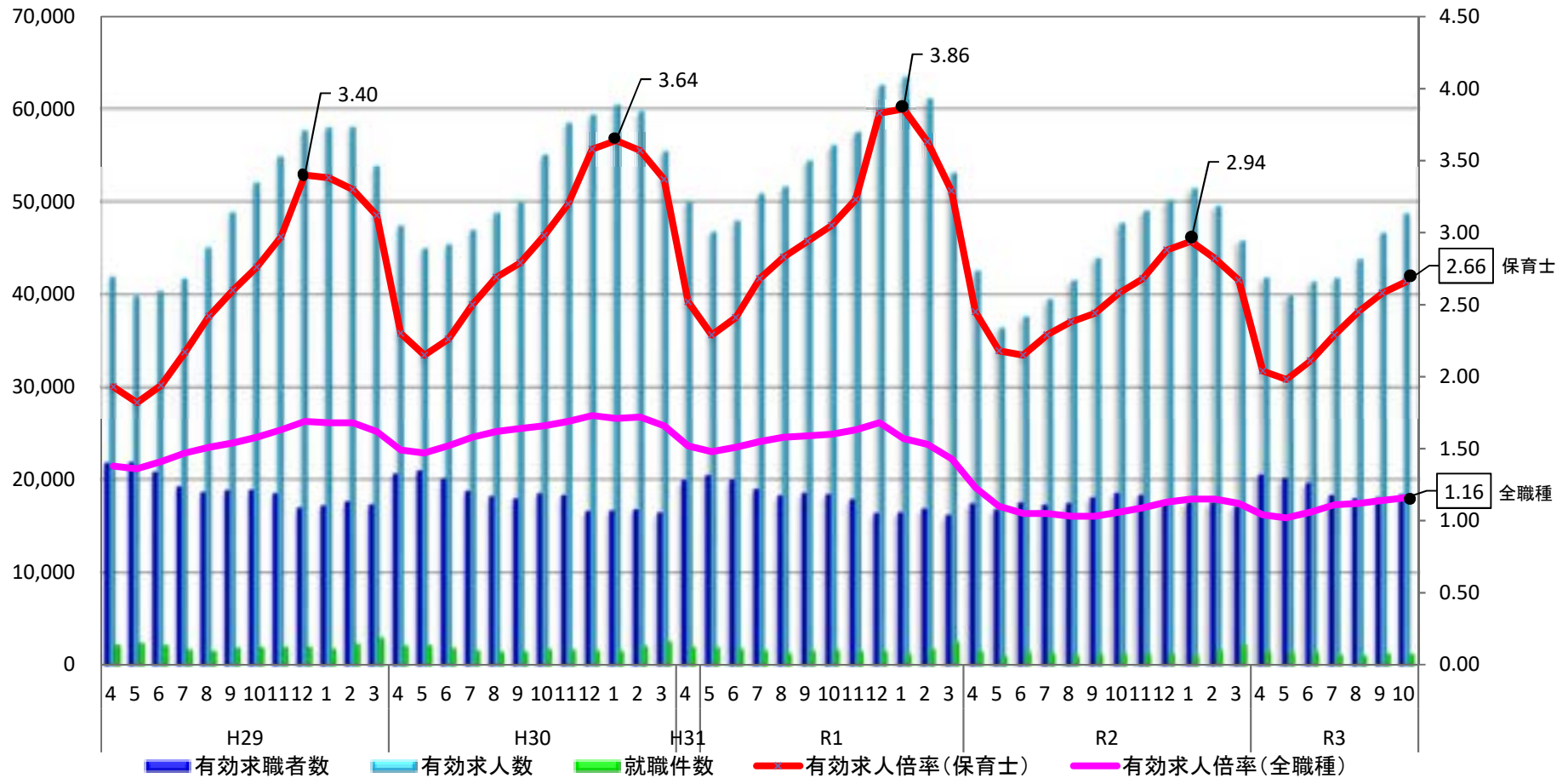
- 受験したい ⇒以下の問6・7にお答えください。
 現時点では受験しない ⇒以下の問8にお答えください。



(資料11)

保育士の有効求人倍率の推移 (全国)

○ 直近の令和3年10月の保育士の有効求人倍率は2.66倍(対前年同月比で0.08ポイント上昇)となっており、全職種平均の1.16倍(対前年同月比で0.1ポイント上昇)と比べると、依然高い水準で推移している。



(出典)一般職業紹介状況(職業安定業務統計)(厚生労働省)

※保育士の有効求人倍率について、各年度の最も高い月の数値を記載している。
※全職種の有効求人倍率は、実数である。

令和2年及び令和3年における保育士の各都道府県別有効求人倍率等の比較（各年10月時点）

令和2年10月時点

	新規求職 申込件数	有効 求職者数	新規 求人数	有効 求人数	有効 求人倍率
全国	3,638	18,523	18,219	47,701	2.58
北海道	170	935	1,021	2,090	2.24
青森	47	247	178	446	1.81
岩手	58	219	152	394	1.80
宮城	67	288	351	965	3.35
秋田	31	150	106	276	1.84
山形	35	147	122	362	2.46
福島	55	236	217	561	2.38
茨城	57	304	493	1,187	3.90
栃木	59	293	347	962	3.28
群馬	66	308	179	480	1.56
埼玉	155	861	1,838	3,346	3.89
千葉	122	671	547	1,782	2.66
東京	314	1,630	2,159	5,910	3.63
神奈川	152	939	941	2,843	3.03
新潟	58	270	326	628	2.33
富山	27	111	105	295	2.66
石川	35	150	92	254	1.69
福井	18	84	73	216	2.57
山梨	33	128	94	269	2.10
長野	72	323	189	437	1.35
岐阜	54	296	195	569	1.92
静岡	95	487	412	1,357	2.79
愛知	160	907	663	1,798	1.98
三重	39	210	143	443	2.11
滋賀	64	296	274	654	2.21
京都	74	470	287	1,152	2.45
大阪	243	1,360	1,650	4,577	3.37
兵庫	199	916	695	2,022	2.21
奈良	38	217	161	483	2.23
和歌山	38	152	76	209	1.38
鳥取	18	108	176	386	3.57
島根	27	135	122	286	2.12
岡山	74	300	345	799	2.66
広島	76	470	427	1,309	2.79
山口	40	234	143	353	1.51
徳島	40	130	82	315	2.42
香川	36	138	107	308	2.23
愛媛	51	205	151	405	1.98
高知	23	145	86	213	1.47
福岡	163	880	709	1,979	2.25
佐賀	39	175	120	331	1.89
長崎	71	326	165	479	1.47
熊本	68	400	236	612	1.53
大分	43	229	167	444	1.94
宮崎	54	258	211	503	1.95
鹿児島	116	482	437	977	2.03
沖縄	64	303	449	1,035	3.42

令和3年10月時点

	新規求職 申込件数	有効 求職者数	新規 求人数	有効 求人数	有効 求人倍率
全国	3,547	18,327	17,918	48,724	2.66
北海道	174	987	985	2,103	2.13
青森	34	219	162	416	1.90
岩手	44	229	192	396	1.73
宮城	63	273	353	934	3.42
秋田	28	138	64	240	1.74
山形	53	156	124	348	2.23
福島	50	188	222	518	2.76
茨城	72	309	439	1,145	3.71
栃木	60	280	463	1,312	4.69
群馬	55	288	142	452	1.57
埼玉	153	880	1,059	3,421	3.89
千葉	118	694	588	1,400	2.02
東京	281	1,631	2,156	5,693	3.49
神奈川	148	1,021	768	2,300	2.25
新潟	56	280	294	764	2.73
富山	21	110	123	333	3.03
石川	41	144	96	243	1.69
福井	29	81	81	271	3.35
山梨	38	118	90	250	2.12
長野	76	296	200	492	1.66
岐阜	65	288	203	574	1.99
静岡	97	475	320	1,377	2.90
愛知	141	937	874	2,097	2.24
三重	46	250	118	418	1.67
滋賀	45	236	183	538	2.28
京都	82	447	470	1,104	2.47
大阪	211	1,258	1,738	4,847	3.85
兵庫	168	908	784	2,057	2.27
奈良	54	205	165	430	2.10
和歌山	29	147	103	295	2.01
鳥取	22	91	90	301	3.31
島根	20	124	94	256	2.06
岡山	70	312	316	696	2.23
広島	81	412	604	1,495	3.63
山口	56	266	129	396	1.49
徳島	25	104	85	271	2.61
香川	31	146	106	308	2.11
愛媛	34	190	108	401	2.11
高知	21	141	90	194	1.38
福岡	172	963	872	2,545	2.64
佐賀	51	206	164	437	2.12
長崎	69	300	165	459	1.53
熊本	75	359	251	695	1.94
大分	34	214	204	506	2.36
宮崎	56	212	214	549	2.59
鹿児島	117	490	447	1,321	2.70
沖縄	81	324	420	1,126	3.48

出典：厚生労働省「職業安定業務統計」

(資料12) 兵庫県公立学校教員採用候補者選考試験結果

区分		平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	平成31年度 /令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	
小学校・特別支援学校	受験者数	2,238	2,150	1,947	1,769	1,817	1,636	
	合格者数	480	460	370	360	401	410	
	倍率	4.7	4.7	5.3	4.9	4.5	4.0	
	小学校	受験者数	2,221	2,132	1,937	1,761	1,810	1,631
		合格者数	450	430	350	340	381	392
		倍率	4.9	5.0	5.5	5.2	4.8	4.2
	特別支援学校	受験者数	222	210	215	187	193	176
		合格者数	30	30	20	20	20	18
		倍率	7.4	7.0	10.8	9.4	9.7	9.8
特別支援学校	受験者数	232	251	235	271	304	279	
	合格者数	30	30	30	50	62	60	
	倍率	7.7	8.4	7.8	5.4	4.9	4.7	

※「小学校・特別支援学校」には第2希望者を含む

※出典：兵庫県教育委員会の教員採用候補者選考試験に関するホームページ

(資料13) 大阪公立学校教員採用選考テスト結果

区分		平成25年度 (2013)	平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)
小学校	採用予定数	960	950	830	770	710
	志願者数	3,346	3,171	3,018	2,867	2,693
	受験者数	2,672	2,555	2,357	2,320	2,304
	合格者数	901	895	731	724	654
	最終倍率	3.0	2.9	3.2	3.2	3.5
支援学校 (幼小共通・小学部)	採用予定数	30	50	60	140	80
	志願者数	238	301	283	328	274
	受験者数	176	248	231	275	243
	合格者数	30	52	73	141	79
	最終倍率	5.9	4.8	3.2	2.0	3.1

区分		平成30年度 (2018)	平成31年度 /令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)
小学校	採用予定数	650	550	450	500	500
	志願者数	2,424	2,213	2,016	1,936	1,760
	受験者数	2,130	1,932	1,800	1,706	1,574
	合格者数	592	521	424	489	470
	最終倍率	3.6	3.7	4.2	3.5	3.3
支援学校 (幼小共通・小学部)	採用予定数	60	70	80	90	90
	志願者数	262	266	284	301	274
	受験者数	230	248	265	275	241
	合格者数	60	71	80	80	88
	最終倍率	3.8	3.5	3.3	3.4	2.7

※出典：大阪府教育委員会の公立学校教員採用選考テストに関するホームページ

(資料14)社会福祉の専門的職業の有効求人倍率

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
有効求人倍率	1.39	1.54	1.62	1.55	1.10
有効求人倍率 (社会福祉士の専門的職業)	2.75	2.99	3.18	2.88	—

※出典：有効求人倍率：一般職業紹介状況より

（社会福祉士の専門的職業）：福祉人材センター・バンク 職業紹介
実績報告 月次調査結果より

※数値は各年度3月末時点での平均

**ソーシャルワーク専門職である
社会福祉士に求められる役割等
について**

平成30年3月27日
社会保障審議会福祉部会
福祉人材確保専門委員会

(抜粋)

はじめに

- 近年、福祉ニーズの変化等に伴い、社会福祉士の活躍の場は、高齢者支援、障害児・者支援、子ども・子育て支援、生活困窮者支援といった分野のみならず、教育や司法などの様々な分野に広がってきている。時代やニーズの変化に合わせた各種制度改正が行われているものの、社会福祉士の養成カリキュラムについては、平成19年度に見直しが行われてから10年が経過している。
- 当専門委員会が平成27年2月25日にとりまとめた「2025年に向けた介護人材の確保～量と質の好循環の確立に向けて～」では、地域包括ケアシステムや生活支援における社会福祉士の役割や効果的な活用について、別途、検討することが求められるとされており、多様化・複雑化する地域の課題に対応できる能力をさらに開発・活用していくため、具体的な役割の明確化や実践力の強化等のための方策の検討が必要である。
- 一方、平成28年6月2日に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」では、子供・高齢者・障害者など全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現に向けて、支え手側と受け手側に分かれるのではなく、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、福祉などの地域の公的サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる仕組みの構築が掲げられている。
- こうした中、社会福祉士には、ソーシャルワークの専門職として、地域共生社会の実現に向け、多様化・複雑化する地域の課題に対応するため、他の専門職や地域住民との協働、福祉分野をはじめとする各施設・機関等との連携といった役割を担っていくことが期待されている。
- このため、その養成課程の中で、ソーシャルワークに関する知識や技術、社会保障制度、心理学など、学んだ知識・技術を現場での実践に活かせるよう、より実践的な能力を習得できるような教育カリキュラムを検討するとともに、社会福祉士が地域の中で果たすべき具体的役割を明確化し、関係者に対し、社会福祉士への理解の促進を図るなどの取組が求められている。
- 当専門委員会では、平成28年12月以降、計5回にわたり、地域共生社会の実現に向けて求められるソーシャルワークの機能やその中で社会福祉士が担うべき役割、多様化・複雑化する地域の課題に対応できる実践力の強化のための方策等について議論を行ってきたところであり、この報告書は、その議論の結果をとりまとめたものである。

総論

1 社会福祉士の現状について

- 社会福祉士は、社会福祉士の名称を用いて、専門的知識及び技術をもって社会福祉に関する相談援助を行うことを業とする名称独占の国家資格である。昭和63年の制度施行から現在に至るまで、約21万人（平成29年12月末現在）が資格を取得している。

- 社会福祉士の活躍の場は、高齢者支援、障害児・者支援、子ども・子育て支援、生活困窮者支援といった広い分野にわたっており、各種制度において、それぞれの制度趣旨を達成するため、社会福祉士が配置されている。支援対象者のニーズや置かれている環境の違いを考慮しつつ、養成課程で習得したソーシャルワークの知識や技術、社会保障制度や各種制度におけるサービスの知識等を活用し、生活の質（QOL）の向上に向けた支援やウェルビーイング（※）の状態を高めることを目指して相談援助を中心に実践に取り組んでいる。
※ ウェルビーイング（well-being）とは、人間が幸せであり続けることができている状態並びにそう願う行為することの全てを指している。（日本社会福祉士会編「改訂社会福祉士の倫理実践ガイドブック」）

- 社会福祉士の主な就労先は、高齢者福祉関係の割合が最も高く43.7%となっている。次いで、障害福祉関係17.3%、医療関係14.7%、地域福祉関係7.4%、児童・母子福祉関係4.8%、行政相談所3.4%となっており、様々な分野で就労している。就労先での職種を見ると、相談員・指導員の割合が高く34.0%となっており、次いで、介護支援専門員13.8%、施設長・管理者13.3%、事務職員8.6%、生活支援員6.6%、介護職員（ホームヘルパー含む）6.3%と多様な職種に従事している。
※「平成27年度社会福祉士・介護福祉士就労状況調査」（（公財）社会福祉振興・試験センター）

- また、生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業においても、その主任相談支援員の42.3%（平成29年度）が社会福祉士の有資格者であるなど、多くの社会福祉士が活躍している。
※ 厚生労働省社会・援護局調べ（平成29年4月1日時点）

- 行政分野で働く社会福祉士の資格保有者も増加してきており、福祉事務所における生活保護担当現業員の13.5%、生活保護担当査察指導員の8.7%が社会福祉士の有資格者である。
※ 厚生労働省社会・援護局調べ（平成28年10月1日時点）

- 教育分野においては、支援が必要な子どもを早期に発見し、関係機関につなぐことができるよう、スクールソーシャルワーカーの役割が重要とされているが、平成27年には、スクールソーシャルワーカーとして雇用された実人数のうち、50%が社

会福祉士資格を有している。

※ 文部科学省初等中等教育局調べ

- 司法分野においては、刑事施設及び少年院の受刑者等の出所後の地域生活支援のために、社会福祉士の活用や相談支援体制の整備等の必要性が指摘されており、平成 28 年度では、刑事施設において 99 人、少年院において 16 人が配置されるなど、社会福祉士の有資格者の配置が増えてきている。

※ 法務省矯正局調べ（非常勤の社会福祉士の人数）

2 社会福祉士を取り巻く状況の変化について

- 少子高齢化が進展する中で、我が国の社会や地域、人々の意識が変化してきており、高齢単身世帯や高齢夫婦のみの世帯が増加してきており、生活に困窮する高齢者の増加、地域における個人や世帯の孤立化など、これまで家族によって支えられてきた課題を地域社会で支えていくことが求められてきている。
- こうした社会状況の変化により、既存の制度では対応が難しい様々な課題が顕在化しつつある。例えば、制度が対象としていない生活課題への対応や複合的な課題を抱える世帯への対応、外部からは見えづらい個人や世帯が内在的に抱えている課題への対応など、ニーズの多様化・複雑化に伴って対応が困難となるケースや、社会保障分野だけでなく、教育分野や司法分野などの多様な分野においても対応が必要な課題が顕在化してきている。
- 例えば、教育分野では、いじめ、不登校、児童虐待、性同一性障害等のいわゆる「性的マイノリティ」など、児童生徒が抱える問題への対応が必要となっていることから、社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけて支援を行うといった教育相談体制の整備が進められており、学校においてソーシャルワークを担うスクールソーシャルワーカーの重要性が高まっている。
司法分野においては、刑事施設及び少年院における受刑者等について、高齢化の進展や障害を有する者の増加により、矯正施設内での日常生活の支援や、出所後に活用できる各種社会福祉制度の紹介や利用手続きの支援などへの対応が必要となっており、社会復帰に向けた支援の体制整備が進められている。
- また、様々な課題に適切に対応していくにあたっては、福祉職のみならず、医師、看護師、保健師などの医療職やスクールカウンセラーなどの心理職などとも連携していく必要があり、以前にも増して多職種と連携・協働する必要性が高まっている。
- このような中で、生活困窮者自立支援制度の創設をはじめとする各種制度改正が行われてきたところであり、「ニッポン一億総活躍プラン」では、「地域共生社会」の実現に向け、複合化・複雑化した課題を受け止める市町村における総合的な相談支援体制づくりや、住民に身近な圏域で、住民が主体的に地域課題を把握して解決

を試みる体制づくりなどの対応の方向性が掲げられている。

- このような状況を踏まえると、ソーシャルワークの専門職である社会福祉士には、地域住民等とも協働しつつ、多職種と連携しながら、課題を抱えた個人や世帯への包括的な支援のみならず、顕在化していない課題への対応といった役割も担っていくことが求められる。
- 地域共生社会の実現に向けた各地での取組を見ると、社会福祉士が中心となって、地域住民等と協働して地域のニーズを把握し、多職種・多機関との連携を図りながら問題解決に取り組み、必要な支援のコーディネートや地域住民が主体的に取り組んでいる活動の支援等を行っている事例もあり、ソーシャルワークの機能を発揮する人材である社会福祉士が活躍することで、地域づくりの推進が図られている。
- また、「社会福祉法等の一部を改正する法律」（平成 28 年法律第 21 号）により、社会福祉法人の「地域における公益的な取組」の実施に関する責務規定が創設され、社会福祉法人は、今後とも、社会福祉事業の中心的な担い手としての役割だけでなく、他の主体では対応が困難な福祉ニーズに対応していくことが求められている。そうした中で、社会福祉法人に所属する社会福祉士は、ソーシャルワークの機能を発揮し、地域の福祉ニーズを把握し、既存資源の活用や資源の開発を行う役割を担うことが期待される。
- さらに、社会保障審議会生活困窮者自立支援及び生活保護部会報告書（平成 29 年 12 月 15 日）においても、「現在進められている社会福祉士養成課程の見直し、職能団体による現任者研修の状況なども踏まえながら、自立相談支援機関の相談支援員に社会福祉士などの資格を求めることについても、検討を行うべき」とされている。

3 社会福祉士が担う今後の主な役割

- 人々が様々な生活課題を抱えながらも住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、地域の住民や多様な主体が支え合い、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、そして、地域を共に創っていく「地域共生社会」の実現に向けて、①複合化・複雑化した課題を受け止める多機関の協働による包括的な相談支援体制や②地域住民等が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制の構築を進めていくことが求められており、それらの体制の構築を推進していくに当たっては、社会福祉士がソーシャルワークの機能を発揮することが期待されている。
- ①複合化・複雑化した課題を受け止める多機関の協働による包括的な相談支援体制とは、福祉のみならず、医療、保健、雇用・就労、住まい、司法、商業、工業、農林水産業、防犯・防災、環境、教育、まちおこし、多文化共生など、多様な分野の支援関係機関が連携し、地域住民等が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制とも連動しつつ、必要な支援を包括的に提供するとともに、既存のサービスで

は対応が難しい課題等について、必要に応じて新たな社会資源を創出していく体制である。

- この体制の構築に当たり、社会福祉士には、アウトリーチなどにより個人やその世帯全体の生活課題を把握するとともに、分野別、年齢別に縦割りとなっている支援を多分野・多職種が連携して当事者中心の「丸ごと」の支援とし、地域住民等が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりと連動して、必要な支援を包括的に提供していくためのコーディネートを担うことが求められる。
- また、②地域住民等が主体的に地域課題を把握し、解決を試みる体制とは、多機関協働による包括的な相談支援体制と連携を図り、地域住民等が、地域福祉を推進する主体及び地域社会の構成員として、近隣住民による見守りや日常の地域活動の中で身近な圏域に存在する多種多様な地域課題や表出されにくいニーズに気づき、行政や専門機関とともにその解決に向けてそれぞれの経験や特性等を踏まえて支援を行う体制である。
- この体制の構築に当たっては、地域住民だけではなく、社会福祉法人や医療法人、ボランティア、特定非営利活動法人（NPO 法人）、教育機関、地元根付いた商店や企業等の主体も地域社会の構成員であるという意識を持ち、連携して取組を進めることが必要である。
 - こうした中で、社会福祉士には、地域住民に伴走しつつ、
 - ・ 地域住民等と信頼関係を築き、他の専門職や関係者と協働し、地域のアセスメントを行うこと、
 - ・ 地域住民が自分の強みに気づき、前向きな気持ちややる気を引き出すためのエンパワメントを支援し、強みを発揮する場面や活動の機会を発見・創出すること、
 - ・ グループ・組織等の立ち上げや立ち上げ後の支援、拠点となる場づくり、ネットワーキングなどを通じて地域住民の活動支援や関係者との連絡調整を行うこと等の役割を果たすことが求められる。
- また、社会福祉士には、個別の相談援助のほか、自殺防止対策、成年後見制度の利用支援、虐待防止対策、矯正施設退所者の地域定着支援、依存症対策、社会的孤立や排除への対応、災害時の支援、多文化共生など、幅広いニーズに対応するとともに、教育分野におけるスクールソーシャルワークなど、様々な分野においてソーシャルワークの機能を発揮していく役割を果たすことが求められる。

4 対応の方向性

- 地域共生社会の実現に向けて求められる、複合化・複雑化した課題を受け止める多機関の協働による包括的な相談支援体制や地域住民等が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制の構築に必要なソーシャルワークの機能を社会福祉士が担うために必要な実践能力を明らかにし、その能力を身につけることができるよう、社

会福祉士の養成カリキュラム等の見直しを検討すべきである（各論1）。

- 地域共生社会の実現に向けて、その担い手となる社会福祉士の育成に当たっては、職能団体、養成団体、事業者、行政、地域住民等の地域の関係者が連携・協働して学び合い、地域の実情を踏まえて取り組むことが重要である。このため、職能団体や養成団体等が中心となって地域でソーシャルワークの機能が発揮されるような取組の推進を検討すべきである（各論2）。
- 社会福祉士の地域共生社会の実現に向けた活動状況等を職能団体が中心となって把握するとともに、社会福祉士が果たしている役割や成果の「見える化」を図り、国民や関係者の理解を促進する方策を検討すべきである（各論3）。

各 論

1 社会福祉士の養成について

- 社会福祉士は、地域共生社会の実現に向けて求められる複合化・複雑化した課題を受け止める多機関の協働による包括的な相談支援体制及び地域住民等が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制の構築やその後の運営推進において中核的な役割を担うとともに、新たに生じるニーズに対応するため、ソーシャルワーク機能を発揮できる実践能力を身につけておく必要がある。
- ソーシャルワークの機能としては、権利擁護・代弁・エンパワメント、支持・援助、仲介・調整・組織化、社会資源開発・社会開発などが挙げられるが、それらの体制の構築や運営を推進していくに当たっては、次のような具体的なソーシャルワークの機能が相互に補完し合いながら発揮される必要がある。

【複合化・複雑化した課題を受け止める多機関の協働による包括的な相談支援体制を構築するために求められるソーシャルワークの機能】

- ・ 地域において支援が必要な個人や世帯及び表出されていないニーズの発見
- ・ 地域全体で解決が求められている課題の発見
- ・ 相談者が抱える課題を包括的に理解するための社会的・心理的・身体的・経済的・文化的側面のアセスメント
- ・ 相談者個人、世帯並びに個人と世帯を取り巻く集団や地域のアセスメント
- ・ アセスメントを踏まえた課題解決やニーズの充足及び適切な社会資源への仲介・調整
- ・ 相談者個人への支援を中心とした分野横断的な支援体制及び地域づくり
- ・ 必要なサービスや社会資源が存在しない又は機能しない場合における新たな社会資源の開発や施策の改善の提案
- ・ 地域特性、社会資源、地域住民の意識等を把握するための地域アセスメント及び評価
- ・ 地域全体の課題を解決するための業種横断的な社会資源との関係形成及び地域づくり
- ・ 包括的な相談支援体制に求められる価値、知識、技術に関する情報や認識の共有化

- ・ 包括的な相談支援体制を構成するメンバーの組織化及びそれぞれの機能や役割の整理・調整
- ・ 相談者の権利を擁護し、意思を尊重する支援や方法等の整備
- ・ 包括的な相談支援体制を担う人材の育成に向けた意識の醸成

【地域住民等が主体的に地域課題を把握し、解決を試みる体制を構築するために求められるソーシャルワークの機能】

- ・ 潜在的なニーズを抱える人の把握、発見
 - ・ ソーシャルワーカー自身が地域社会の一員であるということの意識化と実践化
 - ・ 地域特性、社会資源、地域住民の意識等の把握
 - ・ 個人、世帯、地域の福祉課題に対する関心や問題意識の醸成、理解の促進、福祉課題の普遍化
 - ・ 地域住民が支え手と受け手に分かれることなく役割を担うという意識の醸成と機会の創出
 - ・ 地域住民のエンパワメント（住民が自身の強みや力に気づき、発揮することへの支援）
 - ・ 住民主体の地域課題解決体制の立ち上げ支援並びに立ち上げ後の運営等の助言・支援
 - ・ 住民主体の地域課題解決体制を構成するメンバーとなる住民や団体等との連絡・調整
 - ・ 地域住民や地域の公私の社会資源との関係形成
 - ・ 見守りの仕組みや新たな社会資源をつくるための提案
 - ・ 「包括的な相談支援体制」と「住民主体の地域課題解決体制」との関係性や役割等に関する理解の促進
- 地域共生社会の実現を推進し、新たな福祉ニーズに対応するためには、これらのソーシャルワーク機能の発揮が必要であり、ソーシャルワークの専門職である社会福祉士が、その役割を担っていきけるような実践能力を習得する必要があることから、現行のカリキュラムを見直し、内容の充実を図っていく必要がある。
- また、社会福祉士の実践能力を高めていくためには、カリキュラムの見直しの中で、実践能力を養うための機会である実習や演習を充実させるとともに、教員が新カリキュラムを展開していくための研修や教員・実習指導者の要件等について検討する必要がある。
- なお、社会福祉協議会及び地域包括支援センター等における相談援助業務を担当する職員について、地域への取組を十分に担えていない現状もあるとの調査結果（※）から、社会福祉士が期待される役割を担っていくには、養成カリキュラム等も含めて教育の見直しを進めていく必要があるとの意見があった。

※ （一社）日本ソーシャルワーク教育学校連盟「地域における包括的な相談支援体制を担う社会福祉士の養成のあり方及び人材活用のあり方に関する調査研究事業」（平成 28 年度社会福祉推進事業）

（1）養成カリキュラムの内容の充実

- 社会福祉士養成課程におけるカリキュラムについては、平成 19 年度に行われた見直しから 10 年が経過しており、人口構造の変化（人口減少・少子高齢化）、働き方の変化（非正規の増加、共働き世帯の増加）、家族構造の変化（核家族化、独

兵庫大学「教育学部 教育学科」
設置構想についての人材需要アンケート調査
報告書

令和4年1月

株式会社高等教育総合研究所

目次

1 調査の概要	1
2 全質問項目の集計結果	2
3 集計結果のポイント	7

添付資料

兵庫大学「教育学部 教育学科」設置構想についての人材需要アンケート調査用紙

1 調査の概要

◆調査の目的：本調査は、兵庫大学が令和5（2023）年4月設置に向けて構想中の「教育学部 教育学科（仮称）」の卒業生の就職におけるニーズを、大学外の公正な第三者機関によりアンケートを用いて測ることを目的とする。

◆調査期間：令和3（2021）年10月～令和3（2021）年12月

◆調査対象：令和5（2023）年4月に設置構想中の「教育学部 教育学科（仮称）」の卒業生の採用が期待できる、これまでの兵庫大学の採用実績のある企業・機関・団体を含む1,205件を対象とした。地域別の送付件数は以下の通り。

地域	送付件数	構成比
関東地域	45件	3.7%
東海・中部地域	10件	0.8%
近畿地域	1,030件	85.5%
中・四国地域	115件	9.6%
九州地域	5件	0.4%
合計	1,205件	100.0%

◆調査方法：調査対象とした1,205件の採用担当者宛てに、兵庫大学が構想中の「教育学部 教育学科」の概要とアンケート用紙を送付。回答後、返信を求めた。

◆調査内容：アンケート項目は全9問で、8問が選択肢式、1問を記述式とした。
主な質問内容は、以下の通りである。

『企業・機関・団体の基本情報』

『企業・機関・団体が新卒者を採用する際に求める資格・免許について』

『教育学部 教育学科（仮称）の卒業生の採用見込みについて』

◆回収件数：317件（配布件数 1,205件 / 回収率 26.3%）

2 全質問項目の集計結果

※「構成比」(%) はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0% と一致しない。

2～6 ページは、アンケートで回答を得た 317 件の回答結果に基づく全質問項目の集計結果である。

問1 貴事業所の運営形態(法人格)をお答えください。
(あてはまるもの1つにマークをしてください)

選択項目	回答数	構成比
学校法人	38	12.0%
社会福祉法人	176	55.5%
宗教法人	5	1.6%
社団法人	3	0.9%
財団法人	0	0.0%
株式会社・有限会社	80	25.2%
その他	15	4.7%
計	317	100.0%

問2 貴事業所が運営される機関をお答えください。
(あてはまるものすべてにマークをしてください)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答した 317 件のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目	回答数	構成比
幼稚園	14	4.4%
保育園・保育所	110	34.7%
認定こども園	147	46.4%
その他(教育機関)	7	2.2%
その他(福祉施設)	67	21.1%
その他	29	9.1%

問3 主たる事業所または本社の所在地をお答えください。
(あてはまるもの1つにマークをしてください)

選択項目	回答数	構成比
兵庫県	245	77.3%
大阪府	23	7.3%
京都府	6	1.9%
滋賀県	2	0.6%
奈良県	3	0.9%

和歌山県	0	0.0%
岡山県	11	3.5%
広島県	7	2.2%
鳥取県	1	0.3%
島根県	2	0.6%
山口県	1	0.3%
香川県	3	0.9%
愛媛県	3	0.9%
徳島県	4	1.3%
高知県	1	0.3%
その他	5	1.6%
無回答	2	0.8%
計	317	100.0%

問4 貴事業所の職員数または従業員の規模をお答えください。
(あてはまるもの1つにマークをしてください)

選択項目	回答数	構成比
～49人	200	63.1%
50～99人	57	18.0%
100～499人	40	12.6%
500～999人	4	1.3%
1000人以上	11	3.5%
無回答	5	1.6%
計	317	100.0%

問5 貴事業所において以下の免許・資格保有者の有無をお答えください。
(あてはまるものすべてにマークをしてください)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答した317件のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目	回答数	構成比
幼稚園教諭一種免許状	226	71.3%
小学校教諭一種免許状	100	31.5%
特別支援学校教諭一種免許状(知・肢・病)	19	6.0%
保育士資格	275	86.8%
兵庫大学特別支援保育士(本学独自資格)	1	0.3%
わからない	23	7.3%
無回答	0	0.0%
計	644	—

問6 兵庫大学「教育学部 教育学科(仮称)」で学び、卒業した人材を採用したいと思われませんか。(あてはまるもの1つにマークをしてください)

選択項目	回答数	構成比
採用したい	218	68.8%
採用しない	5	1.6%
わからない	89	28.1%
無回答	5	1.6%
計	317	100.0%

問7は問6で「採用したい」と回答した218件へ回答を求めた。

問7 問6で「採用したい」を回答いただいた方は、現時点で採用可能と思われる人数をお答えください。(あてはまるもの1つにマークをしてください)

選択項目	回答数	構成比
1名	75	34.4%
2名	78	35.8%
3名	35	16.1%
4名	8	3.7%
5名	10	4.6%
6名	2	0.9%
7名	0	0.0%
8名	0	0.0%
9名	0	0.0%
10名以上	3	1.4%
無回答	7	3.2%
計	218	100.0%

問8 兵庫大学「教育学部 教育学科(仮称)」において取得可能な免許・資格のうち、採用時に取得していることが望ましいと思われるものをお答えください。
(あてはまるものすべてにマークをしてください)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答した317件のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目	回答数	構成比
幼稚園教諭一種免許状	196	61.8%
小学校教諭一種免許状	29	9.1%
特別支援学校教諭一種免許状(知・肢・病)	36	11.4%
保育士資格	254	80.1%
兵庫大学特別支援保育士(本学独自資格)	32	10.1%
計	547	—

問9 教育学部 教育学科(仮称)に対して、期待される点やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

※ 97件から回答を得た。内、25件を記載。

自由回答
実践的スキルの他に、教育者として子どもたちの未来を明るく切り拓くような志の醸成された人たちを期待しています。
貴校の卒業生が当法人で働いています。とても素直で勤務態度も優秀です。引き続き、社会に貢献する学生を送り出して頂けることを願っています。
幼稚教育や小学校教諭資格を持ちながら、高齢者介護を目指す方がいらっしゃれば大歓迎です。
心の温かい人間性豊かな人材を育成してほしい。
幼稚園教諭や保育士、学校の教師としても専門分野の理論、技能の習得はもちろん大切です。と同時にそれ以前の自立した大人としての基礎的な人間力の芽ばえを身につけた人材を希望します。
実習も含めて、教育に志を持った者を多く育てて欲しいです。
保育士としての技量は働きながら身につけていければ良いと思うが、意欲や向上心を持って仕事にのぞむ基礎的な力は元からつけて就職して頂ければと思う。また基本的なマナーも身につけてほしい。
保育士が不足しており、採用がなかなか難しい。また、資格を持っていても保育の仕事に就かない人もいるので保育の仕事に就きたいという人材の育成をお願いします。
保育者の求人は今後ますます増加すると思われます。人とのかかわり方、コミュニケーション力が求められるので、実習を積み重ねていい人材を送って頂きたいです。現場も働きやすい環境をつくっていききたいと思います。
コミュニケーション能力のある人材。意欲的に社会人としての基礎を身につけられる人材。
状況に応じて自分自身で考え、行動できる人材の育成に期待する。
選択肢が増えることは良いことだと思います。器用貧乏にならず1つあるいは2つの分野に特化したスキルを修得した人材の育成をお願いしたい。ICT教育への対応も特色にあげられていますが、保育現場ではパソコンを使いこなせる人材が少ないのでスペシャリストになっていければ非常にありがたいです。
特別な支援を必要とする子ども達が、年々増加傾向にあると思います。特別支援保育士の資格取得について期待しています。
広い視野で社会ニーズを捉え、勉強を続けられる人材を求めています。
近年特別支援の子どもをお預かりすることが増えてきています。貴学の特別支援保育士に期待します。
できれば複数資格を取得されている方が良いかと思えます。(幼稚園と保育、小学校と特別支援など)
表面上の能力ではなく、非認知能力を育てるための保育・教育を理解し、指導できる学生の育成をお願いしたいです。
実用英語検定、TOEFL、TOEIC等の英語資格に関する教育やICT活用に関する技能等の教育。
志を持った学生さんが多く輩出されることを期待しています。
学生さんには、実践的な力(手遊び、絵本、ピアノ、保育の進め方など)がつく機会をたくさん作っていただい

<p>たり、授業でも取り入れていただけたらと思います。また、日誌の書き方や保護者へのおたよりの書き方などの授業があれば学生さんが実習や働き始めた時に困ることが減るかと思います。</p>
<p>支援を必要とする子どもが増えてきている現状、専門的な知識をもつ学生を育成してほしい。</p>
<p>ICTを活用する専門知識の能力の修得や、時代に合わせた学びを持った学生が就職し、職場で活躍すること。</p>
<p>社会人としての一定のマナー、ICT化にむけての技術、コミュニケーション力</p>
<p>日頃から、研究者、教授、学生の皆さんと交流できるような仕組み、仕掛けがあれば、ぜひ協力したい。</p>
<p>専門的な学びを深められる学びの場として 及びその学部学科を卒業し現場に入ってくる学生にとっても期待している。</p>

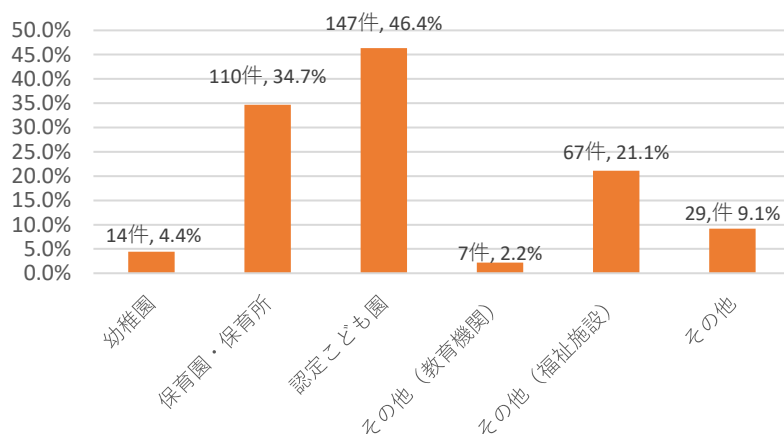
3 集計結果のポイント

※「構成比」(%) はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0% と一致しない。

● 「認定こども園」を運営する機関からの回答が約 5 割。

人材需要アンケートで回答を得た 317 件の運営する機関として、全体の約半数にあたる 147 件 (回答者全体の 46.4%) が「認定こども園」を運営。「保育園・保育所」110 件 (同 34.7%) がこれに続いた。

グラフ 運営する機関 (「問 2」結果より) ※複数回答の結果

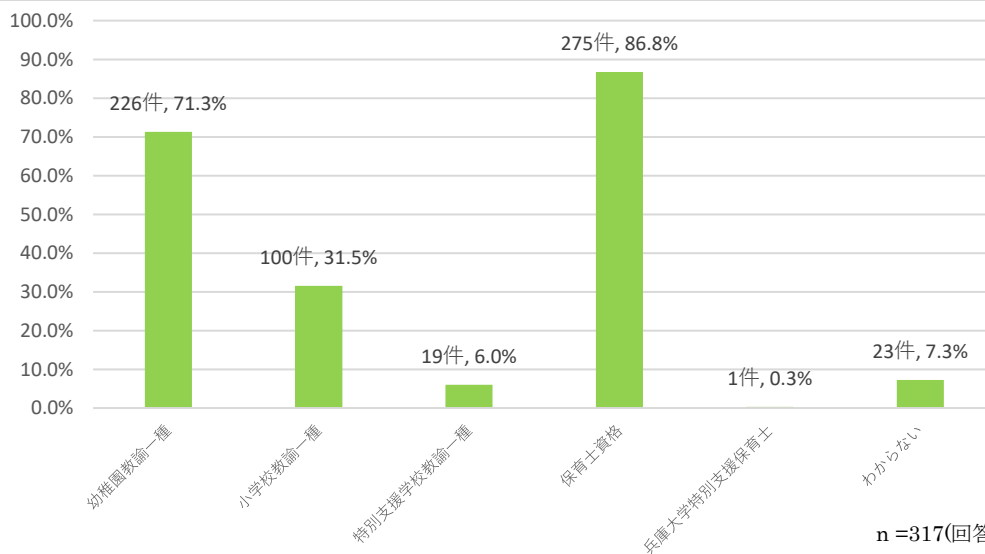


n=317(回答者全体)

● 7 割以上の事業所で「保育士資格」と「幼稚園教諭一種」保有者が在籍

回答を得た 317 件の事業所において、「保育士資格」を有する者が在籍する事業所が 275 件 (回答者全体の 86.8%)、「幼稚園教諭一種」は 226 件 (同 71.3%) と多くの事業所で同資格・免許を有する者が在籍しているとの回答があった。「小学校教諭一種」も 100 件 (同 31.5%) の事業所で免許を有する者が在籍しているとの回答があった。

グラフ 資格保有者の有無 (「問 5」結果より) ※複数回答の結果

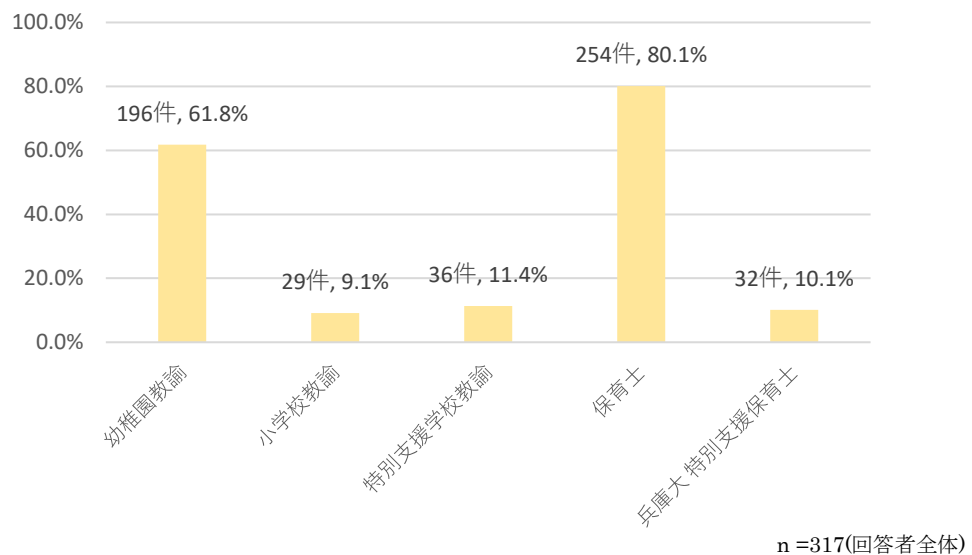


n=317(回答者全体)

● 採用時、「幼稚園教諭一種免許」と「保育士資格」の取得を望む回答が多数

採用時に取得が望ましい免許・資格を複数選択で質問したところ、「保育士資格」への回答がもっとも多く、回答者全体の80.1%にあたる254件の事業所が回答し、続いて「幼稚園教諭」も全体の61.8%にあたる196件の事業所において取得が望ましいと回答した。ほか、「特別支援学校教諭」(36件、同11.4%)、「兵庫大特別支援保育士」(32件、同10.1%)、「小学校教諭」(29件、同9.1%)と続いた。

グラフ 採用時に取得が望ましい免許・資格（「問8」結果より）※複数回答の結果



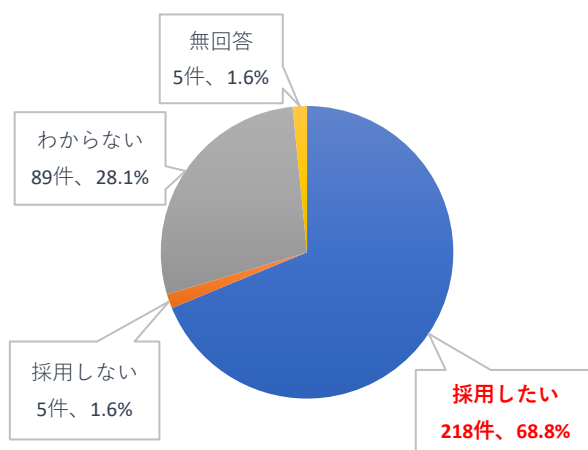
● 「教育学部 教育学科（仮称）」が養成する人材に 186 人の採用意欲が示された。

兵庫大学が設置構想中の「教育学部 教育学科（仮称）」が養成する人材について、回答者全体の 68.8%にあたる 218 件が「採用したい」と回答し、高い採用意欲が示された。「採用しない」への回答は 5 件（同 1.6%）に留まる一方で、「わからない」には 89 件（同 28.1%）が回答した。

「採用したい」への回答を事業所別（問 2 の回答）でみたところ、回答のあった事業所のうち、すべての事業所から「採用したい」との回答を得ており、「教育学部 教育学科（仮称）」が養成する人材は高い需要があると考えられる。

なお、問 6 で「採用したい」と回答した 218 件には、採用可能と思われる人数の記入を求めており、全 218 件が人数を記入した。この記入のあった人数の合計は 460 人であり、兵庫大学が設置構想中の「教育学部 教育学科（仮称）」が予定する入学定員 100 人及び編入学定員 5 人を大幅に上回る採用意欲が示された結果となった。

グラフ 「教育学部 教育学科（仮称）」が養成する人材への採用意欲（「問 6」結果より）



n = 253(回答者全体)

表【事業所別】「教育学部 教育学科（仮称）」が養成する人材の採用意欲（「問 2、問 6」結果より）

選択項目	問 6 で「採用したい」と回答した事業所	【参考】全回答数
幼稚園	12 件	14 件
保育園・保育所	80 件	110 件
認定こども園	116 件	147 件
その他(教育機関)	3 件	7 件
その他(福祉施設)	33 件	67 件
その他	15 件	29 件

表とグラフ「教育学部 教育学科（仮称）」が養成する人材の採用可能人数（「問 8」結果より）

採用可能人数(A)	採用したい	
	回答数(B)	合計人数(A×B)
1人	75件	75人
2人	78件	156人
3人	35件	105人
4人	8件	32人
5人	10件	50人
6人	2件	12人
10人	3件	30人
無回答	7件	0人
計	218件	460人

以上の結果より、兵庫大学が令和5（2023）年4月に設置構想中である「教育学部 教育学科（仮称）」の人材需要の見通しは、予定する入学定員及び編入学定員を大幅に上回る採用意欲を得たことから、十分な需要があり、問題ないと判断できる。

添付資料

兵庫大学「教育学部 教育学科（仮称）」
設置構想についての人材需要アンケート調査用紙

開設場所: 兵庫県加古川市平岡町新在家2301

修業年限: 4年

入学定員: 100名 (収容定員410名 (3年次編入定員5名))

取得学位: 学士 (教育学)

育成する人材: 建学の精神に基づき「感謝・寛容・互譲」のこころを基盤として、教員としての使命感や情熱を持ち、高度な専門知識・技能と実践力に優れ、多様性に対応しながら、地域社会に貢献できる人材を育成します。

取得可能な資格: 幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状、特別支援学校教諭一種免許状 (知・肢・病) 保育士資格、兵庫大学特別支援保育士 (本学独自資格)

◆ 学びの特色

教育学部教育学科は、これからの時代に求められる教育を実現する社会的要請に応えるため、子どもの成長と発達についての総合的な理解と広い視野の上に、使命感、得意分野、個性を備え、教育の課題に適切に対応できる実践力と人間性に優れた人材を養成します。

POINT 01 ICT教育への対応

学校現場で1人1台の学習用端末の導入が進むなか、教育の質の向上や時代が求める新しい学びの実現に向け、ICTを活用する専門知識や能力を修得します。また、一人ひとりに合わせた学びの最適化や学習の効率化にICTを活用し、子どもたちに主体的な学びを身に付けさせる力を養います。

POINT 02 実践的スキルの修得

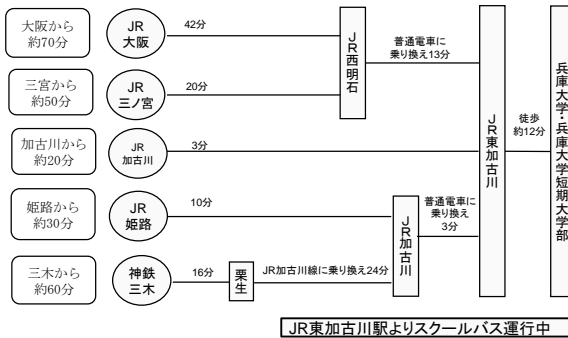
一人ひとりの教育的ニーズを感知し、個々の能力や適性に合わせた学習指導を行う力を養います。IEP (Individualized Education Plan) を推進する上で、確かな知識を修得し、実践をととして幅広い視野と洞察力、実践的スキルを身に付けます。

POINT 03 地域連携教育

地元加古川市の教育委員会をはじめとした近隣の学校現場と連携し、「知る」「発見する」「取り組む」という着実なステップで教育実習を行い、地域の人々と共に学校や地域の課題を発見・解決する能力を修得します。また、地域の資源を活かし、大学が教育と研究の中核を担い、教育研究の成果の還元に貢献します。

幼稚園教諭
小学校教諭
特別支援学校教諭
保育士 / 保育教諭 / 医療保育士
児童福祉施設職員 / 学習塾講師 など

本学へのアクセス



初年時納入金 (他大学を含む)

大学	学部・学科	入学金	初年度授業料	教育充実費・施設設備費等	計
兵庫大学	教育学部 教育学科	200,000	890,000	200,000	1,290,000
関西国際大学	教育学部 教育福祉学科	300,000	857,000	302,000	1,459,000
神戸親和女子大学	発達教育学部 児童教育学科	230,000	870,000	300,000	1,400,000
神戸女子大学	文学部 教育学科	250,000	850,000	270,000	1,370,000
関西福祉大学	教育学部 児童教育学科	200,000	850,000	200,000	1,250,000



問 6 兵庫大学「教育学部 教育学科（仮称）」で学び、卒業した人材を採用したいと思われませんか。
（あてはまるもの1つにマークをしてください）

- 採用したい 採用しない わからない

※問7は、問6で「採用したい」と回答いただいた方のみお答えください。

問 7 問6で「採用したい」を回答いただいた方は、現時点で採用可能と思われる人数をお答えください。
（あてはまるもの1つにマークをしてください）

- 1名 2名 3名 4名 5名 6名
 7名 8名 9名 10名以上

問 8 兵庫大学「教育学部 教育学科（仮称）」において取得可能な免許・資格のうち、採用時に取得していることが望ましいと思われるものをお答えください。（あてはまるものすべてにマークをしてください）

- 幼稚園教諭一種免許状
 小学校教諭一種免許状
 特別支援学校教諭一種免許状（知・肢・病）
 保育士資格
 兵庫大学特別支援保育士（本学独自資格）

問 9 兵庫大学「教育学部 教育学科（仮称）」に対して、期待する点やご要望がありましたらお聞かせください。

質問は以上となります。ご協力いただき、ありがとうございました。



兵庫大学 生涯福祉学部「社会福祉学科」
定員増構想についての人材需要アンケート調査
報告書

令和4年1月

株式会社高等教育総合研究所

目次

1	調査の概要	1
2	全質問項目の集計結果	2
3	集計結果のポイント	7

添付資料

兵庫大学 生涯福祉学部「社会福祉学科」定員増構想についての人材需要アンケート調査用紙

1 調査の概要

◆調査の目的：本調査は、兵庫大学が令和5（2023）年4月に収容定員増を構想中の生涯福祉学部「社会福祉学科」の卒業生の就職におけるニーズを、大学外の公正な第三者機関によりアンケートを用いて測ることを目的とする。

◆調査期間：令和3（2021）年11月～令和3（2021）年12月

◆調査対象：令和5（2023）年4月に定員増構想中の生涯福祉学部「社会福祉学科」の卒業生の採用が期待できる、これまでの兵庫大学の採用実績のある企業・機関・団体を含む500件を対象とした。地域別の送付件数は以下の通り。

地域	送付件数	構成比
近畿地域	392件	78.4%
中国地域	78件	15.6%
四国地域	30件	6.0%
合計	500件	100.0%

◆調査方法：調査対象とした500件の採用担当者宛てに、兵庫大学が構想中の生涯福祉学部「社会福祉学科」の概要とアンケート用紙を送付。回答後、返信を求めた。

◆調査内容：アンケート項目は全8問で、7問が選択肢式、1問を記述式とした。主な質問内容は、以下の通りである。

『企業・機関・団体の基本情報』

『企業・機関・団体が新卒者を採用する際に求める資格・免許について』

『生涯福祉学部 社会福祉学科の卒業生の採用見込みについて』

◆回収件数：151件（配布件数 500件 / 回収率 30.2%）

2 全質問項目の集計結果

※「構成比」(%) はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0% と一致しない。

2～6 ページは、アンケートで回答を得た 151 件の回答結果に基づく全質問項目の集計結果である。

問1 貴社・貴機関・貴団体の所在地(本社・主たる事業所)をお答えください。
(あてはまるもの1つにマークをしてください)

選択項目	回答数	構成比
兵庫県	50	33.1%
大阪府	37	24.5%
京都府	14	9.3%
奈良県	8	5.3%
和歌山県	1	0.7%
滋賀県	10	6.6%
岡山県	9	6.0%
鳥取県	3	2.0%
広島県	8	5.3%
その他	11	7.3%
無回答	0	0.0%
計	151	100.0%

問2 貴社・貴機関・貴団体の主業種をお答えください。
(あてはまるもの1つにマークをしてください)

選択項目	回答数	構成比
製造業	0	0.0%
通信業	1	0.7%
IT 関連業	0	0.0%
建設業	0	0.0%
放送・新聞・出版	0	0.0%
運輸業・郵便業	0	0.0%
金融業(銀行・信託・証券)	0	0.0%
保険業	0	0.0%
卸売業・小売業	0	0.0%
不動産業	0	0.0%
宿泊業・飲食サービス業	0	0.0%
教育・学習支援	3	2.0%

電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0%
福祉	137	90.7%
その他サービス	1	0.7%
公務	0	0.0%
非営利団体	1	0.7%
その他	7	4.6%
無回答	1	0.7%
計	151	100.0%

問3 貴社・貴機関・貴団体の従業員あるいは職員数の規模をお答えください。
(あてはまるもの1つにマークをしてください)

選択項目	回答数	構成比
～49人	26	17.2%
50～99人	22	14.6%
100～499人	68	45.0%
500～999人	19	12.6%
1000人以上	15	9.9%
無回答	1	0.7%
計	151	100.0%

問4 貴事業所の職員数または従業員の規模をお答えください。
(あてはまるもの1つにマークをしてください)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答した151件のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目	回答数	構成比
コミュニケーション能力	140	92.7%
基礎学力	37	24.5%
専門知識	34	22.5%
語学力	1	0.7%
考え抜く力	52	34.4%
目的達成志向	40	26.5%
積極性	77	51.0%
協調性	124	82.1%
適応力	90	59.6%
忍耐力	56	37.1%
理解力	65	43.0%
論理力	20	13.2%
インターンシップ・ボランティア体験	15	9.9%

資格・免許	54	35.8%
その他	5	3.3%

問5 生涯福祉学部「社会福祉学科」で学ぶ学生について、インターンシップで受け入れても良いと思われますか。(あてはまるもの1つにマークをしてください)

選択項目	回答数	構成比
受け入れたい	68	45.0%
受け入れを検討したい	55	36.4%
どちらとも言えない	25	16.6%
受け入れたいと思わない	3	2.0%
無回答	0	0.0%
計	151	100.0%

問6 生涯福祉学部「社会福祉学科」で学び、養成される人材を採用したいと思われますか。(あてはまるもの1つにマークをしてください)

選択項目	回答数	構成比
採用したい	115	76.2%
採用したくない	1	0.7%
分からない	33	21.9%
無回答	2	1.3%
計	151	100.0%

問7は問6で「採用したい」と回答した115件へ回答を求めた。

問7 「採用したい」と回答いただいた方は、現時点で採用可能と思われる人数をお答えください。(あてはまるもの1つにマークをしてください)

選択項目	回答数	構成比
1名	25	21.7%
2名	38	33.0%
3名	31	27.0%
4名	6	5.2%
5名	9	7.8%
6名	0	0.0%
7名	0	0.0%
8名	1	0.9%

9名	0	0.0%
10名以上	4	3.5%
無回答	1	0.9%
計	115	100.0%

問8 生涯福祉学部「社会福祉学科」に対して、期待される点やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

※ 39件から回答を得た。内、23件を以下に記載。

自由回答
年々、特別に支援が必要な子どもが多くなり専門的な知識を持った先生が必要になっています。この分野で先生を育成してもらい、現場に携わってもらいたい強い希望があります。
机上のケースワークではなく、支援を必要とされる店を中心に「その方の幸せ」等を実現し、支える視点を大事にする人材を成長してほしいです。
学校で習った通りに行う杓子定規な方が多いので、ケーススタディで議論を行うなど、より良い方法を探して考えていける方が欲しいです。
福祉分野に興味、関心を持ち将来この分野で活躍する人材が一人でも多く輩出されることを願っております。
良い人材を育ててほしいです。
次世代を担っていただけるようこれからも実践力のたしかな人材育成、学びの場であってほしいです。期待しています。
社会福祉士は高齢分野でも必要な資格です。学ばれた方が高齢分野で活躍してくださることを期待しています。
業界全体を俯瞰的に捉え、改善していく力を持った卒業生を期待しております。
社会福祉士の資格と同時に介護福祉士の資格取得も視野に入れていただきたい。
介護に対し前向きであれば、1名に限らず採用したいと思います。
介護施設は、まだまだ体制的にも不十分です。ご自身で作っていく、という気持ちを持ち何事にもチャレンジして下さる学生にご期待しています。
一人でも多くの卒業生が福祉の仕事に就くことを期待しています。
福祉業界をただ介護だけ支援だけではない方向へと進む中、その意識や知識をもった方の採用は積極的に受け入れたいと思っております。
社会福祉を学ばれても、一般企業へ就職される方が多い傾向にありますので、専門職として福祉業界での活躍を期待します。
これからますます必要とされる職種・資格ですので絶対数の確保が大事です。期待しています。
基本的な学びを持った学生がより多く社会で活躍してくれることを期待しています。
福祉人材が不足する中で、福祉を自ら選んで学習されている学生さんなので積極的な姿勢と人

とのコミュニケーション能力を育成してほしいと思います。
地域福祉に情熱のある社会福祉士を輩出してください
国家試験である「社福」「精神保健福祉士」など様々な事柄を高いレベルで理解する事に大いに期待している。
兵庫県以外の施設について学生に積極的に紹介していただきたい。兵庫県外も就職先として検討していただけることを期待しています。
昨今の学生の傾向として、ソーシャルワークを主とした業務を志望する学生が多く、社福サービスを利用される方に近い現場の業務に興味を示す学生が少ないように感じています。高等教育を受けた方が現場にもいないと福祉サービスの従事者のイメージ低下にもつながり、誰でもできる業務として認知され、福祉サービスのレベルが向上しないと思います。若い世代に福祉サービスの魅力を伝えられるようなカリキュラムを是非構築して欲しいと思っています。
社会福祉等の専門知識を活かして介護分野での規定の概念を飛び越えていける発案力や行動力に期待したい。
インターンシップ、ボランティア等を通じて、高齢者福祉（介護）の楽しさ、働きがい、魅力を体験し、就職して頂きたい。

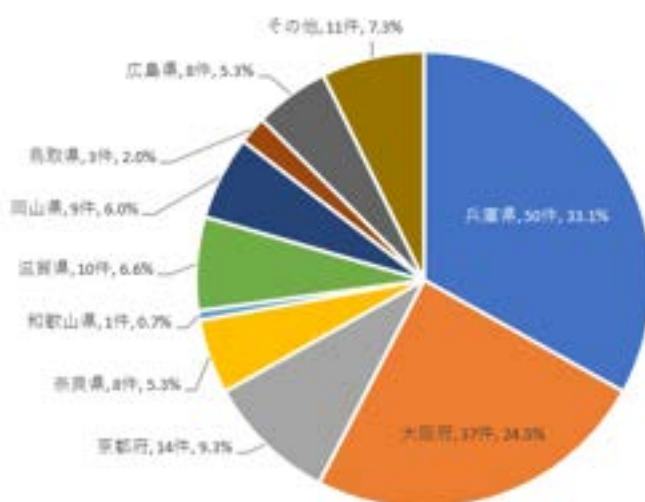
3 集計結果のポイント

※「構成比」(%) はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0%と一致しない。

● 地元兵庫県からの回答が約 3 割

人材需要アンケートで回答を得た 151 件の所在地に関して、全体の約 3 割にあたる 50 件（回答者全体の 33.1%）が地元「兵庫県」からの回答となった。「大阪府」37 件（同 24.5%）、「京都府」14 件（同 9.3%）がこれに続いた。

グラフ 回答者の所在地（「問 1」結果より）

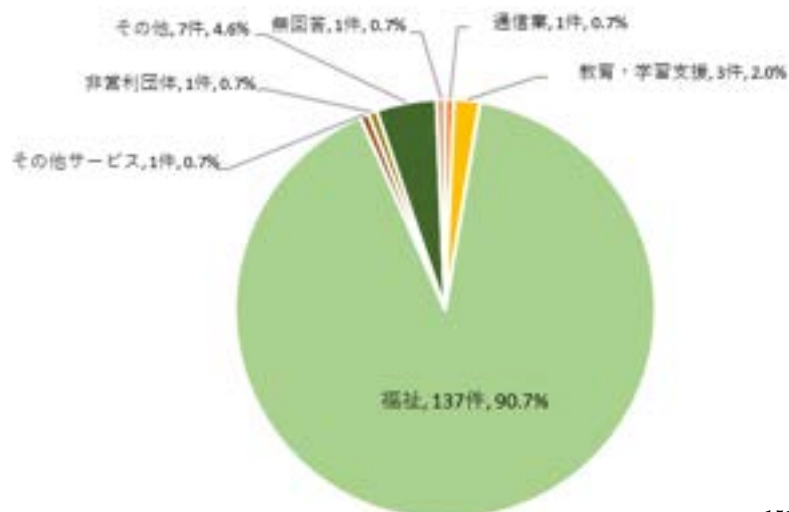


n=151（回答者全体）

● 福祉事業所からの回答が約 9 割

回答を得た 151 件の事業所において、「福祉」事業所からの回答が 137 件（回答者全体の約 9 割）となった。

グラフ 資格保有者の有無（「問 5」結果より）※複数回答の結果

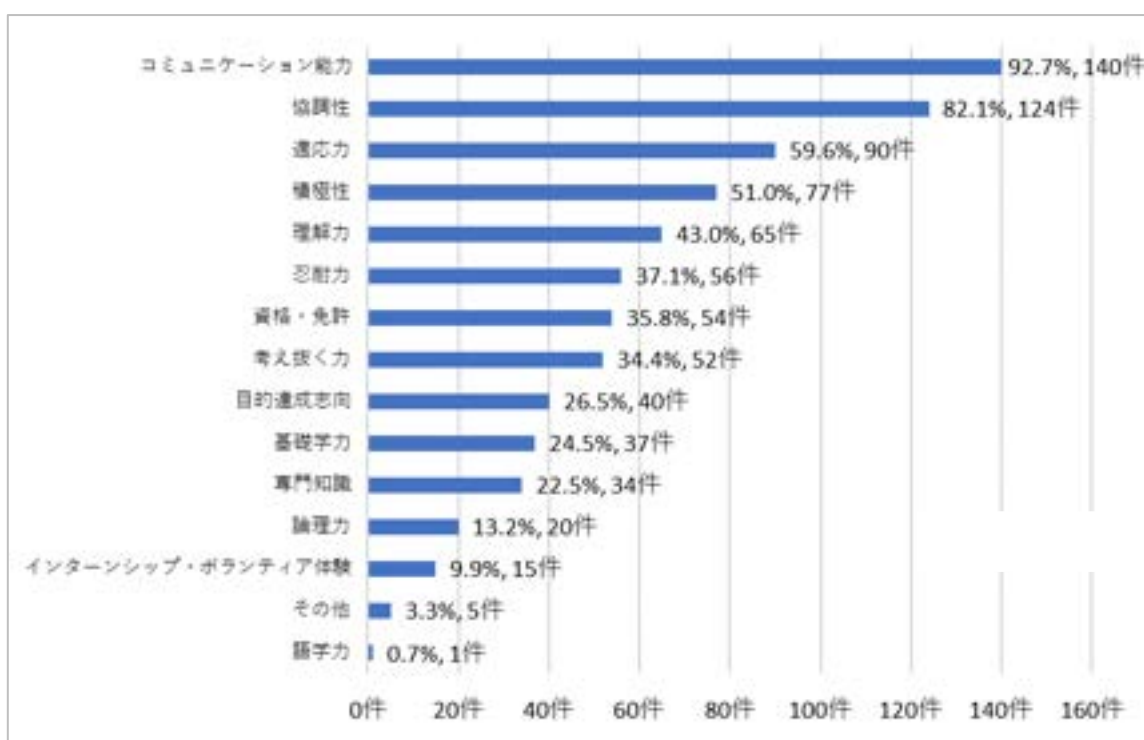


n=151（回答者全体）

● 採用する際には「コミュニケーション能力」と「協調性」を望む声が多数

採用時に求める能力や体験等を複数選択で質問したところ、「コミュニケーション能力」への回答がもっとも多く、回答者全体の92.7%にあたる140件の事業所が回答し、続いて「協調性」も全体の82.1%にあたる124件の事業所において回答があった。ほか、「適応力」（同59.6%、90件）、「積極性」（同51.0%、77件）、「理解力」（同43.0%、65件）と続いた。

グラフ 採用時に求める能力や体験（「問4」結果より）※複数回答の結果



n=151(回答者全体)

● 生涯福祉学部「社会福祉学科」が養成する人材に 311 人の採用意欲が示された。

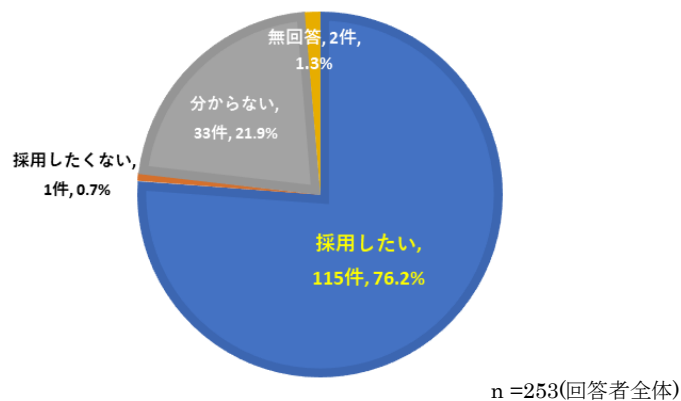
兵庫大学が収容定員増を構想中の生涯福祉学部「社会福祉学科」が養成する人材について、回答者全体の 76.2%にあたる 115 件が「採用したい」と回答し、高い採用意欲が示された。

「採用したくない」への回答は 1 件（同 0.7%）に留まる一方で、「分からない」には 33 件（同 21.9%）が回答した。

「採用したい」への回答を地域別（問 1 の回答）でみたところ、回答のあった事業所のうち、広い地域から「採用したい」との回答を得ており、生涯福祉学部「社会福祉学科」が養成する人材は高い需要があると考えられる。

なお、問 6 で「採用したい」と回答した 115 件には、採用可能と思われる人数の記入を求めており、全 114 件が人数を記入した。この記入のあった人数の合計は 311 人であり、兵庫大学が定員増を構想中の生涯福祉学部「社会福祉学科」が予定する入学定員 40 人及び 3 年次編入学定員 5 人を大幅に上回る採用意欲が示された結果となった。

グラフ 生涯福祉学部「社会福祉学科」が養成する人材への採用意欲（「問 6」結果より）



表【地域別】 生涯福祉学部「社会福祉学科」が養成する人材の採用意欲（「問 1、問 6」結果より）

選択項目	問 6 で「採用したい」と回答した事業所	【参考】全回答数
兵庫県	37 件	50 件
大阪府	29 件	37 件
京都府	11 件	14 件
奈良県	5 件	8 件
和歌山県	1 件	1 件
滋賀県	8 件	10 件
岡山県	7 件	9 件

鳥取県	3 件	3 件
広島県	6 件	8 件
その他	8 件	11 件

表とグラフ 生涯福祉学部「社会福祉学科」が養成する人材の採用可能人数（「問 7」結果より）

採用可能人数(A)	採用したい	
	回答数(B)	合計人数(A×B)
1 人	25 件	25 人
2 人	38 件	76 人
3 人	31 件	93 人
4 人	6 件	24 人
5 人	9 件	45 人
8 人	1 件	8 人
10 人以上	4 件	40 人
無回答	1 件	0 人
計	115 件	311 人

※10 人以上は 10 人と計算

以上の結果より、兵庫大学が令和 5（2023）年 4 月に収容定員増を構想中の生涯福祉学部「社会福祉学科」の人材需要の見通しは、予定する入学定員及び編入学定員を大幅に上回る採用意欲を得たことから、十分な需要があり、問題ないと判断できる。

添付資料

兵庫大学 生涯福祉学部「社会福祉学科」
収容定員増構想についての人材需要アンケート調査用紙

学科の概要

開設場所：兵庫県加古川市平岡町新在家2301

修業年限：4年

入学定員：40名（収容定員170名（3年次編入定員5名））

取得学位：学士（社会福祉学）

育成する人材：社会福祉学科は、「和」の精神と地球規模でのソーシャルワークの価値と倫理を理解し、主に小都市・町村において実践する福祉の専門職を養成するとともに、生涯にわたって福祉社会の一翼を担う市民の育成を目指します。

取得可能な資格：社会福祉士（国家試験受験資格） ※編入学生は「社会福祉士」のみ取得可能

精神保健福祉士（国家試験受験資格）、高等学校教諭一種免許状「福祉」

社会福祉主事任用資格、児童指導員任用資格、福祉レクリエーション・ワーカー

学科の特色

◆ 学科の特色

一人ひとりの個性や適性に応じたきめ細かい教育を行い、将来の福祉専門職者として、幅広く活躍できる社会福祉のプロフェッショナル育成を目指しています。

POINT 01 社会福祉士・精神保健福祉士合格率は兵庫県No.1の実績！
入学時から国家試験を意識する指導を行い、計画的に受験勉強を進めます。国家試験対策講座は、本学教員による充実の講座を実施し、無料の学内模試を12回実施。さらに、学外模試では、受験費用の一部補助等受験環境を整え、物心両面のサポートを実現しています。

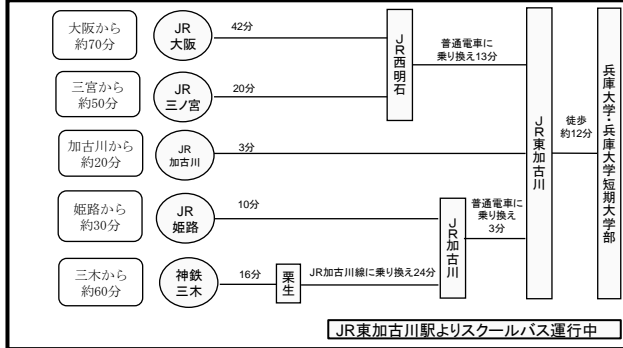
POINT 02 実務経験を有する専任教員が実践的な授業を展開
医療ソーシャルワーカー（MSW）、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）、スクールソーシャルワーカー（SSW）、精神科ソーシャルワーカー（PSW）としての実務経験を有する専任教員たちを配置しています。また、2020年度よりすべての学生が学外での実習に参加し、学内での実習を含むと総実習時間は600時間と他大学の2倍。専任教員による実習は専門性が高く、学生は自分が希望する実習を選択でき、実践力を高めます。

POINT 03 実際の臨床現場を学内に再現し、国内有数の最新設備で実践的な学び
本学科の特徴とする「コミュニケーションラボシステム」では、お互いの表情を録画しながら相談業務のロールプレイングを行います。利用者が発信するメッセージを引き出し、読み取る方法を学びます。さらに「特殊浴槽」では、入浴介助の実体験を行うことで、利用者レベルに合わせた入浴方法を選択できるなど、判断基準を身につけます。

卒業後の進路

高齢者施設、障害者施設
児童福祉施設、保健・医療機関
地域福祉機関、地域行政機関
学校・教育機関 など

本学へのアクセス



初年時納入金（他大学を含む）

大学	学部・学科	入学金	初年度授業料	教育充実費・施設設備費等	計
兵庫大	生涯福祉学部 社会福祉学科	200,000	990,000	200,000	1,390,000
神戸学院大	総合リハビリテーション学部 社会リハビリテーション学科	300,000	870,000	300,000	1,470,000
神戸女子大	健康福祉学部 社会福祉学科	250,000	850,000	270,000	1,370,000
関西福祉大	社会福祉学部 社会福祉学科	200,000	780,000	230,000	1,210,000
神戸医療福祉大	人間社会学部 社会福祉学科	200,000	700,000	300,000	1,200,000



問 5 生涯福祉学部「社会福祉学科」で学ぶ学生について、インターンシップで受け入れても良いと思われませんか。
(あてはまるもの1つにマークをしてください)

- 受け入れたい 受け入れを検討したい どちらとも言えない 受け入れたいと思わない

問 6 生涯福祉学部「社会福祉学科」で学び、養成される人材を採用したいと思われませんか。
(あてはまるもの1つにマークをしてください)

- 採用したい 採用したくない 分からない

※問7は、問6で「採用したい」と回答いただいた方のみお答えください。

問 7 「採用したい」と回答いただいた方は、現時点で採用可能と思われる人数をお答えください。
(あてはまるもの1つにマークをしてください)

- 1名 2名 3名 4名 5名 6名 7名 8名 9名 10名以上

問 8 生涯福祉学部「社会福祉学科」に対して、期待される点やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。



(資料18)生涯福祉学部子ども福祉学科及び短期大学保育科の就職状況等

(1)幼稚園・保育所・施設の求人件数の推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
幼稚園	273件	156件	122件	97件	79件
保育所	946件	1,148件	915件	767件	670件
認定こども園	357件	374件	531件	426件	568件
施設	137件	83件	176件	209件	175件
計	1,713件	1,761件	1,744件	1,499件	1,492件

(2)子ども福祉学科の就職状況

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
①卒業生数	25人	43人	33人	36人	51人
②就職希望者数	21人	42人	31人	35人	51人
③就職希望率(②/①)	84.0%	97.7%	93.9%	97.2%	100.0%
④就職者数	21人	42人	31人	35人	51人
⑤就職率(④/②)	100%	100%	100%	100%	100%
⑥進学者数	0人	0人	0人	0人	0人
⑦非就職者数	4人	1人	2人	1人	0人
⑧非就職率(⑦/①)	16.0%	2.3%	6.1%	2.8%	0%

(3)保育科(第一部・第三部)の就職状況

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
①卒業生数	182人	182人	163人	160人	163人
②就職希望者数	164人	175人	153人	132人	146人
③就職希望率(②/①)	90.1%	95.6%	93.9%	82.5%	89.6%
④就職者数	164人	175人	153人	132人	146人
⑤就職率(④/②)	100%	100%	100%	100%	100%
⑥進学者数	2人	1人	1人	3人	2人
⑦非就職者数	16人	6人	9人	25人	15人
⑧非就職率(⑦/①)	8.8%	3.3%	5.5%	15.6%	9.2%

(資料19)生涯福祉学部子ども福祉学科及び短期大学保育科の
 専門職等就職状況

(1)子ども福祉学科の専門職等就職状況

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
幼稚園	/	23.8%	36.6%	45.2%	40.0%
保育所		52.4%	26.8%	29.0%	37.1%
施設		9.5%	21.9%	12.9%	8.6%
企業		14.3%	14.7%	12.9%	14.3%
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(2)保育科(第一部・第三部)の専門職等就職状況

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
幼稚園	7.0%	34.8%	90.2%	36.6%	37.1%
保育所	66.1%	52.4%		45.1%	42.4%
施設	17.5%	6.7%		8.6%	6.8%
企業	9.4%	6.1%	9.8%	9.7%	13.7%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(資料20)生涯福祉学部社会福祉学科の就職状況等

(1)福祉職の求人件数の推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
病院	70件	51件	110件	76件	66件
施設	537件	568件	365件	245件	335件
社会福祉協議会等	43件	80件	54件	42件	52件
計	650件	699件	529件	363件	453件

(2)生涯福祉学部社会福祉学科の就職状況

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
①卒業生数	16人	12人	23人	23人	23人
②就職希望者数	12人	12人	22人	21人	17人
③就職希望率(②/①)	75.0%	100%	95.7%	91.3%	73.9%
④就職者数	11人	12人	22人	21人	17人
⑤就職率(④/②)	91.7%	100%	100%	100%	100%
⑥進学者数	0人	0人	0人	0人	0人
⑦非就職者数	4人	0人	1人	2人	6人
⑧非就職率(⑦/①)	25.0%	0%	4.3%	8.7%	26.1%

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
1	学長	コノ マコト 河野 真 (平成28年 7月)		Ph. D (英国)		兵庫大学 学長 (平成28.7～令和6.6) 兵庫大学短期大学部 学長 (平成28.7～令和6.6)

(注) 高等専門学校にあつては校長について記入すること。

審査意見への対応を記載した書類（7月）

（目次）健康科学部 健康システム学科

1. 既設の健康科学部健康システム学科において、専任教員数が大学設置基準を満たしていないため、適切に改めること。（是正事項）・・・・・・・・・・ 2

(是正事項) 健康科学部 健康システム学科

1. 既設の健康科学部健康システム学科において、専任教員数が大学設置基準を満たしていないため、適切に改めること。

(対応)

教育学部設置に伴い、健康科学部健康システム学科から教育学部教育学科への教員異動を予定している。このたび、これに伴う健康科学部健康システム学科の人員補充ができておらず、法令上必要な専任教員数の配置が不十分となっていたことから、今回の補正申請において同学科の専任教員の配置を適切に改める。

本学の教員組織は、学部学科に加え、教養教育の企画・運営などを専門的に担う全学的組織である「共通教育機構」を設置している。この「共通教育機構」に所属する教員1人(准教授)を健康科学部健康システム学科に配置することにより、健康科学部健康システム学科の教員配置は10人(教授5人、准教授3人、講師2人)となることから、法令上必要な専任教員を充足する。

なお、「共通教育機構」は1人減となるが、「共通教育機構」の教員配置は、教育上の運営に支障はない。

(新旧対照表) 基本計画書 (2 ページ)

		新							旧						
教員組織の概要	学部等の名称	専任教員等							専任教員等						
		教授	准教授	講師	助教	計	助手	兼任教員等	教授	准教授	講師	助教	計	助手	兼任教員等
教員組織の概要	教育学部 教育学科	10	3	2	0	20	0	61	10	3	2	0	20	0	61
	現代ビジネス学部 現代ビジネス学科	11	5	2	0	18	0	56	11	5	2	0	18	0	56
	健康科学部 栄養マネジメント学科	5	4	3	3	15	2	55	5	4	3	3	15	2	55
	健康システム学科	5	2	2	0	10	0	61	5	2	2	0	9	0	61
	看護学部 看護学科	13	6	6	3	28	4	52	13	6	6	3	28	4	52
	生涯福祉学部 社会福祉学科	7	4	1	0	12	0	41	7	4	1	0	12	0	41
	計	51	20	16	6	103	6	-	51	20	16	6	102	6	-
	共通教育機構	4	2	0	0	6	0	0	4	2	0	0	6	0	0
	計	4	2	0	0	6	0	-	4	2	0	0	6	0	-
	合計	55	32	16	6	109	6	-	55	32	16	6	109	6	-
[健康科学部健康システム学科]		教授 5,准教授 3,講師 2,助教 0,計 10							教授 5,准教授 2,講師 2,助教 0,計 9						
[計]		教授 51,准教授 30,講師 16,助教 6,計 103							教授 51,准教授 29,講師 16,助教 6,計 102						
[共通教育機構]		教授 4,准教授 2,講師 0,助教 0,計 6							教授 4,准教授 3,講師 0,助教 0,計 7						
[計]		教授 4,准教授 2,講師 0,助教 0,計 6							教授 4,准教授 3,講師 0,助教 0,計 7						

a その他

(健康科学部 健康システム学科)

区分	新	旧	補正理由																																																																																																																																																																																														
基本計画書 教員組織の 概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学部等の名称</th> <th colspan="6">専任教員等</th> <th rowspan="2">兼任 教員等</th> </tr> <tr> <th>教授</th> <th>准教授</th> <th>講師</th> <th>助教</th> <th>計</th> <th>助手</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教育学部 教育学科</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>20</td> <td>0</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>現代ビジネス学部 現代ビジネス学科</td> <td>11</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>18</td> <td>0</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>健康科学部 栄養マネジメント学科</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>18</td> <td>2</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>健康科学部 健康システム学科</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>看護学部 看護学科</td> <td>13</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>28</td> <td>4</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>生涯福祉学部 社会福祉学科</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>51</td> <td>22</td> <td>16</td> <td>6</td> <td>100</td> <td>6</td> <td>310</td> </tr> <tr> <td>共通教育機構</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>55</td> <td>24</td> <td>16</td> <td>6</td> <td>106</td> <td>6</td> <td>330</td> </tr> </tbody> </table>	学部等の名称	専任教員等						兼任 教員等	教授	准教授	講師	助教	計	助手	教育学部 教育学科	10	8	2	0	20	0	61	現代ビジネス学部 現代ビジネス学科	11	5	2	0	18	0	56	健康科学部 栄養マネジメント学科	8	4	3	3	18	2	55	健康科学部 健康システム学科	5	2	2	0	10	0	61	看護学部 看護学科	13	6	6	3	28	4	52	生涯福祉学部 社会福祉学科	7	4	1	0	12	0	41	計	51	22	16	6	100	6	310	共通教育機構	4	2	0	0	6	0	20	計	4	2	0	0	6	0	20	合計	55	24	16	6	106	6	330	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学部等の名称</th> <th colspan="6">専任教員等</th> <th rowspan="2">兼任 教員等</th> </tr> <tr> <th>教授</th> <th>准教授</th> <th>講師</th> <th>助教</th> <th>計</th> <th>助手</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教育学部 教育学科</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>20</td> <td>0</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>現代ビジネス学部 現代ビジネス学科</td> <td>11</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>18</td> <td>0</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>健康科学部 栄養マネジメント学科</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>18</td> <td>2</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>健康科学部 健康システム学科</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>看護学部 看護学科</td> <td>13</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>28</td> <td>4</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>生涯福祉学部 社会福祉学科</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>51</td> <td>22</td> <td>16</td> <td>6</td> <td>100</td> <td>6</td> <td>310</td> </tr> <tr> <td>共通教育機構</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>55</td> <td>24</td> <td>16</td> <td>6</td> <td>106</td> <td>6</td> <td>330</td> </tr> </tbody> </table>	学部等の名称	専任教員等						兼任 教員等	教授	准教授	講師	助教	計	助手	教育学部 教育学科	10	8	2	0	20	0	61	現代ビジネス学部 現代ビジネス学科	11	5	2	0	18	0	56	健康科学部 栄養マネジメント学科	8	4	3	3	18	2	55	健康科学部 健康システム学科	5	2	2	0	10	0	61	看護学部 看護学科	13	6	6	3	28	4	52	生涯福祉学部 社会福祉学科	7	4	1	0	12	0	41	計	51	22	16	6	100	6	310	共通教育機構	4	2	0	0	6	0	20	計	4	2	0	0	6	0	20	合計	55	24	16	6	106	6	330	<p>〔健康科学部健康システム学科〕 教授 5,准教授 3,講師 2,助教 0,計 10</p> <p>〔計〕 教授 51,准教授 30,講師 16,助教 6, 計 103</p> <p>〔共通教育機構〕 教授 4,准教授 2,講師 0,助教 0,計 6</p> <p>〔計〕 教授 4,准教授 2,講師 0,助教 0,計 6</p>	<p>〔健康科学部健康システム学科〕 教授 5,准教授 2,講師 2,助教 0,計 9</p> <p>〔計〕 教授 51,准教授 29,講師 16,助教 6, 計 102</p> <p>〔共通教育機構〕 教授 4,准教授 3,講師 0,助教 0,計 7</p> <p>〔計〕 教授 4,准教授 3,講師 0,助教 0,計 7</p>	<p>補正理由 審査意見の結果への対応に伴うもの。</p>
	学部等の名称		専任教員等							兼任 教員等																																																																																																																																																																																							
教授		准教授	講師	助教	計	助手																																																																																																																																																																																											
教育学部 教育学科	10	8	2	0	20	0	61																																																																																																																																																																																										
現代ビジネス学部 現代ビジネス学科	11	5	2	0	18	0	56																																																																																																																																																																																										
健康科学部 栄養マネジメント学科	8	4	3	3	18	2	55																																																																																																																																																																																										
健康科学部 健康システム学科	5	2	2	0	10	0	61																																																																																																																																																																																										
看護学部 看護学科	13	6	6	3	28	4	52																																																																																																																																																																																										
生涯福祉学部 社会福祉学科	7	4	1	0	12	0	41																																																																																																																																																																																										
計	51	22	16	6	100	6	310																																																																																																																																																																																										
共通教育機構	4	2	0	0	6	0	20																																																																																																																																																																																										
計	4	2	0	0	6	0	20																																																																																																																																																																																										
合計	55	24	16	6	106	6	330																																																																																																																																																																																										
学部等の名称	専任教員等						兼任 教員等																																																																																																																																																																																										
	教授	准教授	講師	助教	計	助手																																																																																																																																																																																											
教育学部 教育学科	10	8	2	0	20	0	61																																																																																																																																																																																										
現代ビジネス学部 現代ビジネス学科	11	5	2	0	18	0	56																																																																																																																																																																																										
健康科学部 栄養マネジメント学科	8	4	3	3	18	2	55																																																																																																																																																																																										
健康科学部 健康システム学科	5	2	2	0	10	0	61																																																																																																																																																																																										
看護学部 看護学科	13	6	6	3	28	4	52																																																																																																																																																																																										
生涯福祉学部 社会福祉学科	7	4	1	0	12	0	41																																																																																																																																																																																										
計	51	22	16	6	100	6	310																																																																																																																																																																																										
共通教育機構	4	2	0	0	6	0	20																																																																																																																																																																																										
計	4	2	0	0	6	0	20																																																																																																																																																																																										
合計	55	24	16	6	106	6	330																																																																																																																																																																																										